
**第4次川越市地域福祉計画等策定に係る
基礎調査結果報告書**

令和2年2月

川越市

目 次

I 調査の概要	1
(1) 調査目的	1
(2) 調査対象	1
(3) 調査時期	1
(4) 調査方法	1
(5) 回収状況	1
(6) 調査項目	1
II 調査結果の概要	3
【一般市民調査】	3
【団体・地域活動者調査】	6
【関係機関調査】	9
III 調査結果	12
【一般市民調査】	12
1. 回答者の属性	12
2. 地域との関わりや活動について	19
3. 日常生活の楽しみや困りごとについて	40
4. 福祉に関する考え	67
5. 社会福祉協議会や民生委員・児童委員について	84
6. 地域や福祉全般についてのご希望やご意見（自由記述）	89
【団体・地域活動者調査】	95
1. 活動について	95
2. 活動を通じて把握している地域状況や課題など	101
3. 多機関連携・ネットワークについて	103
4. 福祉に関する考え	106
5. 地域や福祉全般についてのご希望やご意見（自由記述）	110
【関係機関調査】	116
1. 貴機関について	116
2. 業務を通じて把握している地域状況や課題など	120
3. 多機関連携・ネットワークについて	123
4. 福祉に関する考え	126
5. 地域や福祉全般についてのご希望やご意見（自由記述）	131
IV 調査票	133

I 調査の概要

(1) 調査目的

「第4次川越市地域福祉計画」及び「社会福祉法人川越市社会福祉協議会第5次地域福祉活動計画」策定のための基礎資料とする。

(2) 調査対象

調査区分	対象者抽出方法
一般市民調査	18歳以上の市民を無作為抽出
団体・地域活動者調査	地域福祉に関わる活動や事業を行っている団体・活動者
関係機関調査	地域福祉に関わる活動や事業を行っている機関・団体

(3) 調査時期

令和元年11月22日（金）～令和元年12月4日（水）

(4) 調査方法

郵送配布・郵送回収により調査を実施した。

(5) 回収状況

	配布数	回収数	有効回収数	回収率	有効回収率
一般市民調査	3,000	1,173	1,173	39.1%	39.1%
団体・地域活動者調査	1,200	777	776	64.8%	64.7%
関係機関調査	400	168	168	42.0%	42.0%

(6) 調査項目

【一般市民調査】

1. 回答者の属性
2. 地域との関りや活動について
3. 日常生活の楽しみや困りごとについて
4. 福祉に関する考え
5. 社会福祉協議会や民生委員・児童委員について
6. 地域や福祉全般についてのご希望やご意見（自由記述）

【団体・地域活動者調査】

1. 活動について
2. 活動を通じて把握している地域状況や課題など
3. 多機関連携・ネットワークについて
4. 福祉に関する考え
5. 地域や福祉全般についてのご希望やご意見（自由記述）

I 調査の概要

【関係機関調査】

1. 貴機関について
2. 業務を通じて把握している地域状況や課題など
3. 多機関連携・ネットワークについて
4. 福祉に関する考え
5. 地域や福祉全般についてのご希望やご意見（自由記述）

《この報告書における調査結果の見方》

- 調査結果の数値は、回答率(%)で表示している。回答率(%)の母数は、その質問項目に該当する回答者の総数であり、その数はTOTAL及びnで示している。
- 設問の回答対象者に回答を得られなかった場合には、「無回答」または「－」で示している。
- 回答率(%)については、小数点第2位を四捨五入し、小数点第1位までを表示している。このため、その合計数値は100%とならない場合がある。
- 回答は、「○は1つ」「○は3つまで」「あてはまるものすべてに○」の3種類がある。複数回答（「○は2つまで」「○は3つまで」「あてはまるものすべてに○」）の場合、その回答割合(%)の合計は100%を超えることがある。
- 図表の問のタイトル及び回答の選択肢は、「アンケート調査票」を参照のこと。
- 棒グラフの数表に  や  がある。 はTOTALより5ポイントを超えて上回ることを、 はTOTALより5ポイントを超えて下回ることを示している。
- 帯グラフにおいて回答が得られなかった場合、「0.0」の表示を省略している。
- クロス集計において、回答対象者の属性にあたる項目に回答を得られなかった場合には、集計結果から「無回答」の項目を省略している。このため各回答者属性の小計及び合計は質問項目に該当する回答者の総数と一致しない場合がある。
- クロス集計において、回答対象者の属性毎のサンプル数が30を下回る場合には、参考値とみなし該当属性に対するコメントは控え、表のみ掲載している。

II 調査結果の概要

【一般市民調査】

1 回答者の属性

- ・年齢では、「41歳～64歳」が38.4%と最も多く、次いで「65歳～74歳」が25.5%、「18歳～40歳」が21.8%となっています。
- ・性別では、「男性」が43.1%、「女性」が55.8%、「その他」が0.1%、「回答しない」が0.1%となっています。
- ・世帯では、「世帯に高校生以下の学生がいる」が14.8%と最も多く、次いで「世帯に未就学児がいる」が9.7%、「世帯に障害者手帳を持っている人がある」が5.6%となっています。
- ・お住まいの地区では、「霞ヶ関地区」が5.5%と最も多く、次いで「第1地区」が5.4%、「第4地区」「大東地区」がともに5.1%となっています。
- ・居住年数では、「30年以上」が48.3%と最も多く、次いで「10年未満」が19.2%、「20年以上30年未満」が16.2%となっています。
- ・お仕事については、「フルタイム（正規）で働いている」が31.3%と最も多く、次いで「家事などをしていいる」が19.1%、「特に仕事はしていない」が17.1%となっています。
- ・生活の経済的な状況については、「ゆとりはないが、生活できる」が45.3%と最も多く、次いで「経済的には普通だと感じている」が37.0%、「生活が苦しい」が9.0%となっています。
- ・自身の生活の時間的なゆとりについては、「時間的には普通だと感じている」が40.8%と最も多く、次いで「忙しいが、生活できる」が26.9%、「ゆとりがある」が18.6%となっています。

2 地域との関わりや活動について

- ・ご近所との関係については、「会えばあいさつする程度の人がある」が33.8%と最も多く、次いで「立ち話をする程度の人がある」が28.0%、「何か困ったときに助け合う人がある」が17.8%となっています。
- ・地域の活動や福祉の活動の参加については、「現在、参加している」の回答では、「地域のおまつりやイベント」が最も多く、次いで「道路や公園などの清掃活動」、「自治会、女性会、老人会、子ども会などの運営」となっています。「今後、参加したい」の回答が多い項目では、「高齢者や子どもなどの見守りや声かけ運動」が最も多く、次いで「文化活動や趣味のサークル活動」となっています。また、「参加したくない」の回答が多い項目では、「住民が交流する場（サロンなど）の活動」が最も多くなっています。
- ・地域の活動や福祉の活動に参加するうえで、支障になることでは、「時間的にゆとりがない」が42.6%と最も多く、次いで「一緒に参加する仲間や友人がいない」が23.6%、「何をすればいいのかわからない」が21.8%となっています。
- ・地震や台風などの災害時、ご近所の方と協力し合えると思うかでは、「おそらく協力し合える」が55.1%と最も多く、「協力し合える」と合わせると75.8%となっています。また、「あまり協力し合えるとは思わない」、「まったく協力し合えるとは思わない」を合わせると23.3%となっています。
- ・防災については、「はい」の回答が多い項目では、「①身近な避難場所とそこへの行き方を知っていますか」が最も多く、次いで「④災害時に避難の手助けを必要とする人に対し、手助けをすることができますか」、「③災害時に避難の手助けを必要とする人が近所にいますか」となっています。「いいえ」の回答

Ⅱ 調査結果の概要

が多い項目では、「②災害時に避難の手助けが必要ですか」が最も多くなっています。

3 日常生活の楽しみや困りごとについて

- ・日常生活の中で、どのようなときに楽しさや生きがいを感じるかでは、「家族と過ごしているとき」が63.8%と最も多く、次いで「趣味やスポーツをしているとき」が58.5%、「友人などと交流しているとき」が57.2%となっています。
- ・今住んでいる地域に住み続けたいと思うかでは、「住み続けたい」が49.0%と最も多く、「どちらかと言えば住み続けたい」と合わせると84.3%となっています。また、「どちらかと言えば住み続けたくない」「住み続けたくない」を合わせると11.5%となっています。
- ・日常生活に関する以下のことで、困っていたり不安に感じていることでは、「困っている」「将来は不安がある」「助けてもらっている」を合わせた回答が多い項目では、「健康状態」が最も多く、次いで「地震や台風などの自然災害」、「経済的な状況」となっています。
また、「困っていない、不安はない」の回答が多い項目では、「調理や洗濯などの家事」が最も多く、「ゴミ出し、掃除、片づけ」、「日常の買い物」となっています。
- ・日常生活の困りごとや不安について、どのように対応しているかでは、「家族や友人、知人に相談した」が49.5%と最も多く、次いで「それほどのことではないので、なにもしない」が21.7%、「市のホームページで必要な情報を探す」が13.8%となっています。
- ・家族や親族以外で、地域に気がかりな人がいるかでは、「いる」が9.4%、「いない」が85.0%となっています。
- ・家族や親族以外で、地域に気がかりな人は、どのような方ですかでは、「本人や家族の介護で困っている」が23.6%と最も多く、次いで「地域から孤立している」が22.7%となっています。
- ・家族や親族以外で、地域に気がかりな人気がかりな人に対し、何かしているかでは、「気にかけて見守っている」が42.7%と最も多く、次いで「特になにもしていない」が24.5%、「相談にのったり、助けたりしている」が20.9%となっています。
- ・日常生活に困りごとがあったときや、気がかりな人に気づいたとき、どのような仕組みがあると解決に向けて行動ができると思うかでは、「市役所で多様な相談を総合的に受け付けてもらえる」が42.0%と最も多く、次いで「福祉の専門職が地域に出向いて相談にのってくれる」が25.5%、「小学校区内など、身近なところで気軽に相談できる場所がある」が13.8%となっています。
- ・日常生活の困りごとや不安を解決するひとつの方法として、地域の中で協力しあい、支えあうことについてどう思うかでは、「災害時などには支え合いたいと思う」が41.3%と最も多く、次いで「支え合いたいと思う」が28.6%、「支え合いたいが難しいと思う」が18.9%となっています。

4 福祉に関する考え

- ・福祉に関心があるかでは、「関心がある」が45.3%、「関心がない」が6.6%、「どちらともいえない」が43.6%となっています。
- ・福祉施策や制度について、今後どうあるべきだと思うかでは、「拡充」の回答が多い項目では、「認知症の人やその家族への支援」が最も多く、次いで「虐待やDV被害者への支援」となっています。「現状維持」の回答が多い項目では、「生活困窮者への支援」が最も多く、次いで「ひとり親家庭への支援」となっています。「縮小」の回答が多い項目では、「ひきこもりやニートへの支援」が最も多くなっています。

- ・地域共生社会について知っているかでは、「名称も内容も知っている」が 7.8%、「名称は知っているが、内容はよく知らない」が 35.0%、「名称も内容もまったく知らない」が 54.6%となっています。
- ・認知症などにより判断力が低下した際に、財産管理などの支援をしてくれる人はいるかでは、「いる」が 53.3%、「いない」が 19.5%、「どちらともいえない」が 24.6%となっています。
- ・あなたは支援が必要になったとき、成年後見制度を利用したいと思うかでは、「必要になれば利用したい」が 54.0%と最も多く、次いで「わからない」が 22.1%、「利用したいと思わない」が 17.1%となっています。
- ・川越市自立相談支援センターについて知っているかでは、「名称も内容も知っている」が 12.1%、「名称は知っているが、内容はよく知らない」が 38.3%、「名称も内容もまったく知らない」が 48.2%となっています。
- ・犯罪をした人や非行に走った人が、地域の中で再び犯罪をすることなく暮らすうえで、どのようなことが必要だと思うかでは、「行政や専門職の支援」が 67.3%と最も多く、次いで「警察などの監視」が 46.7%、「近隣住民の理解・支援」が 41.4%となっています。
- ・再犯防止の取組を進めることについて、どのように思うかでは、「自分がやることは難しいが、取組は必要だと思う」が 61.8%と最も多く、次いで「積極的に協力することは難しいが、取り組んでいる人（保護司など）や団体を応援したい」が 24.0%となっています。

5 社会福祉協議会や民生委員・児童委員について

- ・川越市社会福祉協議会（社協）を知っているかでは、「名前も活動内容も知っている」が 31.1%、「名前は聞いたことがあるが、活動内容はよく知らない」が 51.2%、「名前も活動内容もよく知らない」が 16.5%となっています。
- ・社会福祉協議会では主に前記のような活動を行っていますが、今後どのような分野での役割を期待するかでは、「高齢者・障害者・生活困窮者への支援に関すること」が 54.1%と最も多く、次いで「介護予防や介護サービスに関すること」が 39.0%、「災害時の支援活動やボランティア受入調整に関すること」が 32.1%となっています。
- ・民生委員・児童委員の存在や活動内容について知っているかでは、「名称も内容も知っている」が 36.5%、「名称は知っているが、内容はよく知らない」が 50.5%、「名称も内容もまったく知らない」が 11.3%となっています。
- ・あなたの住んでいる地域の民生委員・児童委員が誰だか知っているかでは、「誰か知らない」が 56.9%と最も多く、次いで「誰か知っており、会ったことがある」が 28.1%、「誰か知っているが、会ったことはない」が 9.3%となっています。

【団体・地域活動者調査】

1 活動について

- ・活動をしている主なエリアでは、「高階地区」が 14.3% と最も多く、次いで「大東地区」が 10.2%、「名細地区」が 9.5%となっています。
- ・福祉活動の中から主に実施しているものでは、「一人暮らし高齢者などとの交流・支援」が 66.4%と最も多く、次いで「世代間交流のためのイベント」が 50.1%、「福祉に関する研修会」が 37.9%となっています。
- ・福祉活動を始めたきっかけでは、「活動者に協力をもとめられたから」が 29.7%と最も多く、次いで「楽しさややりがいを感じられそうだったから」が 14.5%となっています。
- ・活動を続けてきた理由では、「地域の中にニーズがあるから」が 55.3%と最も多く、次いで「人の役に立っていると感じられるから」が 53.9%、「楽しさややりがいを感じられるから」が 41.1%となっています。
- ・活動に必要な情報をどこから入手しているかでは、「民生委員・児童委員を通じて」が 60.0%と最も多く、次いで「社会福祉協議会の職員・窓口」が 37.1%、「知り合いを通じて」が 26.5%となっています。
- ・活動を継続する上で、課題だと思うことでは、「活動に参加する人が固定化している」が 54.1%と最も多く、次いで「活動に参加する人が少ない」が 41.1%、「活動する人の負担が大きい」が 30.1%となっています。
- ・地域活動を活性化するために、市や市社会福祉協議会が優先して取り組むべきだと思うものでは、「地域活動やボランティア活動への参加者を養成するための研修・講座の実施（養成講座の開催やボランティア募集情報の提供など）」が 30.9%と最も多く、次いで「活動を（継続）する上で必要となる技術や知識を習得するための研修・講習の実施」が 27.2%、「地域活動やボランティア活動を立ち上げるための情報提供の充実（積極的に行っている団体の事例紹介など）」が 26.9%となっています。
- ・地域活動を活性化するために、地域や民間の団体・機関が取り組むべきだと思うことでは、「住民への地域福祉意識の啓発」が 51.0%と最も多く、次いで「地域住民と交流する事業や場の提供」が 45.4%、「地域福祉活動への積極的な参加」が 39.0%となっています。
- ・災害時に備えた活動を実施しているかでは、「支援が必要な人に対し、日常的に見守り・声かけなどを実施している」が 39.7%と最も多く、次いで「地区内の支援が必要な人の情報を集約し、リストを作成している」が 31.4%、「自主防災組織を立ち上げた」が 26.2%となっています。

2 活動を通じて把握している地域状況や課題など

- ・活動を通じて把握している地域状況や課題など、活動の中で、日常生活に関する次のような課題を持つ人への対応については、「対応している」の回答が多い項目では、「必要な介護や福祉などのサービスが受けられない人」が最も多く、次いで「日常生活での困りごとへの支援が受けられない人」となっています。「対応し、困難を感じている」の回答が多い項目では、「支援が必要だが、支援を拒否して受け入れない人」が最も多く、「必要な介護や福祉などのサービスが受けられない人」となっています。また、「対応していない」の項目で多いのは、「就労や社会参加を希望しているが、実現できない人」で、「直面していない」の項目で多いのは、「虐待や権利侵害に遭っている人」となっています。
- ・地域福祉を進めていく上で、地域での支え合いなどに関して、活動されている地域の状況については、

「そう思う」の回答が多い項目では、「活動を担っている人の負担が大きい」が最も多く、次いで「世代間交流がある」となっています。「そう思わない」の回答が多い項目では、「共生のまちづくりの意識を持つ人が多い」が最も多く、次いで「福祉を自分の問題だと感じている住民が多い」となっています。

3 多機関連携・ネットワークについて

- ・事業の実施や福祉的な支援を行う際に、現在関係がある交流・協力関係にある他の団体・機関では、「地域の福祉活動団体や活動者（民生委員・児童委員、自治会、地区社会福祉協議会など）」が 76.7%と最も多く、次いで「市社会福祉協議会」が 69.2%、「小学校・中学校、PTA」が 63.7%となっています。
- ・今後関係を築きたい機関では、「医療機関（病院、薬局など）」が 30.9%と最も多く、次いで「市民活動団体（ボランティア、NPO法人など）」「福祉サービスを提供する事業所（老人福祉施設、保育所など）」がともに 26.0%となっています。
- ・他の団体や機関と一緒に事業を実施する時や、交流・協力関係を築く際に、問題や妨げとなることについては、「自分たちの団体の活動が忙しく、時間がない」が 26.8%と最も多く、次いで「接点・きっかけがない」が 24.6%となっています。
- ・コミュニティソーシャルワーカーについて知っているかでは、「名称や内容、担当者も知っている」が 15.3%、「名称は知っているが、内容や担当者はよく知らない」が 53.6%、「まったく知らない」が 25.8%、となっています。
- ・コミュニティソーシャルワーカーとの関わりを必要と感じるかでは、「必要と感じる」が 44.7%、「必要と感じない」が 5.8%、「わからない」が 40.5%となっています。
- ・「必要と感じる」とした場合、どのような連携・関わりを望むかでは、「地域に出向いて相談にのってくれる」が 49.4%と最も多く、次いで「いつでも相談ができる」が 49.0%、「個別具体的な事業や活動に対して、支援や協力をしてくれる」が 41.0%となっています。

4 福祉に関する考え

- ・地域共生社会について知っているかでは、「名称も内容も知っている」が 25.6%、「名称は知っているが、内容はよく知らない」が 41.1%、「名称も内容もまったく知らない」が 20.7%となっています。
- ・「地域共生社会」で取り組むべきことでは、「より身近なところで相談できるよう、地域で活動している人や事業所などの相談を充実する」が 44.2%と最も多く、次いで「相談を支援に結び付けるよう、関係者のネットワークを充実する」が 35.6%、「市役所で多様な相談を総合的に受けられるようにする」が 32.1%となっています。
- ・活動の中で、成年後見制度の利用を必要とする人を発見したり、利用のための支援などを行ったりすることがあるかでは、「利用が望ましいと思う人を発見することはない」が 39.3%と最も多く、次いで「利用の支援を行うことはないが、利用が望ましいと思う人を発見することはある」が 18.9%となっています。
- ・成年後見制度の利用を必要とする人が、制度を利用できるようにするために、特に優先的に力を入れて取り組むべきことはどのようなことだと思うかでは、「市民や関係者に制度が周知されるよう情報提供や広報を充実する」が 27.7%と最も多く、次いで「手続きの負担を少なくするなど、制度を利用しやすくする」が 19.8%、「支援を必要とする人を発見し、相談や支援につなぐ取組を充実する」が 16.2%となっています。
- ・活動を通じて、生活困窮者を発見したり、支援したりすることはあるかでは、「生活困窮のための支援

Ⅱ 調査結果の概要

が望ましいと思う人を発見することはない」が 42.3%と最も多く、次いで「支援を行うことはないが、支援が望ましいと思う人を発見することはある」が 18.2%となっています。

- ・再犯防止の取組を進めることについて思ことでは、「自分がやることは難しいが、取組は必要だと思う」が 53.1%と最も多く、次いで「積極的に協力することは難しいが、取り組んでいる人（保護司など）や団体を応援したい」が 26.0%となっています。
- ・犯罪をした人や非行に走った人が、地域の中で再び犯罪をすることなく暮らすうえで、どのようなことが必要だと思うかでは、「行政や専門職の支援」が 60.1%と最も多く、次いで「近隣住民の理解・支援」が 58.5%、「警察などの監視」が 28.1%となっています。

【関係機関調査】

1 機関について

- ・活動が行われている主な地区では、「市内全域」が 28.0%と最も多く、次いで「市外」が 16.1%、「高階地区」が 15.5%となっています。
- ・業務の主な対象者では、「65 歳以上の高齢者」が 70.8%と最も多く、次いで「障害のある成人」が 32.7%、「障害のある児童・生徒」が 15.5%となっています。
- ・実施している主な業務、主ではないが実施していること、今後、新たに取り組んでいきたいと思われていることについては、福祉や保健・医療に関する支援では、「主な業務」が 73.8%と最も多く、次いで「実施していること」が 27.4%、「新たにしたいこと」が 1.2%となっています。子育てや教育に関する支援では、「主な業務」「実施していること」がともに 7.7%と最も多くなっています。その他の相談支援では、「実施していること」が 17.9%と最も多く、次いで「主な業務」が 17.3%、「新たにしたいこと」が 7.7%となっています。地域の福祉活動への支援では、「実施していること」が 26.8%と最も多く、次いで「新たにしたいこと」が 16.7%、「主な業務」が 9.5%となっています。問 2 の対象者以外の方に対する支援では、「実施していること」が 8.9%と最も多く、次いで「新たにしたいこと」が 5.4%、「主な業務」が 3.0%となっています。
- ・地域と連携し、災害時に備えて実施しているものでは、「災害時の対応マニュアルを作成している」が 41.1%と最も多く、次いで「特に実施していない」が 35.7%、「支援が必要な人に対し、日常的に見守り・声かけなどを実施している」が 29.8%となっています。
- ・業務を実施する上での課題については、「人材（職員など）の確保が難しい」が 60.7%と最も多く、次いで「相談や支援のニーズが複雑化し、難しいケースが増えている」が 33.9%、「人材（職員など）のスキルアップが難しい」「業務の増加や高度化により、職員の負担が大きい」がともに 28.6%となっています。

2 業務を通じて把握している地域状況や課題など

- ・業務の中で、日常生活に関する次のような課題を持つ人への対応（相談や支援、予防のための取組など）をすることについては、「対応している」の回答では、「必要な介護や福祉などのサービスが受けられない人」が最も多くなっています。「対応し、困難を感じている」の回答では、「支援が必要だが、支援を拒否して受け入れない人」が最も多くなっています。「対応していない」の回答では、「子育てに悩んでいて、まわりに支援してくれる人がいない人」が最も多くなっています。「直面していない」の回答では、「虐待や権利侵害に遭っている人」が最も多くなっています。
- ・地域福祉の推進（地域での支え合いなど）に関し、地域の状況についてどのように感じているかでは、「そう思う」の回答では、「活動を担っている人の負担が大きい」が最も多くなっています。「そう思わない」の回答では、「世代間交流がある」が最も多くなっています。
- ・業務を通じて、市民の日常生活上のような課題や問題があると感じているかでは、「日常生活でのちょっとした困りごとへの支援」が 29.2%と最も多く、次いで「制度の狭間の人への支援」が 28.0%、「災害時要援護者への関わりや支援」が 22.6%となっています。
- ・地域活動を活性化するために、地域や民間の団体・機関が取り組むべきだと思うことでは、「地域住民と交流する事業や場の提供」が 54.8%と最も多く、次いで「地域福祉活動への積極的な参加」が 39.9%、「住民への地域福祉意識の啓発」が 30.4%となっています。

Ⅱ 調査結果の概要

- ・地域活動を活性化するために、市や市社会福祉協議会が優先して取り組むべきだと思うものでは、「障害者や高齢者になっても在宅生活が続けられる福祉サービスの充実」が45.8%と最も多く、次いで「悩みごとや困りごとの相談機能の充実（福祉相談員の常設や福祉総合相談窓口の設置など）」が41.1%、「小・中学校と地域が連携した福祉教育の推進」が26.8%となっています。

3 多機関連携・ネットワークについて

- ・事業の実施や福祉的な支援を行う際に、現在、交流・協力関係にある他の団体・機関については、「行政機関」が69.6%と最も多く、次いで「支援を必要とする人やその人の家族」が67.9%、「地域の相談機関（地域包括支援センター）」が66.7%となっています。今後関係を希望するでは、「市民活動団体（ボランティア、NPO法人など）」が34.5%と最も多く、次いで「近隣住民」が31.5%、「小学校・中学校、PTA」が29.2%となっています。
- ・他の団体や機関と一緒に事業を実施する際や、交流・協力関係を築く際に、課題や妨げとなることでは、「自分たちの団体の活動が忙しく、時間がない」が63.1%と最も多く、次いで「接点・きっかけがない」が38.7%、「財政的に困難である」が17.9%となっています。
- ・地域の中で関係者や関係機関のネットワークを活性化するために、貴機関が取り組んでいることでは、「既に取り組んでいる」の回答では、「他の機関との定期的な連絡調整」が最も多くなっています。「今後、取り組みたい」の回答では、「地域内の活動者の把握と連携」が最も多くなっています。
- ・コミュニティソーシャルワーカーについて知っているかでは、「名称や内容、担当者も知っている」が11.3%、「名称は知っているが、内容や担当者はよく知らない」が50.6%、「まったく知らない」が33.9%、となっています。
- ・コミュニティソーシャルワーカーとの関わりを必要と感じるかでは、「必要と感じる」が60.7%、「必要と感じない」が5.4%、「わからない」が31.0%となっています。
- ・「必要と感じる」の場合 どのような連携・関わりを望むかでは、「いつでも相談ができる」が48.0%と最も多く、次いで「個別具体の事業や活動に対して、支援や協力をしてくれる」が42.2%、「地域に向いて相談ののってくれる」が38.2%となっています。

4 福祉に関する考え

- ・地域共生社会で取り組むべきことでは、「相談に行けない人（行かない人）を発見し、窓口につなぐ取組を充実する」が47.0%と最も多く、次いで「相談を支援に結び付けるよう、関係者のネットワークを充実する」が37.5%、「市役所で多様な相談を総合的に受けられるようにする」が36.9%となっています。
- ・業務の対象とされている地域で、関係団体や機関などが連携して「地域共生社会」を実現していくための取組について「できている」の回答では、「サービスや活動の提供」が最も多くなっています。また、「できていない」の回答では、「サービスや活動の開発」が最も多くなっています。
- ・業務を通じて、成年後見制度の利用を必要とする人を発見したり、利用のための支援をしたりすることがあるかでは、「利用の支援を行うことはないが、利用が望ましいと思う人を発見することはある」が41.1%と最も多く、次いで「成年後見制度の利用のための支援を行うことがある」が32.1%、「利用が望ましいと思う人を発見することはない」が13.7%となっています。
- ・成年後見制度の利用を促進するうえで、特に優先的に力を入れて取り組むべきことはどのようなことだと思うかでは、「手続きの負担を少なくするなど、制度を利用しやすくする」が38.7%と最も多く、次い

で「支援が必要な人を発見し、相談や支援につなぐ取組を充実する」が 33.9%、「市民や関係者に制度を周知するよう、情報提供や広報を充実する」が 31.5%となっています。

- ・機関の活動を通じて、生活困窮者を発見したり、支援したりすることがあるかでは、「生活困窮者のための支援を行うことがある」が 33.3%と最も多く、次いで「支援を行うことはないが、支援を必要とする人を発見することはある」が 28.6%、「生活困窮者のための支援を必要とする人を発見することはない」が 20.8%となっています。
- ・これまでに犯罪をした人に対して支援を行ったことがあるかでは、「ある」が 16.7%、「ない」が 79.2%となっています。
- ・犯罪をした人や非行に走った人が、地域の中で再び犯罪をすることなく暮らすうえで、どのようなことが必要だと思うかでは、「行政や専門職の支援」が 67.9%と最も多く、次いで「近隣住民の理解・支援」が 59.5%、「警察などの監視」が 33.3%となっています。

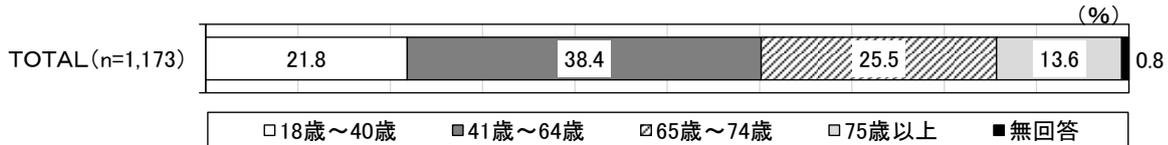
Ⅲ 調査結果

【一般市民調査】

1. 回答者の属性

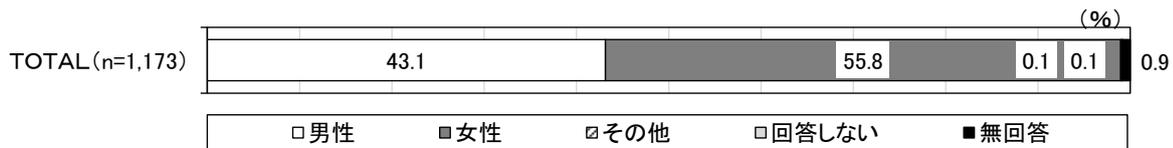
問 1 あなたの年齢を次の中から選んでください。(○は1つ)

「41歳～64歳」が38.4%と最も多く、次いで「65歳～74歳」が25.5%、「18歳～40歳」が21.8%となっています。



問 2 あなたの性別はどちらですか。(○は1つ)

「男性」が43.1%、「女性」が55.8%、「その他」が0.1%、「回答しない」が0.1%となっています。

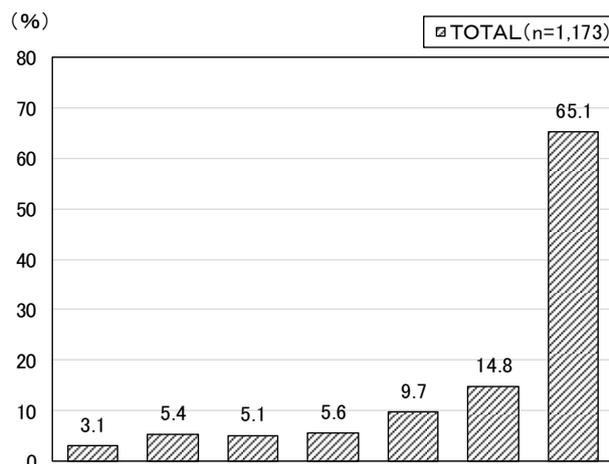


問3 次のうち該当するものがあればお答えください。(〇は1つ)

「世帯に高校生以下の学生がいる」が14.8%と最も多く、次いで「世帯に未就学児がいる」が9.7%、「世帯に障害者手帳を持っている人がいる」が5.6%となっています。

【性別×年代】

「世帯に未就学児がいる」では、男性と女性の「18歳～40歳」、「世帯に高校生以下の学生がいる」では、女性の「41歳～64歳」が2割を超えています。



※性別×年代	n	受けている・要介護認定を要している	認定を受けている・要介護認定を受けている	障害者手帳を持っている	世帯に障害者手帳を持っている人がいる	世帯に未就学児がいる	世帯に高校生以下の学生がいる	無回答
TOTAL	1,173	36	63	60	66	114	174	764
		3.1	5.4	5.1	5.6	9.7	14.8	65.1
【男性・年代別】								
18歳～40歳	93	1	2	4	6	24	25	44
		1.1	2.2	4.3	6.5	25.8	26.9	47.3
41歳～64歳	190	1	10	11	5	16	44	118
		0.5	5.3	5.8	2.6	8.4	23.2	62.1
65歳～74歳	148	4	5	8	5	3	6	123
		2.7	3.4	5.4	3.4	2.0	4.1	83.1
75歳以上	75	10	1	8	3	1	2	54
		13.3	1.3	10.7	4.0	1.3	2.7	72.0
【女性・年代別】								
18歳～40歳	163	1	4	3	9	50	32	83
		0.6	2.5	1.8	5.5	30.7	19.6	50.9
41歳～64歳	259	2	22	10	19	19	55	158
		0.8	8.5	3.9	7.3	7.3	21.2	61.0
65歳～74歳	149	7	10	8	11	1	8	115
		4.7	6.7	5.4	7.4	0.7	5.4	77.2
75歳以上	84	10	9	8	8	0	2	57
		11.9	10.7	9.5	9.5	0.0	2.4	67.9

上段:度数
下段:%

■ TOTALより5ポイントを上回るもの
■ TOTALより5ポイントを下回るもの

Ⅲ 調査結果

問 4 あなたのお住まいの地区を、左ページの表Aから選び、地区 No.を記載してください。(番号を記入)

「霞ヶ関地区」が 5.5%と最も多く、次いで「第 1 地区」が 5.4%、「第 4 地区」「大東地区」がともに 5.1%となっています。

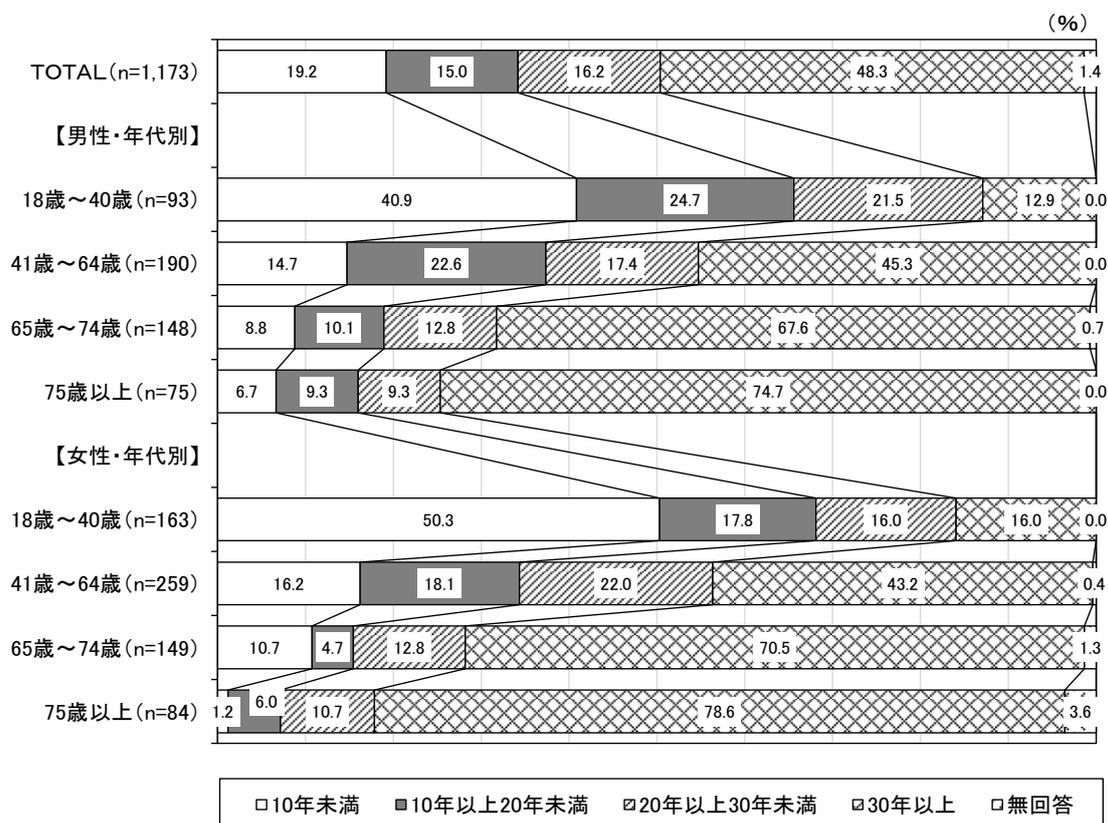
※性別×年代	n	第1地区	第2地区	第3地区	第4地区	第5地区	第6地区	第7地区	第8地区	第9地区	第10地区	第11地区	芳野地区	上段:度数 下段:%
TOTAL	1,173	63 5.4	53 4.5	49 4.2	60 5.1	52 4.4	55 4.7	52 4.4	38 3.2	56 4.8	46 3.9	42 3.6	59 5.0	
【男性・年代別】														
18歳～40歳	93	8 8.6	1 1.1	4 4.3	7 7.5	6 6.5	2 2.2	1 1.1	3 3.2	2 2.2	3 3.2	3 3.2	7 7.5	
41歳～64歳	190	8 4.2	6 3.2	13 6.8	13 6.8	6 3.2	11 5.8	11 5.8	3 1.6	10 5.3	8 4.2	7 3.7	10 5.3	
65歳～74歳	148	4 2.7	8 5.4	5 3.4	5 3.4	5 3.4	9 6.1	7 4.7	6 4.1	7 4.7	6 4.1	6 4.1	8 5.4	
75歳以上	75	4 5.3	3 4.0	2 2.7	1 1.3	3 4.0	3 4.0	4 5.3	3 4.0	5 6.7	2 2.7	2 2.7	6 8.0	
【女性・年代別】														
18歳～40歳	163	12 7.4	8 4.9	6 3.7	7 4.3	9 5.5	3 1.8	7 4.3	6 3.7	13 8.0	3 1.8	4 2.5	8 4.9	
41歳～64歳	259	13 5.0	13 5.0	11 4.2	14 5.4	13 5.0	17 6.6	9 3.5	7 2.7	10 3.9	11 4.2	11 4.2	9 3.5	
65歳～74歳	149	8 5.4	8 5.4	4 2.7	8 5.4	6 4.0	7 4.7	8 5.4	7 4.7	6 4.0	10 6.7	5 3.4	8 5.4	
75歳以上	84	6 7.1	6 7.1	4 4.8	5 6.0	4 4.8	3 3.6	4 4.8	3 3.6	3 3.6	3 3.6	4 4.8	3 3.6	
	n	古谷地区	南古谷地区	高階地区	福原地区	大東地区	霞ヶ関地区	霞ヶ関北地区	名細地区	山田地区	川鶴地区	無回答		
TOTAL	1,173	55 4.7	45 3.8	49 4.2	51 4.3	60 5.1	65 5.5	49 4.2	56 4.8	46 3.9	53 4.5	19 1.6		
【男性・年代別】														
18歳～40歳	93	7 7.5	4 4.3	5 5.4	8 8.6	4 4.3	3 3.2	5 5.4	2 2.2	3 3.2	4 4.3	4 4.3	1 1.1	
41歳～64歳	190	6 3.2	7 3.7	8 4.2	8 4.2	7 3.7	11 5.8	11 5.8	9 4.7	8 4.2	8 4.2	8 4.2	1 0.5	
65歳～74歳	148	9 6.1	5 3.4	4 2.7	5 3.4	9 6.1	11 7.4	7 4.7	7 4.7	5 3.4	9 6.1	9 6.1	1 0.7	
75歳以上	75	3 4.0	3 4.0	5 6.7	3 4.0	3 4.0	5 6.7	3 4.0	4 5.3	4 5.3	4 5.3	4 5.3	0 0.0	
【女性・年代別】														
18歳～40歳	163	8 4.9	9 5.5	6 3.7	9 5.5	12 7.4	9 5.5	4 2.5	8 4.9	5 3.1	7 4.3	7 4.3	0 0.0	
41歳～64歳	259	11 4.2	10 3.9	11 4.2	10 3.9	13 5.0	14 5.4	11 4.2	15 5.8	12 4.6	12 4.6	12 4.6	2 0.8	
65歳～74歳	149	6 4.0	5 3.4	6 4.0	6 4.0	9 6.0	7 4.7	4 2.7	6 4.0	6 4.0	6 4.0	6 4.0	3 2.0	
75歳以上	84	5 6.0	2 2.4	4 4.8	2 2.4	3 3.6	5 6.0	4 4.8	4 4.8	4 3.6	3 3.6	3 3.6	1 1.2	

問5 あなたの市内の居住年数について、あてはまるものを次の中から選んでください。
市内での転居は、通算してお答えください。(○は1つ)

「30年以上」が48.3%と最も多く、次いで「10年未満」が19.2%、「20年以上30年未満」が16.2%となっています。

【性別×年代】

「30年以上」では、男女ともに年代が上がるに従い多くなっています。



※性別×年代	n	10年未満	10年以上20年未満	20年以上30年未満	30年以上	無回答	上段: 度数 下段: %
TOTAL	1,173	225 19.2	176 15.0	190 16.2	566 48.3	16 1.4	
【男性・年代別】							
18歳～40歳	93	38 40.9	23 24.7	20 21.5	12 12.9	0 0.0	
41歳～64歳	190	28 14.7	43 22.6	33 17.4	86 45.3	0 0.0	
65歳～74歳	148	13 8.8	15 10.1	19 12.8	100 67.6	1 0.7	
75歳以上	75	5 6.7	7 9.3	7 9.3	56 74.7	0 0.0	
【女性・年代別】							
18歳～40歳	163	82 50.3	29 17.8	26 16.0	26 16.0	0 0.0	
41歳～64歳	259	42 16.2	47 18.1	57 22.0	112 43.2	1 0.4	
65歳～74歳	149	16 10.7	7 4.7	19 12.8	105 70.5	2 1.3	
75歳以上	84	1 1.2	5 6.0	9 10.7	66 78.6	3 3.6	

Ⅲ 調査結果

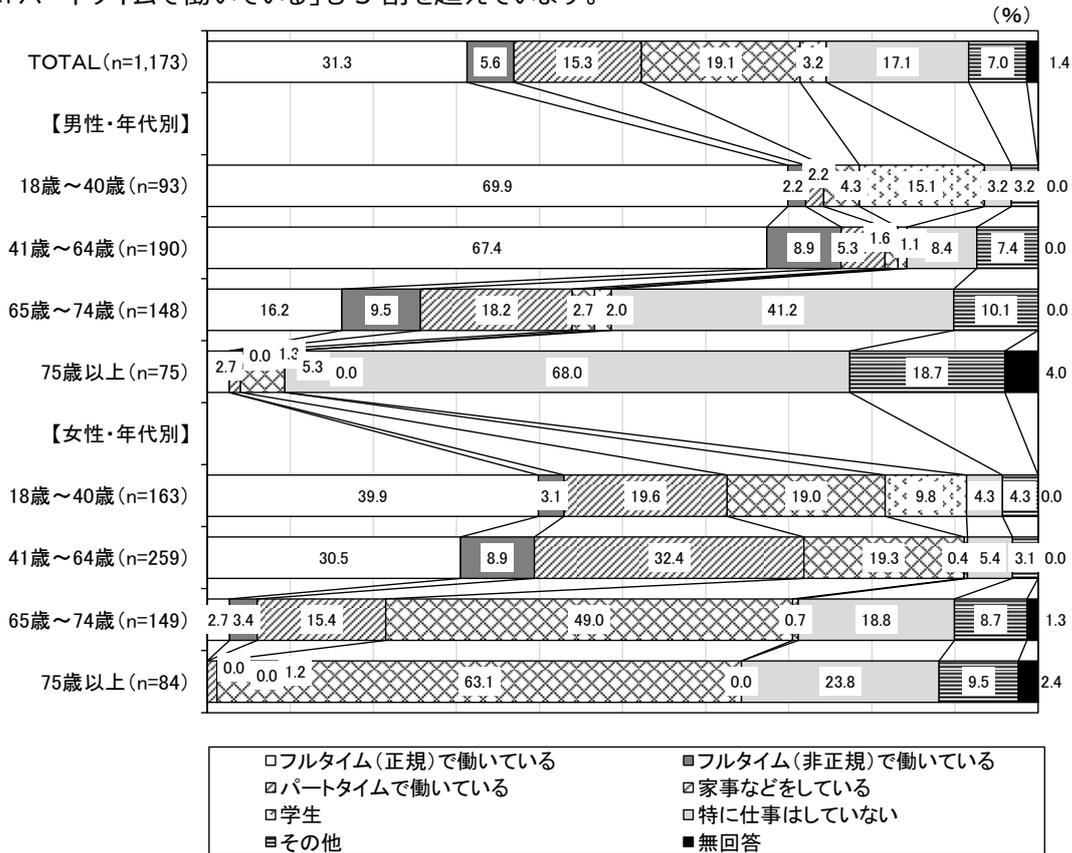
問 6 あなたはお仕事についていますか。(○は1つ)

「フルタイム（正規）で働いている」が 31.3%と最も多く、次いで「家事などをしている」が 19.1%、「特に仕事はしていない」が 17.1%となっています。

【性別×年代】

男性では、『18歳～64歳』の「フルタイム（正規）で働いている」、「75歳以上」の「特に仕事はしていない」が7割近くとなっています。

女性では、『18歳～64歳』の「フルタイム（正規）で働いている」が3割を超え、「41歳～64歳」では「パートタイムで働いている」も3割を超えています。



※性別×年代	n	働(フルタイム)でいる	働(非フルタイム)でいる	パートタイムでいる	家事などをする	学生	特に仕事はしていない	その他	無回答
TOTAL	1,173	367	66	180	224	37	201	82	16
【男性・年代別】									
18歳～40歳	93	65	2	2	4	14	3	3	0
41歳～64歳	190	128	17	10	3	2	16	14	0
65歳～74歳	148	24	14	27	4	3	61	15	0
75歳以上	75	2	0	1	4	0	51	14	3
【女性・年代別】									
18歳～40歳	163	65	5	32	31	16	7	7	0
41歳～64歳	259	79	23	84	50	1	14	8	0
65歳～74歳	149	4	5	23	73	1	28	13	2
75歳以上	84	0	0	1	53	0	20	8	2

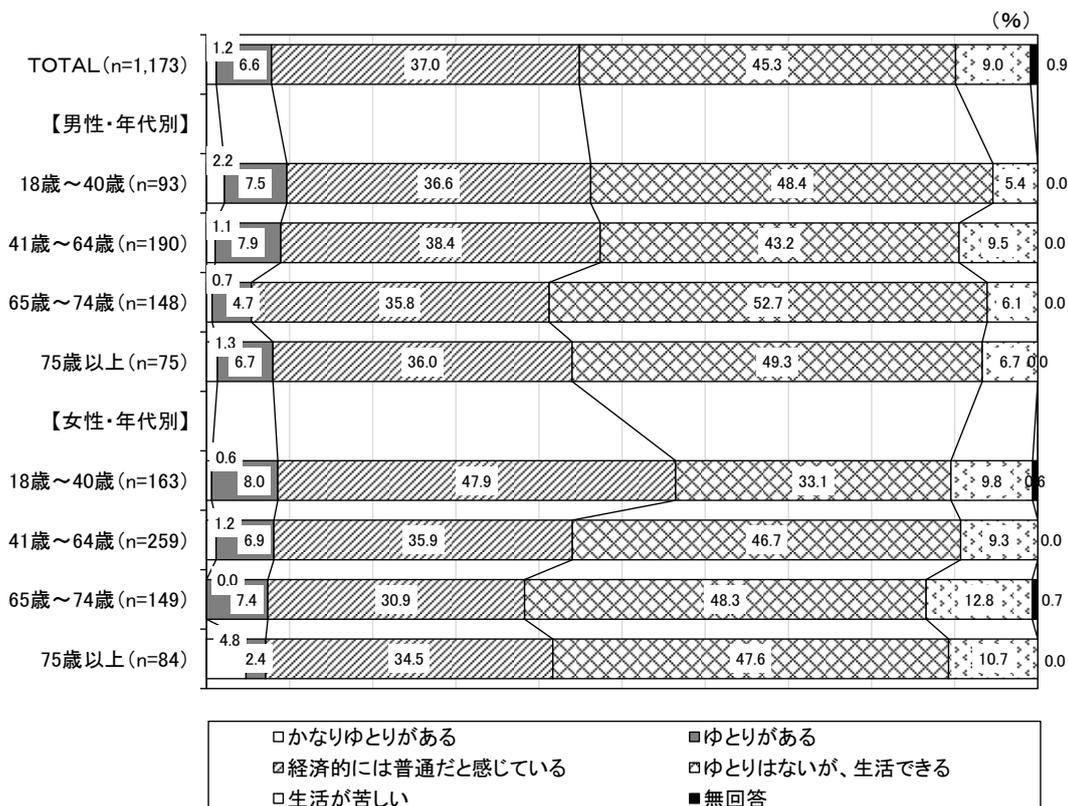
上段: 度数
下段: %

問7 あなたはご自身の生活の経済的な状況について、どのように感じていますか。(〇は1つ)

「ゆとりはないが、生活できる」が45.3%と最も多く、次いで「経済的には普通だと感じている」が37.0%、「生活が苦しい」が9.0%となっています。

【性別×年代】

「経済的には普通だと感じている」では、女性の「18歳～40歳」が最も多くなっています。「ゆとりはないが、生活できる」では、男性の「65歳～74歳」が最も多くなっています。



※性別×年代	n	ゆとりはないが、生活できる	経済的には普通だと感じている	生活が苦しい	ゆとりがある	無回答
TOTAL	1,173	531	434	106	78	10
【男性・年代別】						
18歳～40歳	93	45	34	5	7	0
41歳～64歳	190	82	73	18	15	0
65歳～74歳	148	78	53	9	7	0
75歳以上	75	37	27	5	5	0
【女性・年代別】						
18歳～40歳	163	54	78	16	13	1
41歳～64歳	259	121	93	24	18	0
65歳～74歳	149	72	46	19	11	1
75歳以上	84	40	29	9	2	0

上段: 度数
下段: %

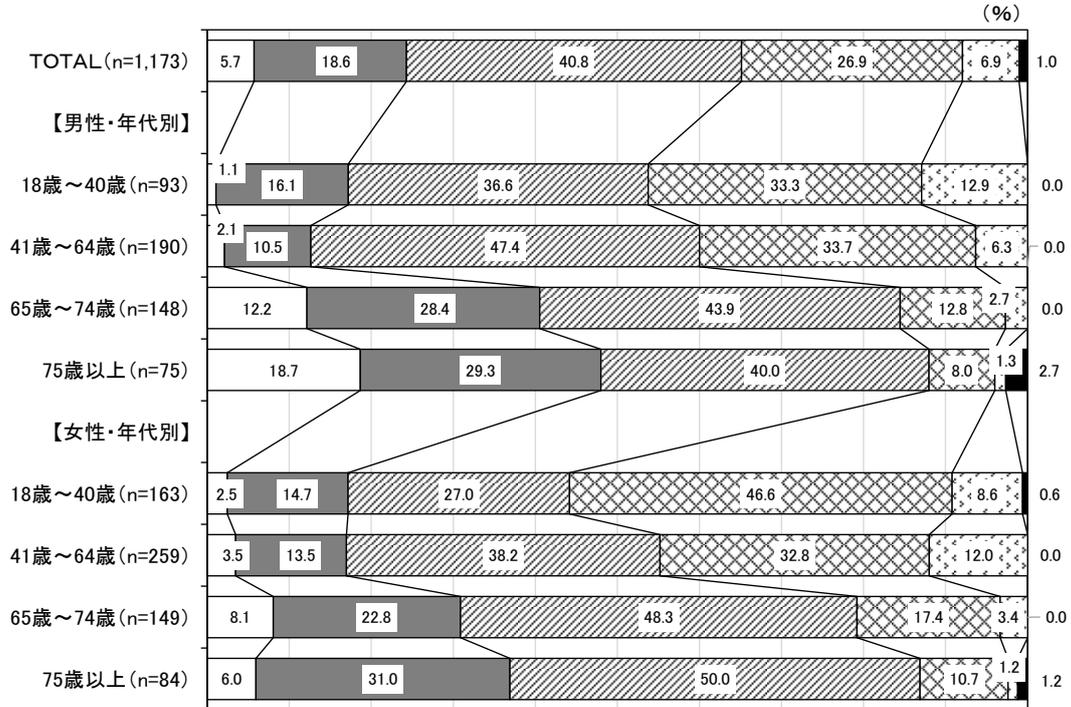
Ⅲ 調査結果

問 8 あなたご自身の生活の時間的なゆとりについて、どのように感じていますか。
(○は1つ)

「時間的には普通だと感じている」が40.8%と最も多く、次いで「忙しいが、生活できる」が26.9%、「ゆとりがある」が18.6%となっています。

【性別×年代】

「かなりゆとりがある」では、男性の『65歳以上』が1割を超えています。「時間的には普通だと感じている」では、男性では『41歳以上』、女性では、『65歳以上』で4割から5割となっています。



かなりゆとりがある ゆとりがある
 時間的には普通だと感じている 忙しいが、生活できる
 大変忙しく、ゆとりがまったくない 無回答

※性別×年代	n	かなりゆとりがある	ゆとりがある	時間的には普通だと感じている	忙しいが、生活できる	大変忙しく、ゆとりがまったくない	無回答
TOTAL	1,173	67	218	479	316	81	12
		5.7	18.6	40.8	26.9	6.9	1.0
【男性・年代別】							
18歳～40歳	93	1	15	34	31	12	0
		1.1	16.1	36.6	33.3	12.9	0.0
41歳～64歳	190	4	20	90	64	12	0
		2.1	10.5	47.4	33.7	6.3	0.0
65歳～74歳	148	18	42	65	19	4	0
		12.2	28.4	43.9	12.8	2.7	0.0
75歳以上	75	14	22	30	6	1	2
		18.7	29.3	40.0	8.0	1.3	2.7
【女性・年代別】							
18歳～40歳	163	4	24	44	76	14	1
		2.5	14.7	27.0	46.6	8.6	0.6
41歳～64歳	259	9	35	99	85	31	0
		3.5	13.5	38.2	32.8	12.0	0.0
65歳～74歳	149	12	34	72	26	5	0
		8.1	22.8	48.3	17.4	3.4	0.0
75歳以上	84	5	26	42	9	1	1
		6.0	31.0	50.0	10.7	1.2	1.2

上段: 度数
下段: %

2. 地域との関わりや活動について

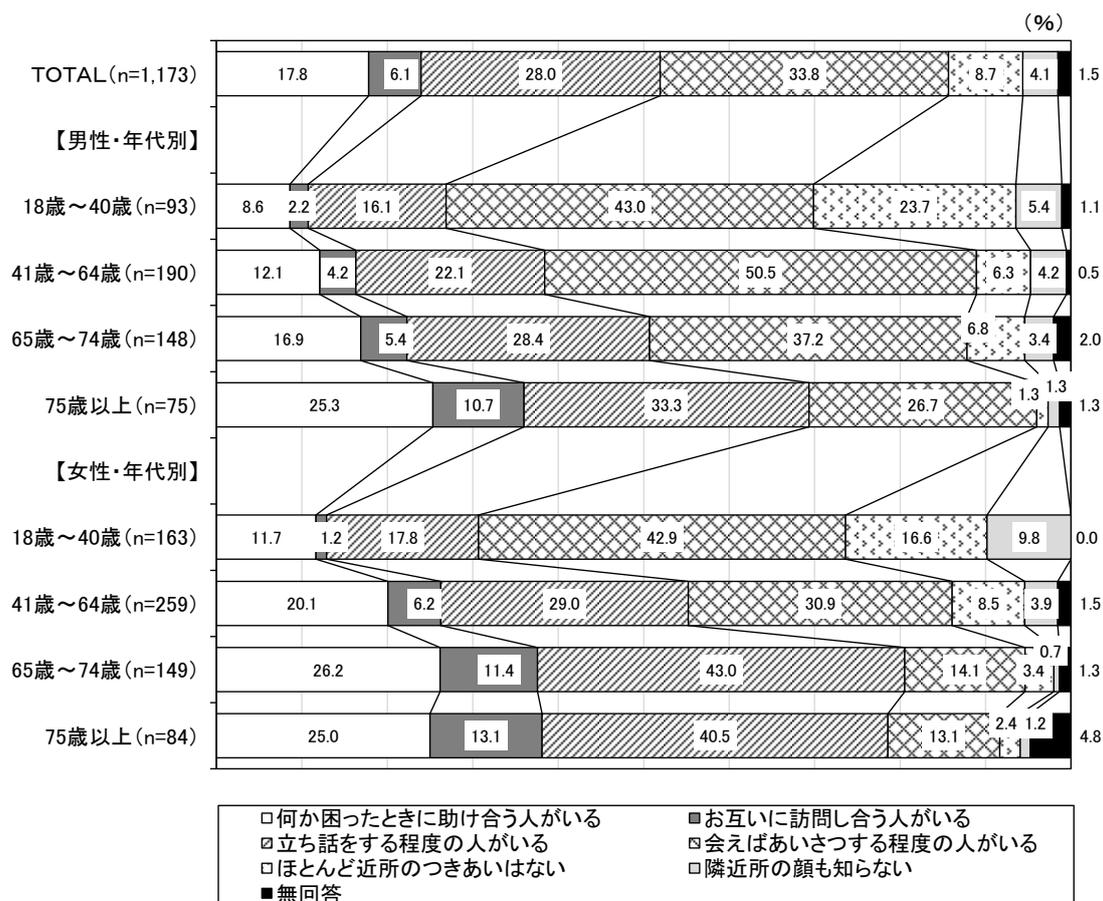
問9 ご近所との関係は次のどれに最も近いですか。(〇は1つ)

「会えばあいさつする程度の人がいる」が 33.8%と最も多く、次いで「立ち話をする程度の人がいる」が 28.0%、「何か困ったときに助け合う人がある」が 17.8%となっています。

【性別×年代】

「何か困ったときに助け合う人がある」「お互いに訪問し合う人がある」「立ち話をする程度の人がいる」では、男女ともに高い年代で多くなっています。

また、「ほとんど近所のつきあいはない」「隣近所の顔も知らない」では、若くなるに従い多くなっています。



Ⅲ 調査結果

※性別×年代	n	助け合ったときに 何か困った人が いる	お互いに訪問し合 う人がいる	立ち話をする程 度 の人がいる	会えばあいさつす る 程度 の人がいる	ほとんど近所の つきあいはない	隣近所の顔も知ら ない	無 回 答
TOTAL	1,173	209 17.8	72 6.1	328 28.0	396 33.8	102 8.7	48 4.1	18 1.5
【男性・年代別】								
18歳～40歳	93	8	2	15	40	22	5	1
		8.6	2.2	16.1	43.0	23.7	5.4	1.1
41歳～64歳	190	23	8	42	96	12	8	1
		12.1	4.2	22.1	50.5	6.3	4.2	0.5
65歳～74歳	148	25	8	42	55	10	5	3
		16.9	5.4	28.4	37.2	6.8	3.4	2.0
75歳以上	75	19	8	25	20	1	1	1
		25.3	10.7	33.3	26.7	1.3	1.3	1.3
【女性・年代別】								
18歳～40歳	163	19	2	29	70	27	16	0
		11.7	1.2	17.8	42.9	16.6	9.8	0.0
41歳～64歳	259	52	16	75	80	22	10	4
		20.1	6.2	29.0	30.9	8.5	3.9	1.5
65歳～74歳	149	39	17	64	21	5	1	2
		26.2	11.4	43.0	14.1	3.4	0.7	1.3
75歳以上	84	21	11	34	11	2	1	4
		25.0	13.1	40.5	13.1	2.4	1.2	4.8

上段: 度数
下段: %

問 10 次のような地域の活動や福祉の活動に参加したことがありますか。また、現在は参加してなくて、今後参加したいと思うものがありますか。（各項目〇は1つ）

「現在、参加している」の回答が多い項目では、「地域のおまつりやイベント」が最も多く、次いで「道路や公園などの清掃活動」、「自治会、女性会、老人会、子ども会などの運営」となっています。「今後、参加したい」の回答が多い項目では、「高齢者や子どもなどの見守りや声かけ運動」が最も多く、次いで「文化活動や趣味のサークル活動」となっています。

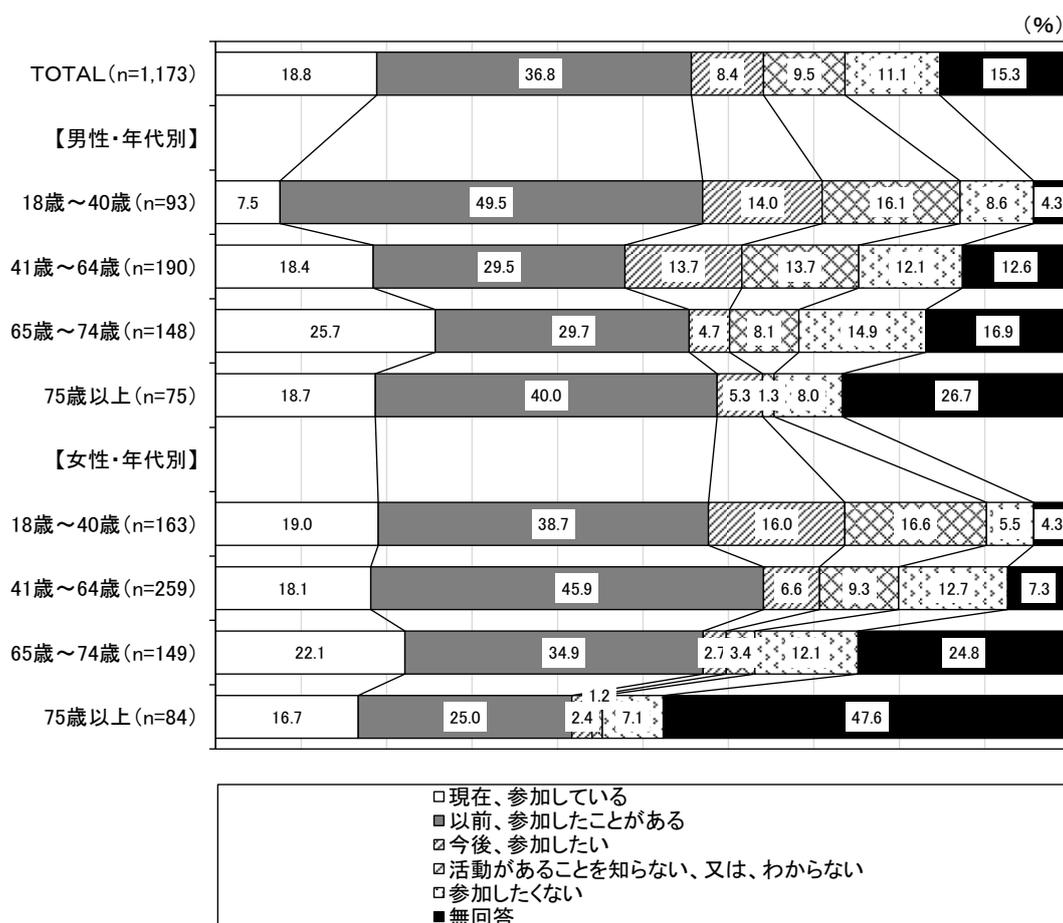
また、「参加したくない」の回答が多い項目では、「住民が交流する場（サロンなど）の活動」が最も多くなっています。

地域のおまつりやイベント

【性別×年代】

「現在、参加している」では、男女ともに「65歳～74歳」が2割を超えています。

また、「今後、参加したい」では、男性の『18歳～64歳』、女性の「18歳～40歳」が1割を超えています。



Ⅲ 調査結果

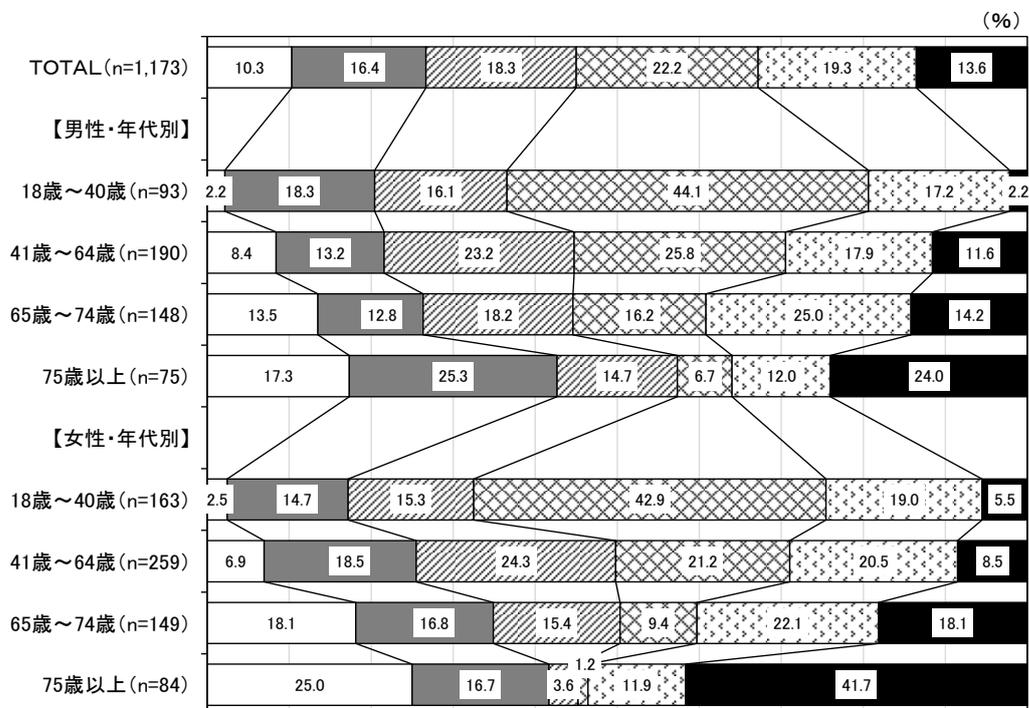
※性別×年代	n	現在、参加している	以前、参加したことがある	今後、参加したい	わからない	活動があることを、又は、	参加したくない	無回答
TOTAL	1,173	221 18.8	432 36.8	99 8.4	112 9.5	130 11.1	179 15.3	
【男性・年代別】								
18歳～40歳	93	7 7.5	46 49.5	13 14.0	15 16.1	8 8.6	4 4.3	
41歳～64歳	190	35 18.4	56 29.5	26 13.7	26 13.7	23 12.1	24 12.6	
65歳～74歳	148	38 25.7	44 29.7	7 4.7	12 8.1	22 14.9	25 16.9	
75歳以上	75	14 18.7	30 40.0	4 5.3	1 1.3	6 8.0	20 26.7	
【女性・年代別】								
18歳～40歳	163	31 19.0	63 38.7	26 16.0	27 16.6	9 5.5	7 4.3	
41歳～64歳	259	47 18.1	119 45.9	17 6.6	24 9.3	33 12.7	19 7.3	
65歳～74歳	149	26 17.2	30 20.0	5 3.2	8 5.4	15 10.0	17 11.3	
75歳以上	84	19 22.2	40 47.6	5 6.3	1 1.6	8 9.5	27 31.7	

上段：度数
下段：%

スポーツや健康づくりの活動

【性別×年代】

「現在、参加している」では、年代が上がるに従い多くなっています。また、「今後、参加したい」では、男女ともに「41歳～64歳」が2割を超えています。



現在、参加している
 以前、参加したことがある
 今後、参加したい
 活動があることを知らない、又は、わからない
 参加したくない
 無回答

※性別×年代	n	現在、参加している	と以前、参加したことがある	今後、参加したい	わからない、又は、活動をあることを	参加したくない	無回答
TOTAL	1,173	121	192	215	260	226	159
【男性・年代別】							
18歳～40歳	93	2	17	15	41	16	2
41歳～64歳	190	16	25	44	49	34	22
65歳～74歳	148	20	19	27	24	37	21
75歳以上	75	13	19	11	5	9	18
【女性・年代別】							
18歳～40歳	163	4	24	25	70	31	9
41歳～64歳	259	18	48	63	55	53	22
65歳～74歳	149	27	25	23	14	33	27
75歳以上	84	21	14	3	1	10	35

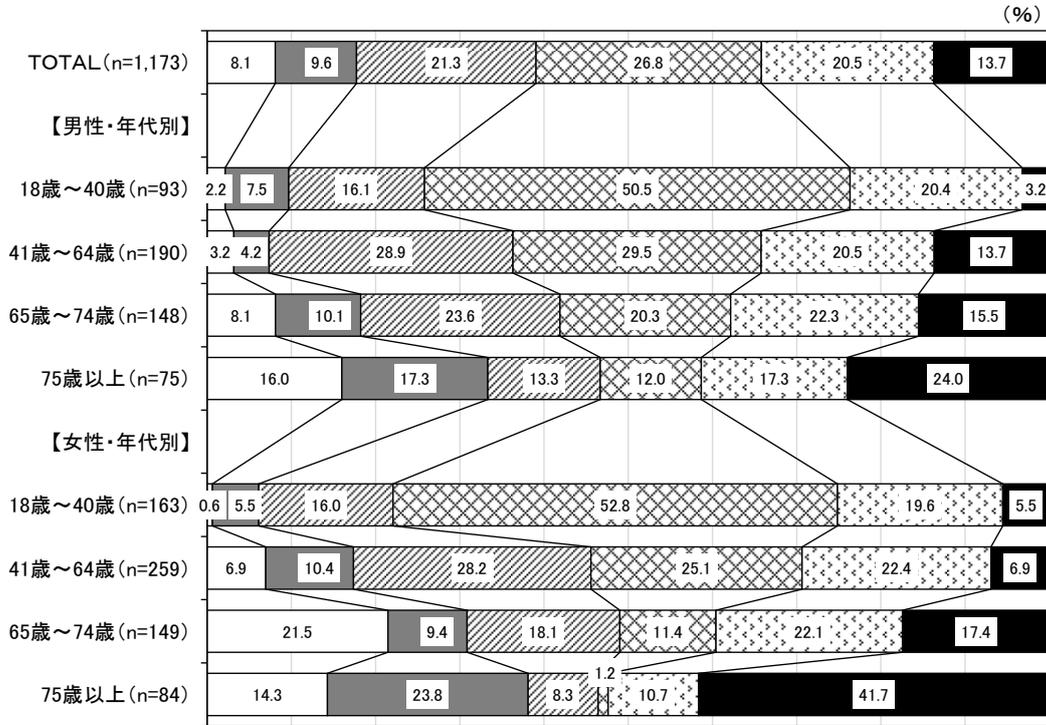
上段:度数
下段:%

Ⅲ 調査結果

文化活動や趣味のサークル活動

【性別×年代】

「現在、参加している」では、男性の「75歳以上」、女性の「65歳～74歳」、「75歳以上」が1割を超えています。また、「今後、参加したい」では、男性の「41歳～74歳」、女性の「41歳～64歳」が2割を超えています。



- 現在、参加している
- ▨ 以前、参加したことがある
- ▩ 今後、参加したい
- ▤ 活動があることを知らない、又は、わからない
- ▦ 参加したくない
- 無回答

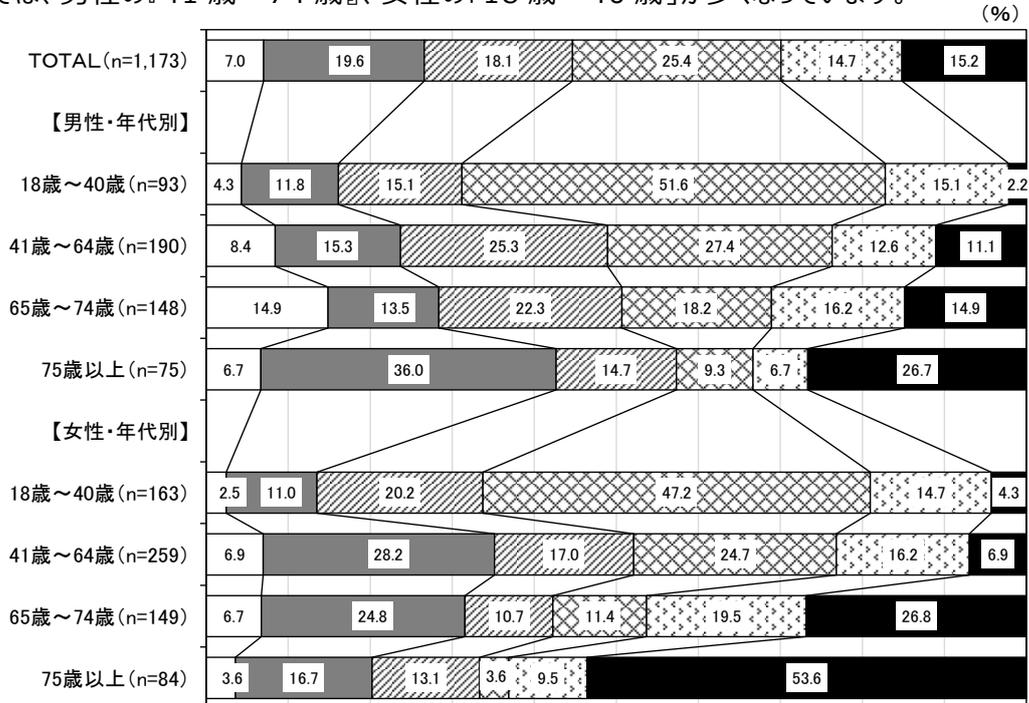
※性別×年代	n	現在、参加している	と以前、参加したことがある	今後、参加したい	わからない、又は、活動があることを知らない	参加したくない	無回答
TOTAL	1,173	95	113	250	314	240	161
		8.1	9.6	21.3	26.8	20.5	13.7
【男性・年代別】							
18歳～40歳	93	2	7	15	47	19	3
		2.2	7.5	16.1	50.5	20.4	3.2
41歳～64歳	190	6	8	55	56	39	26
		3.2	4.2	28.9	29.5	20.5	13.7
65歳～74歳	148	12	15	35	30	33	23
		8.1	10.1	23.6	20.3	22.3	15.5
75歳以上	75	12	13	10	9	13	18
		16.0	17.3	13.3	12.0	17.3	24.0
【女性・年代別】							
18歳～40歳	163	1	9	26	86	32	9
		0.6	5.5	16.0	52.8	19.6	5.5
41歳～64歳	259	18	27	73	65	58	18
		6.9	10.4	28.2	25.1	22.4	6.9
65歳～74歳	149	32	14	27	17	33	26
		21.5	9.4	18.1	11.4	22.1	17.4
75歳以上	84	12	20	7	1	9	35
		14.3	23.8	8.3	1.2	10.7	41.7

上段: 度数
下段: %

地域の防災や防犯のための活動

【性別×年代】

「現在、参加している」では、男性の「65歳～74歳」が最も多くなっています。また、「今後、参加したい」では、男性の「41歳～74歳」、女性の「18歳～40歳」が多くなっています。



現在、参加している
 以前、参加したことがある
 今後、参加したい
 活動があることを知らない、又は、わからない
 参加したくない
 無回答

※性別×年代	n	現在、参加している	と以前、参加したことがある	今後、参加したい	わからない、又は、活動があることを知らない	参加したくない	無回答
TOTAL	1,173	82	230	212	298	173	178
		7.0	19.6	18.1	25.4	14.7	15.2
【男性・年代別】							
18歳～40歳	93	4	11	14	48	14	2
		4.3	11.8	15.1	51.6	15.1	2.2
41歳～64歳	190	16	29	48	52	24	21
		8.4	15.3	25.3	27.4	12.6	11.1
65歳～74歳	148	22	20	33	27	24	22
		14.9	13.5	22.3	18.2	16.2	14.9
75歳以上	75	5	27	11	7	5	20
		6.7	36.0	14.7	9.3	6.7	26.7
【女性・年代別】							
18歳～40歳	163	4	18	33	77	24	7
		2.5	11.0	20.2	47.2	14.7	4.3
41歳～64歳	259	18	73	44	64	42	18
		6.9	28.2	17.0	24.7	16.2	6.9
65歳～74歳	149	10	37	16	17	29	40
		6.7	24.8	10.7	11.4	19.5	26.8
75歳以上	84	3	14	11	3	8	45
		3.6	16.7	13.1	3.6	9.5	53.6

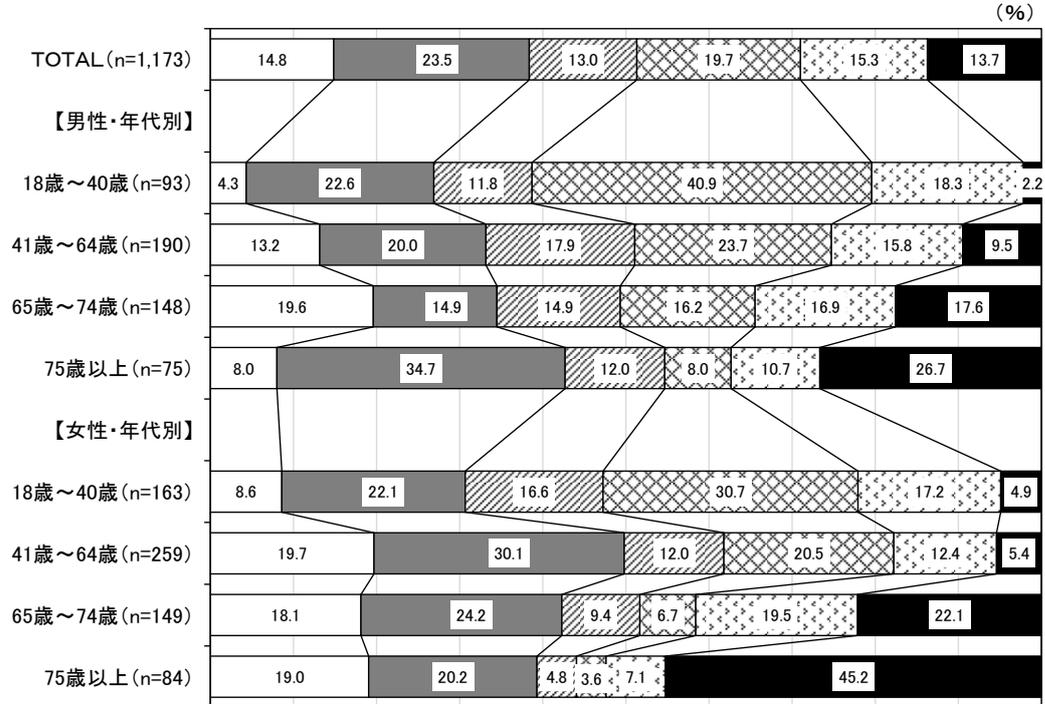
上段: 度数
下段: %

Ⅲ 調査結果

道路や公園などの清掃活動

【性別×年代】

「現在、参加している」では、男性の「65歳～74歳」、女性の「41歳以上」が多くなっています。また、「今後、参加したい」では、男性の「41歳～64歳」、女性の「18歳～40歳」が多くなっています。



- 現在、参加している
- 以前、参加したことがある
- ▨ 今後、参加したい
- ▩ 活動があることを知らない、又は、わからない
- 参加したくない
- 無回答

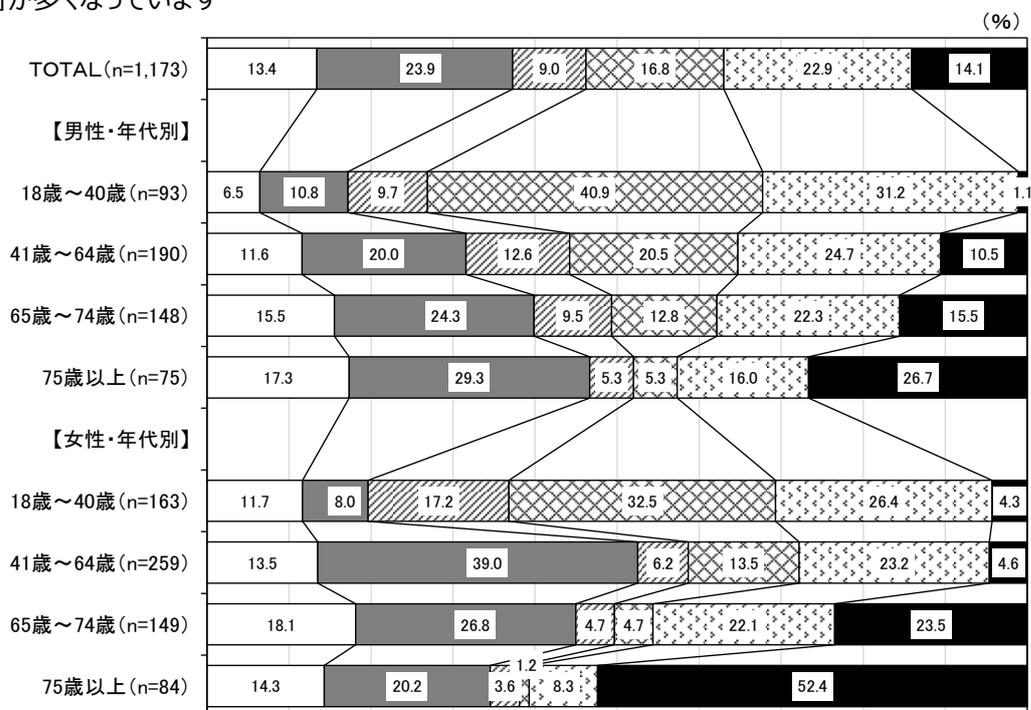
※性別×年代	n	現在、参加している	以前、参加したことがある	今後、参加したい	活動があることを知らない、又は、わからない	参加したくない	無回答
TOTAL	1,173	174	276	152	231	179	161
【男性・年代別】							
18歳～40歳	93	4	21	11	38	17	2
41歳～64歳	190	25	38	34	45	30	18
65歳～74歳	148	29	22	22	24	25	26
75歳以上	75	6	26	9	6	8	20
【女性・年代別】							
18歳～40歳	163	14	36	27	50	28	8
41歳～64歳	259	51	78	31	53	32	14
65歳～74歳	149	27	36	14	10	29	33
75歳以上	84	16	17	4	3	6	38

上段：度数
下段：%

自治会、女性会、老人会、子ども会などの運営

【性別×年代】

「現在、参加している」では、男性は年代が上がるに従い多くなっており、女性は「65歳～74歳」が最も多くなっています。また、「今後、参加したい」では、男性の「41歳～64歳」、女性の「18歳～40歳」が多くなっています



現在、参加している
 以前、参加したことがある
 今後、参加したい
 活動があることを知らない、又は、わからない
 参加したくない
 無回答

※性別×年代	n	現在、参加している	以前、参加したことがある	今後、参加したい	活動があることを知らない、又は、わからない	参加したくない	無回答
TOTAL	1,173	157	280	105	197	269	165
【男性・年代別】							
18歳～40歳	93	6	10	9	38	29	1
		6.5	10.8	9.7	40.9	31.2	1.1
41歳～64歳	190	22	38	24	39	47	20
		11.6	20.0	12.6	20.5	24.7	10.5
65歳～74歳	148	23	36	14	19	33	23
		15.5	24.3	9.5	12.8	22.3	15.5
75歳以上	75	13	22	4	4	12	20
		17.3	29.3	5.3	5.3	16.0	26.7
【女性・年代別】							
18歳～40歳	163	19	13	28	53	43	7
		11.7	8.0	17.2	32.5	26.4	4.3
41歳～64歳	259	35	101	16	35	60	12
		13.5	39.0	6.2	13.5	23.2	4.6
65歳～74歳	149	27	40	7	7	33	35
		18.1	26.8	4.7	4.7	22.1	23.5
75歳以上	84	12	17	3	1	7	44
		14.3	20.2	3.6	1.2	8.3	52.4

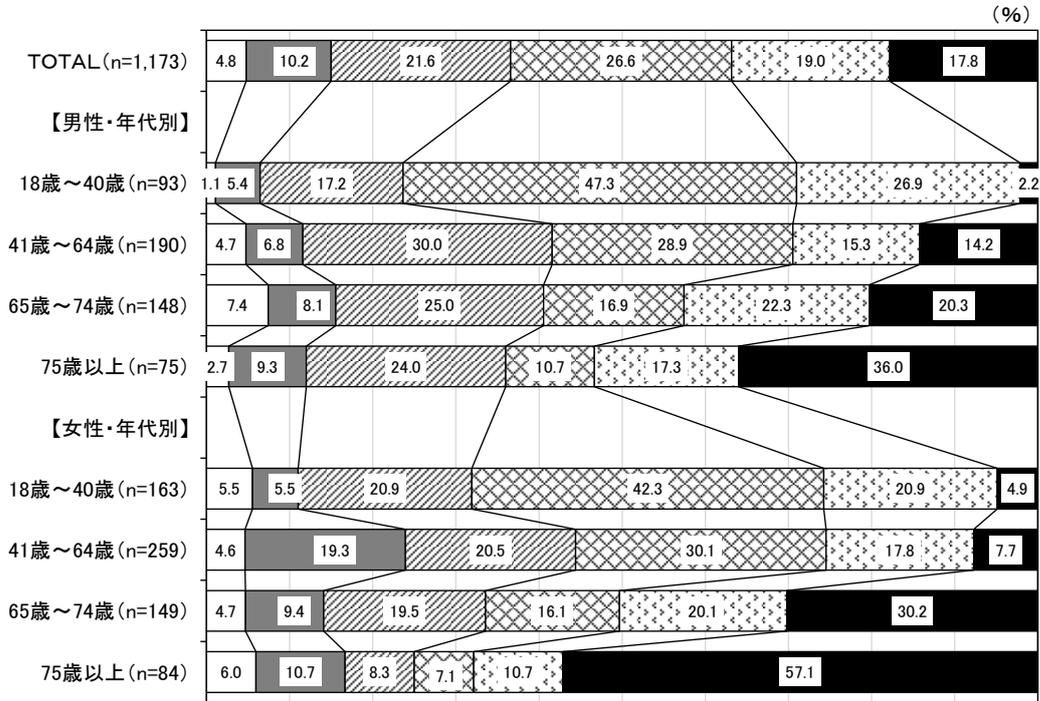
上段：度数
下段：%

Ⅲ 調査結果

高齢者や子どもなどの見守りや声かけ運動

【性別×年代】

「今後、参加したい」では、男性の『41歳以上』、女性の『18歳～74歳』が多くなっています。



現在、参加している
 以前、参加したことがある
 今後、参加したい
 活動があることを知らない、又は、わからない
 参加したくない
 無回答

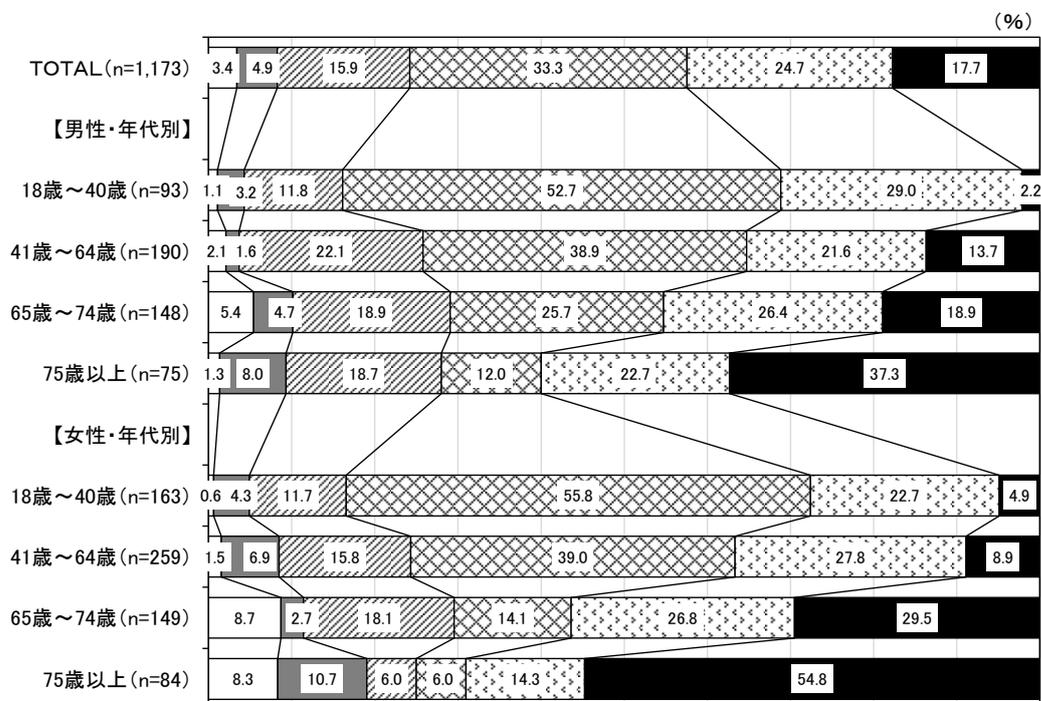
※性別×年代	n	現在、参加している	と以前、参加したことがある	今後、参加したい	わからない、又は、活動をあることを	参加したくない	無回答
TOTAL	1,173	56	120	253	312	223	209
【男性・年代別】							
18歳～40歳	93	1	5	16	44	25	2
		1.1	5.4	17.2	47.3	26.9	2.2
41歳～64歳	190	9	13	57	55	29	27
		4.7	6.8	30.0	28.9	15.3	14.2
65歳～74歳	148	11	12	37	25	33	30
		7.4	8.1	25.0	16.9	22.3	20.3
75歳以上	75	2	7	18	8	13	27
		2.7	9.3	24.0	10.7	17.3	36.0
【女性・年代別】							
18歳～40歳	163	9	9	34	69	34	8
		5.5	5.5	20.9	42.3	20.9	4.9
41歳～64歳	259	12	50	53	78	46	20
		4.6	19.3	20.5	30.1	17.8	7.7
65歳～74歳	149	7	14	29	24	30	45
		4.7	9.4	19.5	16.1	20.1	30.2
75歳以上	84	5	9	7	6	9	48
		6.0	10.7	8.3	7.1	10.7	57.1

上段：度数
下段：%

住民が交流する場（サロンなど）の活動

【性別×年代】

「現在、参加している」では、女性の『65歳以上』が多くなっています。また、「今後、参加したい」では、男性の『41歳以上』、女性の『41歳～74歳』が多くなっています。



- 現在、参加している
- 以前、参加したことがある
- ▨ 今後、参加したい
- 活動があることを知らない、又は、わからない
- ▨ 参加したくない
- 無回答

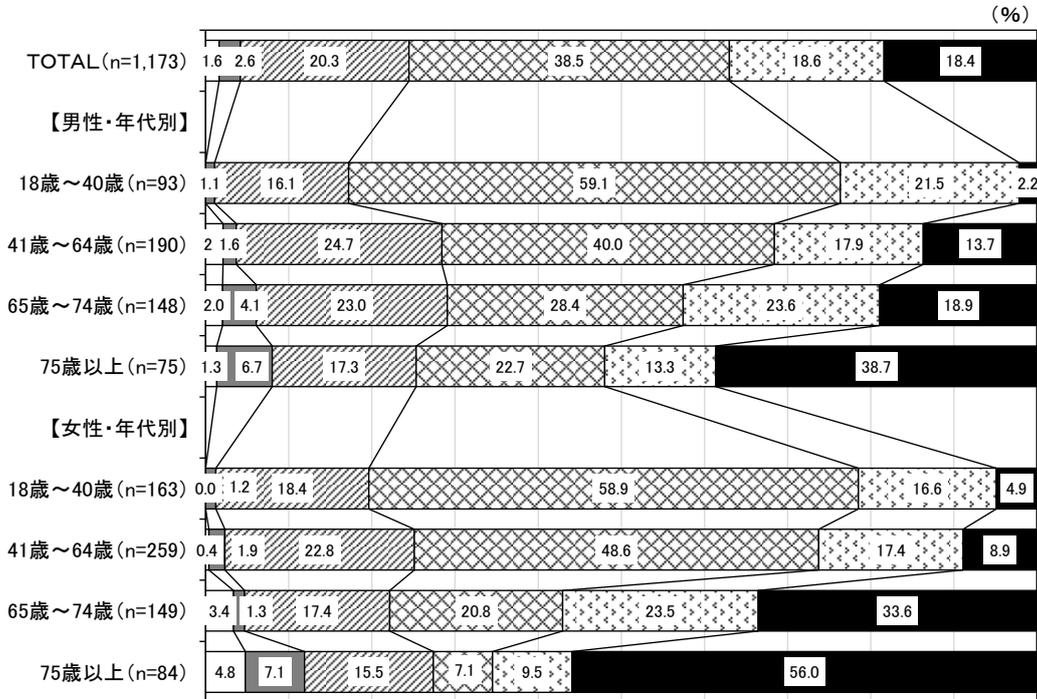
※性別×年代	n	現在、参加している	以前、参加したことがある	今後、参加したい	活動があることを知らない、又は、わからない	参加したくない	無回答
		上段: 度数	下段: %				
TOTAL	1,173	40	57	187	391	290	208
【男性・年代別】							
18歳～40歳	93	1	3	11	49	27	2
		1.1	3.2	11.8	52.7	29.0	2.2
41歳～64歳	190	4	3	42	74	41	26
		2.1	1.6	22.1	38.9	21.6	13.7
65歳～74歳	148	8	7	28	38	39	28
		5.4	4.7	18.9	25.7	26.4	18.9
75歳以上	75	1	6	14	9	17	28
		1.3	8.0	18.7	12.0	22.7	37.3
【女性・年代別】							
18歳～40歳	163	1	7	19	91	37	8
		0.6	4.3	11.7	55.8	22.7	4.9
41歳～64歳	259	4	18	41	101	72	23
		1.5	6.9	15.8	39.0	27.8	8.9
65歳～74歳	149	13	4	27	21	40	44
		8.7	2.7	18.1	14.1	26.8	29.5
75歳以上	84	7	9	5	5	12	46
		8.3	10.7	6.0	6.0	14.3	54.8

Ⅲ 調査結果

ちょっとした困りごとを支え合う活動

【性別×年代】

「現在、参加している」では、女性の『65歳以上』が多くなっています。また、「今後、参加したい」では、男性の『41歳～74歳』、女性の「41歳～64歳」が2割を超えています。



現在、参加している
 以前、参加したことがある
 今後、参加したい
 活動があることを知らない、又は、わからない
 参加したくない
 無回答

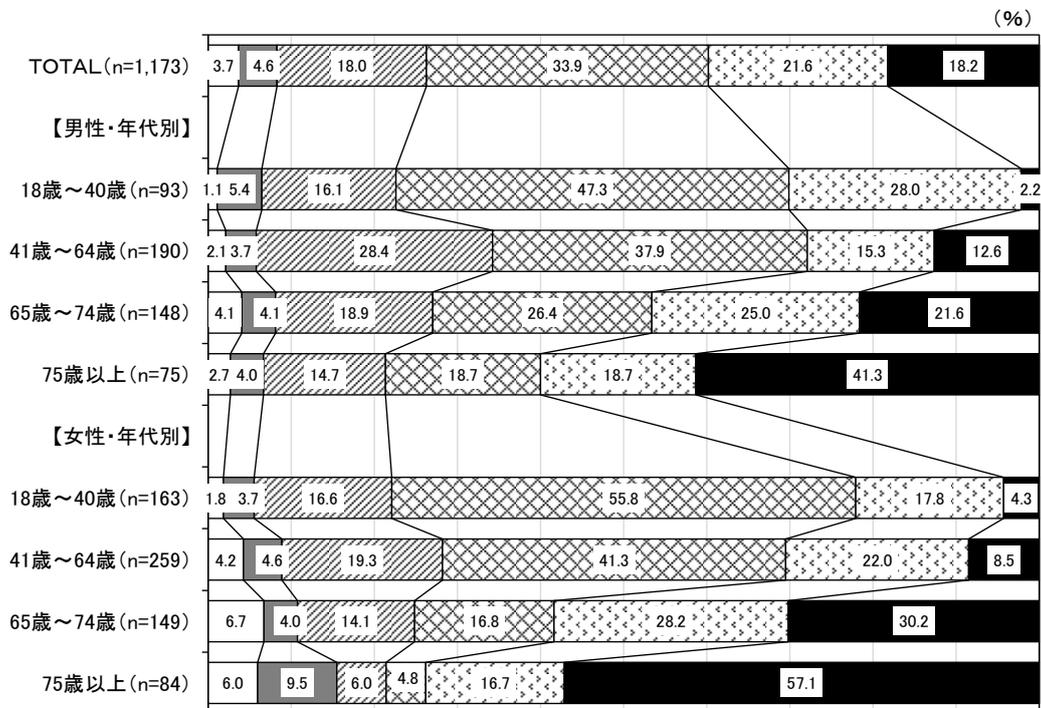
※性別×年代	n	現在、参加している	と以前、参加したことがある	今後、参加したい	わからない、又は、活動をあることを知らない	参加したくない	無回答
TOTAL	1,173	19	30	238	452	218	216
【男性・年代別】							
18歳～40歳	93	0	1	15	55	20	2
41歳～64歳	190	4	3	47	76	34	26
65歳～74歳	148	3	6	34	42	35	28
75歳以上	75	1	5	13	17	10	29
【女性・年代別】							
18歳～40歳	163	0	2	30	96	27	8
41歳～64歳	259	1	5	59	126	45	23
65歳～74歳	149	5	2	26	31	35	50
75歳以上	84	4	6	13	6	8	47

上段: 度数
下段: %

ボランティアやNPO活動

【性別×年代】

「現在、参加している」では、女性の『65歳以上』が多くなっています。また、「今後、参加したい」では、男女ともに「41歳～64歳」が最も多くなっています。



- 現在、参加している
- ▨ 以前、参加したことがある
- ▩ 今後、参加したい
- ▤ 活動があることを知らない、又は、わからない
- ▥ 参加したくない
- 無回答

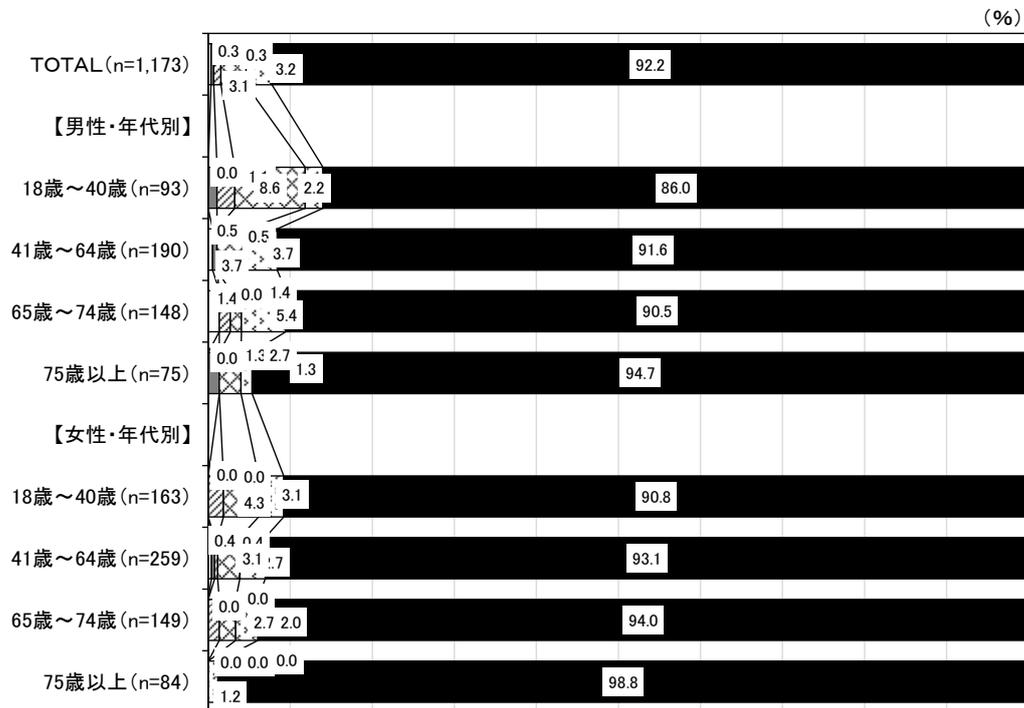
※性別×年代	n	現在、参加している	以前、参加したことがある	今後、参加したい	活動があることを知らない、又は、わからない	参加したくない	無回答
TOTAL	1,173	43	54	211	398	253	214
		3.7	4.6	18.0	33.9	21.6	18.2
【男性・年代別】							
18歳～40歳	93	1	5	15	44	26	2
		1.1	5.4	16.1	47.3	28.0	2.2
41歳～64歳	190	4	7	54	72	29	24
		2.1	3.7	28.4	37.9	15.3	12.6
65歳～74歳	148	6	6	28	39	37	32
		4.1	4.1	18.9	26.4	25.0	21.6
75歳以上	75	2	3	11	14	14	31
		2.7	4.0	14.7	18.7	18.7	41.3
【女性・年代別】							
18歳～40歳	163	3	6	27	91	29	7
		1.8	3.7	16.6	55.8	17.8	4.3
41歳～64歳	259	11	12	50	107	57	22
		4.2	4.6	19.3	41.3	22.0	8.5
65歳～74歳	149	10	6	21	25	42	45
		6.7	4.0	14.1	16.8	28.2	30.2
75歳以上	84	5	8	5	4	14	48
		6.0	9.5	6.0	4.8	16.7	57.1

上段：度数
下段：%

Ⅲ 調査結果

その他

※無回答が多いためコメントはなし



現在、参加している
 以前、参加したことがある
 今後、参加したい
 活動があることを知らない、又は、わからない
 参加したくない
 無回答

※性別×年代	n	現在、参加している	以前、参加したことがある	今後、参加したい	活動があることを知らない、又は、わからない	参加したくない	無回答
TOTAL	1,173	4	4	10	36	37	1,082
		0.3	0.3	0.9	3.1	3.2	92.2
【男性・年代別】							
18歳～40歳	93	0	1	2	8	2	80
		0.0	1.1	2.2	8.6	2.2	86.0
41歳～64歳	190	1	1	0	7	7	174
		0.5	0.5	0.0	3.7	3.7	91.6
65歳～74歳	148	2	0	2	2	8	134
		1.4	0.0	1.4	1.4	5.4	90.5
75歳以上	75	0	1	0	2	1	71
		0.0	1.3	0.0	2.7	1.3	94.7
【女性・年代別】							
18歳～40歳	163	0	0	3	7	5	148
		0.0	0.0	1.8	4.3	3.1	90.8
41歳～64歳	259	1	1	1	7	8	241
		0.4	0.4	0.4	2.7	3.1	93.1
65歳～74歳	149	0	0	2	3	4	140
		0.0	0.0	1.3	2.0	2.7	94.0
75歳以上	84	0	0	0	0	1	83
		0.0	0.0	0.0	0.0	1.2	98.8

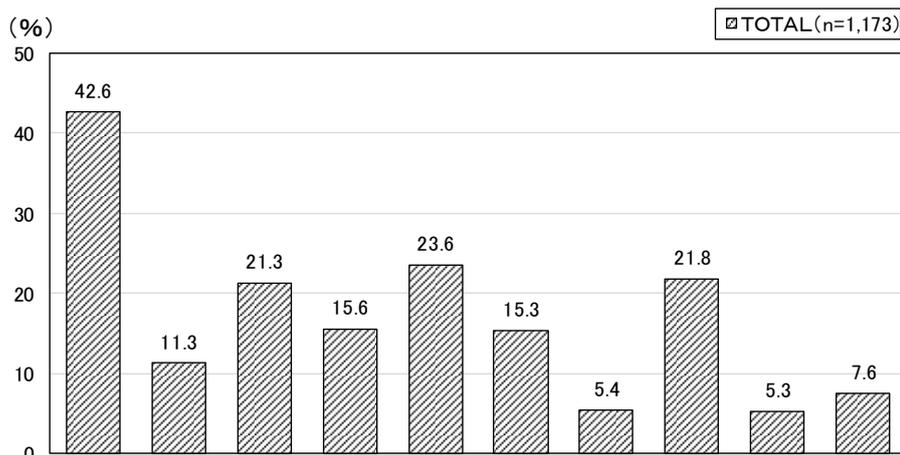
上段: 度数
下段: %

問 11 あなたが地域の活動や福祉の活動に参加するうえで、支障になることがありますか。(〇はいくつでも)

「時間的にゆとりがない」が 42.6%と最も多く、次いで「一緒に参加する仲間や友人がいない」が 23.6%、「何をすればいいかわからない」が 21.8%となっています。

【性別×年代】

「時間的にゆとりがない」では、男女ともに『18 歳～64 歳』が 5 割を超えており、「一緒に参加する仲間や友人がいない」では、男女ともに「18 歳～40 歳」が 3 割を超えています。



※性別×年代	n	時間的にゆとりがない	活動する場所や費用の確保が大変	活動に関する情報が得にくい	自分が健康ではない	一緒に参加する仲間や友人がいない	自分が活動したいと思えない	ボランティアやNPOの活動に関心がない	何をすればいいかわからない	その他	無回答
TOTAL	1,173	500 42.6	132 11.3	250 21.3	183 15.6	277 23.6	180 15.3	63 5.4	256 21.8	62 5.3	89 7.6
【男性・年代別】											
18歳～40歳	93	51 54.8	8 8.6	16 17.2	8 8.6	33 35.5	19 20.4	11 11.8	29 31.2	4 4.3	0 0.0
41歳～64歳	190	106 55.8	31 16.3	40 21.1	15 7.9	54 28.4	26 13.7	10 5.3	46 24.2	7 3.7	8 4.2
65歳～74歳	148	41 27.7	18 12.2	34 23.0	26 17.6	36 24.3	33 22.3	11 7.4	28 18.9	6 4.1	18 12.2
75歳以上	75	5 6.7	4 5.3	17 22.7	27 36.0	14 18.7	11 14.7	3 4.0	13 17.3	3 4.0	7 9.3
【女性・年代別】											
18歳～40歳	163	102 62.6	20 12.3	41 25.2	10 6.1	54 33.1	33 20.2	10 6.1	42 25.8	12 7.4	4 2.5
41歳～64歳	259	146 56.4	30 11.6	62 23.9	30 11.6	56 21.6	33 12.7	10 3.9	62 23.9	11 4.2	9 3.5
65歳～74歳	149	37 24.8	15 10.1	29 19.5	31 20.8	20 13.4	18 12.1	5 3.4	24 16.1	11 7.4	23 15.4
75歳以上	84	11 13.1	4 4.8	8 9.5	32 38.1	7 8.3	6 7.1	2 2.4	8 9.5	7 8.3	18 21.4

上段: 度数
下段: %

■ TOTALより5ポイントを上回るもの
 ■ TOTALより5ポイントを下回るもの

Ⅲ 調査結果

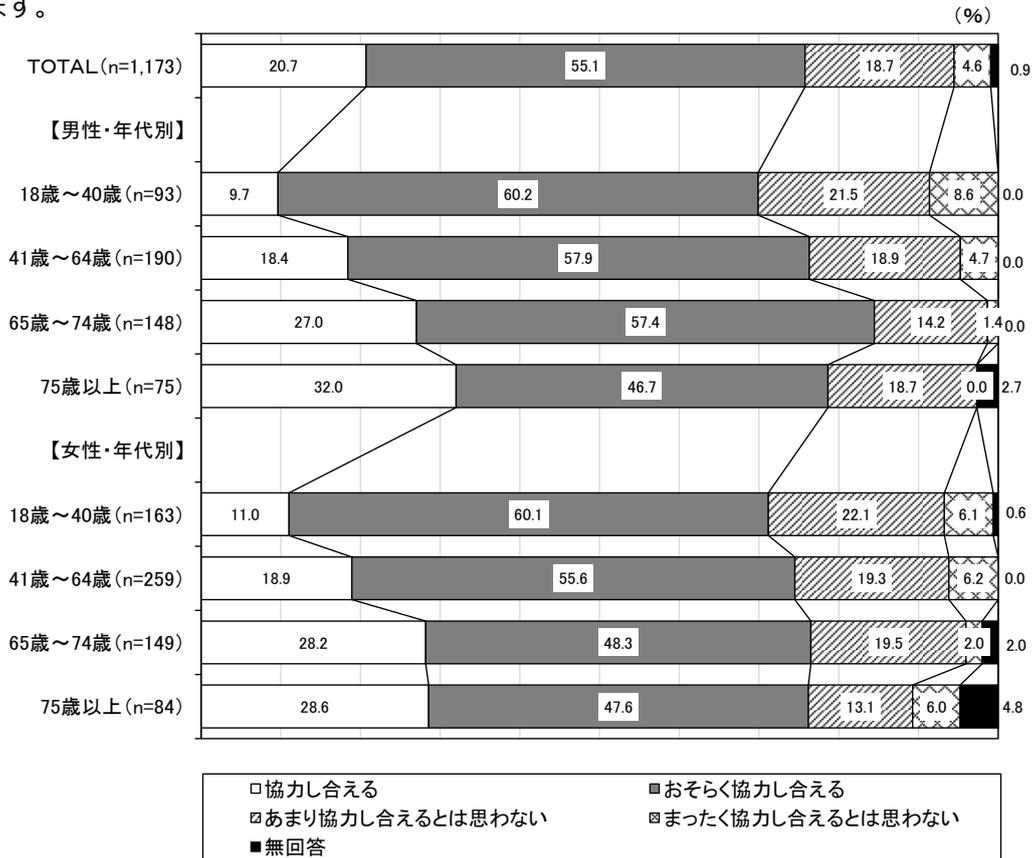
問 12 地震や台風などの災害時、ご近所の方と協力し合えると思いますか。(〇は1つ)

「おそらく協力し合える」が 55.1%と最も多く、「協力し合える」と合わせると 75.8%となっています。

また、「あまり協力し合えるとは思わない」、「まったく協力し合えるとは思わない」を合わせると 23.3%となっています。

【性別×年代】

「協力し合える」「おそらく協力し合える」を合わせた回答では、男性の「65歳～74歳」が最も多くなっています。



※性別×年代	n	協力し合える	おそらく協力し合える	あまり協力し合えるとは思わない	まったく協力し合えるとは思わない	無回答
TOTAL	1,173	243	646	219	54	11
		20.7	55.1	18.7	4.6	0.9
【男性・年代別】						
18歳～40歳	93	9	56	20	8	0
		9.7	60.2	21.5	8.6	0.0
41歳～64歳	190	35	110	36	9	0
		18.4	57.9	18.9	4.7	0.0
65歳～74歳	148	40	85	21	2	0
		27.0	57.4	14.2	1.4	0.0
75歳以上	75	24	35	14	0	2
		32.0	46.7	18.7	0.0	2.7
【女性・年代別】						
18歳～40歳	163	18	98	36	10	1
		11.0	60.1	22.1	6.1	0.6
41歳～64歳	259	49	144	50	16	0
		18.9	55.6	19.3	6.2	0.0
65歳～74歳	149	42	72	29	3	3
		28.2	48.3	19.5	2.0	2.0
75歳以上	84	24	40	11	5	4
		28.6	47.6	13.1	6.0	4.8

上段:度数
下段:%

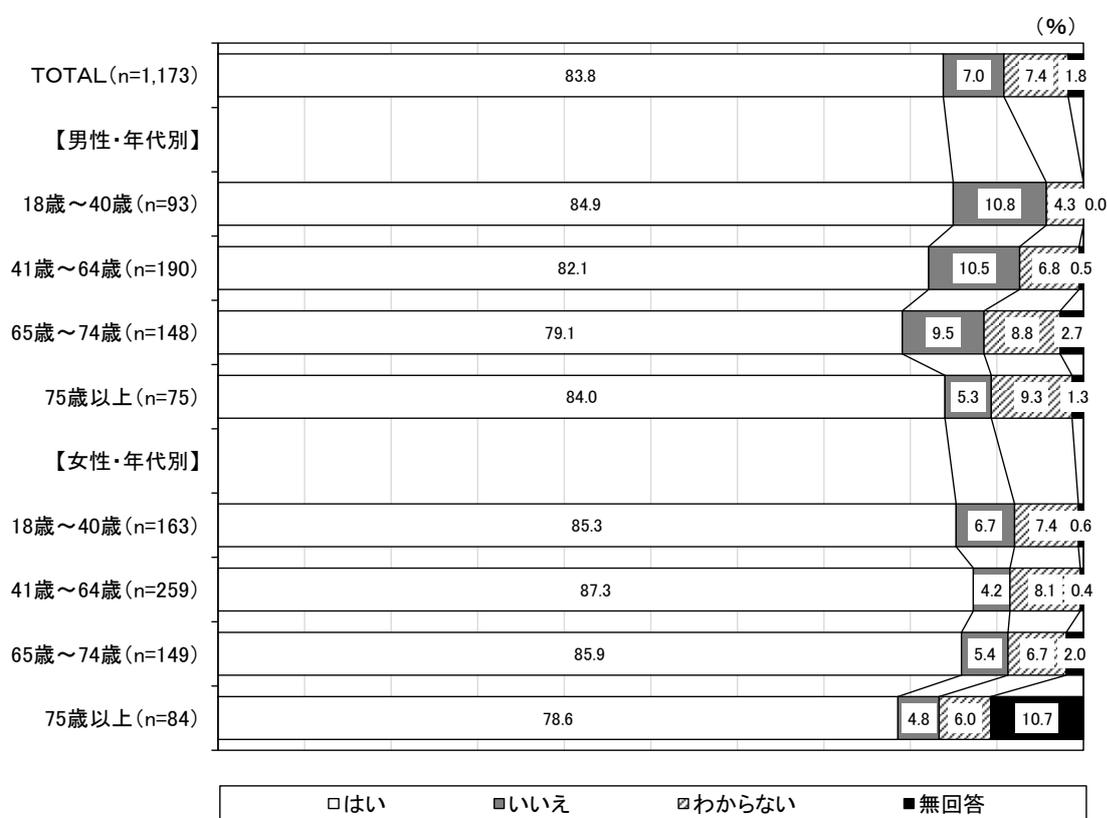
問 13 防災に関する項目について、①～④のそれぞれあてはまるものをお答えください。(各項目〇は1つ)

「はい」の回答が多い項目では、「①身近な避難場所とそこへの行き方を知っていますか」が最も多く、次いで「④災害時に避難の手助けを必要とする人に対し、手助けをすることができますか」、「③災害時に避難の手助けを必要とする人が近所にいますか」となっています。「いいえ」の回答が多い項目では、「②災害時に避難の手助けが必要ですか」が最も多くなっています。

①身近な避難場所とそこへの行き方を知っていますか

【性別×年代】

「いいえ」では、男性の『18歳～64歳』が1割を超えています。



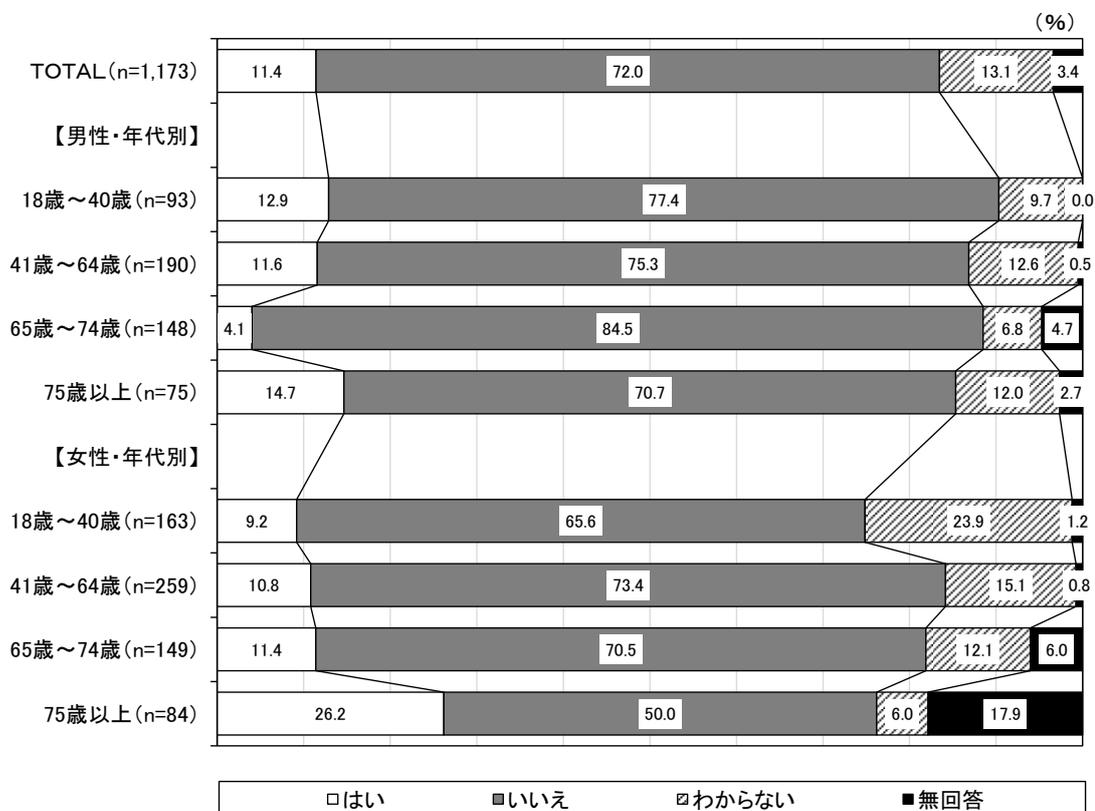
Ⅲ 調査結果

※性別×年代	n	はい	いいえ	わからない	無回答	上段:度数 下段:%
TOTAL	1,173	983 83.8	82 7.0	87 7.4	21 1.8	
【男性・年代別】						
18歳～40歳	93	79 84.9	10 10.8	4 4.3	0 0.0	
41歳～64歳	190	156 82.1	20 10.5	13 6.8	1 0.5	
65歳～74歳	148	117 79.1	14 9.5	13 8.8	4 2.7	
75歳以上	75	63 84.0	4 5.3	7 9.3	1 1.3	
【女性・年代別】						
18歳～40歳	163	139 85.3	11 6.7	12 7.4	1 0.6	
41歳～64歳	259	226 87.3	11 4.2	21 8.1	1 0.4	
65歳～74歳	149	128 85.9	8 5.4	10 6.7	3 2.0	
75歳以上	84	84 99.8	7 8.3	7 8.8	2 2.1	

②災害時に避難の手助けが必要ですか

【性別×年代】

「はい」では、女性の「75歳以上」が2割を超えています。



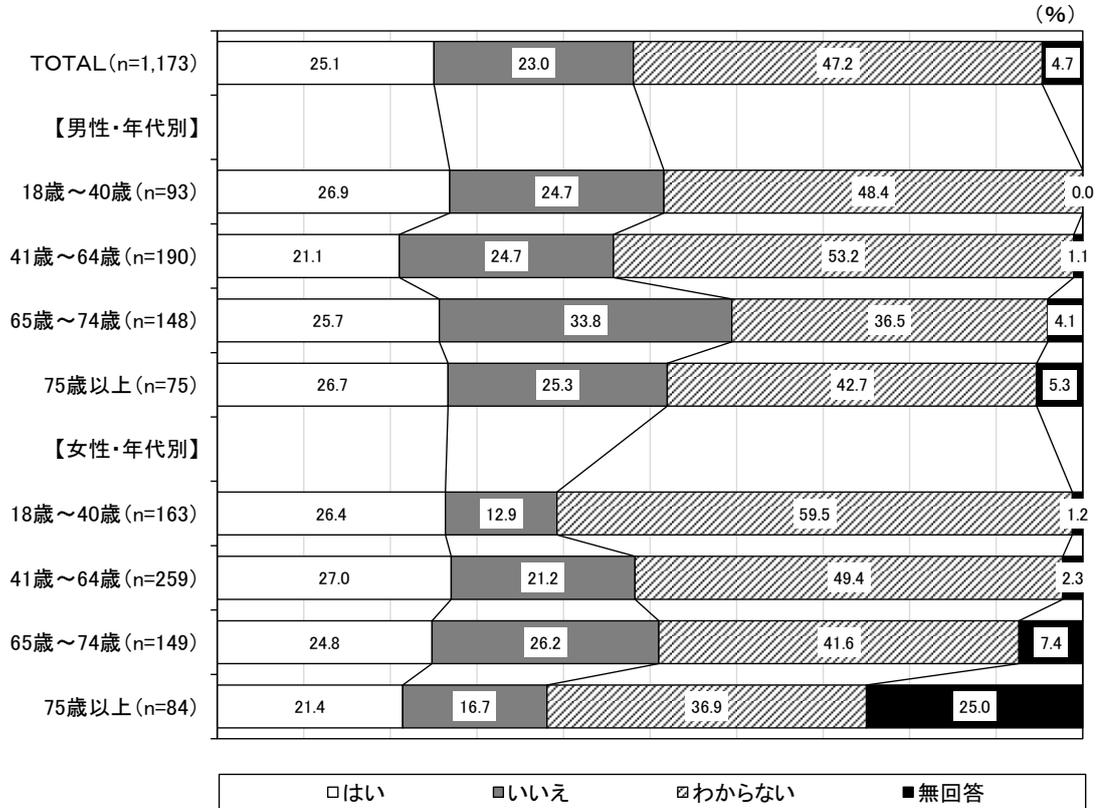
※性別×年代	n	はい	いいえ	わからない	無回答	上段: 度数 下段: %
TOTAL	1,173	134	845	154	40	
		11.4	72.0	13.1	3.4	
【男性・年代別】						
18歳～40歳	93	12	72	9	0	
		12.9	77.4	9.7	0.0	
41歳～64歳	190	22	143	24	1	
		11.6	75.3	12.6	0.5	
65歳～74歳	148	6	125	10	7	
		4.1	84.5	6.8	4.7	
75歳以上	75	11	53	9	2	
		14.7	70.7	12.0	2.7	
【女性・年代別】						
18歳～40歳	163	15	107	39	2	
		9.2	65.6	23.9	1.2	
41歳～64歳	259	28	190	39	2	
		10.8	73.4	15.1	0.8	
65歳～74歳	149	17	105	18	9	
		11.4	70.5	12.1	6.0	
75歳以上	84	22	42	5	15	
		26.2	50.0	6.0	17.9	

Ⅲ 調査結果

③災害時に避難の手助けを必要とする人が近所にいますか

【性別×年代】

「いいえ」では、男性の「65歳～74歳」が3割を超えています。

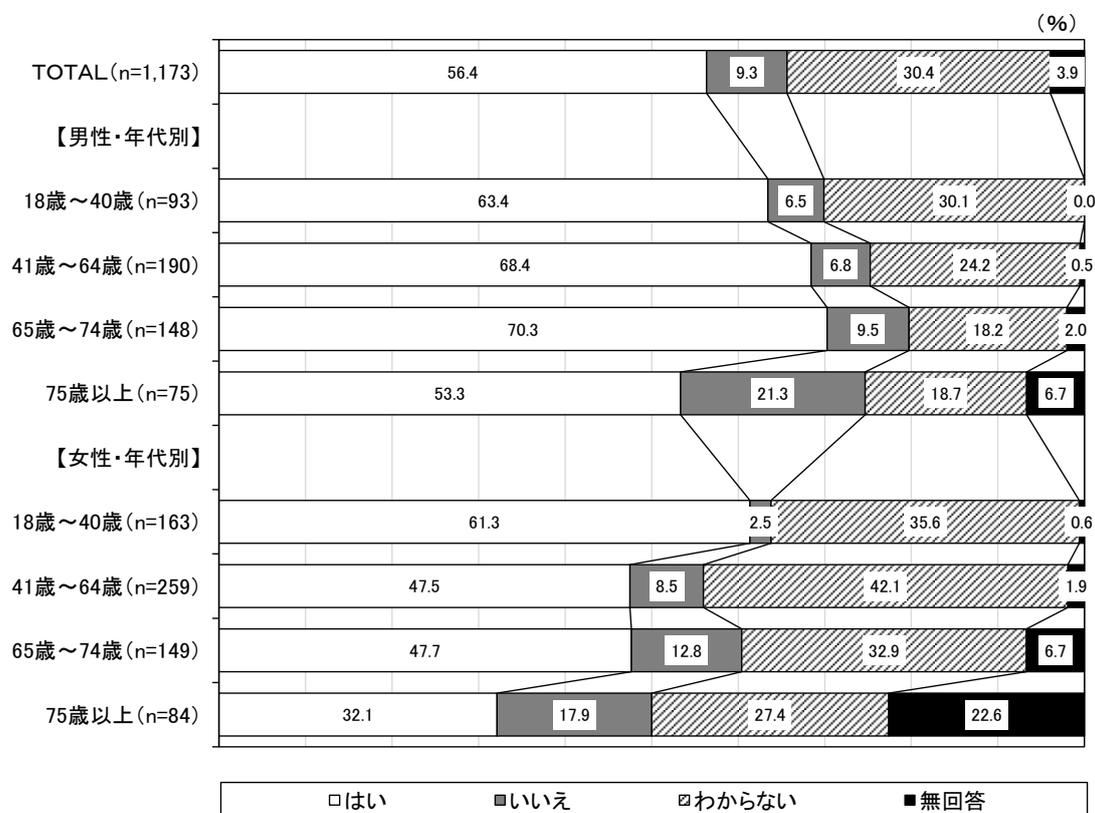


※性別×年代	n	はい	いいえ	わからない	無回答	上段: 度数 下段: %
TOTAL	1,173	294 25.1	270 23.0	554 47.2	55 4.7	
【男性・年代別】						
18歳～40歳	93	25 26.9	23 24.7	45 48.4	0 0.0	
41歳～64歳	190	40 21.1	47 24.7	101 53.2	2 1.1	
65歳～74歳	148	38 25.7	50 33.8	54 36.5	6 4.1	
75歳以上	75	20 26.7	19 25.3	32 42.7	4 5.3	
【女性・年代別】						
18歳～40歳	163	43 26.4	21 12.9	97 59.5	2 1.2	
41歳～64歳	259	70 27.0	55 21.2	128 49.4	6 2.3	
65歳～74歳	149	37 24.8	39 26.2	62 41.6	11 7.4	
75歳以上	84	18 21.4	14 16.7	31 36.9	21 25.0	

④災害時に避難お助けを必要とする人に対し、手助けをすることができますか

【性別×年代】

「はい」では、男性の『18歳～74歳』、女性の「18歳～40歳」が6割を超えています。



※性別×年代	n	はい	いいえ	わからない	無回答	上段: 度数 下段: %
TOTAL	1,173	661	109	357	46	56.4 9.3 30.4 3.9
【男性・年代別】						
18歳～40歳	93	59	6	28	0	63.4 6.5 30.1 0.0
41歳～64歳	190	130	13	46	1	68.4 6.8 24.2 0.5
65歳～74歳	148	104	14	27	3	70.3 9.5 18.2 2.0
75歳以上	75	40	16	14	5	53.3 21.3 18.7 6.7
【女性・年代別】						
18歳～40歳	163	100	4	58	1	61.3 2.5 35.6 0.6
41歳～64歳	259	123	22	109	5	47.5 8.5 42.1 1.9
65歳～74歳	149	71	19	49	10	47.7 12.8 32.9 6.7
75歳以上	84	27	15	23	19	32.1 17.9 27.4 22.6

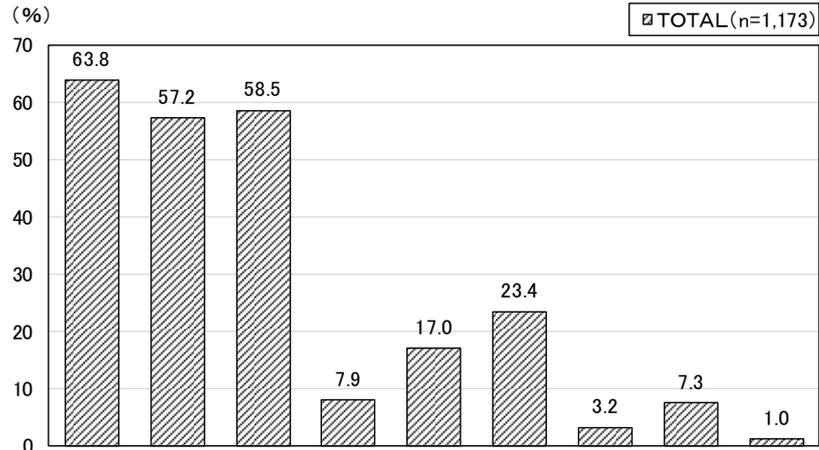
3. 日常生活の楽しみや困りごとについて

問 14 日常生活の中で、どのようなときに楽しさや生きがいを感じますか。(〇はいくつでも)

「家族と過ごしているとき」が 63.8%と最も多く、次いで「趣味やスポーツをしているとき」が 58.5%、「友人などと交流しているとき」が 57.2%となっています。

【性別×年代】

「家族と過ごしているとき」では、女性の『18歳～64歳』が7割を超えています。「趣味やスポーツをしているとき」では、男性の『18歳～64歳』、女性の「18歳～40歳」が6割を超えています。



※性別×年代	n	家族と過ごしているとき	友人などと交流しているとき	趣味やスポーツをしているとき	地域の活動に参加しているとき	家事をしているとき	仕事をしているとき	その他	特に楽しさや生きがいを感じることはない	無回答
TOTAL	1,173	748 63.8	671 57.2	686 58.5	93 7.9	199 17.0	274 23.4	37 3.2	86 7.3	12 1.0
【男性・年代別】										
18歳～40歳	93	53 57.0	47 50.5	68 73.1	4 4.3	8 8.6	20 21.5	0 0.0	6 6.5	0 0.0
41歳～64歳	190	114 60.0	92 48.4	126 66.3	14 7.4	21 11.1	47 24.7	1 0.5	22 11.6	0 0.0
65歳～74歳	148	83 56.1	65 43.9	92 62.2	17 11.5	18 12.2	47 31.8	4 2.7	11 7.4	1 0.7
75歳以上	75	41 54.7	37 49.3	44 58.7	6 8.0	7 9.3	5 6.7	5 6.7	6 8.0	1 1.3
【女性・年代別】										
18歳～40歳	163	127 77.9	121 74.2	106 65.0	1 0.6	29 17.8	48 29.4	4 2.5	7 4.3	1 0.6
41歳～64歳	259	183 70.7	165 63.7	138 53.3	12 4.6	42 16.2	71 27.4	8 3.1	15 5.8	2 0.8
65歳～74歳	149	95 63.8	87 58.4	72 48.3	25 16.8	44 29.5	31 20.8	10 6.7	8 5.4	2 1.3
75歳以上	84	45 53.6	51 60.7	35 41.7	14 16.7	28 33.3	3 3.6	3 3.6	9 10.7	4 4.8

上段:度数
下段:%

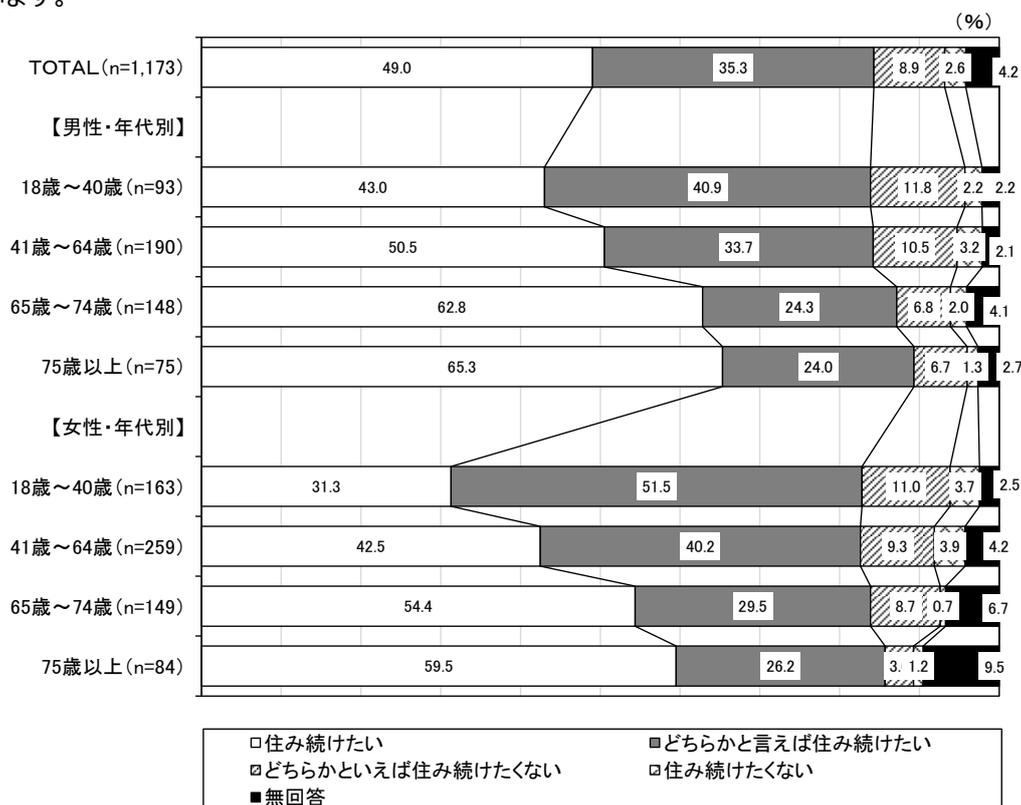
■ TOTALより5ポイントを上回るもの
■ TOTALより5ポイントを下回るもの

問 15 今住んでいる地域に住み続けたいと思いますか。(〇は1つ)

「住み続けたい」が 49.0%と最も多く、「どちらかと言えば住み続けたい」と合わせると 84.3%となっています。また、「どちらかと言えば住み続けたくない」「住み続けたくない」を合わせると 11.5%となっています。

【性別×年代】

「住み続けたい」「どちらかと言えば住み続けたい」を合わせた回答では、すべての性別・年代で 8 割を超えています。



※性別×年代	n	住み続けたい	どちらかと言えば住み続けたい	どちらかと言えば住み続けたくない	住み続けたくない	無回答
TOTAL	1,173	575	414	104	31	49
【男性・年代別】						
18歳～40歳	93	40	38	11	2	2
41歳～64歳	190	96	64	20	6	4
65歳～74歳	148	93	36	10	3	6
75歳以上	75	49	18	5	1	2
【女性・年代別】						
18歳～40歳	163	51	84	18	6	4
41歳～64歳	259	110	104	24	10	11
65歳～74歳	149	81	44	13	1	10
75歳以上	84	50	22	3	1	8

上段: 度数
下段: %

Ⅲ 調査結果

問 16 日常生活に関する以下のことで、困っていたり不安に感じていることがありますか。(各項目〇は1つ)

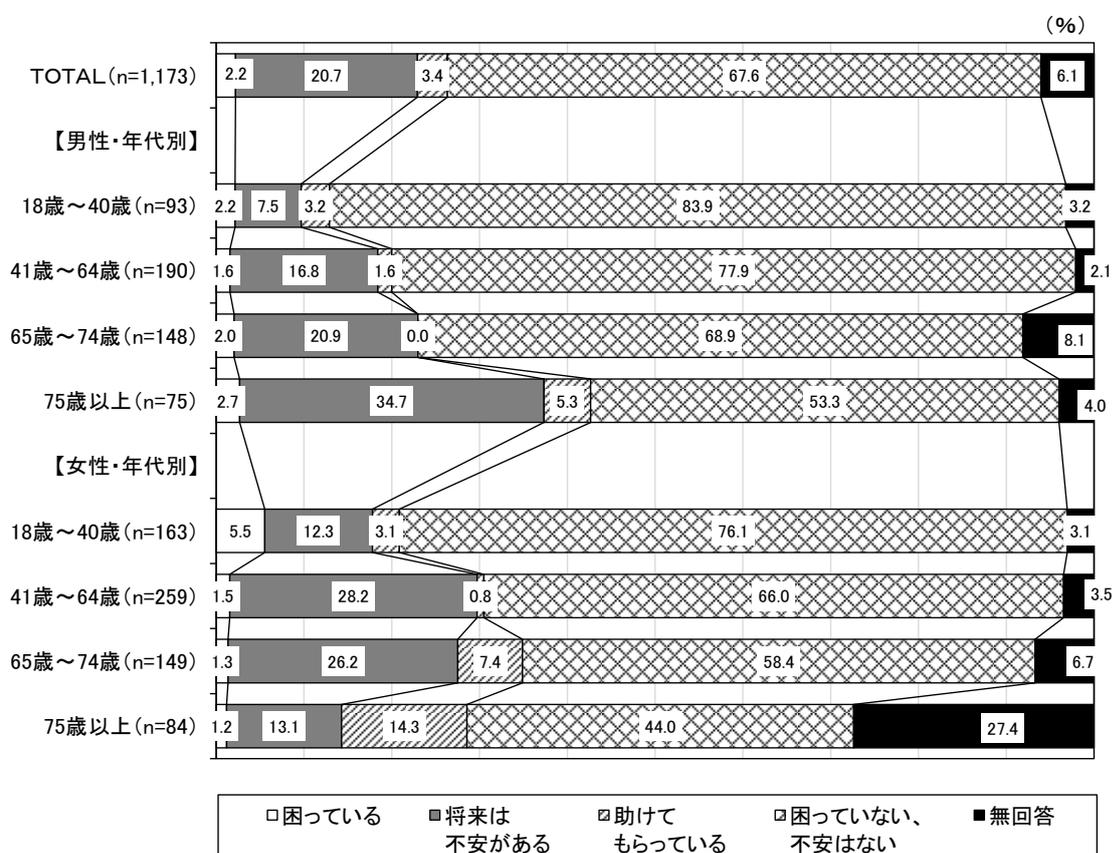
「困っている」「将来は不安がある」「助けてもらっている」を合わせた回答が多い項目では、「健康状態」が最も多く、次いで「地震や台風などの自然災害」、「経済的な状況」となっています。

また、「困っていない、不安はない」の回答が多い項目では、「調理や洗濯などの家事」が最も多く、「ゴミ出し、掃除、片づけ」、「日常の買い物」となっています。

日常の買い物

【性別×年代】

「困っている」「将来は不安がある」「助けてもらっている」を合わせた回答では、男性は年代が上がるに従い多くなっていますが、一方で女性の「75歳以上」を男性の「75歳以上」と比較すると14.1ポイント少なくなっています。



※性別×年代	n	困 つ て い る	あ 将 来 は 不 安 が	い 助 け て も ら つ て	不 困 つ て い ない 、 不 安 は な い	無 回 答
TOTAL	1,173	26 2.2	243 20.7	40 3.4	793 67.6	71 6.1
【男性・年代別】						
18歳～40歳	93	2 2.2	7 7.5	3 3.2	78 83.9	3 3.2
41歳～64歳	190	3 1.6	32 16.8	3 1.6	148 77.9	4 2.1
65歳～74歳	148	3 2.0	31 20.9	0 0.0	102 68.9	12 8.1
75歳以上	75	2 2.7	26 34.7	4 5.3	40 53.3	3 4.0
【女性・年代別】						
18歳～40歳	163	9 5.5	20 12.3	5 3.1	124 76.1	5 3.1
41歳～64歳	259	4 1.5	73 28.2	2 0.8	171 66.0	9 3.5
65歳～74歳	149	2 1.3	39 26.2	11 7.4	87 58.4	10 6.7
75歳以上	84	1 1.2	11 13.1	12 14.3	37 44.0	23 27.4

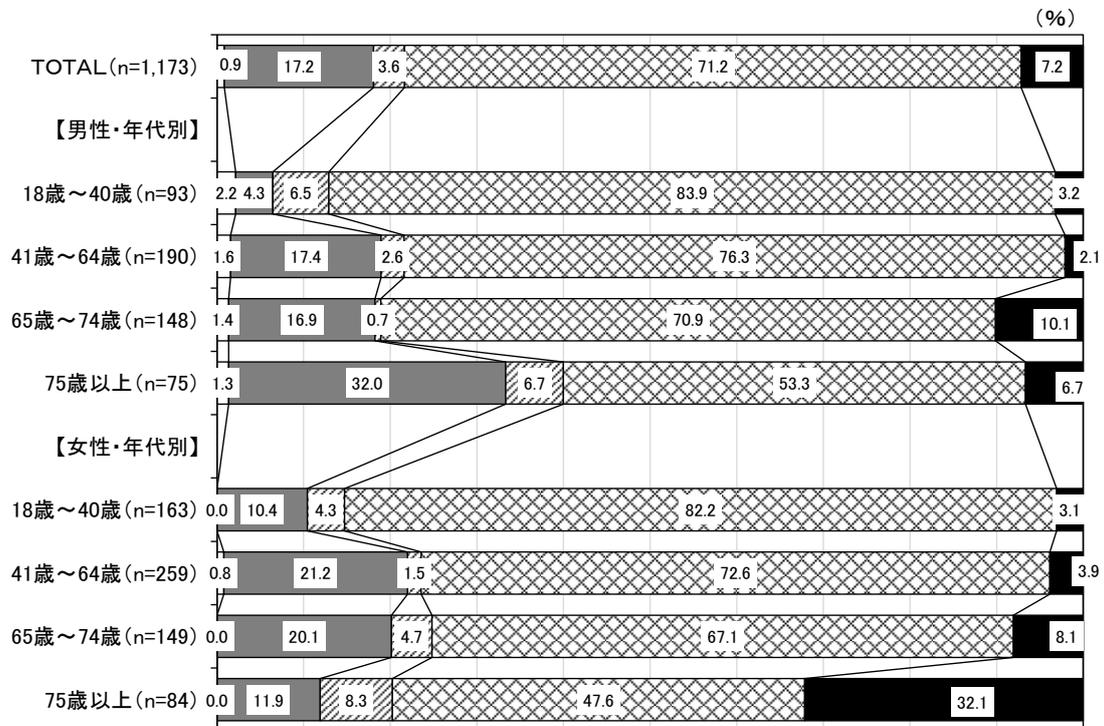
上段：度数
下段：%

Ⅲ 調査結果

調理や洗濯などの家事

【性別×年代】

「困っている」「将来は不安がある」「助けてもらっている」を合わせた回答では、男性の「75 歳以上」が 4 割となっていますが、一方で女性の「75 歳以上」を男性の「75 歳以上」と比較すると 19.8 ポイント少なくなっています。



□困っている ■将来は不安がある □助けてもらっている □困っていない、不安はない ■無回答

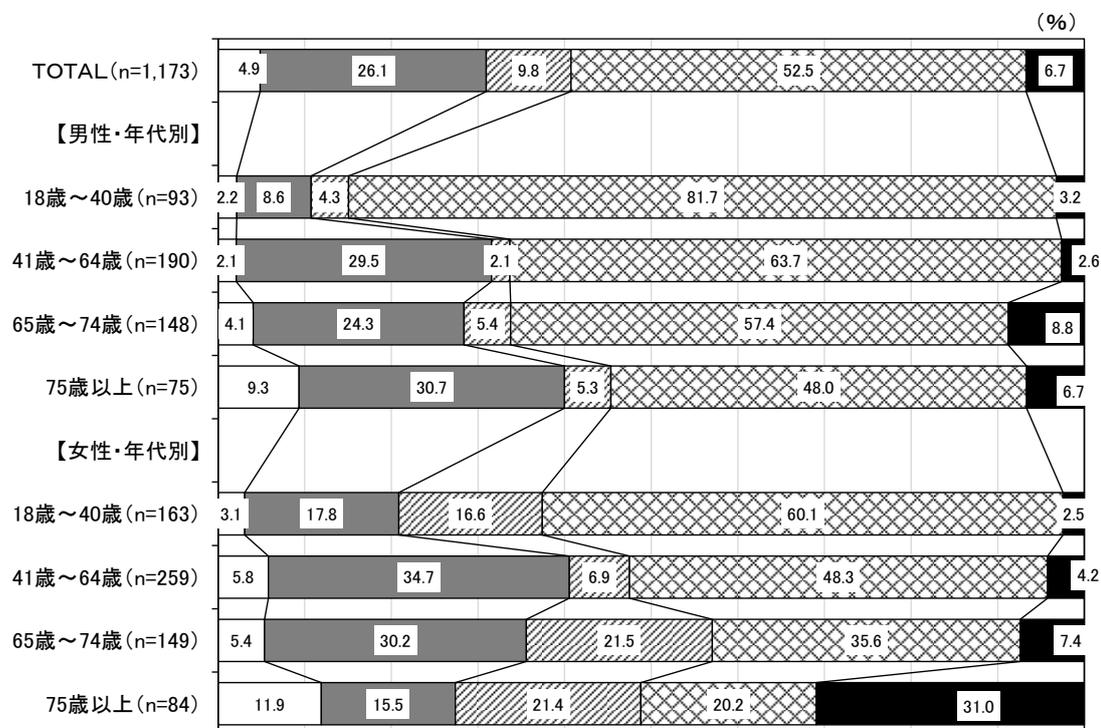
※性別×年代	n	困っている	ある将来は不安がある	助けてもらっている	困っていない、不安はない	無回答
TOTAL	1,173	10	202	42	835	84
【男性・年代別】						
18歳～40歳	93	2	4	6	78	3
41歳～64歳	190	3	33	5	145	4
65歳～74歳	148	2	25	1	105	15
75歳以上	75	1	24	5	40	5
【女性・年代別】						
18歳～40歳	163	0	17	7	134	5
41歳～64歳	259	2	55	4	188	10
65歳～74歳	149	0	30	7	100	12
75歳以上	84	0	10	7	40	27

上段:度数
下段:%

家具の移動などの力仕事

【性別×年代】

「困っている」「将来は不安がある」「助けてもらっている」を合わせた回答では、男性の「75 歳以上」が 4 割を超えています。女性では、「65 歳～74 歳」が 5 割を超えています。



□困っている ■将来は不安がある ▨助けてもらっている □困っていない、不安はない ■無回答

※性別×年代	n	困っている	ある将来は不安がある	助けてもらっている	困っていない、不安はない	無回答
TOTAL	1,173	57	306	115	616	79
		4.9	26.1	9.8	52.5	6.7
【男性・年代別】						
18歳～40歳	93	2	8	4	76	3
		2.2	8.6	4.3	81.7	3.2
41歳～64歳	190	4	56	4	121	5
		2.1	29.5	2.1	63.7	2.6
65歳～74歳	148	6	36	8	85	13
		4.1	24.3	5.4	57.4	8.8
75歳以上	75	7	23	4	36	5
		9.3	30.7	5.3	48.0	6.7
【女性・年代別】						
18歳～40歳	163	5	29	27	98	4
		3.1	17.8	16.6	60.1	2.5
41歳～64歳	259	15	90	18	125	11
		5.8	34.7	6.9	48.3	4.2
65歳～74歳	149	8	45	32	53	11
		5.4	30.2	21.5	35.6	7.4
75歳以上	84	10	13	18	17	26
		11.9	15.5	21.4	20.2	31.0

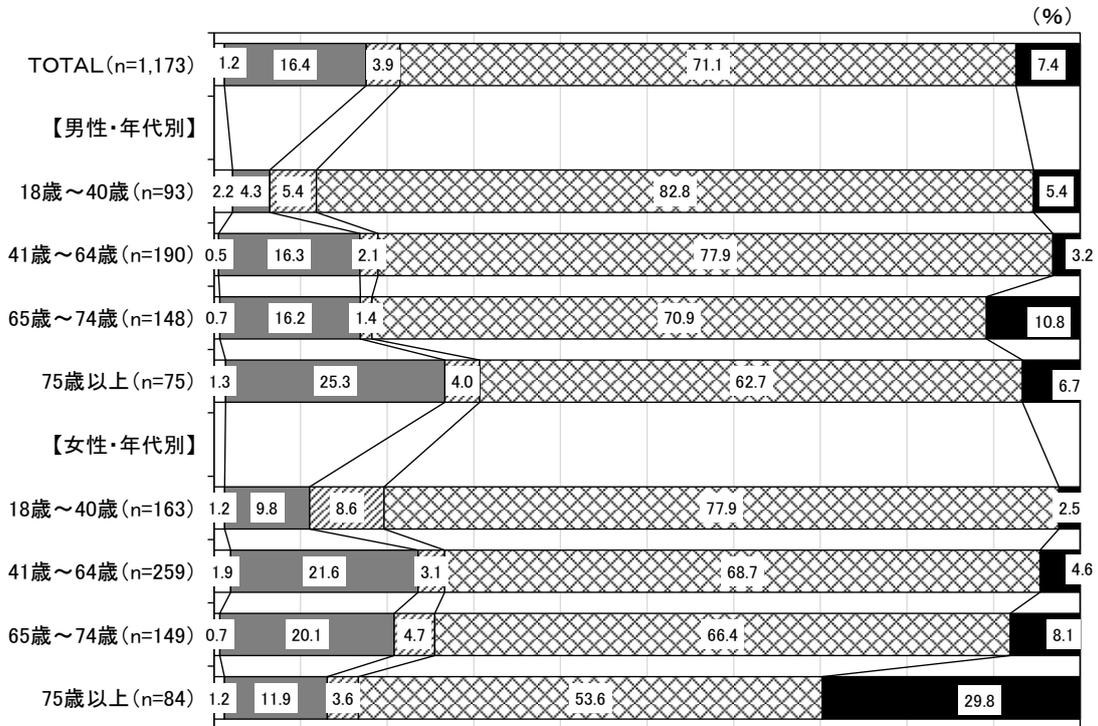
上段:度数
下段:%

Ⅲ 調査結果

ゴミ出し、掃除、片づけ

【性別×年代】

「困っている」「将来は不安がある」「助けてもらっている」を合わせた回答では、男性の「75 歳以上」が 3 割を超えています、一方で女性の『41 歳～74 歳』が 2 割を超えています。



□困っている ■将来は不安がある ▨助けてもらっている □困っていない、不安はない ■無回答

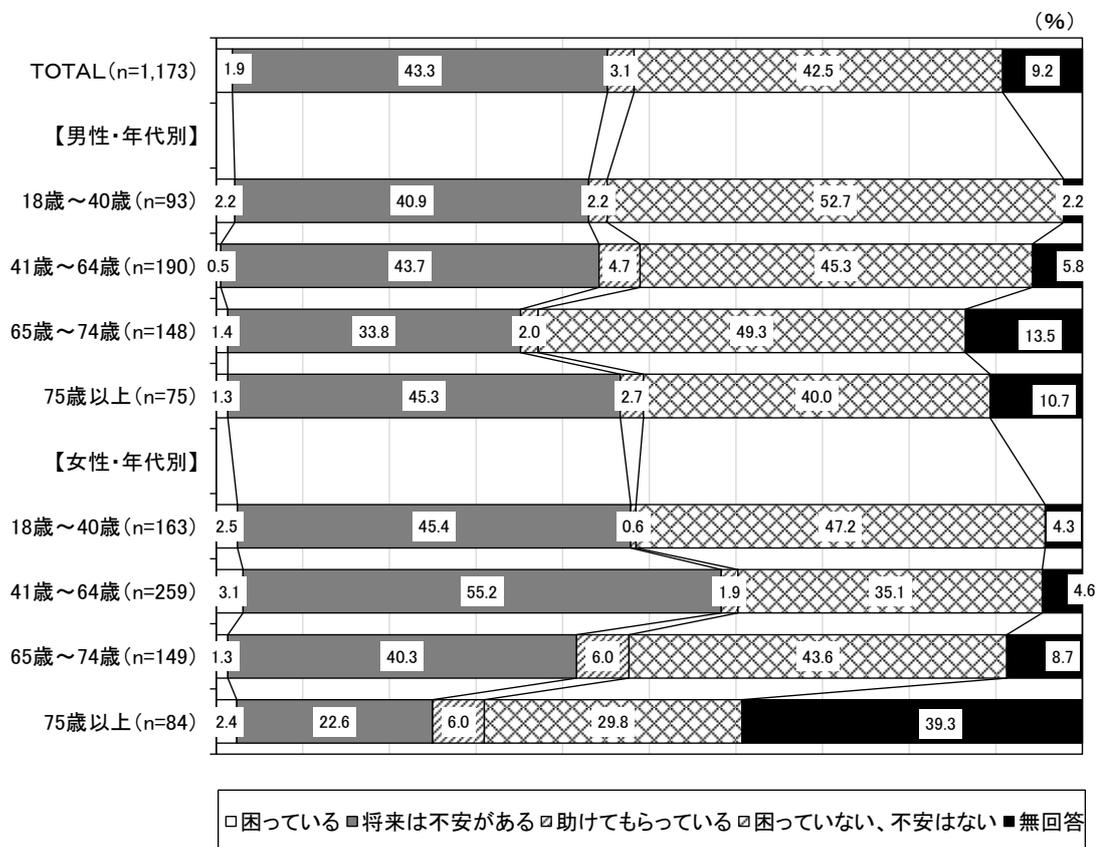
※性別×年代	n	困っている	ある将来は不安がある	い助けてもらっている	不困っていない、不安はない	無回答
		度数	度数	度数	度数	度数
TOTAL	1,173	14	192	46	834	87
【男性・年代別】						
18歳～40歳	93	2	4	5	77	5
41歳～64歳	190	1	31	4	148	6
65歳～74歳	148	1	24	2	105	16
75歳以上	75	1	19	3	47	5
【女性・年代別】						
18歳～40歳	163	2	16	14	127	4
41歳～64歳	259	5	56	8	178	12
65歳～74歳	149	1	30	7	99	12
75歳以上	84	1	10	3	45	25

上段: 度数
下段: %

自分や家族の介護

【性別×年代】

「困っている」「将来は不安がある」「助けてもらっている」を合わせた回答では、女性の「41歳～64歳」が6割を超えています。



※性別×年代	n	困っている	ある将来は不安がある	い助けてもらっている	不困っていない、不安はない	無回答
TOTAL	1,173	22	508	36	499	108
【男性・年代別】						
18歳～40歳	93	2	38	2	49	2
41歳～64歳	190	1	83	9	86	11
65歳～74歳	148	2	50	3	73	20
75歳以上	75	1	34	2	30	8
【女性・年代別】						
18歳～40歳	163	4	74	1	77	7
41歳～64歳	259	8	143	5	91	12
65歳～74歳	149	2	60	9	65	13
75歳以上	84	2	19	5	25	33

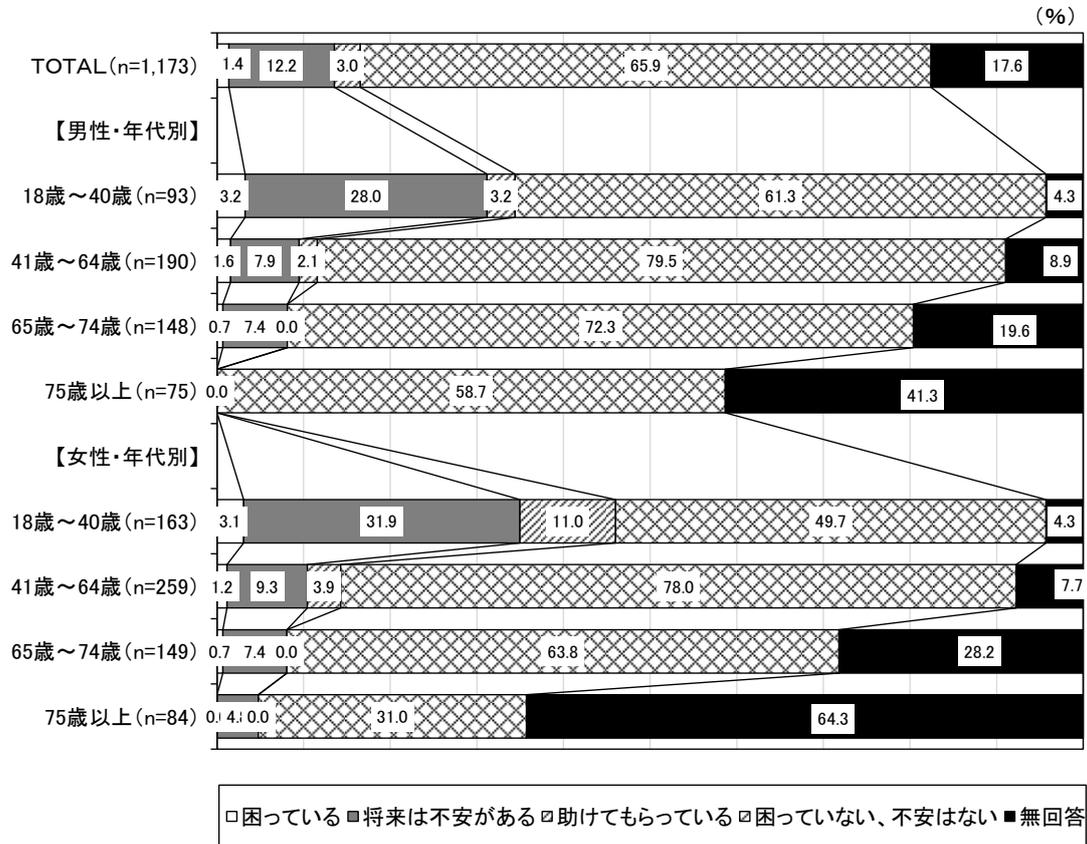
上段: 度数
下段: %

Ⅲ 調査結果

子育てや子どもの教育

【性別×年代】

「困っている」「将来は不安がある」「助けてもらっている」を合わせた回答では、女性の「18歳～40歳」が4割を超えています。



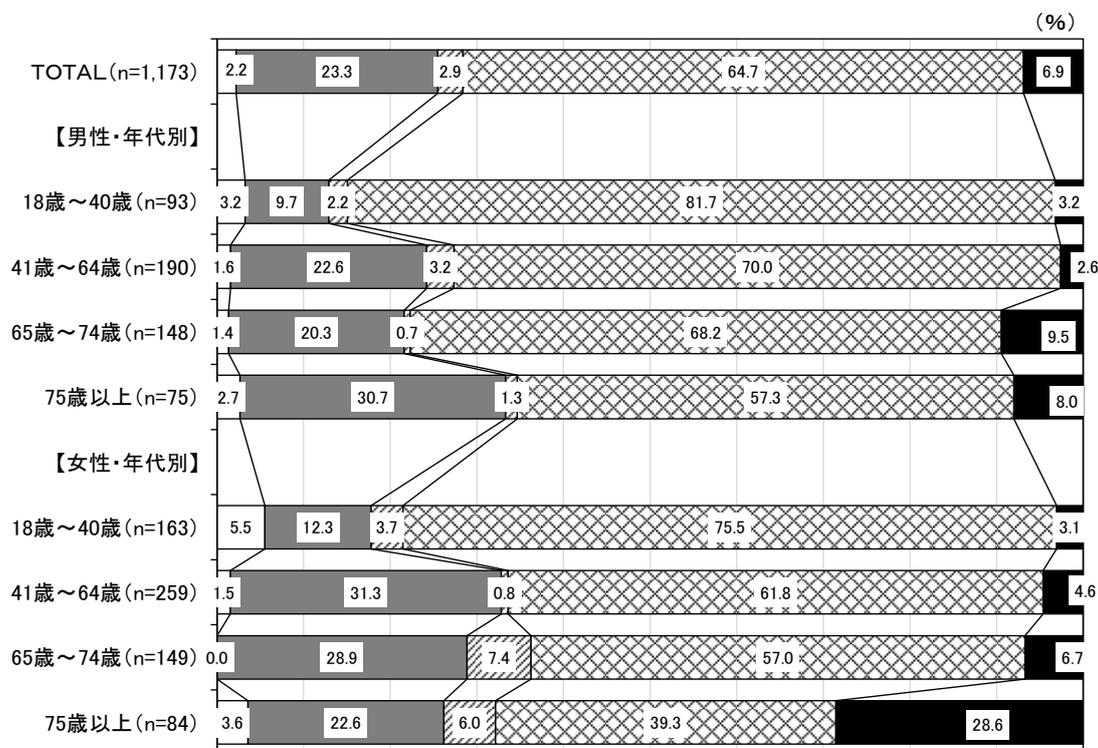
※性別×年代	n	困っている	将来は不安がある	助けてもらっている	困っていない、不安はない	無回答
TOTAL	1,173	16	143	35	773	206
【男性・年代別】						
18歳～40歳	93	3	26	3	57	4
41歳～64歳	190	3	15	4	151	17
65歳～74歳	148	1	11	0	107	29
75歳以上	75	0	0	0	44	31
【女性・年代別】						
18歳～40歳	163	5	52	18	81	7
41歳～64歳	259	3	24	10	202	20
65歳～74歳	149	1	11	0	95	42
75歳以上	84	0	4	0	26	54

上段: 度数
下段: %

日常の外出や交通機関の利用

【性別×年代】

「困っている」「将来は不安がある」「助けてもらっている」を合わせた回答では、男性の「75歳以上」、女性の『41歳以上』で3割を超えています。



□困っている ■将来は不安がある □助けてもらっている □困っていない、不安はない ■無回答

※性別×年代	n	困っている	ある将来は不安がある	い助けてもらっている	不安はない、困っていない	無回答
TOTAL	1,173	26	273	34	759	81
【男性・年代別】						
18歳～40歳	93	3	9	2	76	3
41歳～64歳	190	3	43	6	133	5
65歳～74歳	148	2	30	1	101	14
75歳以上	75	2	23	1	43	6
【女性・年代別】						
18歳～40歳	163	9	20	6	123	5
41歳～64歳	259	4	81	2	160	12
65歳～74歳	149	0	43	11	85	10
75歳以上	84	3	19	5	33	24

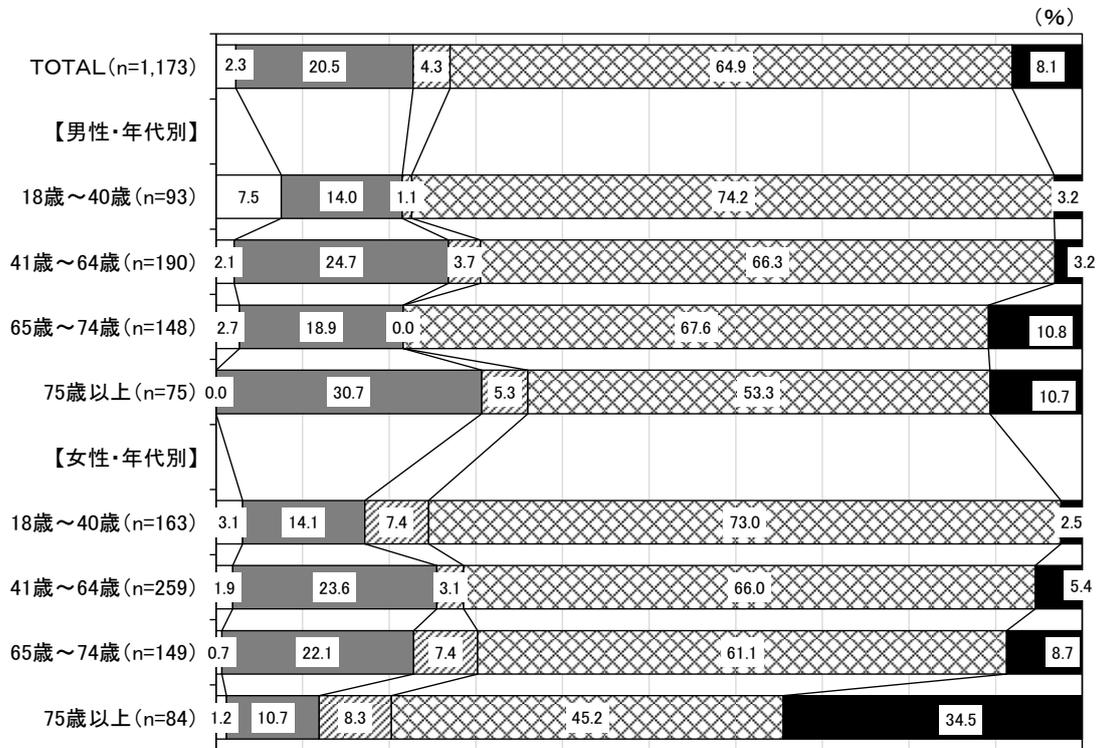
上段: 度数
下段: %

Ⅲ 調査結果

話し相手や相談相手

【性別×年代】

「困っている」「将来は不安がある」「助けてもらっている」を合わせた回答では、男性の「41歳～64歳」、「75歳以上」、女性の「65歳～74歳」で3割を超えています。



□困っている ■将来は不安がある □助けてもらっている □困っていない、不安はない ■無回答

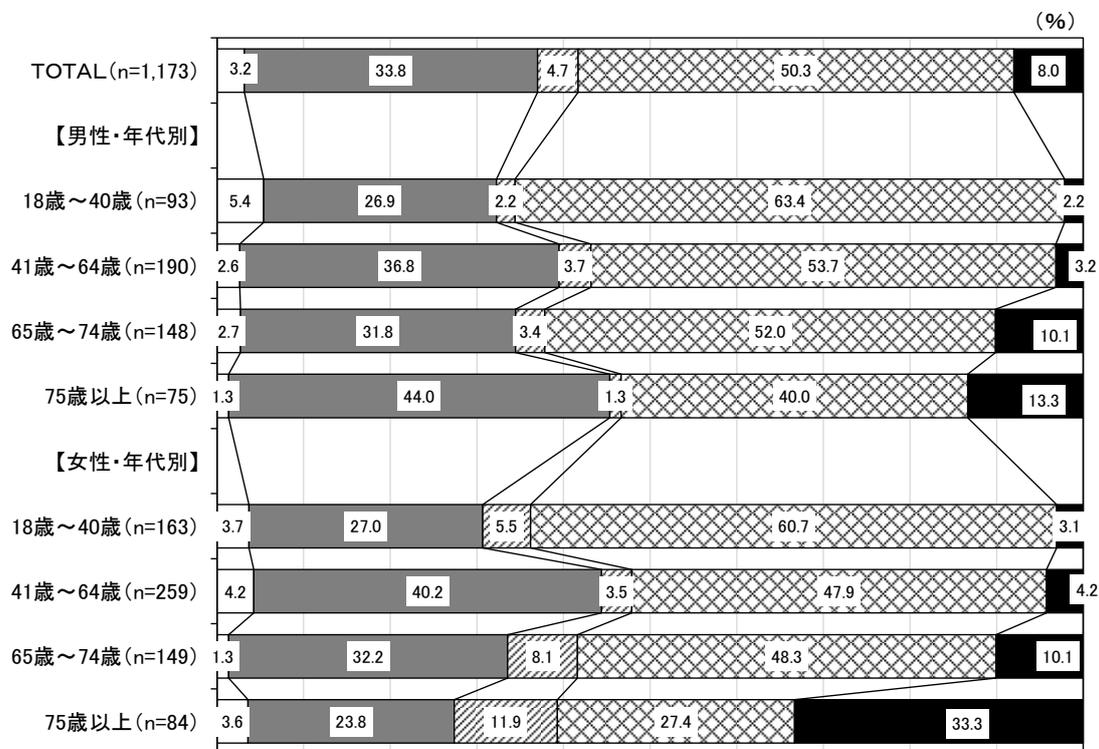
※性別×年代	n	困っている	ある将来は不安が	い助けてもらって	不安はない、困っていない	無回答
TOTAL	1,173	27	240	50	761	95
		2.3	20.5	4.3	64.9	8.1
【男性・年代別】						
18歳～40歳	93	7	13	1	69	3
		7.5	14.0	1.1	74.2	3.2
41歳～64歳	190	4	47	7	126	6
		2.1	24.7	3.7	66.3	3.2
65歳～74歳	148	4	28	0	100	16
		2.7	18.9	0.0	67.6	10.8
75歳以上	75	0	23	4	40	8
		0.0	30.7	5.3	53.3	10.7
【女性・年代別】						
18歳～40歳	163	5	23	12	119	4
		3.1	14.1	7.4	73.0	2.5
41歳～64歳	259	5	61	8	171	14
		1.9	23.6	3.1	66.0	5.4
65歳～74歳	149	1	33	11	91	13
		0.7	22.1	7.4	61.1	8.7
75歳以上	84	1	9	7	38	29
		1.2	10.7	8.3	45.2	34.5

上段: 度数
下段: %

緊急時に支えてくれる人

【性別×年代】

「困っている」「将来は不安がある」「助けてもらっている」を合わせた回答では、男性の「41歳～64歳」、「75歳以上」、女性の「41歳～74歳」で4割を超えています。



□困っている ■将来は不安がある ▨助けてもらっている ▩困っていない、不安はない ■無回答

※性別×年代	n	困っている	あ 将 来 は 不 安 が	い 助 け て も ら っ て	不 困 つ て い な い 、	無 回 答
TOTAL	1,173	37	397	55	590	94
		3.2	33.8	4.7	50.3	8.0
【男性・年代別】						
18歳～40歳	93	5	25	2	59	2
		5.4	26.9	2.2	63.4	2.2
41歳～64歳	190	5	70	7	102	6
		2.6	36.8	3.7	53.7	3.2
65歳～74歳	148	4	47	5	77	15
		2.7	31.8	3.4	52.0	10.1
75歳以上	75	1	33	1	30	10
		1.3	44.0	1.3	40.0	13.3
【女性・年代別】						
18歳～40歳	163	6	44	9	99	5
		3.7	27.0	5.5	60.7	3.1
41歳～64歳	259	11	104	9	124	11
		4.2	40.2	3.5	47.9	4.2
65歳～74歳	149	2	48	12	72	15
		1.3	32.2	8.1	48.3	10.1
75歳以上	84	3	20	10	23	28
		3.6	23.8	11.9	27.4	33.3

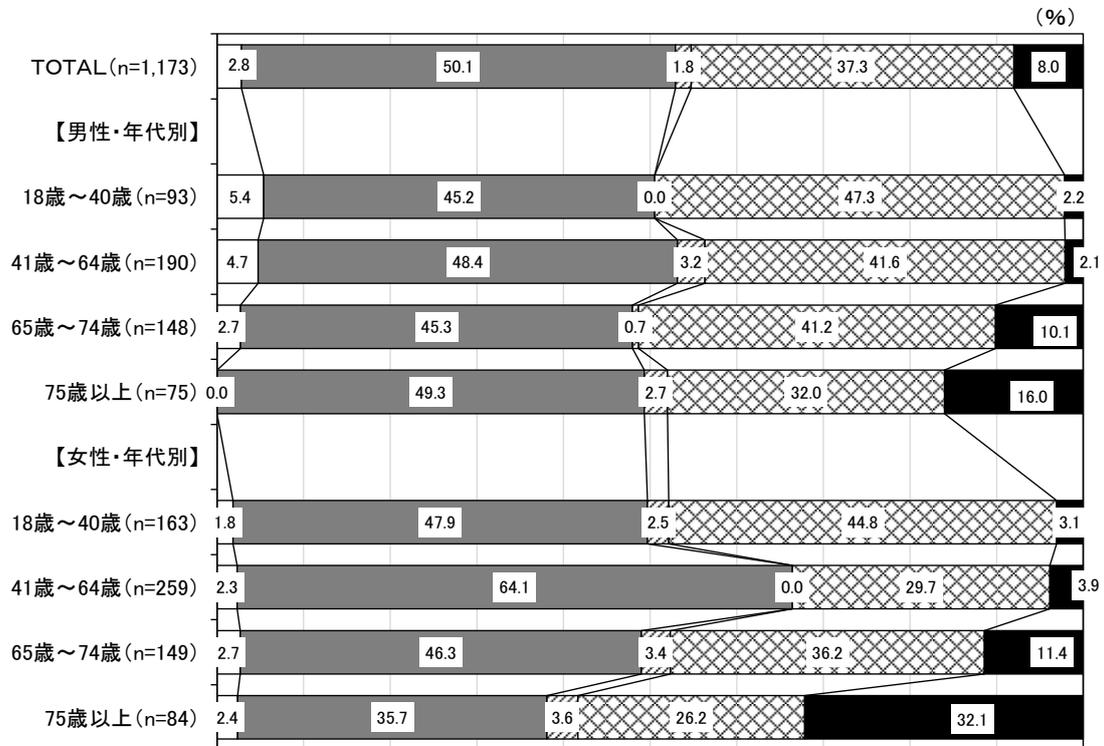
上段：度数
下段：%

Ⅲ 調査結果

地震や台風などの自然災害

【性別×年代】

「困っている」「将来は不安がある」「助けてもらっている」を合わせた回答では、女性の「41歳～64歳」が6割を超えています。



□困っている ■将来は不安がある □助けてもらっている □困っていない、不安はない ■無回答

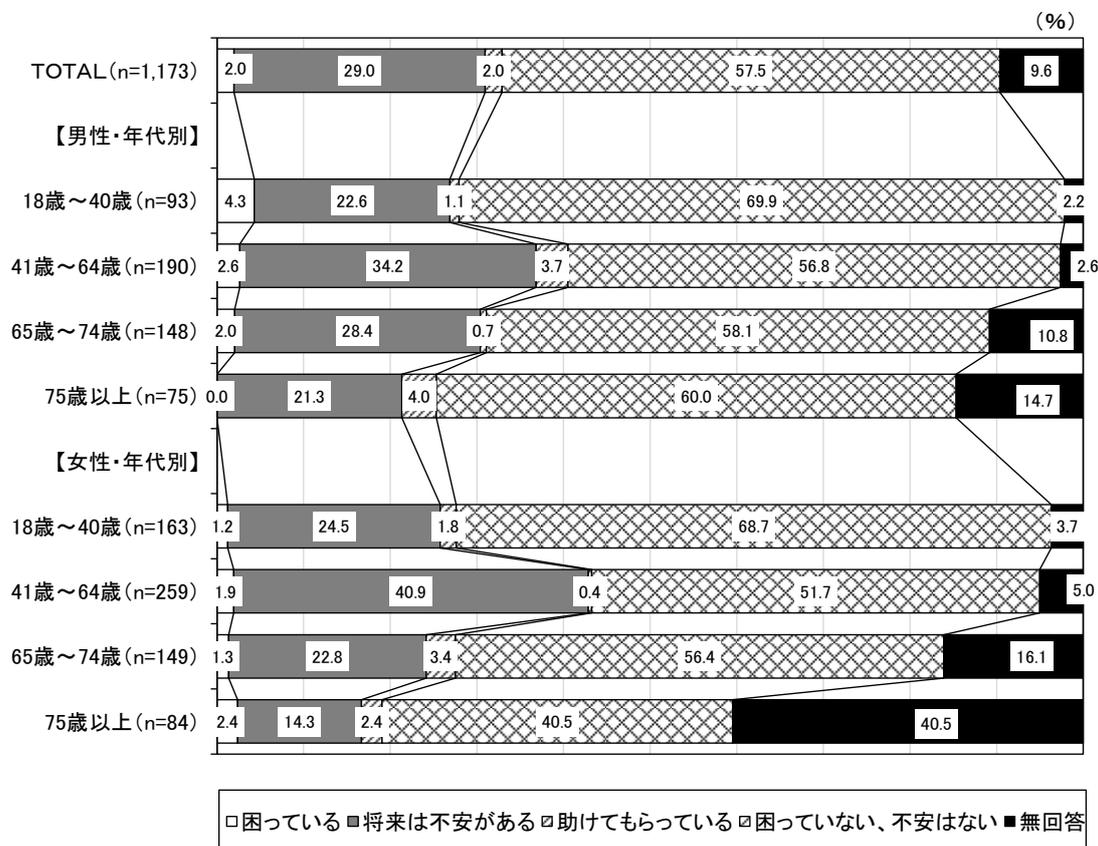
※性別×年代	n	困っている	ある将来は不安がある	助けてもらっている	困っていない、不安はない	無回答
TOTAL	1,173	33	588	21	437	94
【男性・年代別】						
18歳～40歳	93	5	42	0	44	2
41歳～64歳	190	9	92	6	79	4
65歳～74歳	148	4	67	1	61	15
75歳以上	75	0	37	2	24	12
【女性・年代別】						
18歳～40歳	163	3	78	4	73	5
41歳～64歳	259	6	166	0	77	10
65歳～74歳	149	4	69	5	54	17
75歳以上	84	2	30	3	22	27

上段: 度数
下段: %

地域の治安

【性別×年代】

「困っている」「将来は不安がある」「助けてもらっている」を合わせた回答では、男女ともに「41歳～64歳」で4割を超えています。



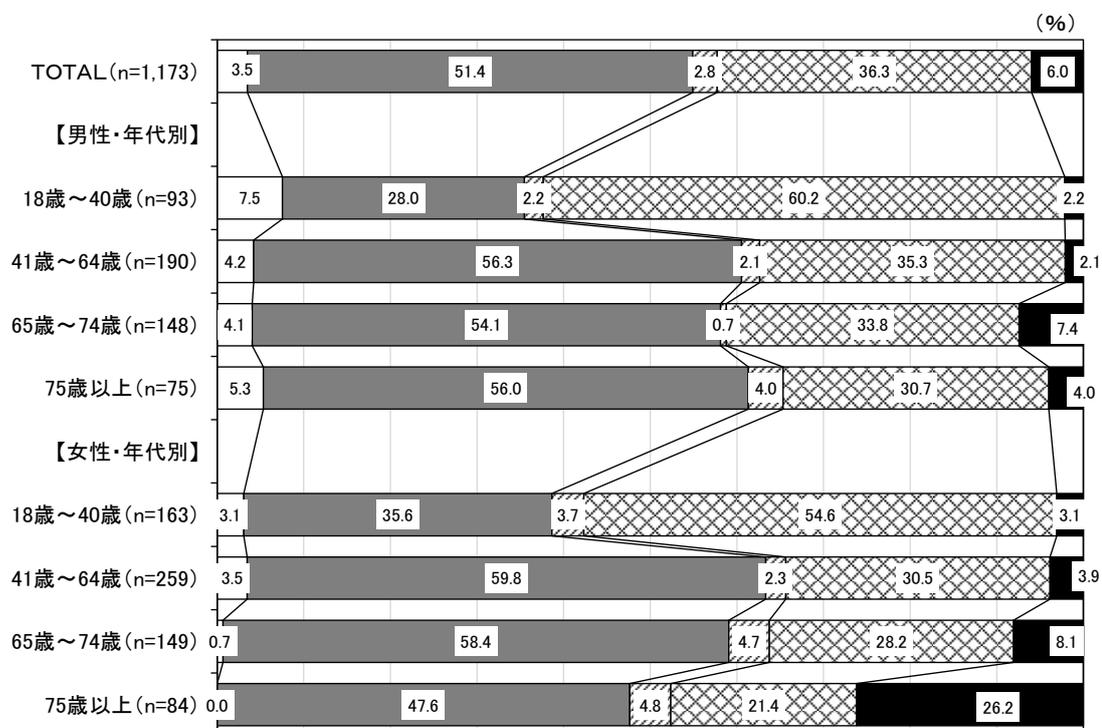
※性別×年代	n	困っている	ある将来は不安がある	い助けてもらっている	不安困っていない、不安はない	無回答	上段: 度数 下段: %	
							度数	%
TOTAL	1,173	23	340	23	674	113	2.0	9.6
【男性・年代別】								
18歳～40歳	93	4	21	1	65	2	4.3	2.2
41歳～64歳	190	5	65	7	108	5	2.6	2.6
65歳～74歳	148	3	42	1	86	16	2.0	10.8
75歳以上	75	0	16	3	45	11	0.0	14.7
【女性・年代別】								
18歳～40歳	163	2	40	3	112	6	1.2	3.7
41歳～64歳	259	5	106	1	134	13	1.9	5.0
65歳～74歳	149	2	34	5	84	24	1.3	16.1
75歳以上	84	2	12	2	34	34	2.4	40.5

Ⅲ 調査結果

健康状態

【性別×年代】

「困っている」「将来は不安がある」「助けてもらっている」を合わせた回答は、男性では『41歳以上』で6割前後、女性では「41歳～64歳」が65.6%と最も多くなっていますが、年齢とともに少なくなり、「75歳以上」では52.4%となっています。



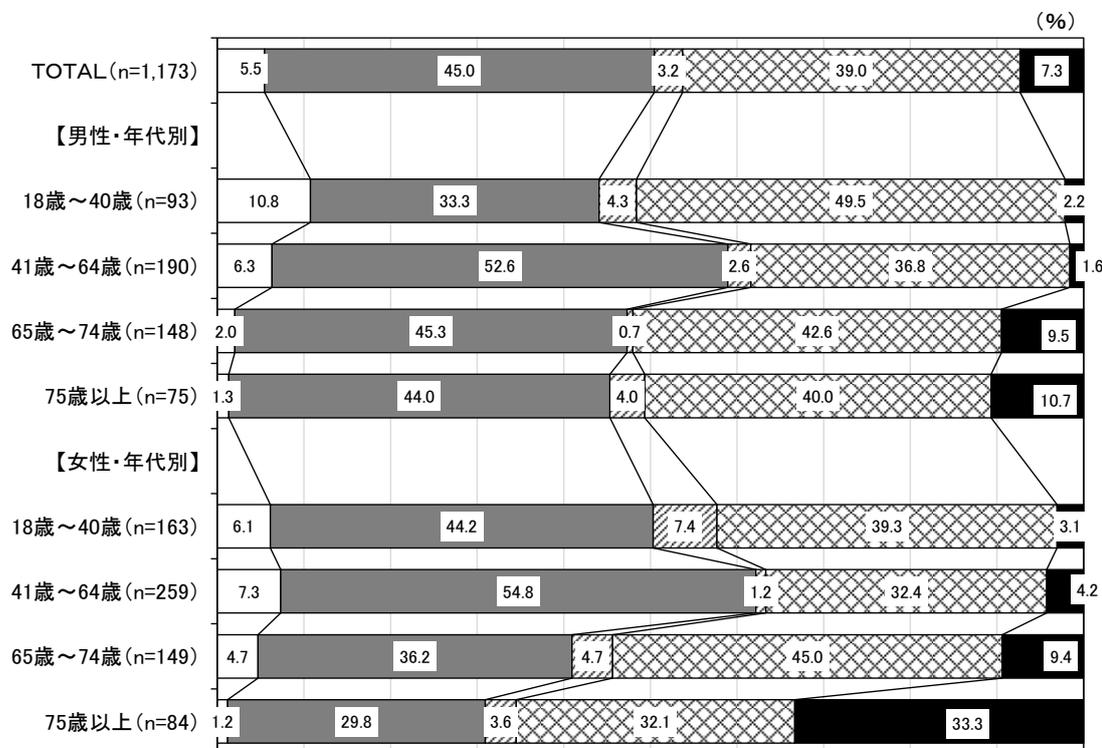
□困っている ■将来は不安がある ▨助けてもらっている ▩困っていない、不安はない ■無回答

※性別×年代	n	困っている	あ 将 来 は 不 安 が	い 助 け て も ら っ て	不 困 つ て い な い、	無 回 答	上段: 度数 下段: %
TOTAL	1,173	41	603	33	426	70	
		3.5	51.4	2.8	36.3	6.0	
【男性・年代別】							
18歳～40歳	93	7	26	2	56	2	
		7.5	28.0	2.2	60.2	2.2	
41歳～64歳	190	8	107	4	67	4	
		4.2	56.3	2.1	35.3	2.1	
65歳～74歳	148	6	80	1	50	11	
		4.1	54.1	0.7	33.8	7.4	
75歳以上	75	4	42	3	23	3	
		5.3	56.0	4.0	30.7	4.0	
【女性・年代別】							
18歳～40歳	163	5	58	6	89	5	
		3.1	35.6	3.7	54.6	3.1	
41歳～64歳	259	9	155	6	79	10	
		3.5	59.8	2.3	30.5	3.9	
65歳～74歳	149	1	87	7	42	12	
		0.7	58.4	4.7	28.2	8.1	
75歳以上	84	0	40	4	18	22	
		0.0	47.6	4.8	21.4	26.2	

経済的な状況

【性別×年代】

「困っている」「将来は不安がある」「助けられている」を合わせた回答では、男女ともに「41歳～64歳」で6割を超えています。



□困っている ■将来は不安がある ▨助けられている □困っていない、不安はない ■無回答

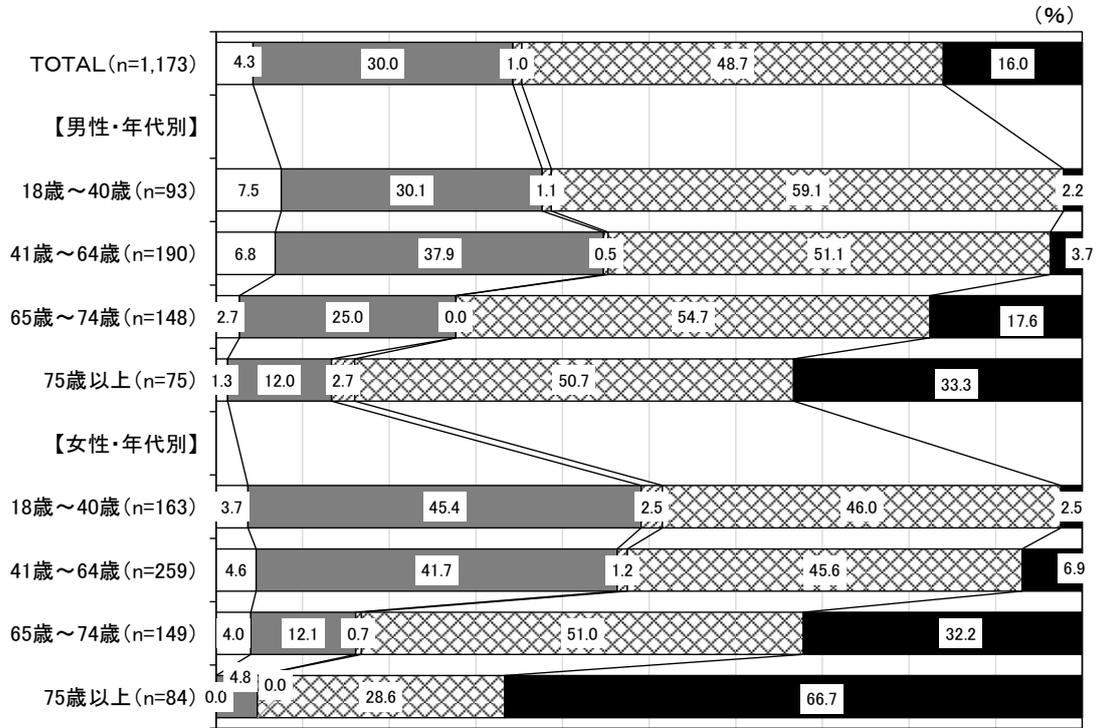
※性別×年代	n	困っている	ある将来は不安がある	い助けてもらっている	不困っていない、不安はない	無回答
		上段: 度数	下段: %	上段: 度数	下段: %	上段: 度数
TOTAL	1,173	64	528	38	457	86
【男性・年代別】						
18歳～40歳	93	10	31	4	46	2
41歳～64歳	190	12	100	5	70	3
65歳～74歳	148	3	67	1	63	14
75歳以上	75	1	33	3	30	8
【女性・年代別】						
18歳～40歳	163	10	72	12	64	5
41歳～64歳	259	19	142	3	84	11
65歳～74歳	149	7	54	7	67	14
75歳以上	84	1	25	3	27	28

Ⅲ 調査結果

就労や雇用の状況

【性別×年代】

「困っている」「将来は不安がある」「助けてもらっている」を合わせた回答では、男性の「41歳～64歳」女性の『18歳～64歳』で4割を超えています。



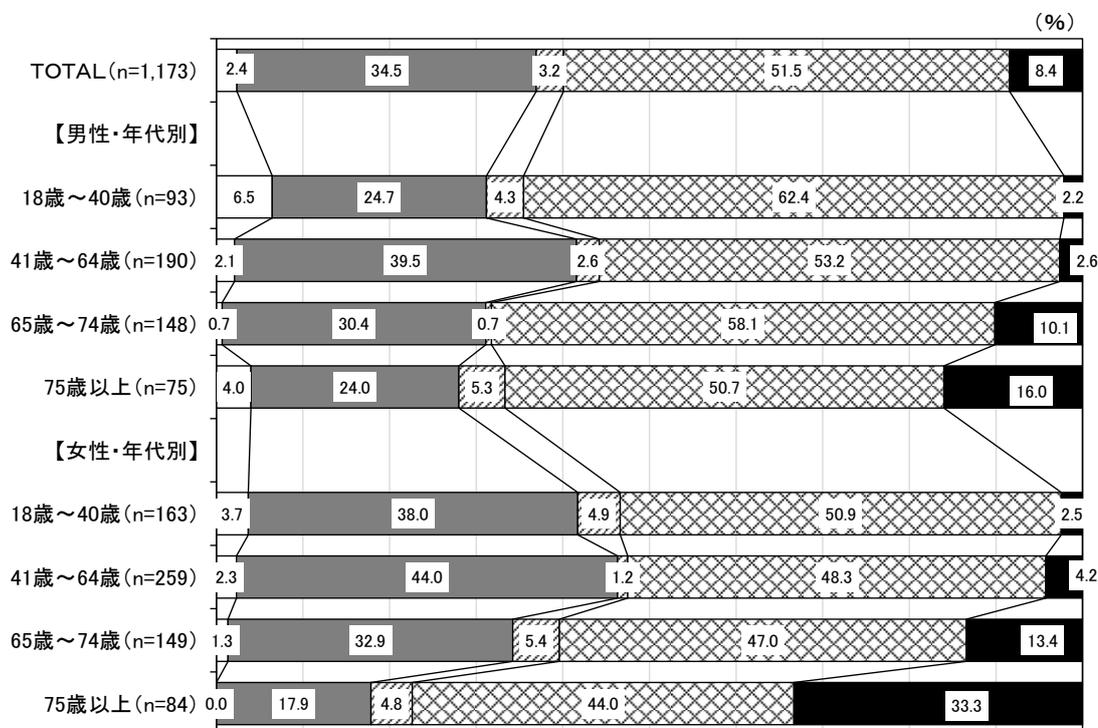
□困っている ■将来は不安がある □助けてもらっている □困っていない、不安はない ■無回答

※性別×年代	n	困っている	ある将来は不安がある	い助けてもらっている	不安はない、困っていない	無回答
		上段: 度数	下段: %	上段: 度数	下段: %	上段: 度数
TOTAL	1,173	50 4.3	352 30.0	12 1.0	571 48.7	188 16.0
【男性・年代別】						
18歳～40歳	93	7 7.5	28 30.1	1 1.1	55 59.1	2 2.2
41歳～64歳	190	13 6.8	72 37.9	1 0.5	97 51.1	7 3.7
65歳～74歳	148	4 2.7	37 25.0	0 0.0	81 54.7	26 17.6
75歳以上	75	1 1.3	9 12.0	2 2.7	38 50.7	25 33.3
【女性・年代別】						
18歳～40歳	163	6 3.7	74 45.4	4 2.5	75 46.0	4 2.5
41歳～64歳	259	12 4.6	108 41.7	3 1.2	118 45.6	18 6.9
65歳～74歳	149	6 4.0	18 12.1	1 0.7	76 51.0	48 32.2
75歳以上	84	0 0.0	4 4.8	0 0.0	24 28.6	56 66.7

お金の管理や契約などの判断

【性別×年代】

「困っている」「将来は不安がある」「助けてもらっている」を合わせた回答では、男性の「41歳～64歳」女性の『18歳～64歳』で4割を超えています。



□困っている ■将来は不安がある □助けてもらっている □困っていない、不安はない ■無回答

※性別×年代	n	困っている	ある将来は不安がある	助けてもらっている	困っていない、不安はない	無回答
TOTAL	1,173	28	405	37	604	99
【男性・年代別】						
18歳～40歳	93	6	23	4	58	2
41歳～64歳	190	4	75	5	101	5
65歳～74歳	148	1	45	1	86	15
75歳以上	75	3	18	4	38	12
【女性・年代別】						
18歳～40歳	163	6	62	8	83	4
41歳～64歳	259	6	114	3	125	11
65歳～74歳	149	2	49	8	70	20
75歳以上	84	0	15	4	37	28

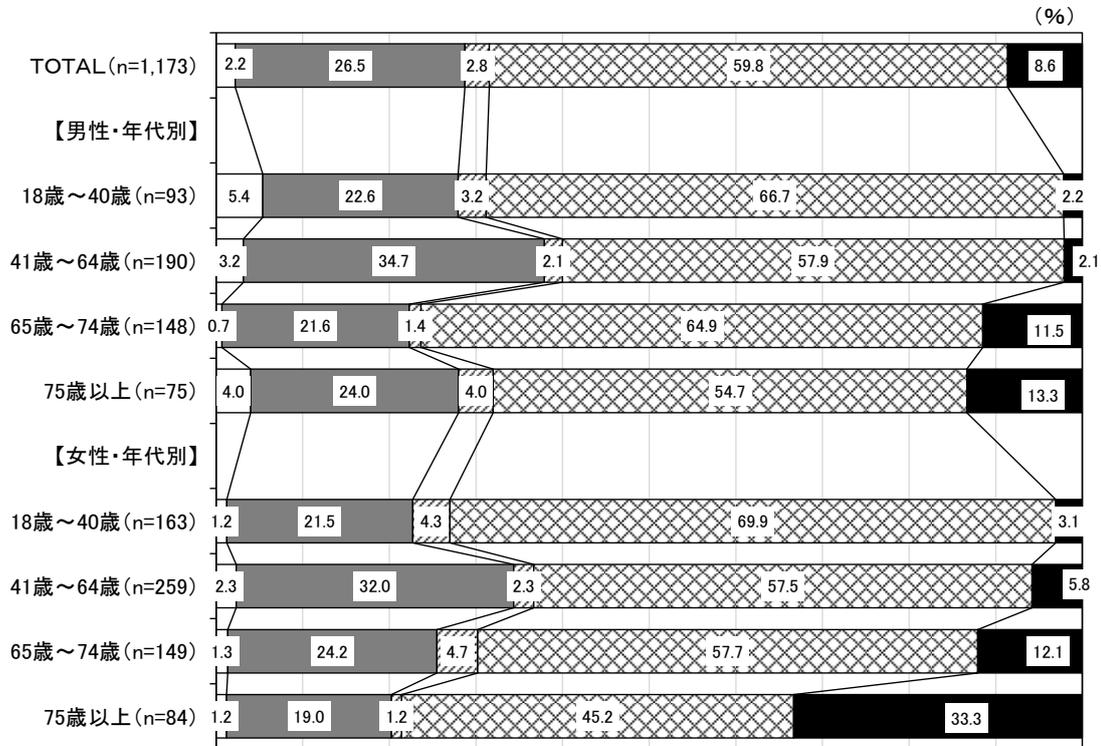
上段: 度数
下段: %

Ⅲ 調査結果

家族やまわりの人との人間関係

【性別×年代】

「困っている」「将来は不安がある」「助けてもらっている」を合わせた回答では、男性の「41歳～64歳」で4割となっています。



□困っている ■将来は不安がある □助けてもらっている □困っていない、不安はない ■無回答

※性別×年代	n	困っている	将来は不安がある	助けてもらっている	困っていない、不安はない	無回答
TOTAL	1,173	26	311	33	702	101
		2.2	26.5	2.8	59.8	8.6
【男性・年代別】						
18歳～40歳	93	5	21	3	62	2
		5.4	22.6	3.2	66.7	2.2
41歳～64歳	190	6	66	4	110	4
		3.2	34.7	2.1	57.9	2.1
65歳～74歳	148	1	32	2	96	17
		0.7	21.6	1.4	64.9	11.5
75歳以上	75	3	18	3	41	10
		4.0	24.0	4.0	54.7	13.3
【女性・年代別】						
18歳～40歳	163	2	35	7	114	5
		1.2	21.5	4.3	69.9	3.1
41歳～64歳	259	6	83	6	149	15
		2.3	32.0	2.3	57.5	5.8
65歳～74歳	149	2	36	7	86	18
		1.3	24.2	4.7	57.7	12.1
75歳以上	84	1	16	1	38	28
		1.2	19.0	1.2	45.2	33.3

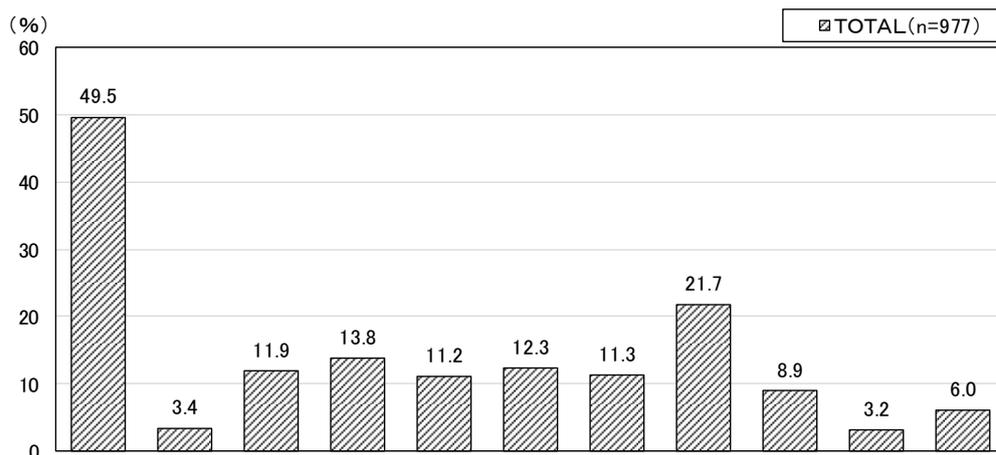
上段: 度数
下段: %

問 17 問 16 でお聞きしたような日常生活の困りごとや不安について、どのように対応しますか（しましたか）。（〇はいくつでも）※一部の困りごとや不安に対し、している（した）こともあげてください。

「家族や友人、知人に相談した」が 49.5%と最も多く、次いで「それほどのことではないので、なにもしない」が 21.7%、「市のホームページで必要な情報を探す」が 13.8%となっています。

【性別×年代】

「家族や友人、知人に相談した」では、男女ともに「18歳～40歳」で最も多くなっています。



※性別×年代	n	家族や友人、知人に相談した	民生委員・児童委員に相談した	市や専門機関、専門家などに相談した	市のホームページで必要な情報を探す	インターネットやSNSで質問をする	これから相談や行動をしたいと思っている	相談や行動したいと思うが、どこに相談すればいいのかかわからない	それほどのことではないので、どうすればよいかわからない	その他	無回答	
TOTAL	977	484 49.5	33 3.4	116 11.9	135 13.8	109 11.2	120 12.3	110 11.3	212 21.7	87 8.9	31 3.2	59 6.0
【男性・年代別】												
18歳～40歳	77	42 54.5	2 2.6	6 7.8	9 11.7	17 22.1	6 7.8	10 13.0	14 18.2	11 14.3	4 5.2	2 2.6
41歳～64歳	161	76 47.2	2 1.2	17 10.6	27 16.8	21 13.0	19 11.8	16 9.9	41 25.5	20 12.4	4 2.5	6 3.7
65歳～74歳	114	36 31.6	5 4.4	16 14.0	15 13.2	9 7.9	24 21.1	14 12.3	32 28.1	6 5.3	2 1.8	9 7.9
75歳以上	60	21 35.0	2 3.3	5 8.3	6 10.0	4 6.7	15 25.0	9 15.0	9 15.0	4 6.7	5 8.3	7 11.7
【女性・年代別】												
18歳～40歳	139	96 69.1	3 2.2	14 10.1	26 18.7	22 15.8	11 7.9	17 12.2	25 18.0	11 7.9	3 2.2	4 2.9
41歳～64歳	224	117 52.2	7 3.1	37 16.5	35 15.6	28 12.5	20 8.9	19 8.5	44 19.6	19 8.5	9 4.0	12 5.4
65歳～74歳	124	63 50.8	5 4.0	14 11.3	13 10.5	5 4.0	17 13.7	11 8.9	28 22.6	11 8.9	3 2.4	12 9.7
75歳以上	69	29 42.0	6 8.7	5 7.2	2 2.9	0 0.0	6 8.7	10 14.5	17 24.6	4 5.8	1 1.4	7 10.1

上段:度数
下段:%

■ TOTALより5ポイントを上回るもの
 ■ TOTALより5ポイントを下回るもの

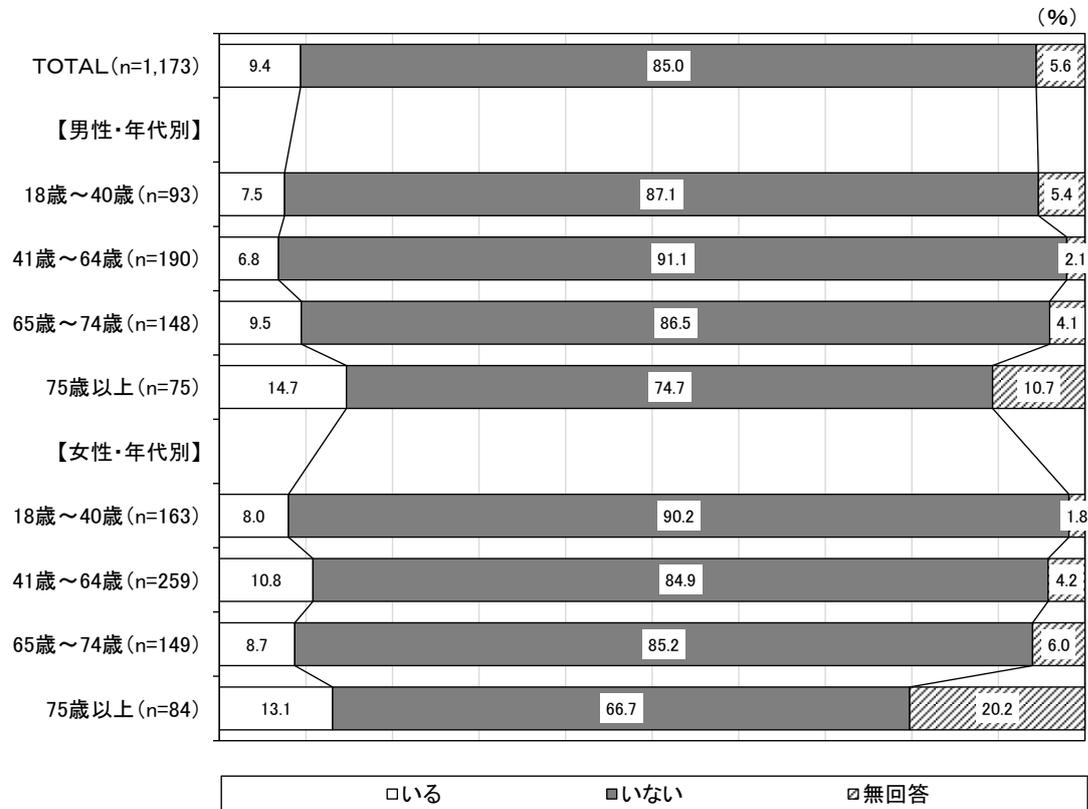
Ⅲ 調査結果

問 18 家族や親族以外で、地域に気がかりな人がいますか。(〇は1つ)

「いる」が9.4%、「いない」が85.0%となっています。

【性別×年代】

「いる」では、男性の「75歳以上」、女性の「41歳～64歳」「75歳以上」で1割を超えています。



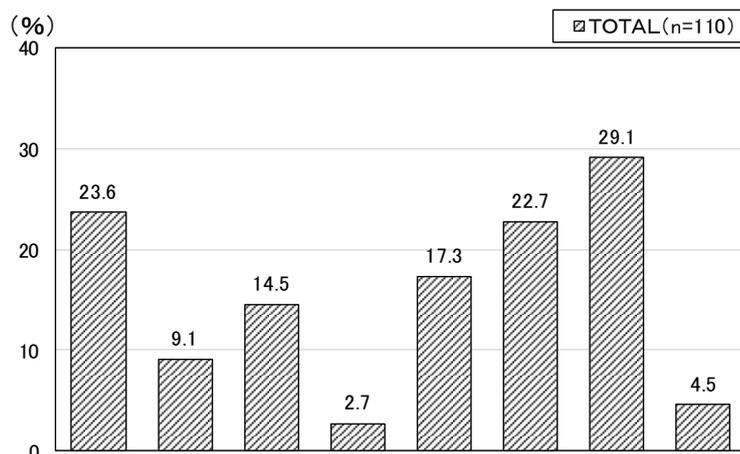
※性別×年代	n	いる	いない	無回答	上段: 度数 下段: %
TOTAL	1,173	110	997	66	9.4 85.0 5.6
【男性・年代別】					
18歳～40歳	93	7	81	5	7.5 87.1 5.4
41歳～64歳	190	13	173	4	6.8 91.1 2.1
65歳～74歳	148	14	128	6	9.5 86.5 4.1
75歳以上	75	11	56	8	14.7 74.7 10.7
【女性・年代別】					
18歳～40歳	163	13	147	3	8.0 90.2 1.8
41歳～64歳	259	28	220	11	10.8 84.9 4.2
65歳～74歳	149	13	127	9	8.7 85.2 6.0
75歳以上	84	11	56	17	13.1 66.7 20.2

問 19 問 18 で「いる」と答えた場合、どのような方ですか。(〇はいくつでも)

「本人や家族の介護で困っている」が 23.6%と最も多く、次いで「地域から孤立している」が 22.7% となっています。

【性別×年代】

「地域から孤立している」では、男性の「65 歳～74 歳」、女性の「18 歳～40 歳」で最も多くなっています。



※性別×年代	n	いる 本人や家族の 介護で困って	子育てで 困っている	経済的に 困っている	虐待や暴力 (恐れも含む) を受けている	引きこもって 学校や仕事に 行けていない	地域から 孤立している	その他	無 回答	上段: 度数
										下段: %
TOTAL	110	26	10	16	3	19	25	32	5	23.6
【男性・年代別】										
18歳～40歳	7	1	1	1	1	1	2	2	0	14.3
41歳～64歳	13	4	1	1	1	2	3	3	0	30.8
65歳～74歳	14	3	2	3	0	1	5	4	0	21.4
75歳以上	11	2	0	1	0	1	3	3	1	18.2
【女性・年代別】										
18歳～40歳	13	3	2	2	0	2	5	5	0	23.1
41歳～64歳	28	8	4	6	0	9	3	8	1	28.6
65歳～74歳	13	4	0	0	0	1	1	6	1	30.8
75歳以上	11	1	0	2	1	2	3	1	2	9.1

■ TOTALより5ポイントを上回るもの
 ■ TOTALより5ポイントを下回るもの

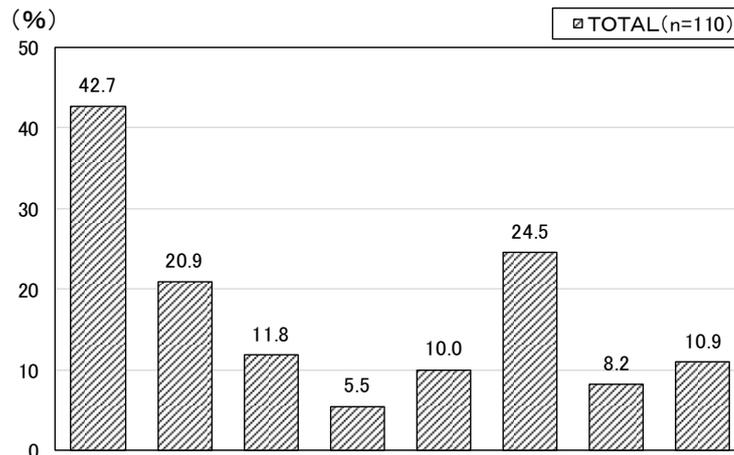
Ⅲ 調査結果

問 20 問 19 の気がかりな人に対し、何かしていますか（しましたか）。（〇はいくつでも）

「気にかけて見守っている」が42.7%と最も多く、次いで「特になにもしていない」が24.5%、「相談のったり、助けたりしている」が20.9%となっています。

【性別×年代】

「気にかけて見守っている」では、女性の『41歳～74歳』で5割を超えています。一方で男性の「75歳以上」で「特になにもしていない」が5割を超えています。



※性別×年代	n	気にかけて見守っている	相談のったり、助けたりしている	市や専門機関、地域のひとなどに相談している	支援したいが、本人や家族などから拒否されている	支援のかわからない	特になにもしていない	その他	無回答
TOTAL	110	47 42.7	23 20.9	13 11.8	6 5.5	11 10.0	27 24.5	9 8.2	12 10.9
【男性・年代別】									
18歳～40歳	7	3 42.9	1 14.3	3 42.9	1 14.3	0 0.0	1 14.3	0 0.0	1 14.3
41歳～64歳	13	3 23.1	0 0.0	2 15.4	0 0.0	4 30.8	5 38.5	0 0.0	0 0.0
65歳～74歳	14	6 42.9	5 35.7	3 21.4	0 0.0	1 7.1	3 21.4	2 14.3	0 0.0
75歳以上	11	5 45.5	2 18.2	0 0.0	0 0.0	1 9.1	6 54.5	1 9.1	0 0.0
【女性・年代別】									
18歳～40歳	13	2 15.4	3 23.1	0 0.0	1 7.7	2 15.4	4 30.8	3 23.1	1 7.7
41歳～64歳	28	15 53.6	6 21.4	5 17.9	1 3.6	2 7.1	6 21.4	3 10.7	3 10.7
65歳～74歳	13	8 61.5	2 15.4	0 0.0	2 15.4	1 7.7	1 7.7	0 0.0	3 23.1
75歳以上	11	5 45.5	4 36.4	0 0.0	1 9.1	0 0.0	1 9.1	0 0.0	4 36.4

上段: 度数
下段: %

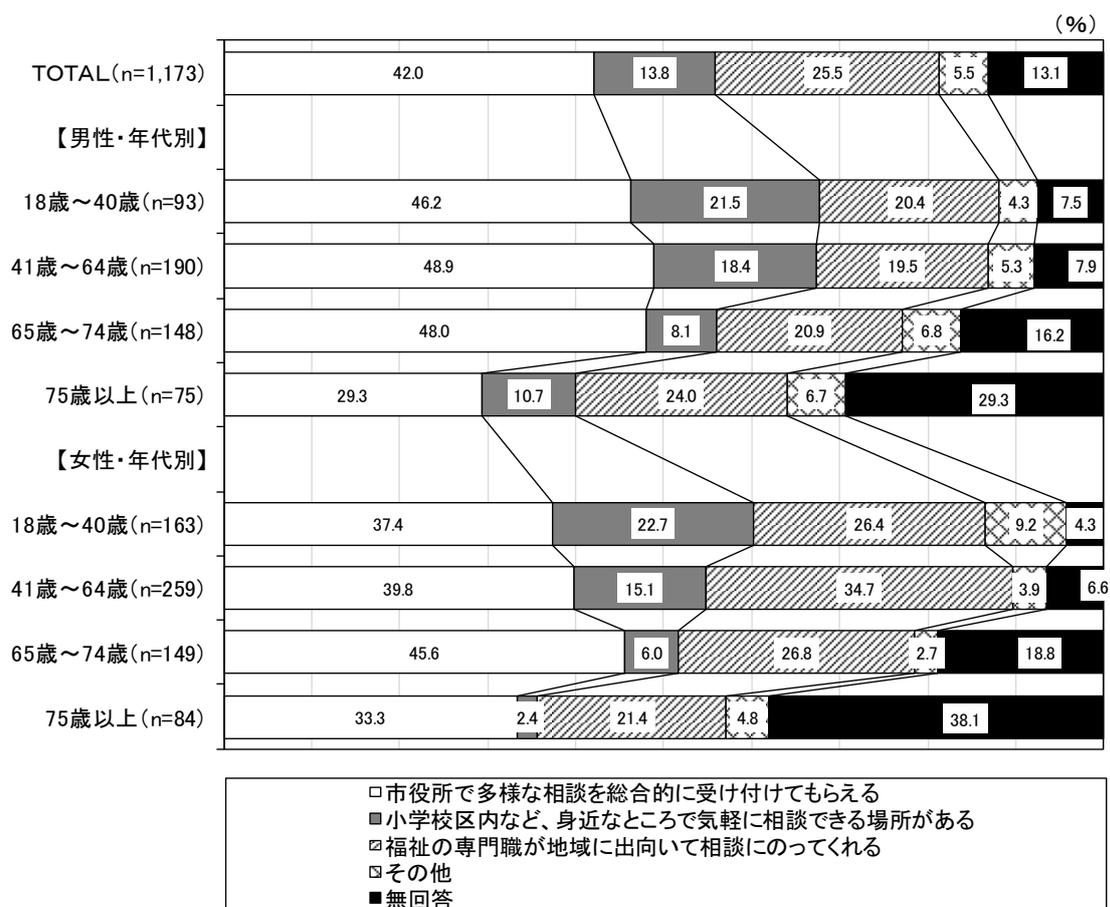
■ TOTALより5ポイントを上回るもの
 ■ TOTALより5ポイントを下回るもの

問 21 日常生活に困りごとがあったとき(問 17)や、気がかりな人に気づいたとき(問 18)、どのような仕組みがあると解決に向けて行動ができますか。(〇は1つ)

「市役所で多様な相談を総合的に受け付けてもらえる」が 42.0%と最も多く、次いで「福祉の専門職が地域に出向いて相談にのってくれる」が 25.5%、「小学校区内など、身近なところで気軽に相談できる場所がある」が 13.8%となっています。

【性別×年代】

「市役所で多様な相談を総合的に受け付けてもらえる」では、男女ともに『18歳～74歳』で4割、「小学校区内など、身近なところで気軽に相談できる場所がある」では、男女ともに「18歳～40歳」で2割を超えています。



Ⅲ 調査結果

※性別×年代	n	総合的に受け付けても	市役所で多様な相談を	できる場所があるに	なと、軽に相談	小学校区内など、身近	くれる	出向いて専門職の地域に	福祉の専門職の地域に	その他	無回答
TOTAL	1,173	493	162	299	65	154					
		42.0	13.8	25.5	5.5	13.1					
【男性・年代別】											
18歳～40歳	93	43	20	19	4	7					
		46.2	21.5	20.4	4.3	7.5					
41歳～64歳	190	93	35	37	10	15					
		48.9	18.4	19.5	5.3	7.9					
65歳～74歳	148	71	12	31	10	24					
		48.0	8.1	20.9	6.8	16.2					
75歳以上	75	22	8	18	5	22					
		29.3	10.7	24.0	6.7	29.3					
【女性・年代別】											
18歳～40歳	163	61	37	43	15	7					
		37.4	22.7	26.4	9.2	4.3					
41歳～64歳	259	103	39	90	10	17					
		39.8	15.1	34.7	3.9	6.6					
65歳～74歳	149	68	9	40	4	28					
		45.6	6.0	26.8	2.7	18.8					
75歳以上	84	28	2	18	4	32					
		33.3	2.4	21.4	4.8	38.1					

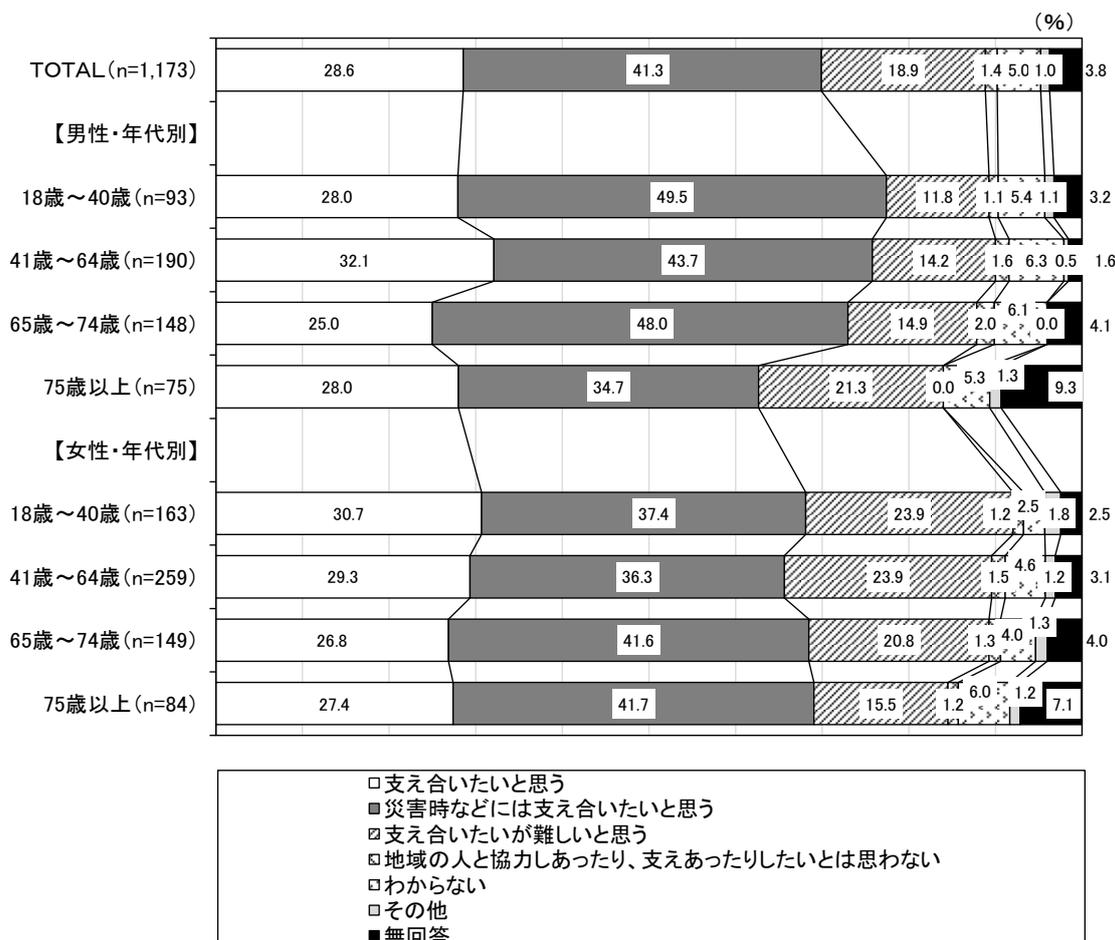
上段: 度数
下段: %

問 22 日常生活の困りごとや不安を解決するひとつの方法として、地域の中で協力しあひ、支えあふことについてどう思いますか。(〇は1つ)

「災害時などには支え合いたいと思う」が 41.3%と最も多く、次いで「支え合いたいと思う」が 28.6%、「支え合いたいと思う」が 18.9%となっています。

【性別×年代】

「支え合いたいと思う」では、男性の「41歳～64歳」、女性の「18歳～40歳」で3割を超えています。



Ⅲ 調査結果

※性別×年代	n	支え合いたい と思う	災害時などには支え 合いたいと思う	支え合いたい が難しいと思う	地域のひとと協力しあつ たり、支えあつたりし たいとは思わない	わからない	その他	無 回 答
TOTAL	1,173	335 28.6	485 41.3	222 18.9	16 1.4	59 5.0	12 1.0	44 3.8
【男性・年代別】								
18歳～40歳	93	26 28.0	46 49.5	11 11.8	1 1.1	5 5.4	1 1.1	3 3.2
41歳～64歳	190	61 32.1	83 43.7	27 14.2	3 1.6	12 6.3	1 0.5	3 1.6
65歳～74歳	148	37 25.0	71 48.0	22 14.9	3 2.0	9 6.1	0 0.0	6 4.1
75歳以上	75	21 28.0	26 34.7	16 21.3	0 0.0	4 5.3	1 1.3	7 9.3
【女性・年代別】								
18歳～40歳	163	50 30.7	61 37.4	39 23.9	2 1.2	4 2.5	3 1.8	4 2.5
41歳～64歳	259	76 29.3	94 36.3	62 23.9	4 1.5	12 4.6	3 1.2	8 3.1
65歳～74歳	149	40 26.8	62 41.6	31 20.8	2 1.3	6 4.0	2 1.3	6 4.0
75歳以上	84	23 27.4	35 41.7	13 15.5	1 1.2	5 6.0	1 1.2	6 7.1

上段: 度数
下段: %

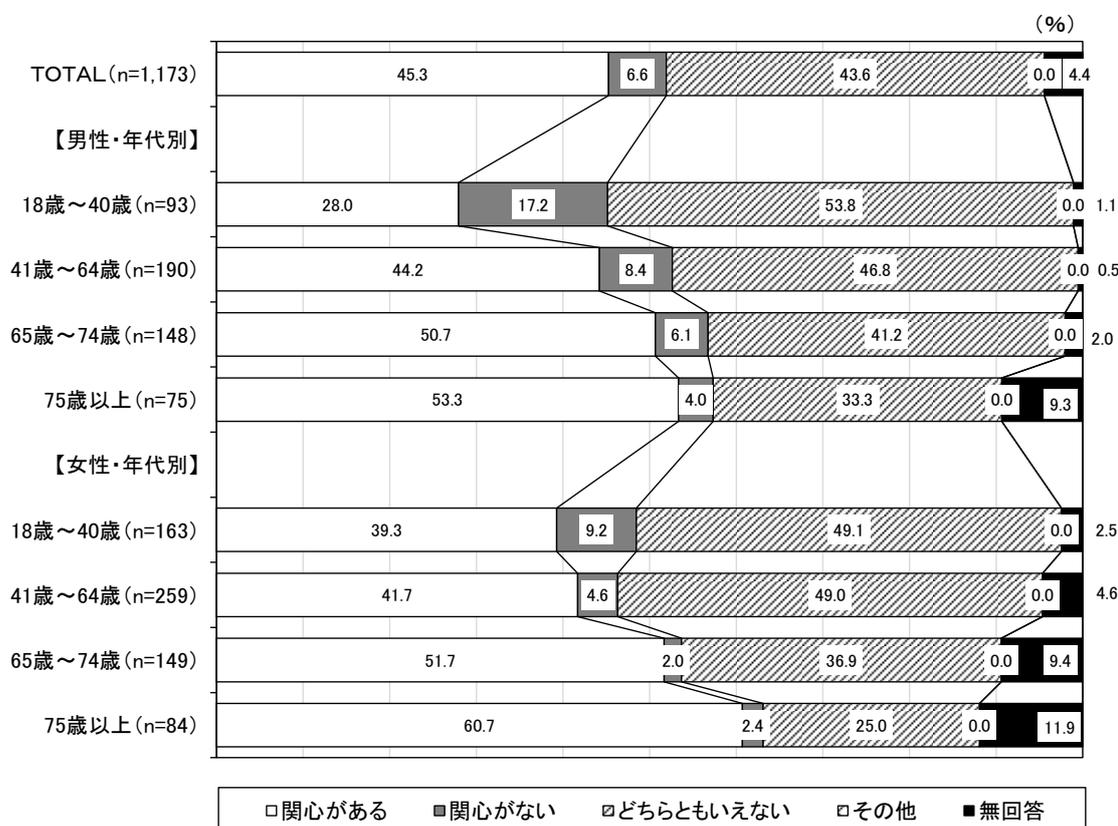
4. 福祉に関する考え

問 23 福祉に関心がありますか。(〇は1つ)

「関心がある」が 45.3%、「関心がない」が 6.6%、「どちらともいえない」が 43.6%となっています。

【性別×年代】

「関心がある」では、男女ともに年代が上がるに従い多くなっています。



※性別×年代	n	関心がある	関心がない	どちらともいえない	その他	無回答
TOTAL	1,173	531	78	512	0	52
		45.3	6.6	43.6	0.0	4.4
【男性・年代別】						
18歳～40歳	93	26	16	50	0	1
		28.0	17.2	53.8	0.0	1.1
41歳～64歳	190	84	16	89	0	1
		44.2	8.4	46.8	0.0	0.5
65歳～74歳	148	75	9	61	0	3
		50.7	6.1	41.2	0.0	2.0
75歳以上	75	40	3	25	0	7
		53.3	4.0	33.3	0.0	9.3
【女性・年代別】						
18歳～40歳	163	64	15	80	0	4
		39.3	9.2	49.1	0.0	2.5
41歳～64歳	259	108	12	127	0	12
		41.7	4.6	49.0	0.0	4.6
65歳～74歳	149	77	3	55	0	14
		51.7	2.0	36.9	0.0	9.4
75歳以上	84	51	2	21	0	10
		60.7	2.4	25.0	0.0	11.9

上段: 度数
下段: %

Ⅲ 調査結果

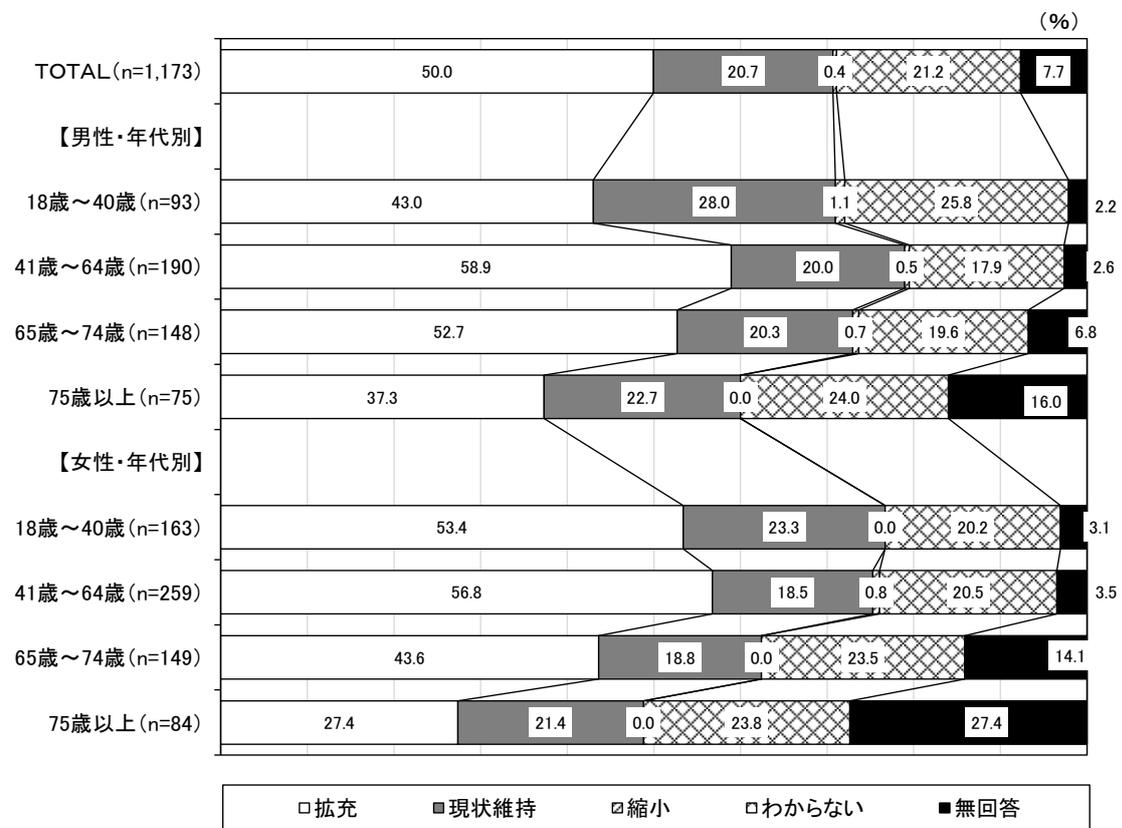
問 24 福祉施策や制度について、今後どうあるべきだと思いますか。(各項目に○は1つ)

「拡充」の回答が多い項目では、「認知症の人やその家族への支援」が最も多く、次いで「虐待やDV被害者への支援」となっています。「現状維持」の回答が多い項目では、「生活困窮者への支援」が最も多く、次いで「ひとり親家庭への支援」となっています。「縮小」の回答が多い項目では、「ひきこもりやニートへの支援」が最も多くなっています。

障害のある人が地域の中で暮らすための支援

【性別×年代】

「拡充」では、男性の『41歳～74歳』、女性の『18歳～64歳』が5割を超えています。



※性別×年代	n	拡 充	現 状 維 持	縮 小	わ か ら な い	無 回 答
TOTAL	1,173	586 50.0	243 20.7	5 0.4	249 21.2	90 7.7
【男性・年代別】						
18歳～40歳	93	40 43.0	26 28.0	1 1.1	24 25.8	2 2.2
41歳～64歳	190	112 58.9	38 20.0	1 0.5	34 17.9	5 2.6
65歳～74歳	148	78 52.7	30 20.3	1 0.7	29 19.6	10 6.8
75歳以上	75	28 37.3	17 22.7	0 0.0	18 24.0	12 16.0
【女性・年代別】						
18歳～40歳	163	87 53.4	38 23.3	0 0.0	33 20.2	5 3.1
41歳～64歳	259	147 56.8	48 18.5	2 0.8	53 20.5	9 3.5
65歳～74歳	149	65 43.6	28 18.8	0 0.0	35 23.5	21 14.1
75歳以上	84	23 27.4	18 21.4	0 0.0	20 23.8	23 27.4

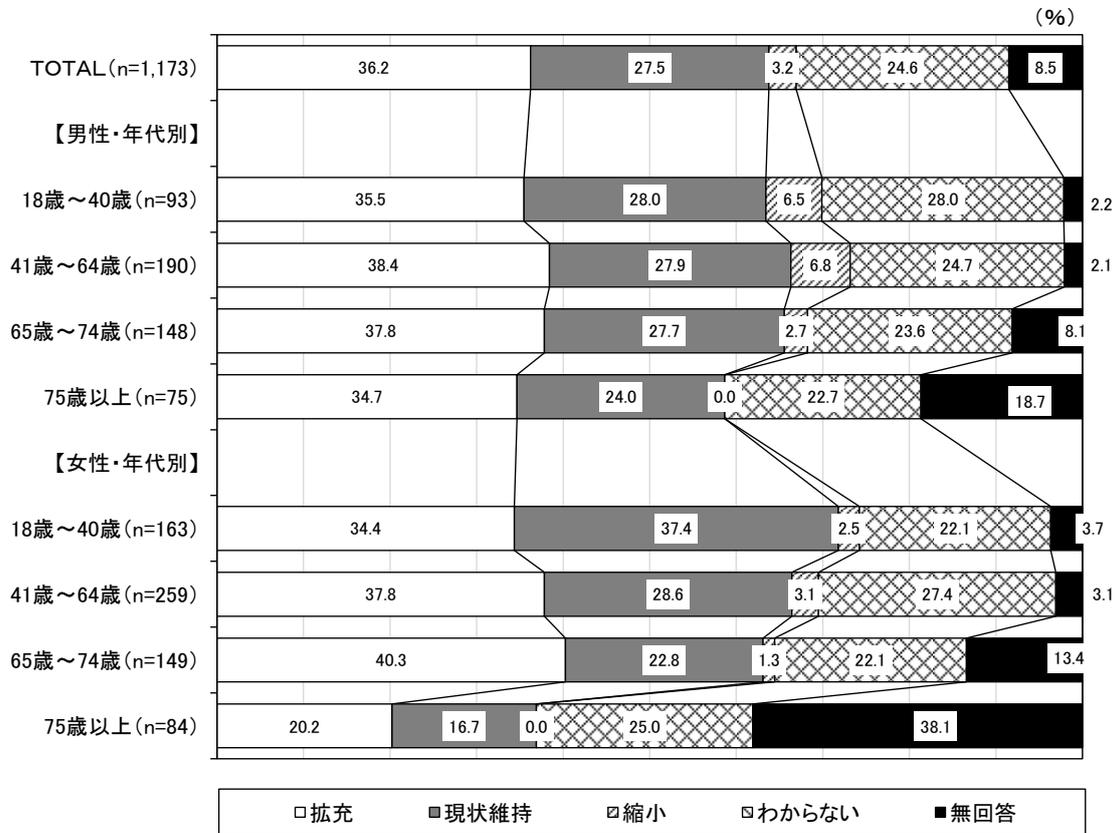
上段:度数
下段:%

Ⅲ 調査結果

生活困窮者への支援

【性別×年代】

「拡充」では、女性の「65歳～74歳」が4割を超えています。



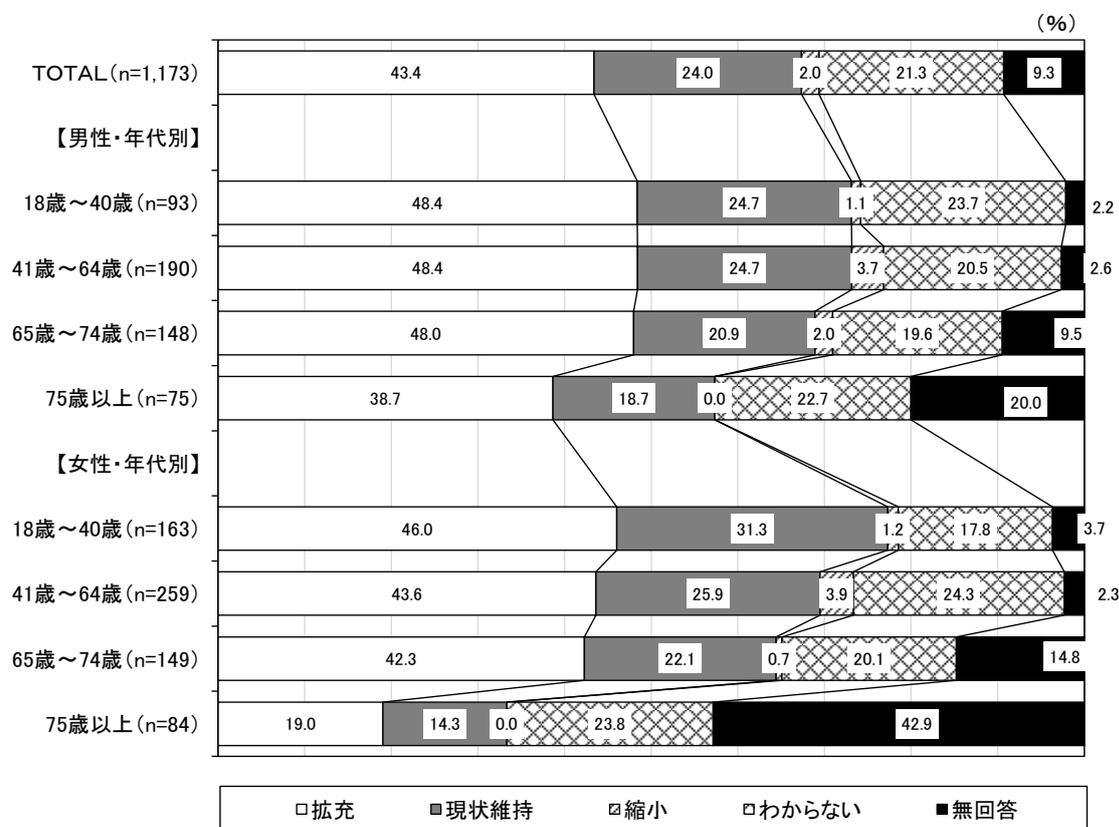
※性別×年代	n	拡充	現状維持	縮小	わからない	無回答
		度数	度数	度数	度数	度数
TOTAL	1,173	425	323	37	288	100
【男性・年代別】						
18歳～40歳	93	33	26	6	26	2
41歳～64歳	190	73	53	13	47	4
65歳～74歳	148	56	41	4	35	12
75歳以上	75	26	18	0	17	14
【女性・年代別】						
18歳～40歳	163	56	61	4	36	6
41歳～64歳	259	98	74	8	71	8
65歳～74歳	149	60	34	2	33	20
75歳以上	84	17	14	0	21	32

上段: 度数
下段: %

ひとり親家庭への支援

【性別×年代】

「拡充」では、男女ともに『18歳～74歳』が4割を超えています。



※性別×年代	n	拡充	現状維持	縮小	わからない	無回答
TOTAL	1,173	509	281	24	250	109
		43.4	24.0	2.0	21.3	9.3
【男性・年代別】						
18歳～40歳	93	45	23	1	22	2
		48.4	24.7	1.1	23.7	2.2
41歳～64歳	190	92	47	7	39	5
		48.4	24.7	3.7	20.5	2.6
65歳～74歳	148	71	31	3	29	14
		48.0	20.9	2.0	19.6	9.5
75歳以上	75	29	14	0	17	15
		38.7	18.7	0.0	22.7	20.0
【女性・年代別】						
18歳～40歳	163	75	51	2	29	6
		46.0	31.3	1.2	17.8	3.7
41歳～64歳	259	113	67	10	63	6
		43.6	25.9	3.9	24.3	2.3
65歳～74歳	149	63	33	1	30	22
		42.3	22.1	0.7	20.1	14.8
75歳以上	84	16	12	0	20	36
		19.0	14.3	0.0	23.8	42.9

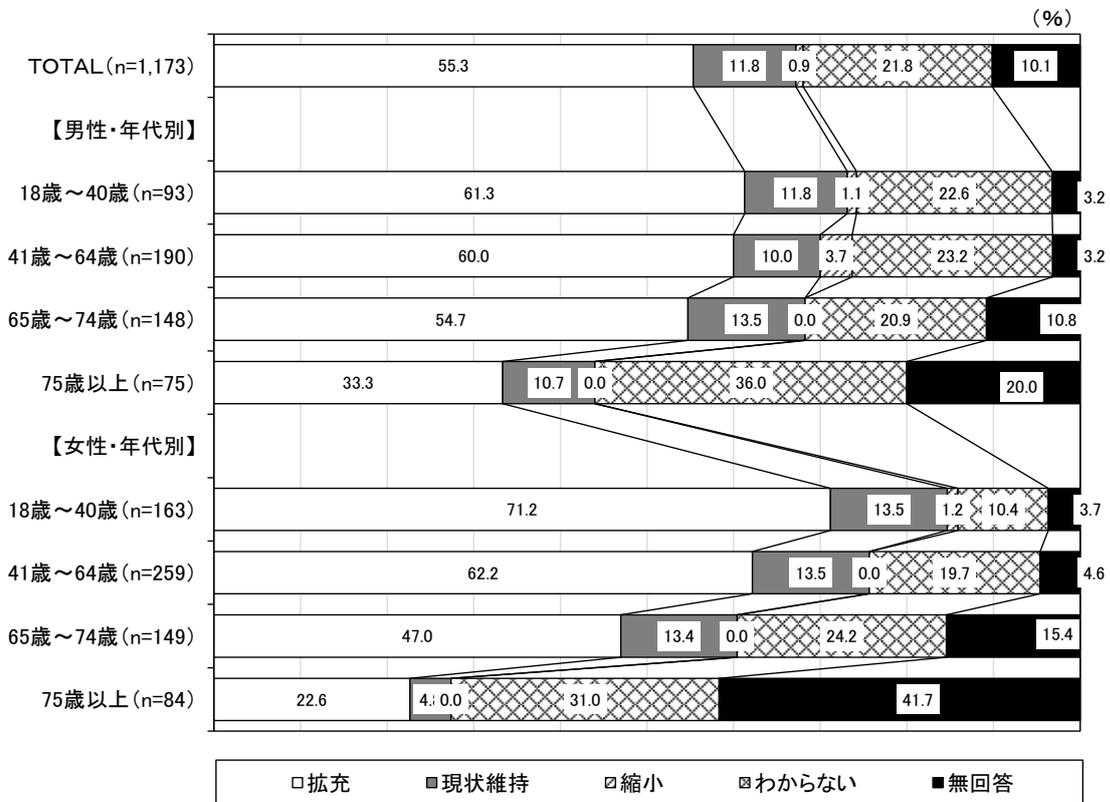
上段: 度数
 下段: %

Ⅲ 調査結果

虐待やDV被害者への支援

【性別×年代】

「拡充」では、女性の「18歳～40歳」が7割を超えています。



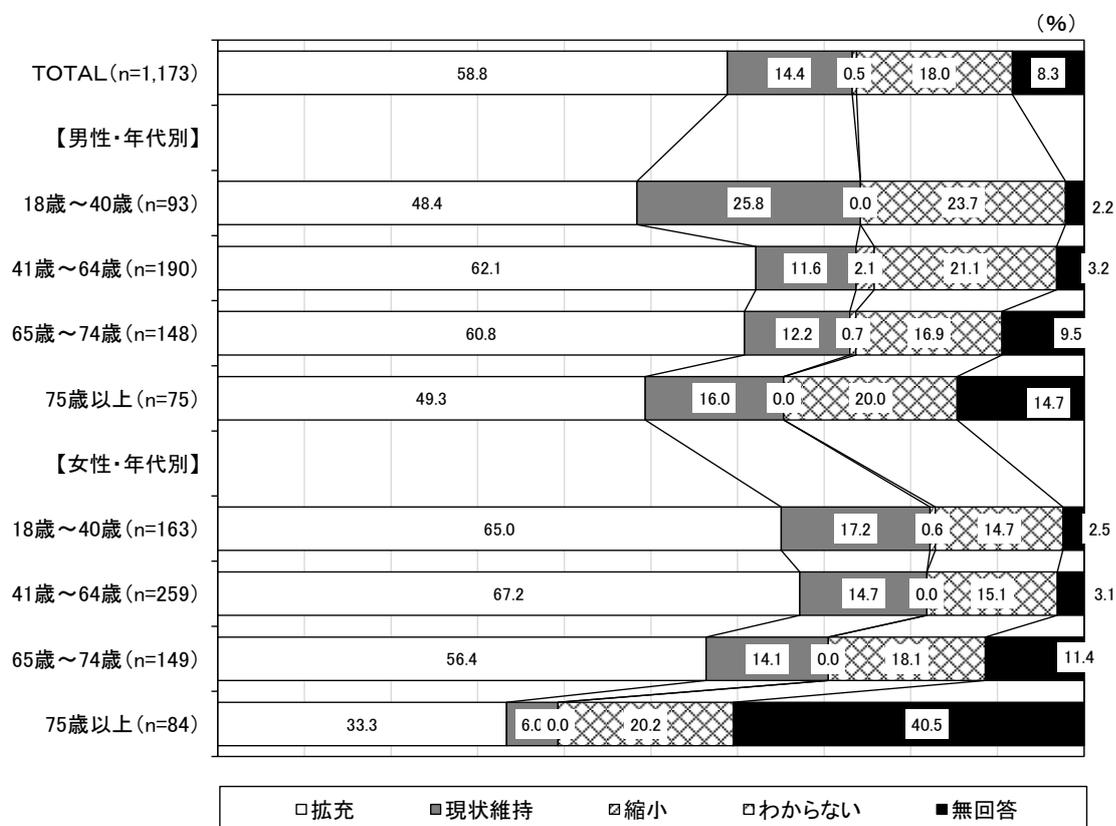
※性別×年代	n	拡充	現状維持	縮小	わからない	無回答
		度数	度数	度数	度数	度数
TOTAL	1,173	649	139	10	256	119
【男性・年代別】						
18歳～40歳	93	57	11	1	21	3
41歳～64歳	190	114	19	7	44	6
65歳～74歳	148	81	20	0	31	16
75歳以上	75	25	8	0	27	15
【女性・年代別】						
18歳～40歳	163	116	22	2	17	6
41歳～64歳	259	161	35	0	51	12
65歳～74歳	149	70	20	0	36	23
75歳以上	84	19	4	0	26	35

上段: 度数
下段: %

認知症の人やその家族への支援

【性別×年代】

「拡充」では、男性の『41歳～74歳』、女性の『18歳～64歳』が6割を超えています。



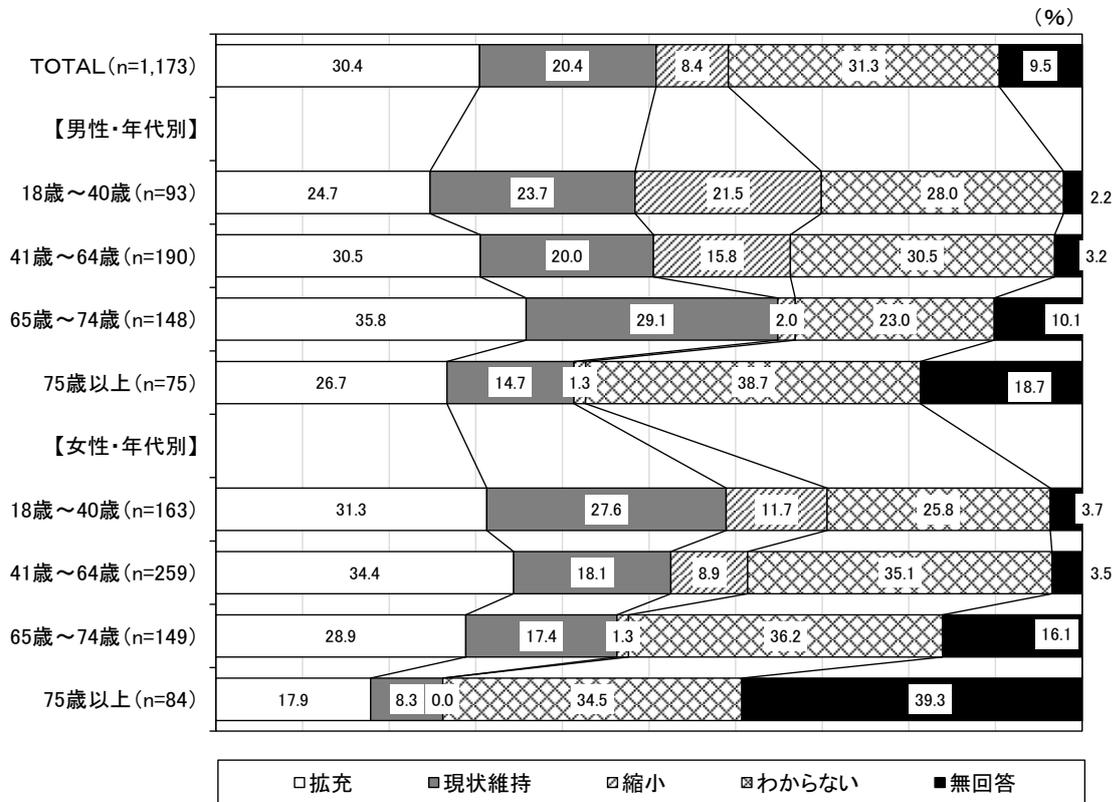
※性別×年代	n	拡充	現状維持	縮小	わからない	無回答
		上段: 度数	下段: %			
TOTAL	1,173	690	169	6	211	97
		58.8	14.4	0.5	18.0	8.3
【男性・年代別】						
18歳～40歳	93	45	24	0	22	2
		48.4	25.8	0.0	23.7	2.2
41歳～64歳	190	118	22	4	40	6
		62.1	11.6	2.1	21.1	3.2
65歳～74歳	148	90	18	1	25	14
		60.8	12.2	0.7	16.9	9.5
75歳以上	75	37	12	0	15	11
		49.3	16.0	0.0	20.0	14.7
【女性・年代別】						
18歳～40歳	163	106	28	1	24	4
		65.0	17.2	0.6	14.7	2.5
41歳～64歳	259	174	38	0	39	8
		67.2	14.7	0.0	15.1	3.1
65歳～74歳	149	84	21	0	27	17
		56.4	14.1	0.0	18.1	11.4
75歳以上	84	28	5	0	17	34
		33.3	6.0	0.0	20.2	40.5

Ⅲ 調査結果

ひきこもりやニートへの支援

【性別×年代】

「拡充」では、男性の『41歳～74歳』、女性の『18歳～64歳』が3割を超えています。



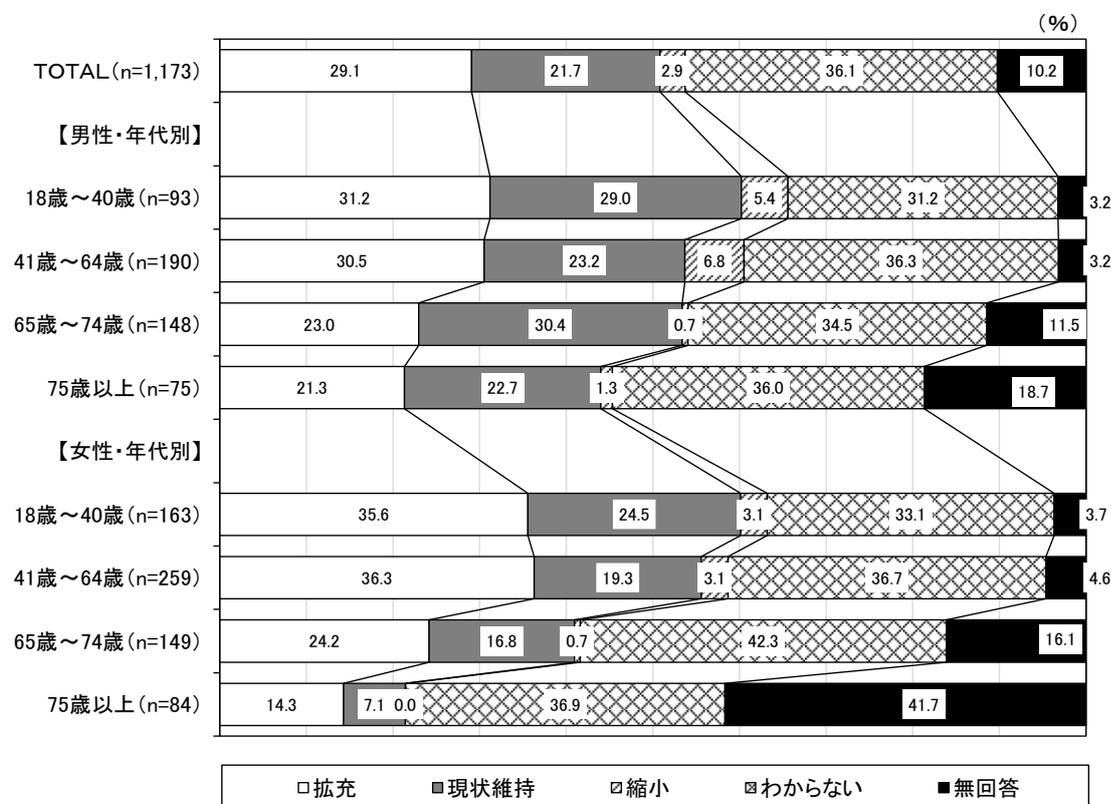
※性別×年代	n	拡充	現状維持	縮小	わからない	無回答
TOTAL	1,173	357	239	98	367	112
		30.4	20.4	8.4	31.3	9.5
【男性・年代別】						
18歳～40歳	93	23	22	20	26	2
		24.7	23.7	21.5	28.0	2.2
41歳～64歳	190	58	38	30	58	6
		30.5	20.0	15.8	30.5	3.2
65歳～74歳	148	53	43	3	34	15
		35.8	29.1	2.0	23.0	10.1
75歳以上	75	20	11	1	29	14
		26.7	14.7	1.3	38.7	18.7
【女性・年代別】						
18歳～40歳	163	51	45	19	42	6
		31.3	27.6	11.7	25.8	3.7
41歳～64歳	259	89	47	23	91	9
		34.4	18.1	8.9	35.1	3.5
65歳～74歳	149	43	26	2	54	24
		28.9	17.4	1.3	36.2	16.1
75歳以上	84	15	7	0	29	33
		17.9	8.3	0.0	34.5	39.3

上段: 度数
下段: %

犯罪をした人の再犯を防ぐ支援

【性別×年代】

「拡充」では、男女ともに『18歳～64歳』が3割を超えています。



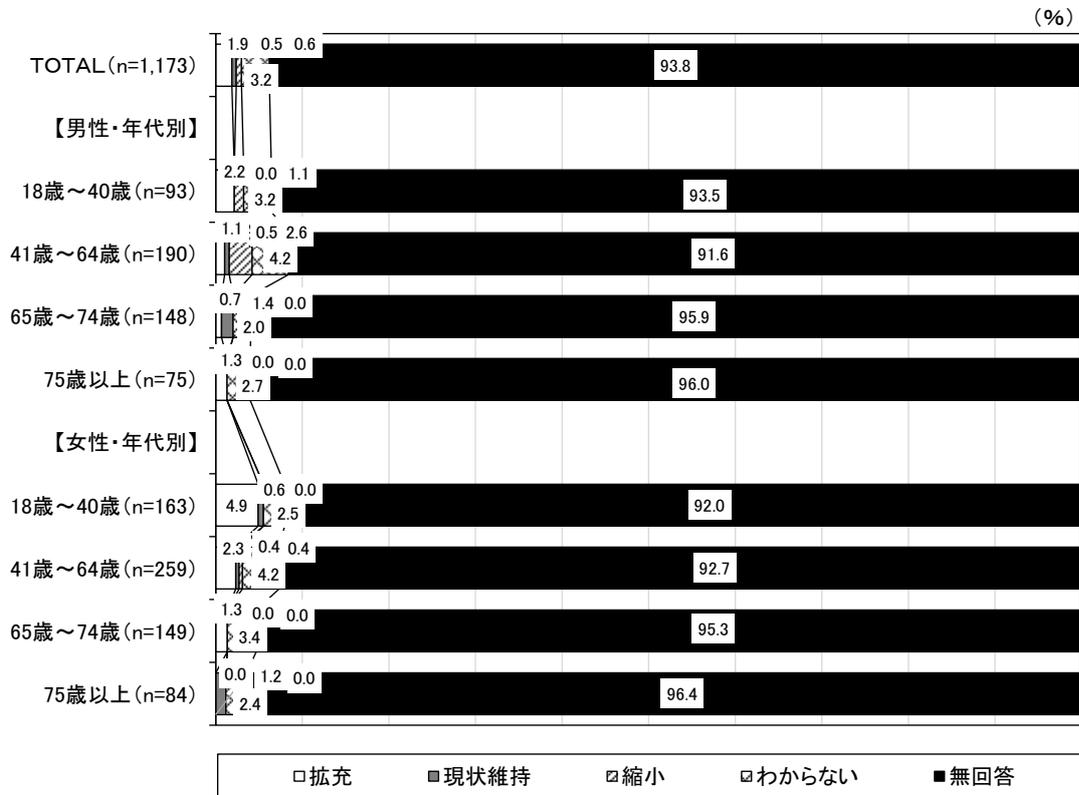
※性別×年代	n	拡充	現状維持	縮小	わからない	無回答
TOTAL	1,173	341	255	34	423	120
【男性・年代別】						
18歳～40歳	93	29	27	5	29	3
41歳～64歳	190	58	44	13	69	6
65歳～74歳	148	34	45	1	51	17
75歳以上	75	16	17	1	27	14
【女性・年代別】						
18歳～40歳	163	58	40	5	54	6
41歳～64歳	259	94	50	8	95	12
65歳～74歳	149	36	25	1	63	24
75歳以上	84	12	6	0	31	35

上段: 度数
下段: %

Ⅲ 調査結果

その他

※無回答が多いためコメントはなし



※性別×年代	n	拡充	現状維持	縮小	わからない	無回答
TOTAL	1,173	22	6	7	38	1,100
		1.9	0.5	0.6	3.2	93.8
【男性・年代別】						
18歳～40歳	93	2	0	1	3	87
		2.2	0.0	1.1	3.2	93.5
41歳～64歳	190	2	1	5	8	174
		1.1	0.5	2.6	4.2	91.6
65歳～74歳	148	1	2	0	3	142
		0.7	1.4	0.0	2.0	95.9
75歳以上	75	1	0	0	2	72
		1.3	0.0	0.0	2.7	96.0
【女性・年代別】						
18歳～40歳	163	8	1	0	4	150
		4.9	0.6	0.0	2.5	92.0
41歳～64歳	259	6	1	1	11	240
		2.3	0.4	0.4	4.2	92.7
65歳～74歳	149	2	0	0	5	142
		1.3	0.0	0.0	3.4	95.3
75歳以上	84	0	1	0	2	81
		0.0	1.2	0.0	2.4	96.4

上段: 度数
 下段: %

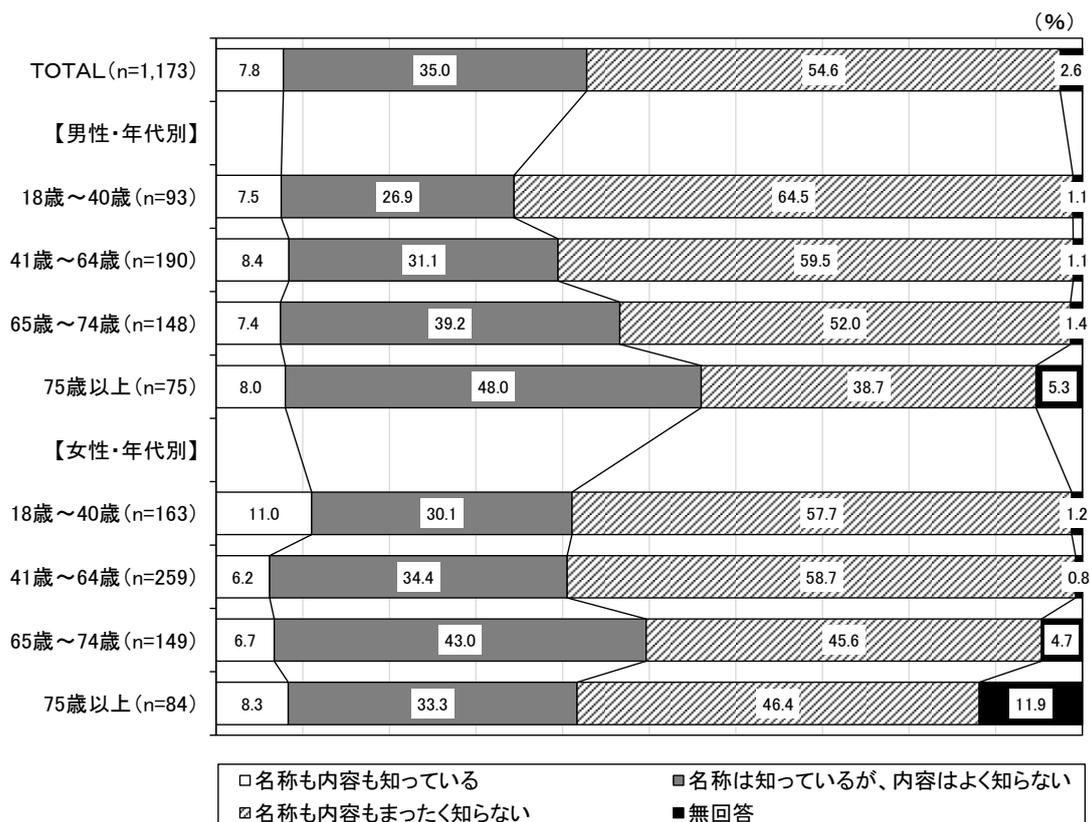
問 25 地域共生社会※について知っていますか。(〇は1つ)

※地域共生社会：制度・分野ごとの『縦割り』や『支え手』『受け手』という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしや生きがい、地域をともに創っていく社会をいいます。

「名称も内容も知っている」が 7.8%、「名称は知っているが、内容はよく知らない」が 35.0%、「名称も内容もまったく知らない」が 54.6%となっています。

【性別×年代】

「名称も内容も知っている」では、女性の「18歳～40歳」が1割を超えています。



※性別×年代	n	名称も内容も知っている	名称は知っているが、内容はよく知らない	名称も内容もまったく知らない	無回答
TOTAL	1,173	91	411	641	30
【男性・年代別】					
18歳～40歳	93	7	25	60	1
41歳～64歳	190	16	59	113	2
65歳～74歳	148	11	58	77	2
75歳以上	75	6	36	29	4
【女性・年代別】					
18歳～40歳	163	18	49	94	2
41歳～64歳	259	16	89	152	2
65歳～74歳	149	10	64	68	7
75歳以上	84	7	28	39	10

上段：度数
下段：%

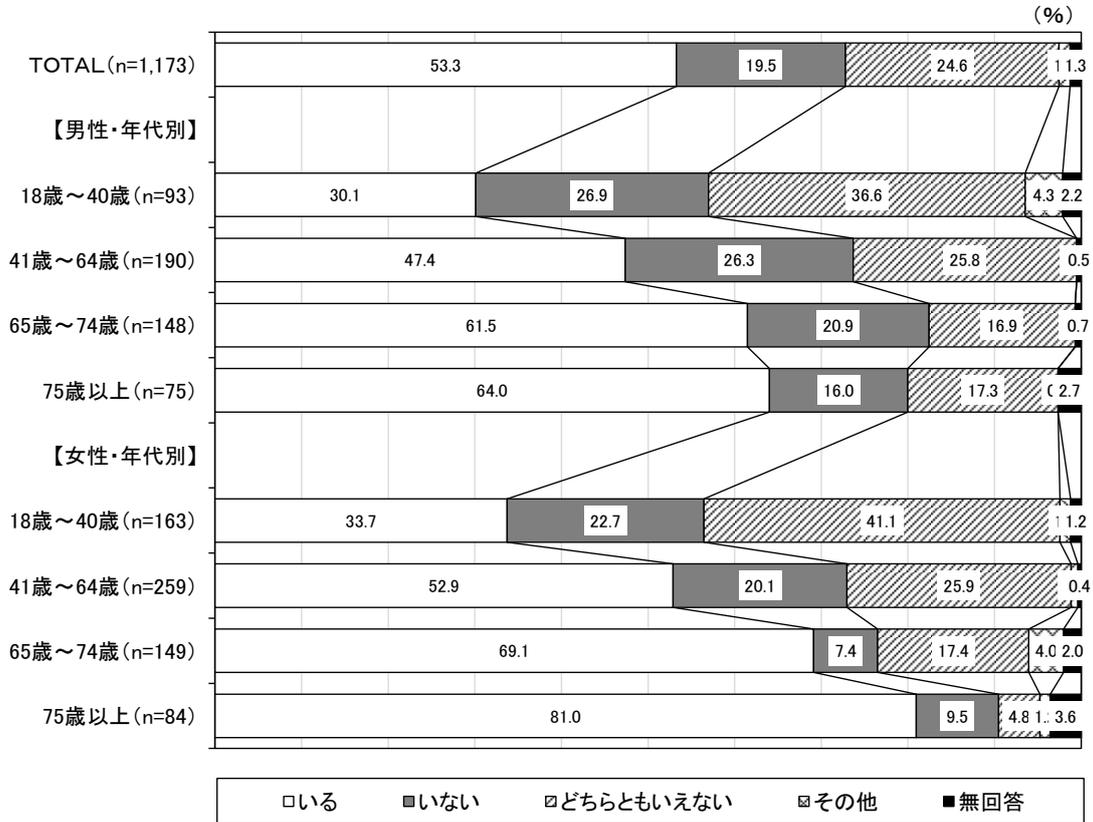
Ⅲ 調査結果

問 26 認知症などにより判断力が低下した際に、財産管理などの支援をしてくれる人はいますか。(〇は1つ)

「いる」が 53.3%、「いない」が 19.5%、「どちらともいえない」が 24.6%となっています。

【性別×年代】

「いる」では、男女ともに年代が上がるに従い多くなっています。



※性別×年代	n	いる	いない	い ど ち ら と も い え な い と も	そ の 他	無 回 答
		上段: 度数 下段: %				
TOTAL	1,173	625 53.3	229 19.5	289 24.6	15 1.3	15 1.3
【男性・年代別】						
18歳～40歳	93	28 30.1	25 26.9	34 36.6	4 4.3	2 2.2
41歳～64歳	190	90 47.4	50 26.3	49 25.8	0 0.0	1 0.5
65歳～74歳	148	91 61.5	31 20.9	25 16.9	0 0.0	1 0.7
75歳以上	75	48 64.0	12 16.0	13 17.3	0 0.0	2 2.7
【女性・年代別】						
18歳～40歳	163	55 33.7	37 22.7	67 41.1	2 1.2	2 1.2
41歳～64歳	259	137 52.9	52 20.1	67 25.9	2 0.8	1 0.4
65歳～74歳	149	103 69.1	11 7.4	26 17.4	6 4.0	3 2.0
75歳以上	84	68 81.0	8 9.5	4 4.8	1 1.2	3 3.6

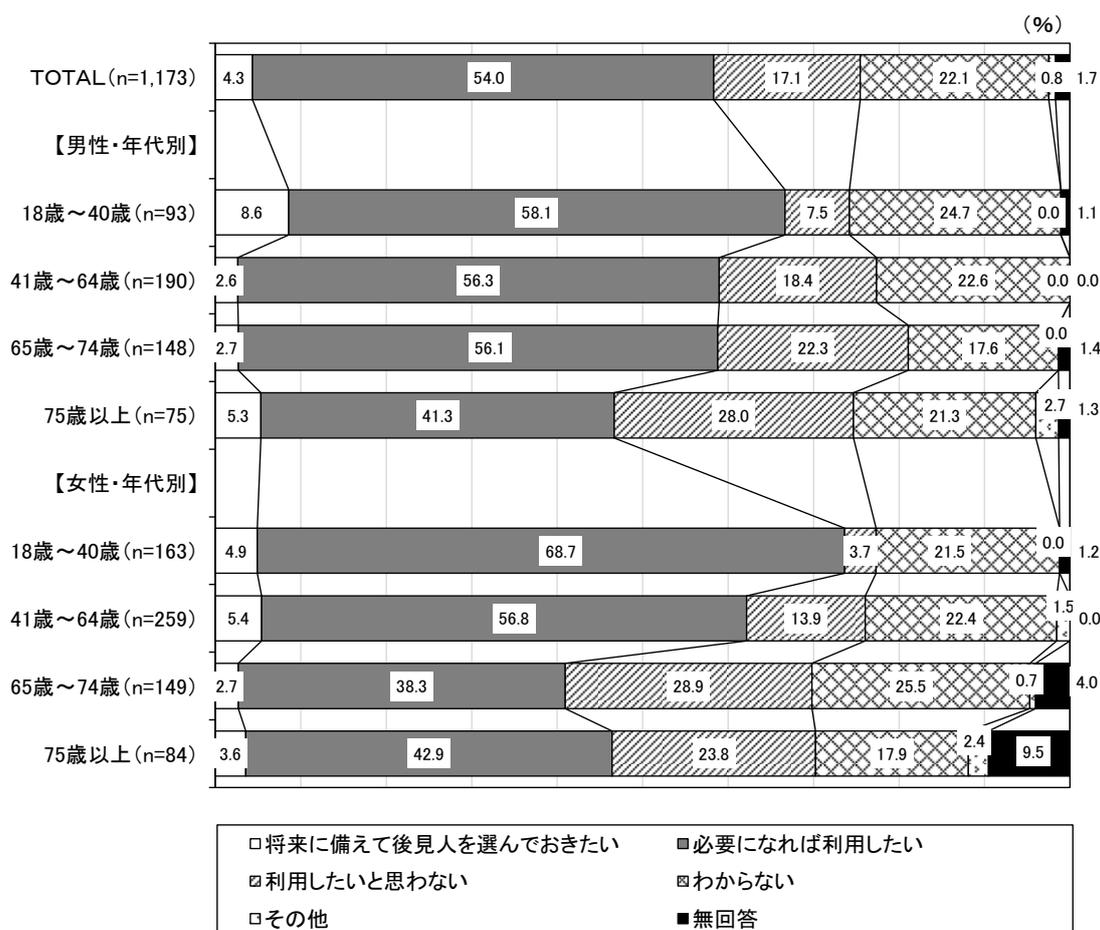
問 27 あなたは支援が必要になったとき、成年後見制度※を利用したいと思いますか。
 (○は1つ)

※成年後見制度：認知症、知的障害、精神障害などで判断能力が十分でない方の権利を守り、意思を尊重して自分らしい生活ができるよう財産管理、意思決定の補助などの支援する制度です。

「必要になれば利用したい」が 54.0%と最も多く、次いで「わからない」が 22.1%、「利用したいと思わない」が 17.1%となっています。

【性別×年代】

「必要になれば利用したい」は比較的若い世代の回答が多く、女性の「18歳～40歳」では7割近くとなっています。



Ⅲ 調査結果

※性別×年代	n	見 たい	将 来 に 備 え て お 後	利 用 し た い ば	思 用 し た い と	わ か ら な い	そ の 他	無 回 答
TOTAL	1,173	51 4.3	633 54.0	201 17.1	259 22.1	9 0.8	20 1.7	
【男性・年代別】								
18歳～40歳	93	8 8.6	54 58.1	7 7.5	23 24.7	0 0.0	1 1.1	
41歳～64歳	190	5 2.6	107 56.3	35 18.4	43 22.6	0 0.0	0 0.0	
65歳～74歳	148	4 2.7	83 56.1	33 22.3	26 17.6	0 0.0	2 1.4	
75歳以上	75	4 5.3	31 41.3	21 28.0	16 21.3	2 2.7	1 1.3	
【女性・年代別】								
18歳～40歳	163	8 4.9	112 68.7	6 3.7	35 21.5	0 0.0	2 1.2	
41歳～64歳	259	14 5.4	147 56.8	36 13.9	58 22.4	4 1.5	0 0.0	
65歳～74歳	149	4 2.7	57 38.3	43 28.9	38 25.5	1 0.7	6 4.0	
75歳以上	84	3 3.6	36 42.9	20 23.8	15 17.9	2 2.4	8 9.5	

上段:度数
下段:%

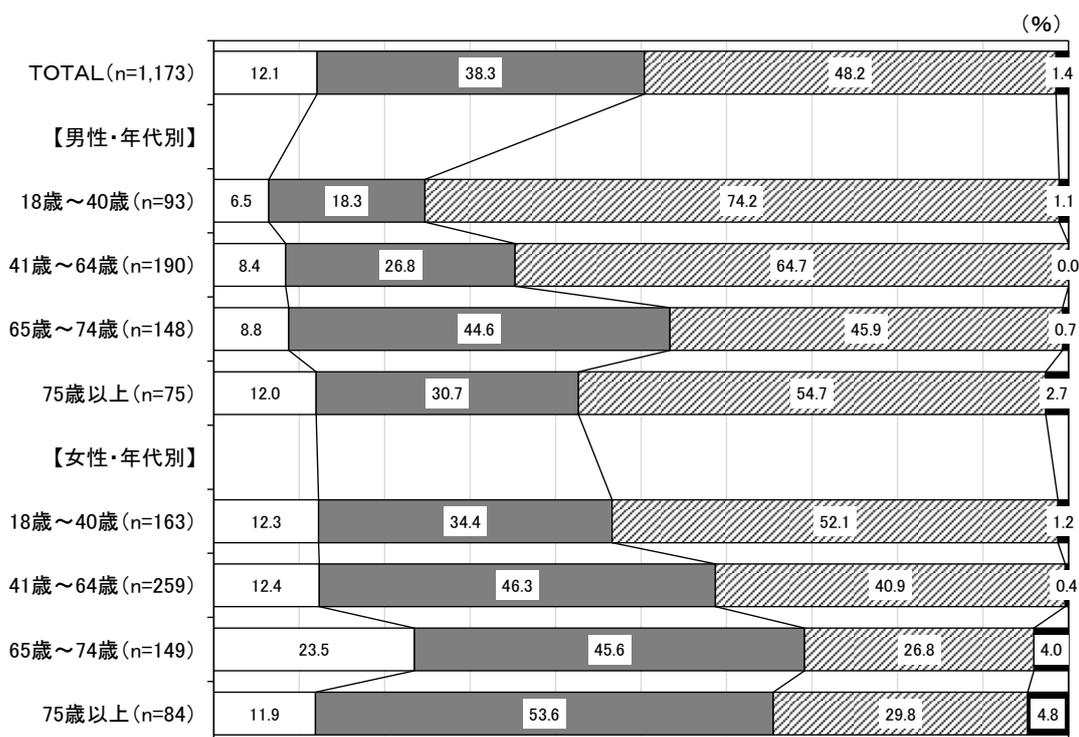
問 28 川越市自立相談支援センター※について知っていますか。(〇は1つ)

※川越市自立相談支援センター：生活保護に至る前に、生活に困っている方のご相談に乗り、自立した生活を送れるよう、他の専門機関と連携して、解決に向けた支援を行う窓口です。

「名称も内容も知っている」が 12.1%、「名称は知っているが、内容はよく知らない」が 38.3%、「名称も内容もまったく知らない」が 48.2%となっています。

【性別×年代】

「名称も内容も知っている」では、女性の「65歳～74歳」が2割を超えています。



□ 名称も内容も知っている ■ 名称は知っているが、内容はよく知らない
 □ 名称も内容もまったく知らない ■ 無回答

※性別×年代	n	名称も内容も知っている	名称は知っているが、内容はよく知らない	名称も内容もまったく知らない	無回答
TOTAL	1,173	142	449	565	17
		12.1	38.3	48.2	1.4
【男性・年代別】					
18歳～40歳	93	6	17	69	1
		6.5	18.3	74.2	1.1
41歳～64歳	190	16	51	123	0
		8.4	26.8	64.7	0.0
65歳～74歳	148	13	66	68	1
		8.8	44.6	45.9	0.7
75歳以上	75	9	23	41	2
		12.0	30.7	54.7	2.7
【女性・年代別】					
18歳～40歳	163	20	56	85	2
		12.3	34.4	52.1	1.2
41歳～64歳	259	32	120	106	1
		12.4	46.3	40.9	0.4
65歳～74歳	149	35	68	40	6
		23.5	45.6	26.8	4.0
75歳以上	84	10	45	25	4
		11.9	53.6	29.8	4.8

上段：度数
下段：%

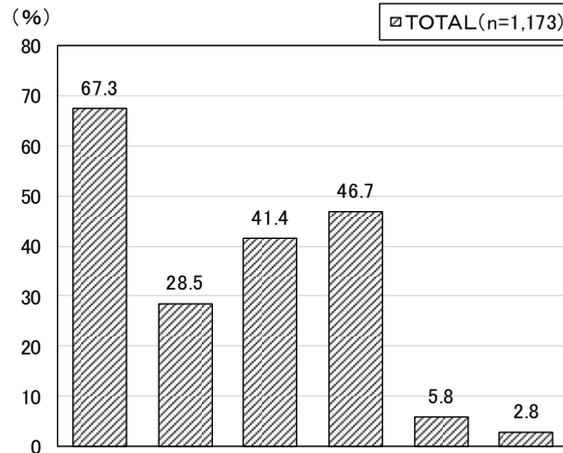
Ⅲ 調査結果

問 29 犯罪をした人や非行に走った人が、地域の中で再び犯罪をすることなく暮らすうえで、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

「行政や専門職の支援」が67.3%と最も多く、次いで「警察などの監視」が46.7%、「近隣住民の理解・支援」が41.4%となっています。

【性別×年代】

「行政や専門職の支援」では、男性の「41歳～64歳」「65歳～74歳」で6割を超えており、女性の「41歳～74歳」で7割を超えています。



※性別×年代	n	行政や専門職の支援	学校などの連携による修学支援	近隣住民の理解・支援	警察などの監視	その他	無回答
		度数	度数	度数	度数	度数	度数
TOTAL	1,173	790	334	486	548	68	33
		67.3	28.5	41.4	46.7	5.8	2.8
【男性・年代別】							
18歳～40歳	93	50	29	35	50	8	2
		53.8	31.2	37.6	53.8	8.6	2.2
41歳～64歳	190	119	46	64	107	9	6
		62.6	24.2	33.7	56.3	4.7	3.2
65歳～74歳	148	96	35	63	63	6	2
		64.9	23.6	42.6	42.6	4.1	1.4
75歳以上	75	41	10	40	25	1	5
		54.7	13.3	53.3	33.3	1.3	6.7
【女性・年代別】							
18歳～40歳	163	113	67	62	95	15	2
		69.3	41.1	38.0	58.3	9.2	1.2
41歳～64歳	259	194	84	114	126	19	3
		74.9	32.4	44.0	48.6	7.3	1.2
65歳～74歳	149	113	42	67	55	4	6
		75.8	28.2	45.0	36.9	2.7	4.0
75歳以上	84	55	16	36	18	3	6
		65.5	19.0	42.9	21.4	3.6	7.1

上段: 度数
下段: %

■ TOTALより5ポイントを上回るもの
■ TOTALより5ポイントを下回るもの

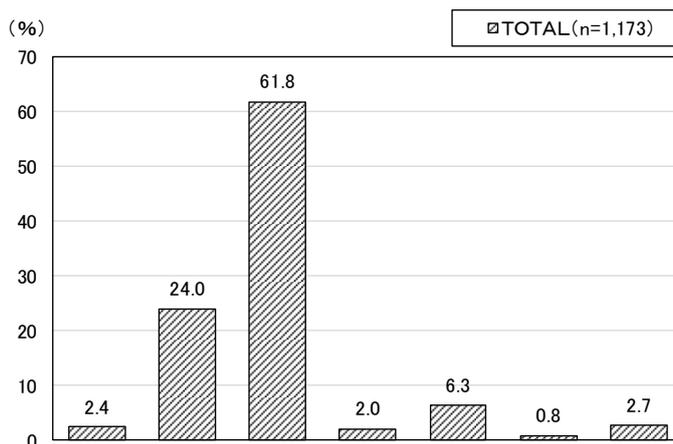
問 30 再犯防止の取組※を進めることについて、どのように思いますか。(〇は1つ)

※再犯防止の取組：再犯の防止等の推進に関する法律の施行など犯罪をした人や非行に走った人が円滑に社会復帰できるよう支援し、再び罪を犯さないようにすることで安全・安心な社会をつくる取組です。

「自分がやることは難しいが、取組は必要だと思う」が61.8%と最も多く、次いで「積極的に協力することは難しいが、取り組んでいる人（保護司など）や団体を応援したい」が24.0%となっています。

【性別×年代】

「自分がやることは難しいが、取組は必要だと思う」では、男性の「75歳以上」、女性の「65歳～74歳」で約7割となっています。



※性別×年代	n	後再犯防止の取組を続けたい(今後も協力したい)	積極的に協力することは難しいが、取り組んでいる人や団体を応援したい(保護司など)	自分がやることは難しいが、取組は必要だと思う	犯罪や非行をした人を支援する取組は、特に必要ないと思う	わからない	その他	無回答
TOTAL	1,173	28	281	725	24	74	9	32
		2.4	24.0	61.8	2.0	6.3	0.8	2.7
【男性・年代別】								
18歳～40歳	93	3	21	61	3	4	0	1
		3.2	22.6	65.6	3.2	4.3	0.0	1.1
41歳～64歳	190	9	46	109	7	15	1	3
		4.7	24.2	57.4	3.7	7.9	0.5	1.6
65歳～74歳	148	4	40	89	2	9	2	2
		2.7	27.0	60.1	1.4	6.1	1.4	1.4
75歳以上	75	1	13	51	1	5	1	3
		1.3	17.3	68.0	1.3	6.7	1.3	4.0
【女性・年代別】								
18歳～40歳	163	5	43	94	7	7	4	3
		3.1	26.4	57.7	4.3	4.3	2.5	1.8
41歳～64歳	259	4	70	158	4	17	1	5
		1.5	27.0	61.0	1.5	6.6	0.4	1.9
65歳～74歳	149	2	34	100	0	7	0	6
		1.3	22.8	67.1	0.0	4.7	0.0	4.0
75歳以上	84	0	12	55	0	9	0	8
		0.0	14.3	65.5	0.0	10.7	0.0	9.5

上段: 度数
下段: %

■ TOTALより5ポイントを上回るもの
■ TOTALより5ポイントを下回るもの

5. 社会福祉協議会や民生委員・児童委員について

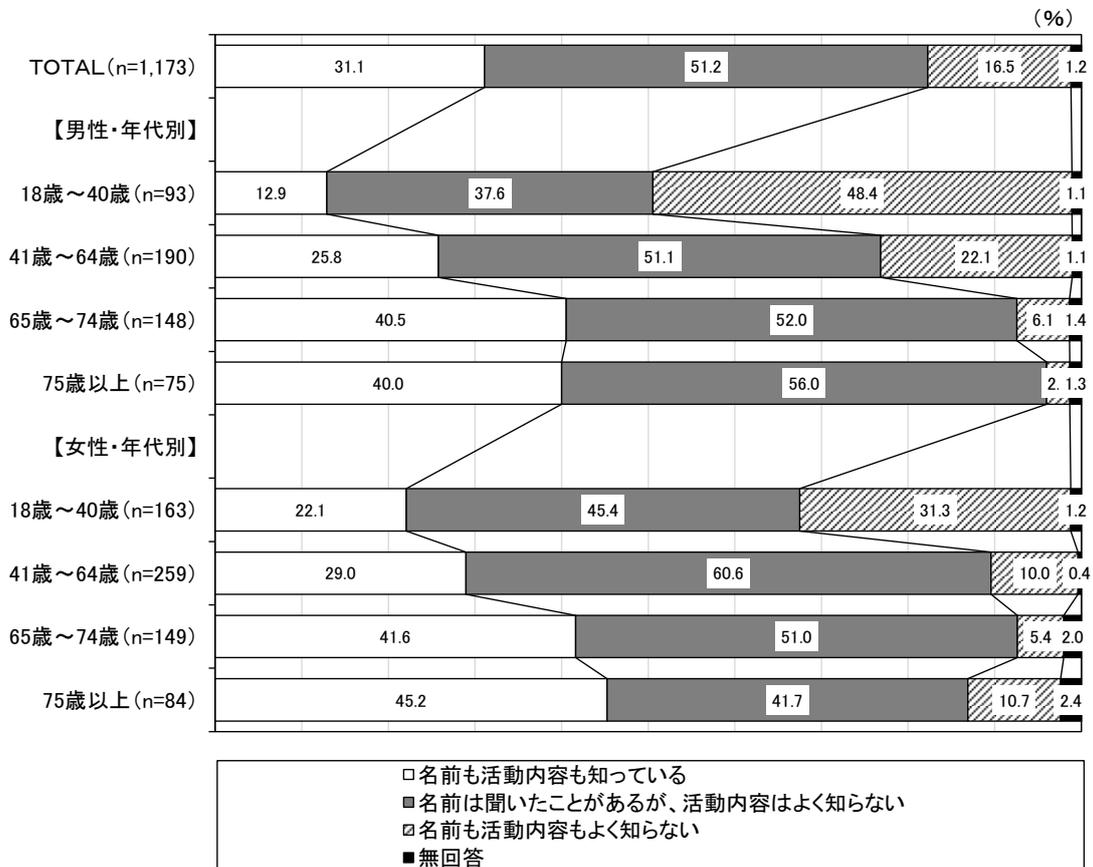
問 31 川越市社会福祉協議会（社協）※を知っていますか。（○は1つ）

※社会福祉協議会：社会福祉法に基づき設置された社会福祉法人で民間の社会福祉活動を推進することを目的とした営利を目的としない民間組織です。市民の皆さんや民生委員・児童委員、社会福祉関係団体・機関との連携のもと、次のような活動をし、さまざまな場面で地域の福祉増進に取り組んでいます。・相談支援・地域福祉活動支援・ボランティア活動の支援・在宅福祉活動・共同募金運動への協力・その他の福祉活動

「名前も活動内容も知っている」が 31.1%、「名前は聞いたことがあるが、活動内容はよく知らない」が 51.2%「名前も活動内容もよく知らない」が 16.5%となっています。

【性別×年代】

「名前も活動内容も知っている」では、男女ともに『65歳以上』で4割を超えています。



※性別×年代	n	名前も活動 内容も知っ ている	名前は聞い たことがある が、活動内 容はよく知ら ない	名前も活動 内容もよく知 らない	無回答
TOTAL	1,173	365 31.1	600 51.2	194 16.5	14 1.2
【男性・年代別】					
18歳～40歳	93	12 12.9	35 37.6	45 48.4	1 1.1
41歳～64歳	190	49 25.8	97 51.1	42 22.1	2 1.1
65歳～74歳	148	60 40.5	77 52.0	9 6.1	2 1.4
75歳以上	75	30 40.0	42 56.0	2 2.7	1 1.3
【女性・年代別】					
18歳～40歳	163	36 22.1	74 45.4	51 31.3	2 1.2
41歳～64歳	259	75 29.0	157 60.6	26 10.0	1 0.4
65歳～74歳	149	62 41.6	76 51.0	8 5.4	3 2.0
75歳以上	84	38 45.2	35 41.7	9 10.7	2 2.4

上段：度数
下段：%

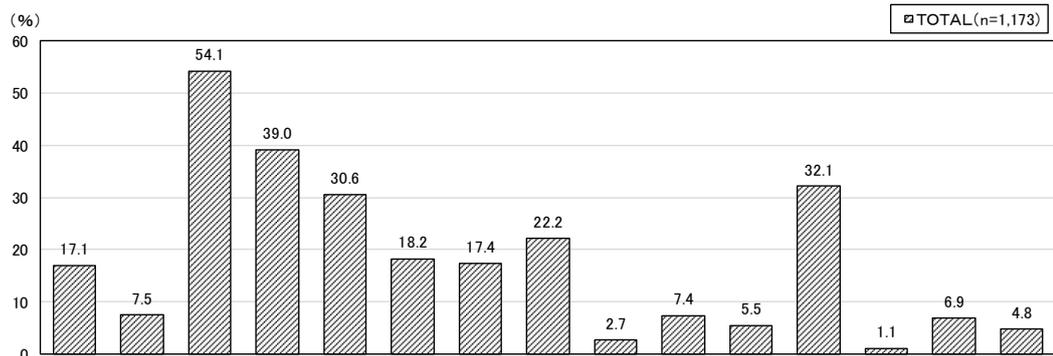
Ⅲ 調査結果

問 32 社会福祉協議会では主に前記のような活動を行っていますが、今後どのような分野での役割を期待しますか。(〇は3つ)

「高齢者・障害者・生活困窮者への支援に関すること」が 54.1%と最も多く、次いで「介護予防や介護サービスに関すること」が 39.0%、「災害時の支援活動やボランティア受入調整に関すること」が 32.1%となっています。

【性別×年代】

「高齢者・障害者・生活困窮者への支援に関すること」では、男性の「75 歳以上」女性の「65 歳～74 歳」で約 6 割となっています。



※性別×年代	n	ボランティア活動への支援	地区社会福祉協議会への支援	高齢者・障害者・生活困窮者への支援	介護予防や介護サービスに関すること	情報提供・相談窓口の充実	コミュニティソーシャルワーク*	住民による地域の見守り活動の充実	子どもの育成に関すること	権利擁護に関すること	福祉の啓発を行うイベント	各種団体やサークル活動等の育成や連携を図ること	災害時の支援活動やボランティア受入調整に関すること	その他	特にない	無回答
TOTAL	1,173	200	88	635	458	359	214	204	260	32	87	64	377	13	81	56
		17.1	7.5	54.1	39.0	30.6	18.2	17.4	22.2	2.7	7.4	5.5	32.1	1.1	6.9	4.8
【男性・年代別】																
18歳～40歳	93	15	3	44	27	24	17	13	38	3	8	7	28	1	11	3
		16.1	3.2	47.3	29.0	25.8	18.3	14.0	40.9	3.2	8.6	7.5	30.1	1.1	11.8	3.2
41歳～64歳	190	42	16	102	75	59	37	32	40	5	16	11	49	2	14	7
		22.1	8.4	53.7	39.5	31.1	19.5	16.8	21.1	2.6	8.4	5.8	25.8	1.1	7.4	3.7
65歳～74歳	148	29	16	86	60	38	25	35	21	7	11	13	43	2	10	7
		19.6	10.8	58.1	40.5	25.7	16.9	23.6	14.2	4.7	7.4	8.8	29.1	1.4	6.8	4.7
75歳以上	75	11	8	47	32	20	8	14	6	2	6	5	17	1	6	5
		14.7	10.7	62.7	42.7	26.7	10.7	18.7	8.0	2.7	8.0	6.7	22.7	1.3	8.0	6.7
【女性・年代別】																
18歳～40歳	163	26	5	83	53	50	35	24	81	6	13	7	68	2	8	3
		16.0	3.1	50.9	32.5	30.7	21.5	14.7	49.7	3.7	8.0	4.3	41.7	1.2	4.9	1.8
41歳～64歳	259	43	16	136	108	90	56	44	54	4	19	8	100	4	14	9
		16.6	6.2	52.5	41.7	34.7	21.6	17.0	20.8	1.5	7.3	3.1	38.6	1.5	5.4	3.5
65歳～74歳	149	20	12	89	61	52	25	26	16	5	9	9	46	0	10	10
		13.4	8.1	59.7	40.9	34.9	16.8	17.4	10.7	3.4	6.0	6.0	30.9	0.0	6.7	6.7
75歳以上	84	13	12	40	35	23	10	16	1	0	5	2	22	1	6	12
		15.5	14.3	47.6	41.7	27.4	11.9	19.0	1.2	0.0	6.0	2.4	26.2	1.2	7.1	14.3

上段: 度数
下段: %

■ TOTALより5ポイントを上回るもの
■ TOTALより5ポイントを下回るもの

※コミュニティソーシャルワーク：日常的に地域の状況を把握することで地域の福祉課題を発見し、その解決に向けて、住民活動の支援やさまざまな機関・団体のネットワークづくりなどを行うことです。

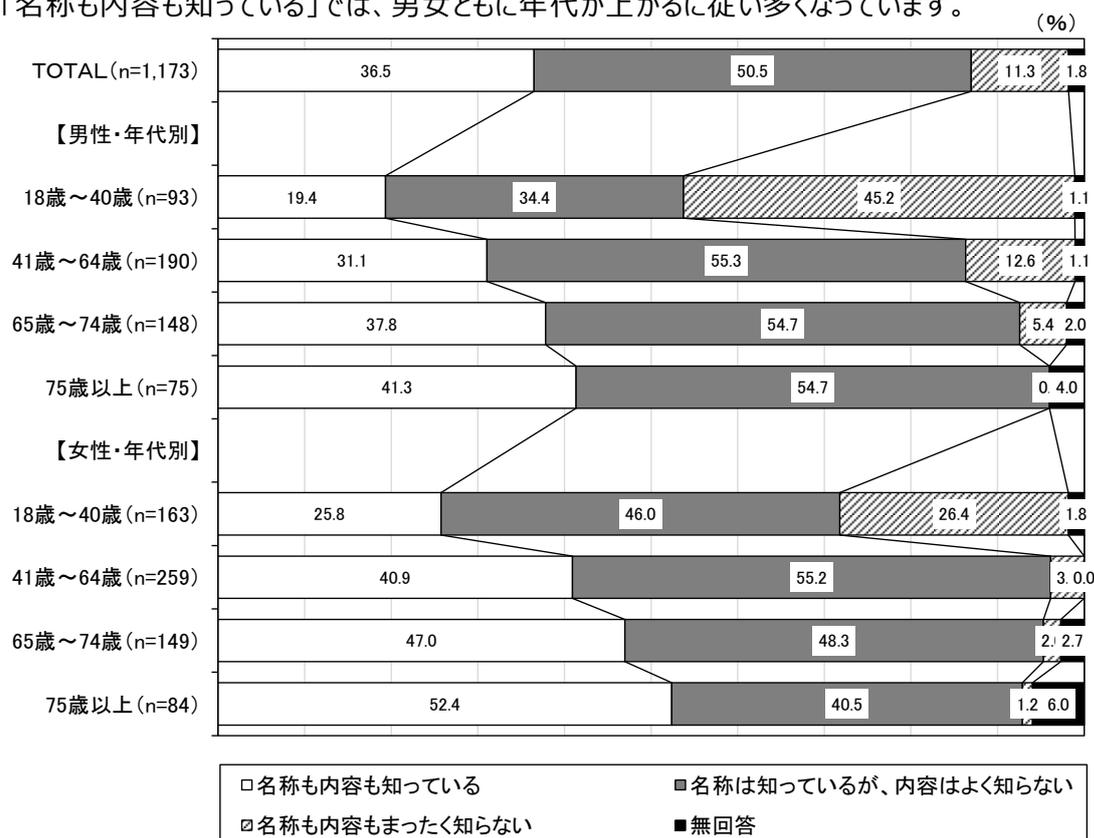
問 33 民生委員・児童委員※の存在や活動内容について知っていますか。(○は1つ)

※民生委員・児童委員：民生委員・児童委員は、地域住民の中から選ばれ、地域の身近な相談役として、相談に応じ、行政や専門機関へのつなぐなどの支援を行います。川越市内では現在、487名が活動しています。

「名称も内容も知っている」が 36.5%、「名称は知っているが、内容はよく知らない」が 50.5%、「名称も内容もまったく知らない」が 11.3%となっています。

【性別×年代】

「名称も内容も知っている」では、男女ともに年代が上がるに従い多くなっています。



	n	名称も内容も知っている	名称は知っているが、内容はよく知らない	名称も内容もまったく知らない	無回答
TOTAL	1,173	428	592	132	21
		36.5	50.5	11.3	1.8
【男性・年代別】					
18歳～40歳	93	18	32	42	1
		19.4	34.4	45.2	1.1
41歳～64歳	190	59	105	24	2
		31.1	55.3	12.6	1.1
65歳～74歳	148	56	81	8	3
		37.8	54.7	5.4	2.0
75歳以上	75	31	41	0	3
		41.3	54.7	0.0	4.0
【女性・年代別】					
18歳～40歳	163	42	75	43	3
		25.8	46.0	26.4	1.8
41歳～64歳	259	106	143	10	0
		40.9	55.2	3.9	0.0
65歳～74歳	149	70	72	3	4
		47.0	48.3	2.0	2.7
75歳以上	84	44	34	1	5
		52.4	40.5	1.2	6.0

上段：度数
下段：%

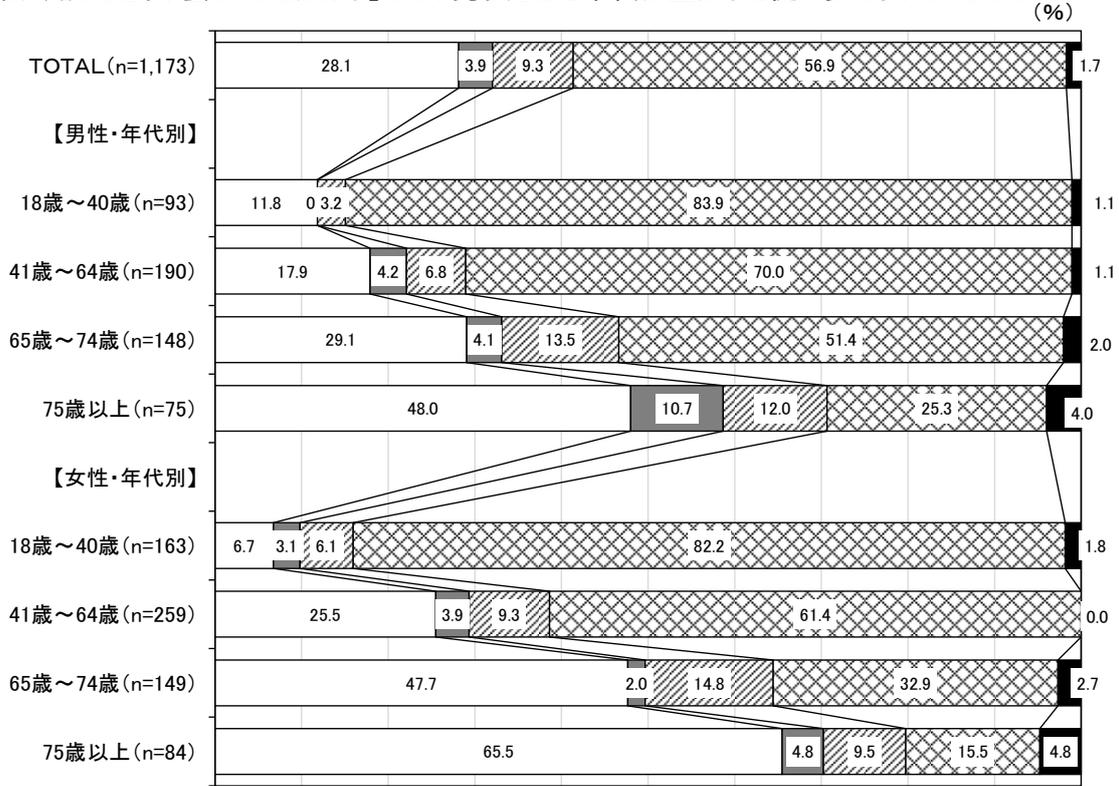
Ⅲ 調査結果

問 34 あなたの住んでいる地域の民生委員・児童委員が誰だか知っていますか。(○は1つ)

「誰か知らない」が 56.9%と最も多く、次いで「誰か知っており、会ったことがある」が 28.1%、「誰か知っているが、会ったことはない」が 9.3%となっています。

【性別×年代】

「誰か知っており、会ったことがある」では、男女ともに年代が上がるに従い多くなっています。



誰か知っており、会ったことがある 名前が知らないが、会えばわかる
 誰か知っているが、会ったことはない 誰か知らない
 無回答

	n	誰か知っており、会ったことがある	名前が知らないが、会えばわかる	誰か知っているが、会ったことはない	誰か知らない	無回答
TOTAL	1,173	330	46	109	668	20
		28.1	3.9	9.3	56.9	1.7
【男性・年代別】						
18歳～40歳	93	11	0	3	78	1
		11.8	0.0	3.2	83.9	1.1
41歳～64歳	190	34	8	13	133	2
		17.9	4.2	6.8	70.0	1.1
65歳～74歳	148	43	6	20	76	3
		29.1	4.1	13.5	51.4	2.0
75歳以上	75	36	8	9	19	3
		48.0	10.7	12.0	25.3	4.0
【女性・年代別】						
18歳～40歳	163	11	5	10	134	3
		6.7	3.1	6.1	82.2	1.8
41歳～64歳	259	66	10	24	159	0
		25.5	3.9	9.3	61.4	0.0
65歳～74歳	149	71	3	22	49	4
		47.7	2.0	14.8	32.9	2.7
75歳以上	84	55	4	8	13	4
		65.5	4.8	9.5	15.5	4.8

上段：度数
下段：%

6. 地域や福祉全般についてのご希望やご意見（自由記述）

地域や福祉全般についてご希望やご意見などがありましたら、自由にお書きください。

数多くのご意見が寄せられました。内容は多岐にわたっておりますが、紙面の都合上、そのすべてを掲載できませんが、類似の内容の多かったものや具体的な提案等を、できる限り原文に近い表記で掲載します。

【環境整備などに関すること】

- 他県より今年度引っ越したが、川越市は公共交通機関も充実し昔の街なみと現代が混じり合った良い街だが、自転車通りが多く自家用車を運転することが少し怖い場面が多い。（18歳～40歳、男性）
- 川越市今福に住んでいますが比較的暮らしやすい町だと思います。しかし、高齢者と幼い子供が多い割には公共交通機関が不十分だと思います。最寄り駅まで距離がある分バスなどの充実を希望します。もう一点、道路の渋滞が厳しいです。交通量が多いにも関わらず道路が非常に細くまた、その細い道路が主要な役割をしているので歩行者にとっても大変危険であると思います。道路の増幅など望みます。（18歳～40歳、女性）
- 伊佐沼に流れる支流の清掃をお願いします。自転車や粗大ごみなどが多く見られます。（41歳～64歳、男性）
- 地域全体が子供や老人を見守ることはもちろん大切だが子供や老人が生活しやすいような交通整備（ガードレールや歩道の確保、通学路の安全対策）を進めてほしい。川越街道が歩行者には怖い。（41歳～64歳、女性）
- 観光客が多くて普通に暮らしている我々にも大変不便を感じています。ゴミやマナーの事です。住民で税金を支払っている人に優しく、温かいまなざしを行政に携わる人は心掛けてほしい。子どもや老人が安心して住める街づくりを、頭脳を使って考えてください。（65歳～74歳、女性）
- 家の塀に犬の糞尿をされるので毎日困っている。食べ歩きゴミ、たばこのポイ捨て、外の掃除のために（毎日2～3回）非常に迷惑している。庭に野良猫が入り、いたずらするので野良猫対策も考えてほしい。防犯カメラを住宅街にも、たくさん設置してほしい。（65歳～74歳、女性）
- 藤間地区に住んでいますが車いすでスムーズに移動ができません。公園とかに連れて行きたくても車がないと危険なので私が休日でないといけません。歩道とかもうすこしあると良いと思います。あとは、大人がのんびりできる公園があるととても良いです。（75歳以上、男性）

【情報提供に関すること】

- 霞ヶ関地区は外国の方が多くそのせいか、ゴミの捨て方ができていない人が多いのでわかりやすい看板を作るとか外国からの学生が多い大学では連絡できる方法があるといいとおもいます。一概に外国の方と決めつけはいけません。（18歳～40歳、男性）
- 集合住宅にいと回覧板も回らないので地域の情報は全く入ってきません。幸い実家も川越市内なのでそちらで情報を得ています。（18歳～40歳、女性）

Ⅲ 調査結果

- 地域の活動に関心はあるが、盲人の為情報や提供が得られず、参加の手段が判らない。（41歳～64歳、男性）
- 今まで、子育て、仕事の両立に忙しく、地域や福祉に関して興味がありませんでした。詳しく記載されてある冊子があれば読んでみたいです。今現在、困っている事はありませんが、いつの日か役立つように支援について知りたいと思います。（41歳～64歳、女性）
- 数々の計画を策定されていると思いますが、その内容を知る機会があるのですか。広報しているのであれば、その手段に問題はないですか。単に文字列での情報公開では誰も関心を持たないと思います。（65歳～74歳、男性）
- 市が行っているものをこちらから相談しない限り、有益なことは教えてくれないので、介護の支給されるものもわからない。その必要な部署に相談に行っているのだから、出し惜しみせずきちんと教えて頂きたいと思います。（75歳以上、女性）

【近隣や地域での交流や関係づくりなどに関すること】

- 私は地域では外から引っ越してきた。外様であり、自治会の集まりに参加してもよそ者のように扱われることが多いと感じる。子供の学校を通しての地域の活動は心地よいがそれ以外はなかなか、なじめない物が多いと感じる。（18歳～40歳、男性）
- 地域の人と交流する場が広がり、より住みやすい場所になってほしいと思いました。（18歳～40歳、女性）
- 外国人労働者と地域住民とのコミュニティなどの橋渡しの仕組みを作る必要があると思います。（41歳～64歳、男性）
- 独居老人が孤立し孤独にならないように地域でそういう人たちが参加でき、レクリエーションや趣味を通じ認識機能の低下を防げるような場所を数多く提供してもらいたい。（41歳～64歳、女性）
- 定年退職後、60才になった時に、自治会の活動等に積極的に参加したいと考え行動していましたが、旧住民と新住民（私）との間の溝など、溶け込むことが難しい部分があり断念しました。（65歳～74歳、男性）
- 今は自由に活動していますが身体的に活動ができなくなりましたら近くに歩いて行けて話ができお茶を飲みながら気楽に過ごせるところがあればよいと思っています。（65歳～74歳、女性）
- 旧町内より引っ越しをしたが土地、家を建てたが、その後、現在町内に山車がなし、その点祭りの時期になるといっさいお祭りの輪に入れないうさみしさがある。（75歳以上、男性）

【自治会や地域活動に関すること】

- 自治会を通しての寄附金集めはやめてほしい。（18歳～40歳、女性）
- 自分の生活で手一杯、地域活動とか巻き込まれたくない。（41歳～64歳、男性）
- 民生委員について、高齢化社会になり、これまでの民生委員の活動に比べ何倍も多忙になっていると思います。また、仕事を持っている方も増えているのでこれまで通りには選出はできない状況だと思います。公務員としての位置づけで民生委員の役割を果たしていったらいいのではないかと考えています。次期の民生委員が決まらなかったのさそう感じました。（41歳～64歳、女性）

- 福祉活動が活発なことは良いことと思いますが高齢者に押し付けではないようにしてほしい。地域の自治会活動が多すぎる。高齢者にとって自治会活動は大変な負担になっている。必要最小限度にしてほしい。各地区、会長になってから非常に行事が増えている。少なくしてほしい。（65歳～74歳、女性）
- 高齢者増加に伴い民生委員の役割は、より重く、活動範囲も広がり、ご苦労様と感謝しています。今後は、個人先訪問、声かけ、健康安否、見守り等に、より積極的な行動が求められます。民生委員の平均年齢は何歳でしょうか。ともすれば、自治会推薦の名誉職になりがちです。今後は、行動力のある方、待ちの姿勢ではなく、自らが行動を実践する方を配置してくださることを望みます。（75歳以上、女性）

【防犯・防災や災害発生に関すること】

- 台風の時に防災無線が聞こえなかった。川越市のホームページもつながらなく、防災無線の電話サービスもつながらなく情報が無くて困った。また、夜間の騒音とかで困っても、どこに相談したらいいのかわからない。自分の住んでいる地域には、図書館や市の施設が少なく、他の市の福祉施設やサービスを使っているので、自分の住んでいる地域にも相談施設などがほしい。（18歳～40歳、男性）
- 街路灯が少ない地区だと感じます。通勤、通学の安全性や防犯上からも点検、見直しをしていただきたいと思っています。（18歳～40歳、女性）
- 現在会社のある品川区で企業団員として消防団員をしております。品川区は地域防衛に力を入れており町会毎にD級消防ポンプを配備し防衛訓練もよく行っております。予算もあると思いますが地域防衛に力を入れてほしいです。（41歳～64歳、男性）
- 先月の台風19号で被災された方は、今はまだ不便な生活や大変なご苦労をされている方が多いと思いますのでさらなる支援や対策をお願いします。また、今後地震や台風等への防災対策や来年の東京オリンピックで多くの外国の方が来日するので観光客が今以上に増えると思います。防犯と混雑への対策を希望いたします。（41歳～64歳、女性）
- 風水害、地震等の時の避難場所をあらかじめはっきり決めておいてほしい。歩いてあまり遠くへ行けません。又、なぜ川女とか川高とか星野高等ではいけないのか、理由を説明してほしい。防災無線の効用について、話し方、音量等、良く話し合ってもらいたい。聞き取れない。（外に出て少し聞いてほしい）自治会等で防災について煮詰まった話し合いをしてほしい。（65歳～74歳、女性）
- 高齢者がますます増え1人住まいも増えてくるので近所の見守りが必要。特に台風水害時に年寄り1人でどうやって避難すればいいか行政全体で考えてほしい。（75歳以上、男性）

【子どもの施策に関すること】

- 川越市では学生に対する支援は良く行われているが、未就学児に対する支援も拡大すると思う。（18歳～40歳、男性）
- 児童虐待等で相談したいと思ったとき子供を児童相談所に入れたほうがいいのか考えたことがありました。子供は母を求めてきたり、父が子供に対しひどい態度をとったとき、父と子供を引き離したいだけなのに両親と引き離され学校も行けなくなってしまうのかと考えたときに相談することを考えてしまいました。子供を引き離す考えもありだと思いましたが、父親に対しての教育も必要なのかなと思いました。子

Ⅲ 調査結果

供の虐待はしつけと言われていることが多いと思うので、お父さんたちにしつけと暴力の違いを教育することが必要だと思います。（18歳～40歳、女性）

- 川越市は観光に力を入れていると思うのですが子育て支援や設備が他の市より劣っていると思います。運動場やサッカーグラウンド、体育館が少ないです。市民の生活についてもっと目を向けてほしいと思います。（41歳～64歳、女性）
- 最近、土日に孫を預かる事が多いのですが、いつも孫を遊ばせる事のできる場所を探すのに一苦労しています。公園はいくつかありますが雨の日に行ける所がほとんどなく他市の施設がいつもうらやましくなります。川越は観光客優先で地元の子供の事を本当に考えているのか疑問になります。もっと子供の生活を考えてあげてほしいです。（65歳～74歳、女性）

【高齢者の施策に関すること】

- 高齢者の危険運転、事故が多くなっている中、車がないと不自由な地域に住んでいると何となくわかっていても免許を手放せない方が多くいると思います。高齢者、運転が苦手な人に向けて生活しやすい支援があれば、また今ある活動をもっと身近に感じる事が出来ればいいなと思います。様々な取り組みをしていることは分かりますが何をしているかが全く分からない。（地域や市民に伝わっていない）（18歳～40歳、女性）
- 近所も高齢者世帯が多く、一人暮らしの方が増えていると感じます。見守り活動の充実を望みます。（41歳～64歳、男性）
- 自分が高齢者に向かっている今、将来が不安なのはもちろんですが、今、自分が健康でない事が一番の悩みです。お金のあまりかからない健康増進法をしてほしいです。（41歳～64歳、女性）
- 75歳以上のフレイル対策の充実が必要と考えています。個人的には社交ダンスクラブの充実と普及、並びに初級者・初心者の参加を呼びかけ実行している。このような活動に、市及び協議会の積極的な支援を頂ければと思っています。以上です。（65歳～74歳、男性）
- 高齢になり運転免許の返納と言われているが、シャトルの本数が減り矛盾しているように感じる。交通費の補助とかも充実してほしい。（65歳～74歳、女性）
- 高齢者でマイカー免許返納したいが、公共交通機関（バス）などの利便性を考慮してほしい。「バス運営会社の利益が出ないからできない」は誤りだ。（75歳以上、男性）
- 免許返納後の不安を持っています。低所得の子育て世帯への支援が整うとよいと考えています。（75歳以上、女性）

【障害者・児の施策に関すること】

- 作業所でいつまでも元気に働きたい。（18歳～40歳、男性）
- 我が子（5才）重度知的障害で生活も全介助の状況です。何度も市役所の障害者福祉課に足を運んでいます。本当にたくさんの福祉サービスがあり、驚きました。またそれらのサービスに大変助けられております。辛い思いを何度もしましたが、市役所の方をはじめとし、福祉に携わる方々とお会いする中で何度も支えられてきました。本当に感謝しています。ただひとつ、お願いがあります。私は現在下の子の育児休業中です。フルタイムで働いておりましたが、障害児がいるとなかなかフルタイムはできない状況です。就労されている方の中で、障害をもったお子さんのために仕事を辞めた方のお話はよく

耳にします。もっと、障害のある子がいてもフルタイムで働けるような環境をつくっていただきたいです。インターネットで調べると、障害をもったお子さんのママで正社員として働いているのは全体の 5%と目にしました。働きたくても働けない、そんな方が少しでも減るような社会をつくってほしいと切に願います。（18 歳～40 歳、女性）

- 障害者への偏見を減らすなら、就学前から小学校 1, 2 年生くらいの間、同じクラスで生活させるべきだと思う。（41 歳～64 歳、男性）
- 障害者のいる家庭に対してのフォローがないと思う。障害者には相談員がいて支援してもらっているが、家族の苦しみがわかってないと思う。話をしてもまずは手帳を持っている本人の事。家族が障害者を支えて金銭的にもつらいのに考えてくれない気がします。（41 歳～64 歳、女性）
- 無年金で身体障害手当の無い人（身体障害 1 級）が介護保険を払うのは大変です。（65 歳～74 歳、女性）

【福祉全般に関すること】

- 高階中学校横の交差点ですが、今にもすぐ崩れそうなたん壁なので危ないです。交通量多く子供からお年寄りまで利用する道なので整備していただけたら嬉しいです。いつも事故がおきそうで怖いです。（18 歳～40 歳、男性）
- 子育てと仕事が目の前にあり福祉まで考えられない。経済的に安定がなければ福祉活動をするのは厳しいと思われます。（18 歳～40 歳、女性）
- 市全体を見るとたいへん良い町だと思いますが、地域に限っていうとかなり高齢化が進み、古い行事や考えが根強く残り、時代に合っていないと感じて、私はあまり馴染めません。車の通りが多いせいか、防災川越の無線放送がほとんど聞きとれないので、災害時や防犯面の不安があります。いまだに浄化槽なので経済的にも不公平に思います。（41 歳～64 歳、女性）
- 生活保護世帯に対する経済支援の底上げが叶ったら幸いです。現状は経済的にももちろんですがほかの事でも不安と格差的なことを感じる日々。心のゆとりなどまったくないに等しいです。折れそうになることがあります。（65 歳～74 歳、女性）
- 辛うじて今は動けていますが今度どうなるか分かりません。そんな時のいつでもご相談できる窓口を「1 か所」教えて頂いてたらと思います。（75 歳以上、女性）

【生活意識に関すること】

- 自分が各々の活動に参加する勇気はありませんが、いろいろな活動の必要性は重く感じ支援したいと思っています。支援活動等参加されている方々に日々感謝です。（41 歳～64 歳、男性）
- 現在、家族といるので福祉について切実に考えた事はありません。将来、体が動かなくなった時、一人になった時に困るのでしょうね。今から考えておかないといけないでしょう。（65 歳～74 歳、女性）
- 30年以上ボランティアで読み聞かせ、パネルシアターを中心にやっています。以前は小学校で今は集会所で月に一回保育園に 1 回子供食堂へ 1 回と毎月行っておりますが子供の？親の教育なのか参加者は少なく何か不足している？そんな感じです。時代ですかね？（65 歳～74 歳、女性）
- 長生きしても身体が悪いと困ります。足が痛い人それぞれ痛みが違うでしょう。自分も痛みが酷いが

Ⅲ 調査結果

何とか歩ける。立ち止まり転ばぬように気をつけています。（75歳以上、女性）

- 高齢化が進み今後の私たちの介護の件が一番心配です。子供たちに負担がかかるように思います。一日でも長く自分のことは自分でできるように元気でいたいものです。（75歳以上、女性）

【市や社会福祉協議会に対する意見など】

- 祖母が介護認定にて要介護3をもらっていたが夫、娘（夫は障害持ち91歳娘はフルタイムで働いている）が同居の為、受けられるサービスが一切ないと言われた。（全額自己負担ならもちろんある）近年問題になっている老々介護の現実に直面しており家族が体を壊すのも時間の問題になっている。もう少しなんとかならないものかと思う。（18歳～40歳、女性）
- 行政職の方々がもっと地域の中で一緒に汗を流して活動してほしい。（41歳～64歳、男性）
- 私は主人の母を5年以上介護して参りました。認知症になり1人では介護の難しさを感じ、福祉の方々にお手伝いを頂き、大変助かりましたが、最初は何をどうしたら良いのかわからない事ばかりでした。どこにどう相談すべきか分かりませんでした。（41歳～64歳、女性）
- 認知症で介護施設に入った為、1人暮らしのマンションが空き家になっている人がいる。このような人に行政は何をしてあげられるのか。成年後見制度で解決すべきなのか。空き家対策で解決する事なのか。行政の縦割り組織の狭間で解決の糸口が見えない現状がある。（65歳～74歳、男性）
- いつも大変なお仕事をしてくださりありがたく思っております。皆様のおかげで老人の一人暮らしが不安なく過ごせていることに感謝しています。（65歳～74歳、女性）

【その他】

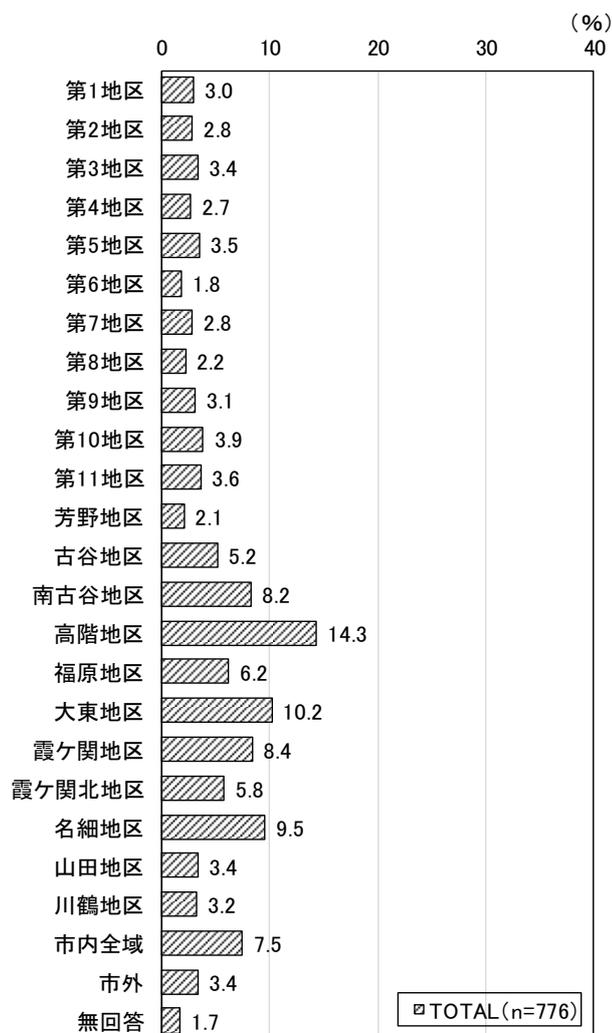
- このアンケートの依頼をするときに、だれがいつ集計をしてどのように公開しどのように活用されるのかを知らせるべきだと思われる。少なくとも記載する人の時間を割かせることになるのだから。（18歳～40歳、男性）
- 今回のアンケートで初めて知る情報が多く驚き、さらに深く知りたいと思いました。私のように取り組みを知らない若者は多いと思うのでもっと市民の目に情報が入る機会を増やすと関心を持ちやすくなると思います。（18歳～40歳、女性）
- 以前関西に住んでいました。こちらに来て感じた事は地域や社会福祉が行き届いている事です。水害の時も良くして頂きました。感謝致しております。（41歳～64歳、男性）
- 川越地域でいろいろな福祉があることに今回のアンケートで知ることが出来ました。その場面にならないと知らずとも思わないことと思います。福祉について改めて考えさせられました。（41歳～64歳、女性）
- いろんな人が「自分で申請しなければ」と言う。何を申請するか、そのことが分からず後でわかる。（65歳～74歳、女性）
- 最近日本人以外の方がアパートで生活していますが、たとえば町会に属さないのにゴミをだし、地域のゴミ清掃活動等に参加していない。アパートの所有者に対して入居者へのアドバイスをすべきだと思う。（75歳以上、男性）
- 近所に要介護認定をうけている人がいるが、今はどこも悪い所がない人がいます。1度認定されると体が治ってもそのまま介護を受けられるのですか。（75歳以上、女性）

【団体・地域活動者調査】

1. 活動について

問 1 活動をしている主なエリアをお答えください。(〇はいくつでも)

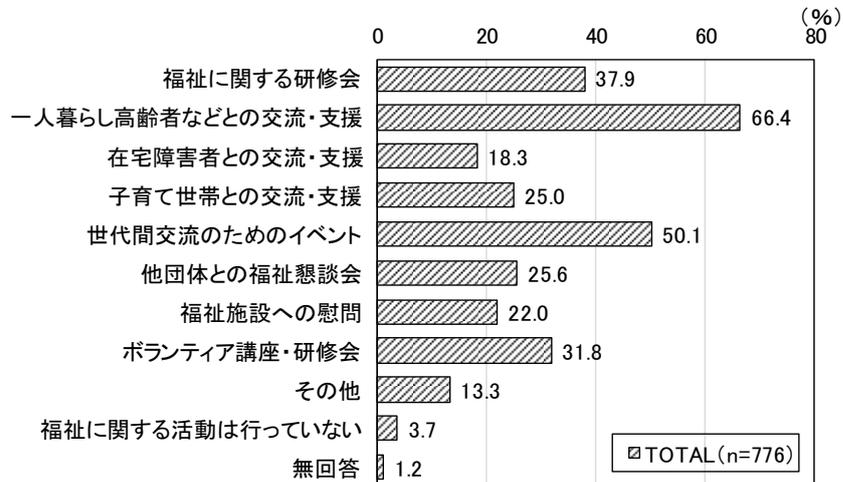
「高階地区」が 14.3% と最も多く、次いで「大東地区」が 10.2%、「名細地区」が 9.5%となっています。



Ⅲ 調査結果

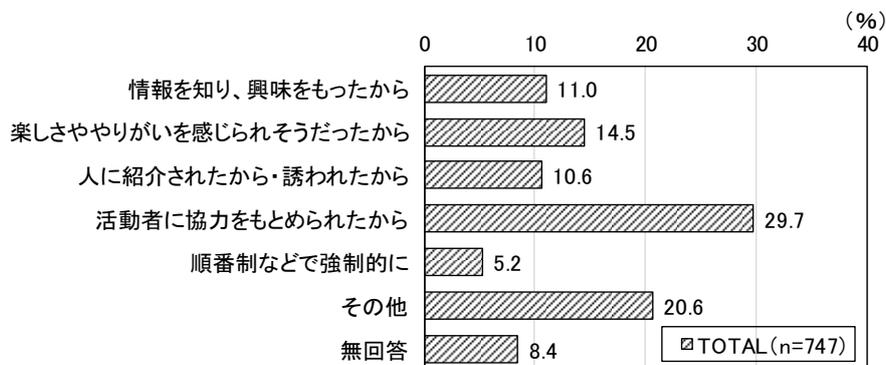
問 2 次の福祉活動の中から主に実施しているものをお答えください。(〇はいくつでも)

「一人暮らし高齢者などとの交流・支援」が 66.4%と最も多く、次いで「世代間交流のためのイベント」が 50.1%、「福祉に関する研修会」が 37.9%となっています。



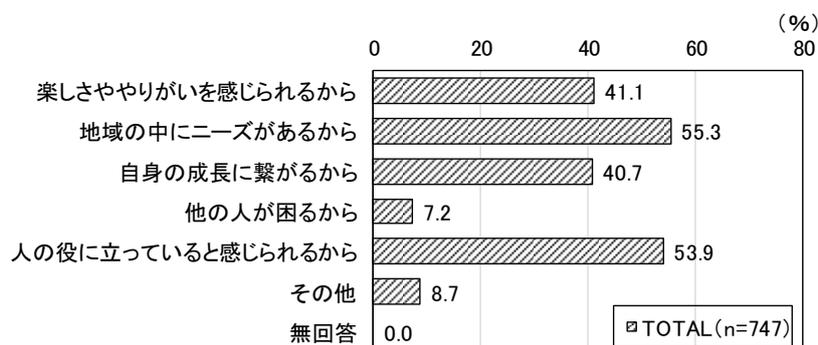
問 3 問 2 の活動を始めたきっかけを教えてください。(〇は 1 つ)

「活動者に協力をもとめられたから」が 29.7%と最も多く、次いで「楽しさややりがいを感じられそうだったから」が 14.5%となっています。



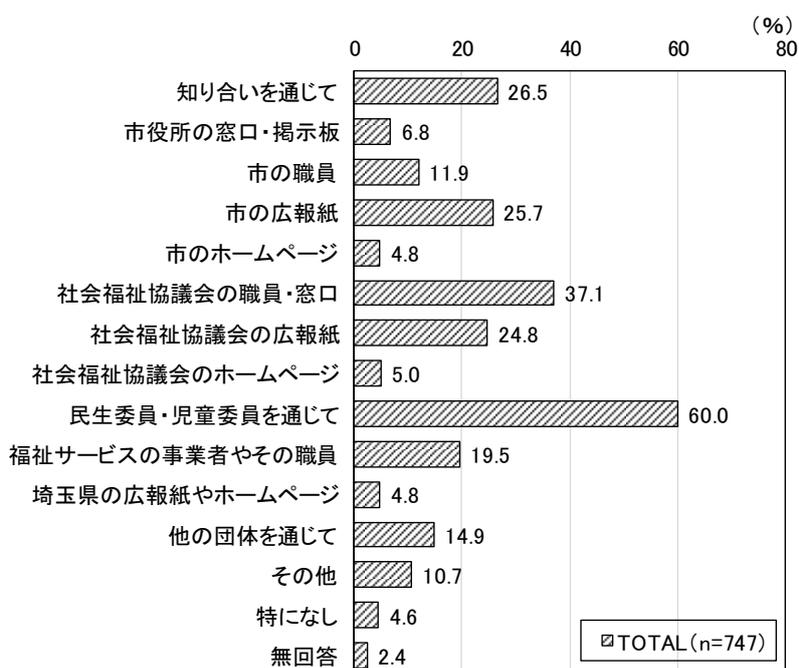
問 4 活動を続けてきた理由をお答えください。(〇はいくつでも)

「地域の中にニーズがあるから」が 55.3%と最も多く、次いで「人の役に立っていると感じられるから」が 53.9%、「楽しさややりがいを感じられるから」が 41.1%となっています。



問 5 活動に必要な情報をどこから入手していますか。(〇はいくつでも)

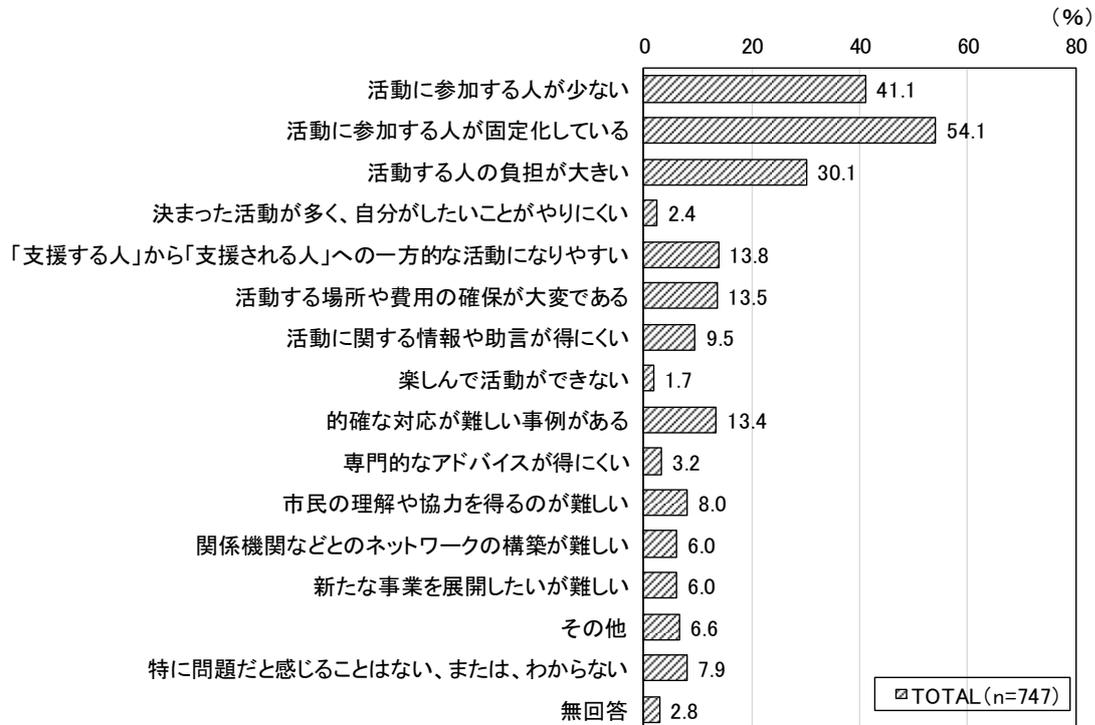
「民生委員・児童委員を通じて」が 60.0%と最も多く、次いで「社会福祉協議会の職員・窓口」が 37.1%、「知り合いを通じて」が 26.5%となっています。



Ⅲ 調査結果

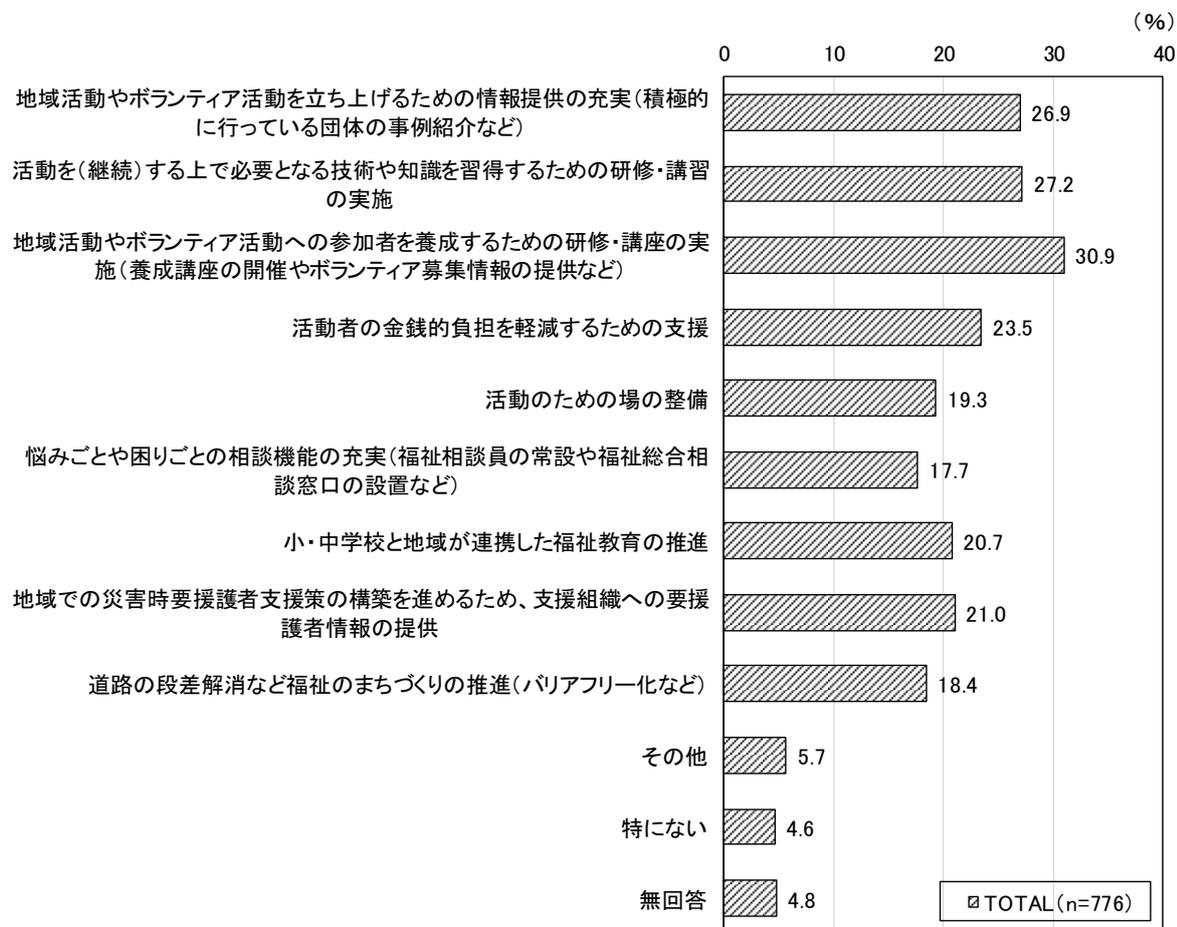
問 6 活動を継続する上で、課題だと思いを次の中からお答えください。(〇は3つまで)

「活動に参加する人が固定化している」が 54.1%と最も多く、次いで「活動に参加する人が少ない」が 41.1%、「活動する人の負担が大きい」が 30.1%となっています。



問 7 地域活動を活性化するために、市や市社会福祉協議会が優先して取り組むべきだと思うものを次の中からお選びください。(〇は3つまで)

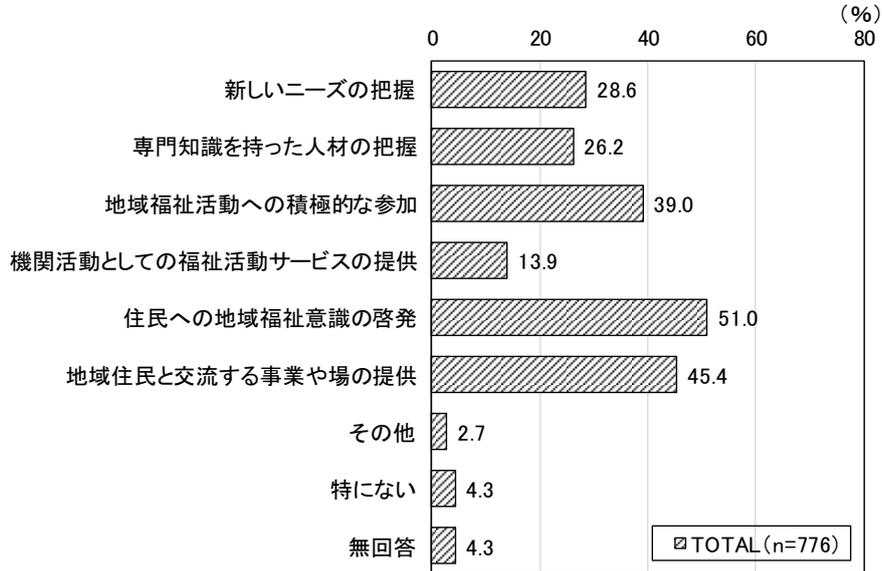
「地域活動やボランティア活動への参加者を養成するための研修・講座の実施（養成講座の開催やボランティア募集情報の提供など）」が 30.9%と最も多く、次いで「活動を（継続）する上で必要となる技術や知識を習得するための研修・講習の実施」が 27.2%、「地域活動やボランティア活動を立ち上げるための情報提供の充実（積極的に行っている団体の事例紹介など）」が 26.9%となっています。



Ⅲ 調査結果

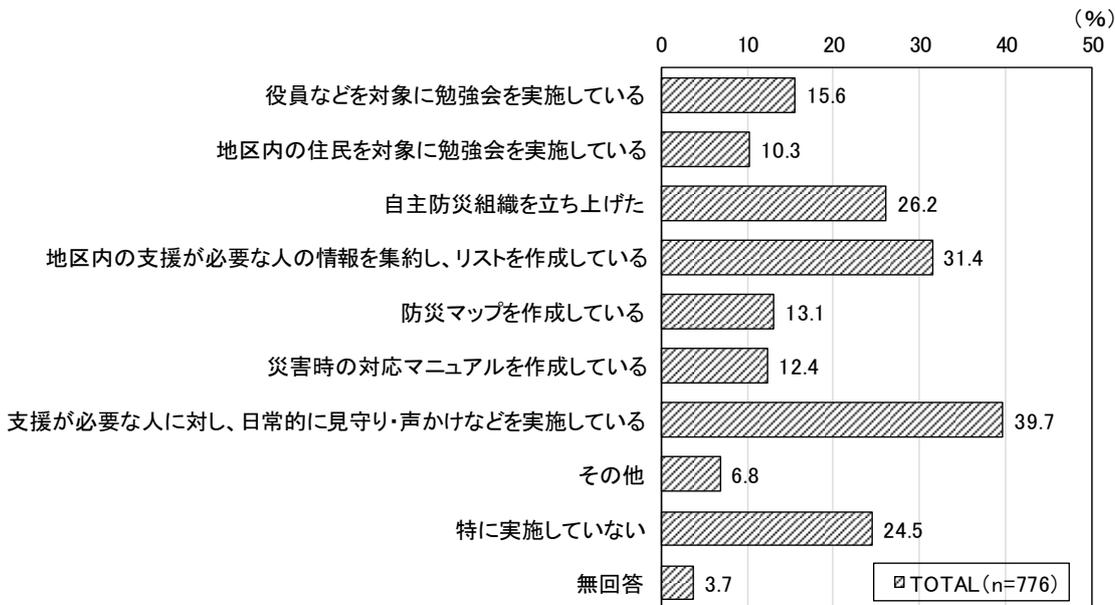
問 8 地域活動を活性化するために、地域や民間の団体・機関が取り組むべきだと思うことを次の中からお選びください。(〇は3つまで)

「住民への地域福祉意識の啓発」が 51.0%と最も多く、次いで「地域住民と交流する事業や場の提供」が 45.4%、「地域福祉活動への積極的な参加」が 39.0%となっています。



問 9 貴団体では、災害時に備えた活動を実施していますか。(〇はいくつでも)

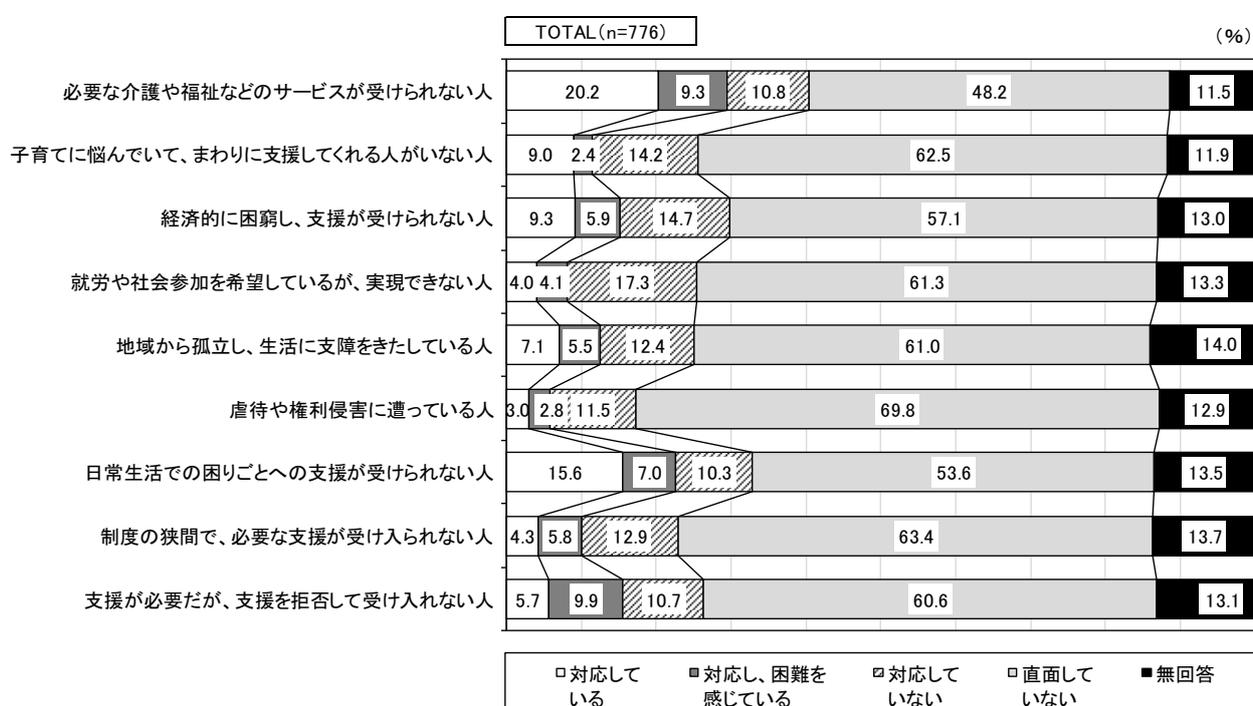
「支援が必要な人に対し、日常的に見守り・声かけなどを実施している」が 39.7%と最も多く、次いで「地区内の支援が必要な人の情報を集約し、リストを作成している」が 31.4%、「自主防災組織を立ち上げた」が 26.2%となっています。



2. 活動を通じて把握している地域状況や課題など

問 10 活動を通じて把握している地域状況や課題など 活動の中で、日常生活に関する次のような課題を持つ人への対応（相談や支援、予防のための取組など）をすることがありますか。また、対応されるなかで困難を感じているものがありますか。（各項目〇は1つ）

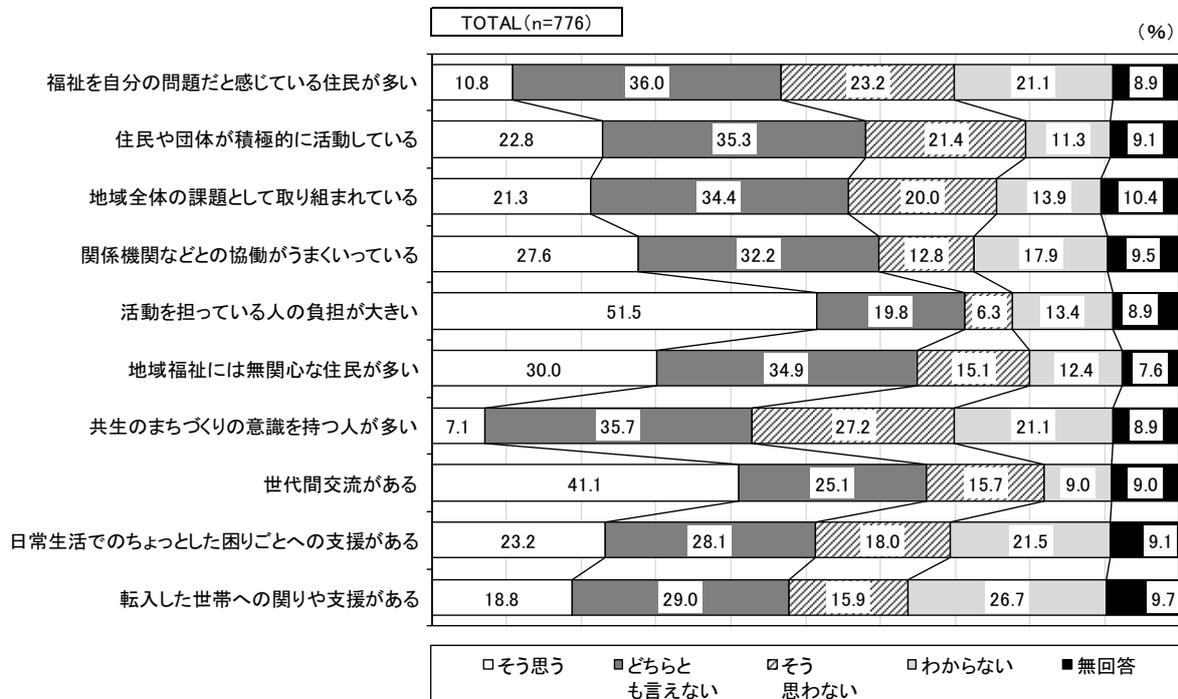
「対応している」の回答が多い項目では、「必要な介護や福祉などのサービスが受けられない人」が最も多く、次いで「日常生活での困りごとへの支援が受けられない人」となっています。「対応し、困難を感じている」の回答が多い項目では、「支援が必要だが、支援を拒否して受け入れない人」が最も多く、「必要な介護や福祉などのサービスが受けられない人」となっています。また、「対応していない」の項目で多いのは、「就労や社会参加を希望しているが、実現できない人」で、「直面していない」の項目で多いのは、「虐待や権利侵害に遭っている人」となっています。



Ⅲ 調査結果

問 11 地域福祉を進めていく上で、地域での支え合いなどに関して、活動されている地域の状況について、どのように感じていますか。(各項目〇は1つ)

「そう思う」の回答が多い項目では、「活動を担っている人の負担が大きい」が最も多く、次いで「世代間交流がある」となっています。「そう思わない」の回答が多い項目では、「共生のまちづくりの意識を持つ人が多い」が最も多く、次いで「福祉を自分の問題だと感じている住民が多い」となっています。



3. 多機関連携・ネットワークについて

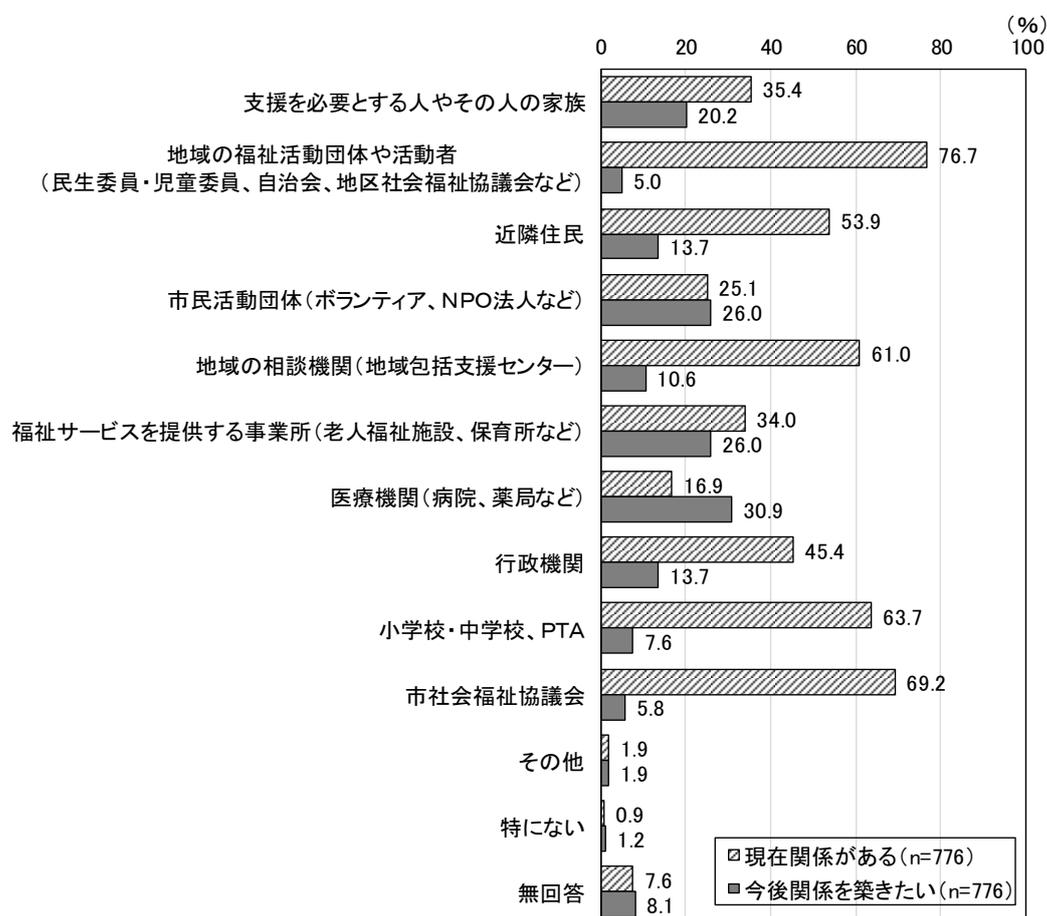
問 12 貴団体が事業の実施や福祉的な支援を行う際に、現在、交流・協力関係にある他の団体・機関を教えてください。(あてはまるものすべてに○) また、今後、貴団体が新たに交流・協力関係を築いていきたいと考える団体・機関を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

【現在関係がある】

「地域の福祉活動団体や活動者（民生委員・児童委員、自治会、地区社会福祉協議会など）」が 76.7%と最も多く、次いで「市社会福祉協議会」が 69.2%、「小学校・中学校、PTA」が 63.7%となっています。

【今後関係を築きたい】

「医療機関（病院、薬局など）」が 30.9%と最も多く、次いで「市民活動団体（ボランティア、NPO法人など）」、「福祉サービスを提供する事業所（老人福祉施設、保育所など）」がともに 26.0%となっています。

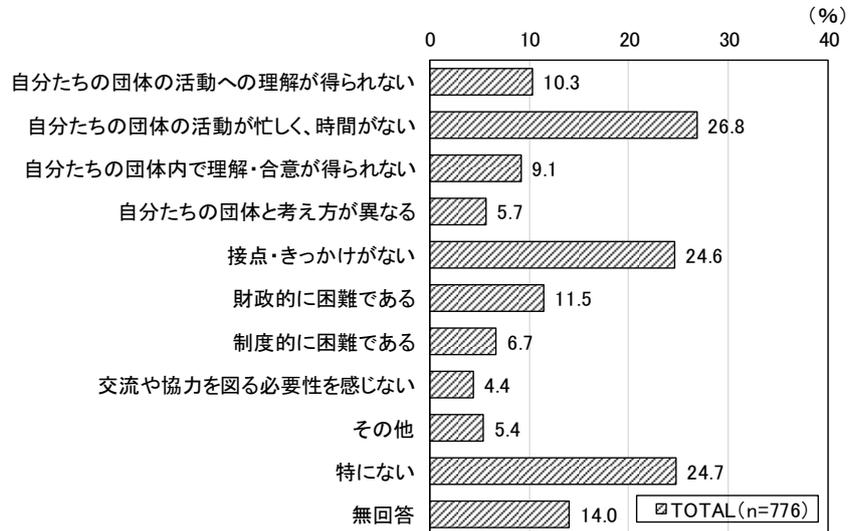


Ⅲ 調査結果

問 13 他の団体や機関と一緒に事業を実施する時や、交流・協力関係を築く際に、問題や妨げとなることはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

「自分たちの団体の活動が忙しく、時間がない」が 26.8%と最も多く、次いで「接点・きっかけがない」が 24.6%となっています。

また、「特にない」は 24.7%となっています。

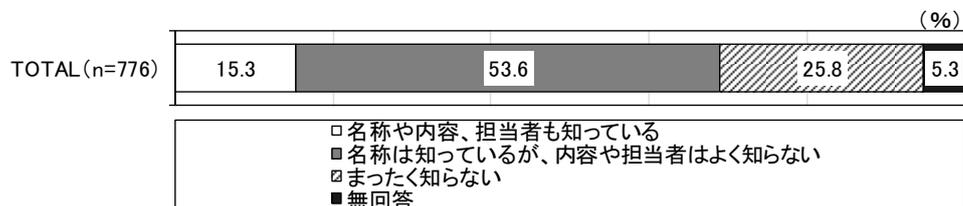


問 14 コミュニティソーシャルワーカー※について知っていますか。(〇は1つ)

※コミュニティソーシャルワーカー：コミュニティソーシャルワーカーは、日常的に地域の状況を把握することで地域の福祉課題を発見し、その解決に向けて、住民活動の支援やさまざまな機関・団体のネットワークづくり、社会資源の開発などを行います。川越市では現在、川越市社会福祉協議会に8名配置されています。

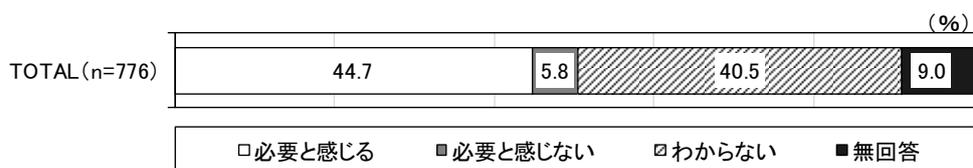
「名称や内容、担当者も知っている」が 15.3%、「名称は知っているが、内容や担当者はよく知らない」が 53.6%、「まったく知らない」が 25.8%、となっています。

。



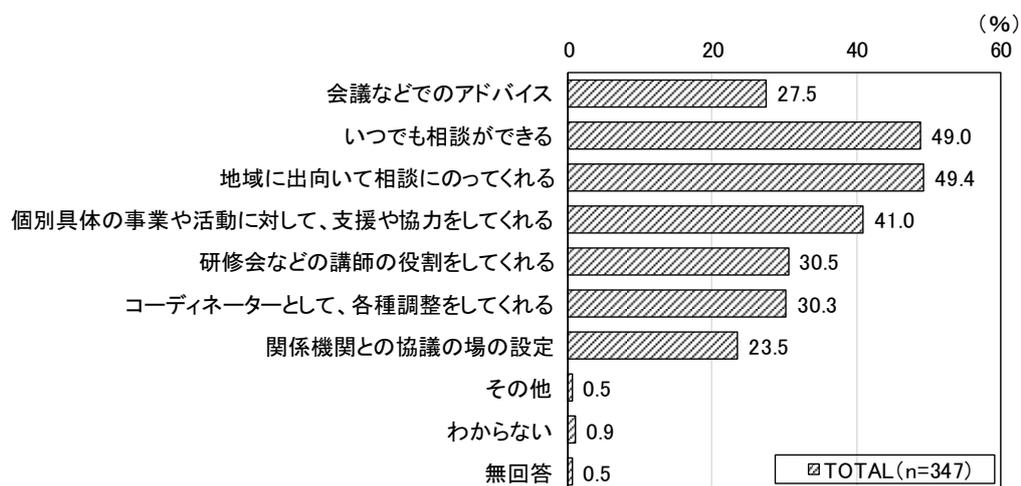
問 15 コミュニティソーシャルワーカーとの関わりを必要と感じますか。(○は1つ)

「必要と感じる」が 44.7%、「必要と感じない」が 5.8%、「わからない」が 40.5%となっています。



問 16 問 15 で「必要と感じる」とした場合、どのような連携・関わりを望みますか。(○は3つまで)

「地域に出向いて相談にのってくれる」が 49.4%と最も多く、次いで「いつでも相談ができる」が 49.0%、「個別具体の事業や活動に対して、支援や協力をしてくれる」が 41.0%となっています。

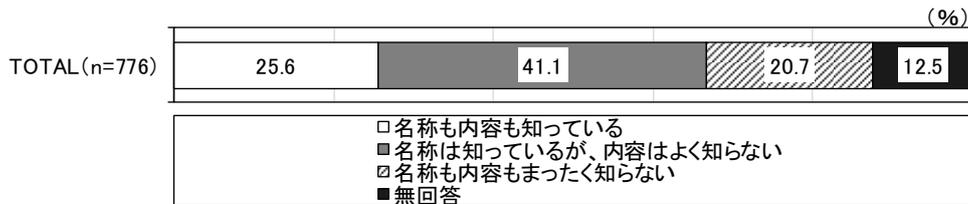


4. 福祉に関する考え

問 17 地域共生社会※について知っていますか。(〇は1つ)

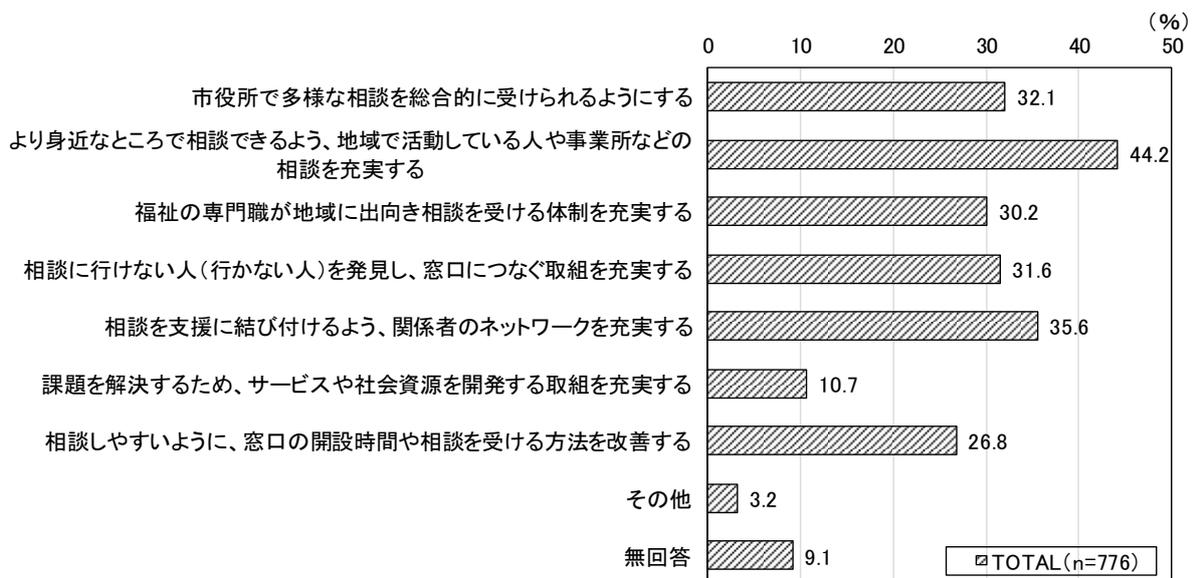
※地域共生社会：制度・分野ごとの『縦割り』や『支え手』『受け手』という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしや生きがい、地域をともに創っていく社会をいいます。

「名称も内容も知っている」が 25.6%、「名称は知っているが、内容はよく知らない」が 41.1%、「名称も内容もまったく知らない」が 20.7%となっています。



問 18 「地域共生社会」では、多様な生活課題に制度の枠を超えて横断的に対応する相談支援体制が求められています。そのような包括的な支援体制を川越市で充実する上で、特に優先的に力を入れて取り組むべきことはどのようなことだと思いますか。(〇は3つまで)

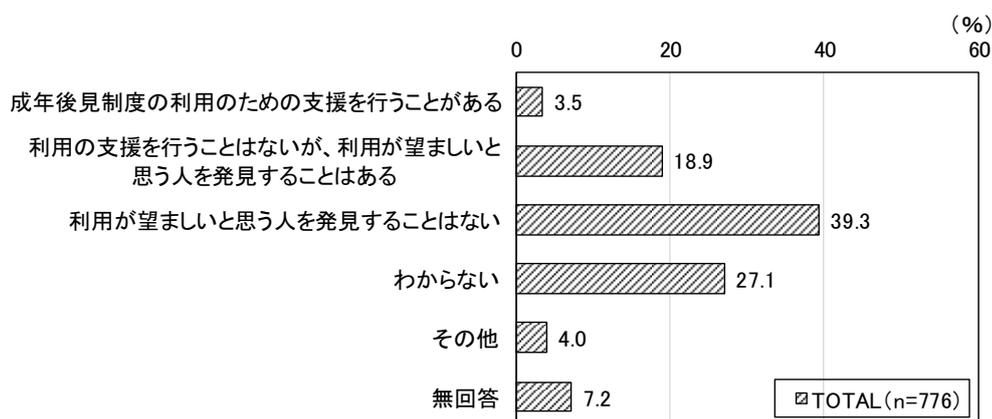
「より身近なところで相談できるよう、地域で活動している人や事業所などの相談を充実する」が 44.2%と最も多く、次いで「相談を支援に結び付けるよう、関係者のネットワークを充実する」が 35.6%、「市役所で多様な相談を総合的に受けられるようにする」が 32.1%となっています。



問 19 活動の中で、成年後見制度※の利用を必要とする人を発見したり、利用のための支援などを行ったりすることがありますか。(〇は1つ)

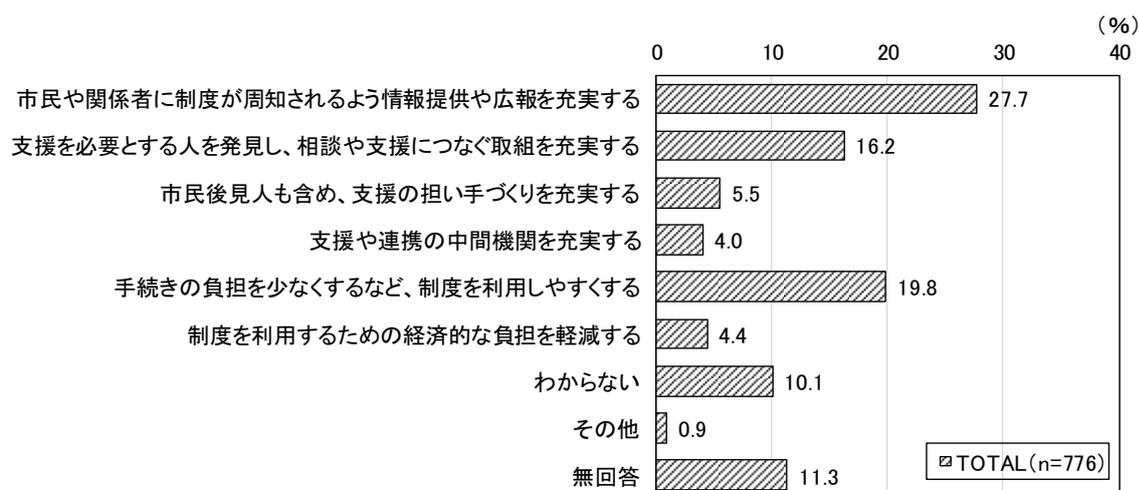
※成年後見制度：認知症、知的障害、精神障害などで判断能力が十分でない方の権利を守り、意思を尊重して自分らしい生活ができるよう財産管理、意思決定の補助などの支援する制度です。

「利用が望ましいと思う人を発見することはない」が 39.3%と最も多く、次いで「利用の支援を行うことはないが、利用が望ましいと思う人を発見することはある」が 18.9%となっています。



問 20 成年後見制度の利用を必要とする人が、制度を利用できるようにするために、特に優先的に力を入れて取り組むべきことはどのようなことだと思いますか。(〇は1つ)

「市民や関係者に制度が周知されるよう情報提供や広報を充実する」が 27.7%と最も多く、次いで「手続きの負担を少なくするなど、制度を利用しやすくする」が 19.8%、「支援を必要とする人を発見し、相談や支援につなぐ取組を充実する」が 16.2%となっています。

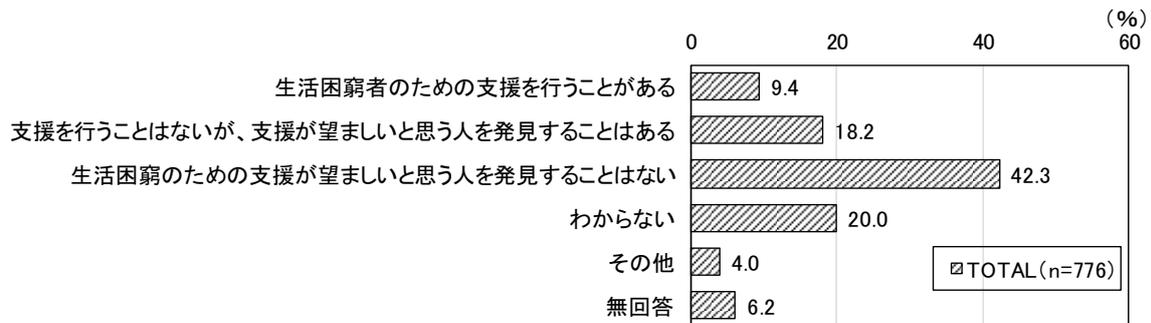


Ⅲ 調査結果

問 21 活動を通じて、生活困窮者※を発見したり、支援したりすることはありますか。
(○は1つ)

※生活困窮者：生活保護に至ってはいないものの、様々な理由で生活に困っており、自立した生活を送るための支援を必要とする方をいいます。

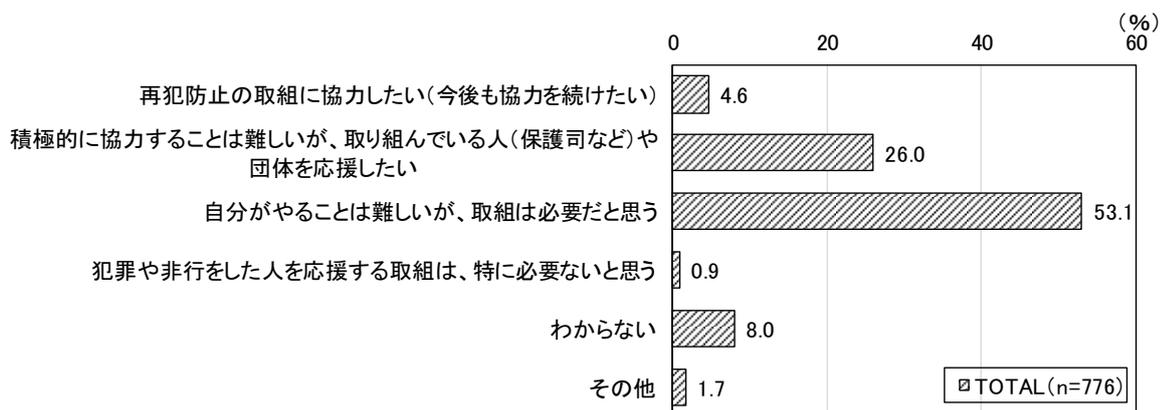
「生活困窮のための支援が望ましいと思う人を発見することはない」が 42.3%と最も多く、次いで「支援を行うことはないが、支援が望ましいと思う人を発見することはある」が 18.2%となっています。



問 22 再犯防止の取組※を進めることについてどのように思いますか。(○は1つ)

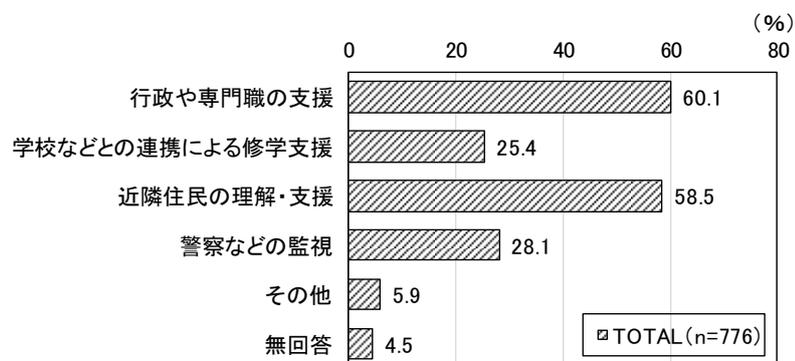
※再犯防止の取組：再犯の防止等の推進に関する法律の施行など犯罪をした人や非行に走った人が円滑に社会復帰できるよう支援し、再び罪を犯さないようにすることで安全・安心な社会をつくる取組です。

「自分がやることは難しいが、取組は必要だと思う」が 53.1%と最も多く、次いで「積極的に協力することは難しいが、取り組んでいる人（保護司など）や団体を応援したい」が 26.0%となっています。



問 23 犯罪をした人や非行に走った人が、地域の中で再び犯罪をすることなく暮らすうえで、どのようなことが必要だと思えますか。(〇はいくつでも)

「行政や専門職の支援」が 60.1%と最も多く、次いで「近隣住民の理解・支援」が 58.5%、「警察などの監視」が 28.1%となっています。



5. 地域や福祉全般についてのご希望やご意見（自由記述）

地域や福祉全般についてご希望やご意見などがありましたら、自由にお書きください。

数多くのご意見が寄せられました。内容は多岐にわたっておりますが、紙面の都合上、そのすべてを掲載できませんが、類似の内容の多かったものや具体的な提案等を、できる限り原文に近い表記で掲載します。

【環境整備などに関すること】

- 高齢者が利用しやすい時間帯のシャトルバスがあれば良いと思います。良く利用する病院やスーパー公共機関などの近くにバス停があれば良いと思います。保健センターまでの交通の便が悪く乳児健診に行かないという話を聞いたこともあります。
- 高齢者の生きがいを保たれるよう空き家、空き土地の活用ができるよう川越市の規則を細かく作って欲しいです。
- 川越駅西口近辺には公共建物が多いが公園が非常に少ない。子供の遊ぶ集まる場所がありません。老人会等でもグランドゴルフをする場所や憩いの場所がないです。皆でおしゃべりする場所や一堂でラジオ体操をする場所が必要です。
- 自治会内に集会所が無くて非常に困っています。いもっ子体操、オレンジカフェを実施していますが、開催場所まで距離があるため行く事が出来ない人が増加。
- 実態を見てそれにあつた福祉の計画や強度行動障害者、重度知的障害者の暮らしの場はグループホームでは不可能です。川越市に将来の暮らしの場である入所施設建設を進めてほしい。地代補助は運営していくには大切な資金です。協力をお願いします。

【情報提供や広報に関すること】

- 「地域福祉計画」及び「地域福祉活動計画」とも市民に知られていないように感じる。行政、社協とも積極的に細やかな会合に出向き周知し、地域住民のニーズにあつた施策を計画にそつて実現できるようにしていただきたい。これにはコミュニティーソーシャルワーカーの充実が必要ではないかと思ひます。できれば各地区に1名の配置が望ましい。
- 我々グループの主目的は老人ホーム等を訪問し、ハーモニカと共に楽しく歌ってもらひ、元気になってもらうことで、月4回練習しています。会員の高齢化が進み、後継者を必要としています。市や福祉協議会への希望は市内のハーモニカ教室の先生方とコンタクトして頂き、受講者には我々グループの存在や活動をPRして頂けるよう働きかけてもらえたら幸いです。
- 色々な福祉サービス等有るが住民個々でどこへどう相談すべきか分かっている人が少ないように思われる。住民個人への情報提供をもつて行う方がよいかと思ひます。
- 高齢者にとっていろいろな情報が入りにくく、例えば台風や気候の変動による大雨等避難を要する情報等も後手になりやすい。もつて情報が早く周知できるような組織作りが必要。
- 小さなマンションに住んでいるが人の出入り等わからないし20年以上話をしたこともない人もいる。こういう環境で歳を取ると、制度があるのも情報を得るのも難しくなる。誰もがすぐ情報を得られる場があるとよい。必要なら（警察が年1度巡回に来るように）向こうから情報を持ってきてくれるようにしたら良いと思ひます。

【意識啓発・教育に関すること】

- 地域教育支援課さんの研修に参加し、講師の先生の話は地域学校、家庭の連携が大切だと伺い、地域の関わり方の大切さを改めて感じます。子供たちが喜び、この地域で育ち大人になる手伝いの一環としてのサポート委員会の企画なのですが、負担だと思われる先生もいらっしゃるので、残念です。なるべく負担の少ない活動にしていきたいとも考えています。市の考え、地域の考え、学校(先生)の考え、家庭の考えがうまくまとまり子供たちの成長のサポートができたらと思っています。
- 福祉活動の必要性を子供のころから植え付けることが必要であると思う。
- 団体活動や自主的な組織を運営していく上で、誰もが社会貢献するような意識向上策が必要であると思います。
- 川越に居住し約 37 年、子育ての考え方も様変わりし、便利で恵まれたこの時代でありながら生きづらさも感じます。様々な関係機関等充実はしてきている中、足りないのは“心”“情熱”かと。その心、情熱ある人材をいかに探し出せるかが最も重要な課題かと思っています。そして今いちばん気になるのは子供達のいじめと自ら命を失う子供達、命の教育と家庭教育が大切。まずは親になる為の準備が必要かと思っています。
- 社会福祉に関心が無い人が多い。行政の啓発活動が足りないと思う。

【交流や近隣との関係づくりに関すること】

- 地域住民が集いやすい場所があり交流できる。養護施設など卒業した後、自立できるまでの支援できる場所があると良い。
- 助け合いは公助→共助→自助に分かれているがこれからは近助（近助付き合い）が大切になる。「向こう三軒両隣」の付き合いがなされていくことが最重要課題であると思う。
- 一人暮らしの方で「ちょっとした困りごと」「作業」など地域に気楽に声掛けをして手助けして下さる方がいる地域作りをしていきたいと思っています。町内で助け合いをしていく取り組みはこれから必要だと思っています。
- 主に高齢者を対象におしゃべりサロンで交流の場を作っているが足が不自由・腰痛などで参加者が同じメンバーになりやすい。また自動車・自転車にも乗れず会場まで来られない。参加が容易な方法があればよい。
- 日頃よりお世話様です。公民館事業の一環として子育てサロンを開催して 10 余年、スタッフの人数も常に整い、お陰様で地域にも根付き楽しみに参加して下さる親子さんも多く嬉しく思います。ただ、足を運べない方もいらっしゃるのではとの方達が気になります。主任児童委員や保健師さんのご協力は得ているのですが、連携の大切さ必要性を感じます。

【イベントや活動に関すること】

- 福祉について 20 代 30 代 40 代の人に知ってもらう為にも知的好奇心や興味が高まる催しを行ってはいかがでしょうか？
- 幸町は住民が大勢集まれる場所や建物がない為、世代交流ができるイベントや行事がありません。老若男女お互いに顔を合わせ楽しく話ができて憩えることができることを願っています。

Ⅲ 調査結果

- 私たちは精神に障害を持つソフトバレーボールチームの活動を支援しています。週 1 回の練習は、総合福祉センターオアシスの体育室や学校開放を使用させていただいています。水害避難受け入れでオアシス体育室が使用できない今、土日の練習場所確保に苦労しています。今後も含め、総合体育館やピコア等の無償使用や早期借用許可が可能になれば、活動に拡がり期待できるのですが。
- 近年、地域でも昔からの伝統的な行事などに積極的に参加する人が減少している。少子化や高齢者の増加などが主な要因だと思われるが、それに伴って自治会役員や民生委員の後任を探すのが大変困難になっており、ボランティアの育成や募集等についても同様の状況と言わざるを得ない。
- 最近フレイルという言葉をよく耳にする事があります。他人ごとの様にはすませない様な気がいたします。地域でも予防のためにもっと力を入れないといけないのではと感じます。

【地域での見守りや支え合いに関すること】

- 個人情報があるため踏み込む事が難しく発見が出来ない。
- 住民の高齢化、地球環境の変化による災害の多発等により、近隣の住民同士の支え合いにシフトをきっていく時期になってきたと思う。核家族、個人尊重、経済重視等々、長短を考え見直し改善していくべき。民生委員がボランティアでいいのか、秘密主義と自治会の災害時の支援計画等、問題点が生じている。
- 近隣でも各戸の状況を把握することはむずかしい。個人情報を優先すれば何も出来ない。孤独死、児童虐待死等発生しないことを願うばかりである。
- 地域では高齢化がどんどん進み、元気なお年寄りがたくさんいる半面、そのかげにかくれている本当に助けを必要とするお年寄りもいっぱいいる。その方々を地域でどう支えていくか？今は民生委員が包括につなぐ役をしているが、どんな専門職が居ても、結局は近隣の助け合いなんだとつくづく思う。オレンジカフェでさえ元気な常連の方々に、認知症の方々を支えていくのは本当に大変である。寺子屋や子供食堂も、実際にやってみても必要とされていない子供達が来て本当に貧困な家庭の子供達をいかにみつけて支援していくか！現実には本当に大変だと思う。厳しい。
- プライバシーの関連で家の中まで入れません。難しいことです。

【自治会に関すること】

- 現在、老人会で友愛活動を実施中ですが、この福祉の輪を自治会全体に普及する必要がある。自治会として自然災害を含めた防災組織や有事の際の避難誘導、支援を必要とする人の把握を目的とした自治消防、防災組織がなく、ぜひ全自治会で防災ネットワークを構成すべきと思います。自治会長の意識改革、防災教育が必要。
- 転居して来る方へ自治会加入を進めるが、周囲との関わりを求めない方が多くなる傾向がある。自治会に入る事を面倒くさいとか、煩わしいと思う人が多いのが要因である。自治会でも未加入の方へ加入を進めるのだが、メリットがないと思う人が多くなっているのでしょうか。地域活動を楽しくよりよい生活をしていくことの大切さを、市をあげて伝えていくことが福祉推進の上でも重要なことではないでしょうか。
- 一人暮らし老人や要支援者の情報が自治会では把握できず民生委員が具体的に誰にどのような支援やサポートを行っているかわからず自治会としての福祉活動の限界を感じている。

- 最近は新住民が地域住民組織の中に多くみられるが、自治会組織に無関心な方もみられる。特に単身者に多い。又、マンション生活者も同様の傾向がみられるが、防災防犯の面からも隣組の助け合い意識を高める必要がある。もろもろの地域活動のPRが広報されることで成果も期待されると思うがいかに実践的活動に結びつけるかは難しい面が多い。この点努力したい。
- 自治会の加入率が減少しています。自治会に入るメリットがないことが原因かもしれませんが、自治会の仕事が増えると役員のなり手がなくなります。同様に民生児童委員を推薦するのも難しくなっていますが、福祉活動を広げることと個人情報保護することの矛盾をどう解消していくのかは永遠の課題ではないでしょうか。

【災害時や非常時の対策などに関すること】

- 今回の台風被害により避難した際、避難場所がいっぱいの為結局入れなかったり年寄り足が不自由の為別な所へ移動は困難だったり問題がいろいろあったようです。障害を持った人々への支援や避難場所などの確保など、行政でいろいろ考えて頂けたらと思います。
- 火災がおき、寝たきりの方の移動をどのようにすればいいのかと困った時の対応を誰に相談するかなどケアマネジャーだけでなく行動できる仕組みにしてほしいです。担当地域の障害者についての情報も100%はわからず困ることが多いです。いざという時の対応方法などを考えてほしいです。
- 当地区は水田地帯であり平坦である。水害時に於ける「車いす」利用者の「ひなん」「救出」「手伝い」等共助の精神は持っているが、本当に的確に共に避難出来るのか、はなはだ心配である。避難所迄の距離が長くこの点も問題がある。
- 今回台風19号により地元川越も被災しました。災害救助法や被災者生活再建支援法など適用されても、情報弱者が知らないままです。個別訪問や電話などで支援もれを絶対に無くすべきです。もっと弱者、要支援者へ行政ももっとよりそって下さい。
- 災害発災時、真先に避難する人は高齢者、障害者（車椅子利用）である。避難場所の構造が2階となっており、車椅子利用者の通路が確保されていない。弱者の利用に即した指定場所、構造について再点検し、検討する必要があると思います。

【民生委員、児童委員の活動や支援などに関すること】

- 主任児童委員を一期やらせていただきましたが、役職としては何を目的にしているかよくわからず終わり、少し残念に思います。民生委員のような確実な仕事があったら良かったと思っています。
- 民生委員をしています。担い手不足が深刻化しています。欠員が多く負担も増えています。高齢化もあり年々活動量が増加しています。
- 民生委員活動において民生委員の仕事を周知している人が少ないと感じる。自治会不参加の所（住民）の対応がわからない。
- 民生委員、児童委員に実費弁償費がでているが、活動すればするほど持ち出しが多くなりボランティア以上の負担（経済的負担）がでる。民生委員が家庭訪問をするために複数での訪問を心がけているが、なかなか複数で訪問できていない。（調整に時間がかかる→単独で訪問してしまう）80歳の男の高齢者宅に女性の民生委員が訪問しづらい、その逆もしかり。

Ⅲ 調査結果

- 民生委員活動を6年間やらせていただきました。居住者カードを提出した方のみ対象であったり、自治会に入っている人が対象ですのでアパートの一人暮らしの人や自治会に入っていない人の所には訪問していません。ですので本当に暮らしや生活に問題をかかえている人はそのアパートや自治会に入っていない方達だと思います。そのような方の支援や発見はいずれにしても困難ではないでしょうか？マンションでもアパートでも一戸建てでもまず隣同士「お互い様」の気持ちで日頃から生活することが最重要だと思います。

【ボランティア活動に関すること】

- 民生委員を続けるうちに地域で健康長寿を目指す為の集いの場所を作りたいと思い健康体操グループの立ち上げをしたばかりです。今後どのような活動をしていくか仲間作りをしながらやっていこうと思っています。ボランティア団体などの情報が得られたらと思います。
- ボランティア活動をするために月に1～2回公民館で練習をしています。4名でのグループのため、利用料は全額負担です。活動の理由等で補助の対象があると良いと思います。
- 本アンケートの冒頭にある「皆様の主体的な活動による地域づくりを目指・・・」とはボランティア（無償の奉仕）によって可能な地域づくり・・・と私には読めるのですが、「福祉計画」にせよ「活動計画」にせよ、ボランティアが集まらない、求められないことでの「計画」を作るべき。
- ボランティアは自発的に行うものであるゆえに、ただ、ボランティアをあてにするのではなく年々減りつつある状態の中もう少し行政の方でも多少の予算を考えるべきだと思います。（※せめて交通費位）
- 障害を持つ方のボランティアをしています。急性期を過ぎるとリハビリの回数も減り、社会や人々との関わりが希薄になり、ひきこもりになったり孤立しがちとなるようです。こんな時、ボランティアとして関わられたらと思います。そのための多少の専門知識の習得とトラブル発生時の助言、補償等（保険でカバーできない事案）のサポートの整備をお願いしたいと思います。

【団体との協力・連携に関すること】

- 他人は他人といった社会情勢の中にあって、人の手の支援を必要としている人を探すのが難しいし、情報も得られない。隠されたまま発見されない事例がきっとたくさんあるものと思われる。横のつながり、ネットワーク等の充実をまず図る事が必要かと思う。
- 自治会、社協、スポ連等他の団体の協力が必要だと思います。
- 多機関連携・ネットワークに川越市老人クラブ連合会をネットワークの中に入れるべきだと思います。
- 社協、ケースワーカー、地域包括、障害者支援センター等それぞれの地域担当と同時に顔を合わせる機会が欲しい。年に1～2回定例会で情報を提供して頂けるとありがたい。
- 地域のことは地域でと、ますます多様化するきめ細かな対応が求められる中で自治会と他の関係機関との連携は不可欠であるということを要件とした場合、次の問題があり解決する必要があると思います。①自治会入会の推進 理想 100%②情報の共有化（あまりにも個人情報保護を優先している）③行政の縦割志向の見直し。

【福祉全般に関すること】

- 地域福祉は「遠くの親戚より近くの他人」という諺のごとく、地域との共生が最も重要なことである。しかし、現状は個人情報も法律的に得ることが制限されコミュニティを形成することが難しい。如何に「近くの他人」とコミュニケーションをとるか、その同義付けの手段は地域の活性化を図ることである。また福祉とは共生であることを行政と地域は共に多種多様な活動を通して啓発をしていく必要があると考える。
- 高齢化に伴う地域活動を若者（30～40代）に伝えていく事が必要である。
- 地域福祉に協力してもらいたい年代は仕事、子育て世代と重なり何をするのも参加しづらい。この年代の参加、協力をえられるようにしないと高齢者のみが活動する事になって先細りの状態になると思う。
- 見て見ぬふりの社会になりつつありますが、昔の様に自ら手を指しのべる行動が社会を動かす力となると思います。そのためには町内、地域の取り組みが大切だと思います。

【市や社会福祉協議会に対する意見・要望など】

- 組織としての「市」、人としての「職員」が今以上に「市民」なり「自治会」に寄り添ってほしい。市役所「窓口」での相談事に「原則」だけでの対応を感じた時があった。「原則」と「実態」を住民側に立って方策を考えてほしい。
- 市職員が現場（地）に出向き、地域の実情等を把握し社協と連携をとり、地域福祉活動計画に取り組んで欲しいと思います。
- 2025年まで高齢化が増々進む状況ですが、地域（現場）と行政の距離を感じます。社協の担当者は地域によく入って下さり人間関係も深くなっていると思いますが、市・行政の方々も積極的に地域に入り現状を見て感じた事を取り入れてほしいと思います。
- 今後高齢化が進む中「助けて」と言える地域であってほしいと思います。そのためには何が必要なのか考えていき行動したいと思っています。本音の言える行政を望みます。
- 色々な場で支援を必要としたり相談しようとして対峙する事があるが個人情報等でむずかしい事が多い。こんな時情報を知り得る立場のお役所がもっと動いてくれるとありがたい。民生委員も年齢が高くベテランではあるが、現在忙しすぎる。退任した後すぐ支援が必要になる。そのような現実も実際ある。

【その他】

- 浦和から川越に引っ越して来てこちらでは居住者カードがあり助かりました。
- 医療、福祉、介護等大事な事と考えます。しかしそれも国にある程度の力がなければ成り立ちません。その事が理解出来ず福祉をさげんでいる人々がありますが個人として理解出来ません。
- 相談の対応の難しさを痛感しています。医療機関より認知症の傾向があると云われてるようですが、自覚がないので。これからは認知症の方も多くなり対応もより難しくなりそうです。
- アンケートの内容が私にとってとても重く感じられました。今後地域の住民の方々、自治会役員、又民生委員仲間と考えながら福祉に役立てる様にしていきたいと考えています。

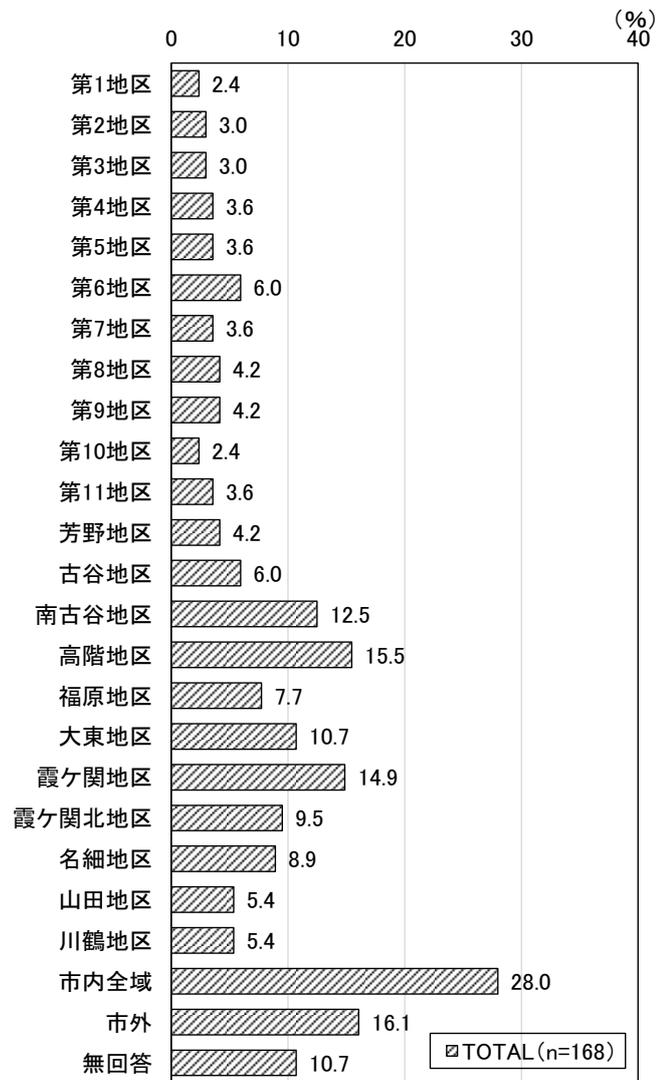
Ⅲ 調査結果

【関係機関調査】

1. 貴機関について

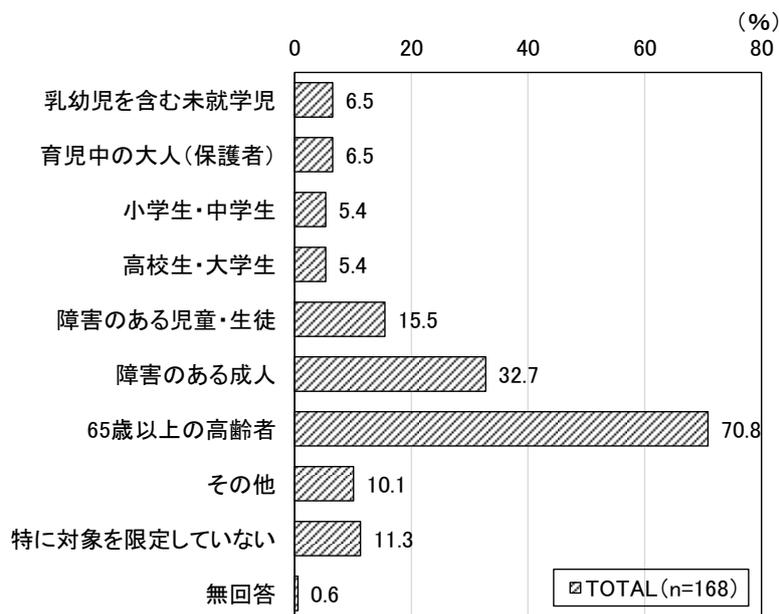
問 1 活動が行われている主な地区を教えてください。(〇はいくつでも)

「市内全域」が 28.0%と最も多く、次いで「市外」が 16.1%、「高階地区」が 15.5%となっています。



問 2 業務の主な対象者を教えてください。(〇はいくつでも)

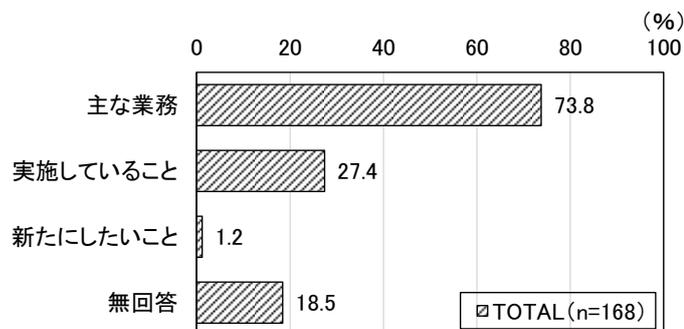
「65 歳以上の高齢者」が 70.8%と最も多く、次いで「障害のある成人」が 32.7%、「障害のある児童・生徒」が 15.5%となっています。



問 3 貴機関で実施している主な業務、主ではないが実施していること、今後、新たに取り組んでいきたいと思われていることはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

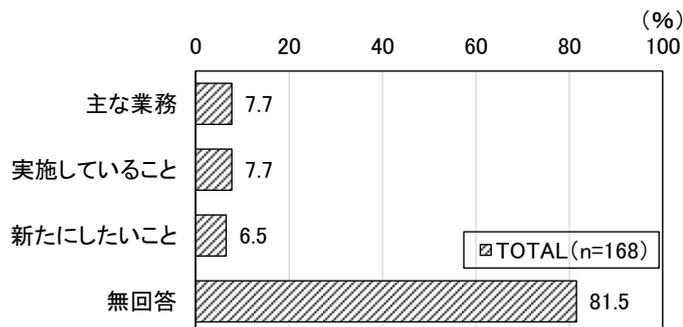
福祉や保健・医療に関する支援

「主な業務」が 73.8%と最も多く、次いで「実施していること」が 27.4%、「新たにしたいこと」が 1.2%となっています。



子育てや教育に関する支援

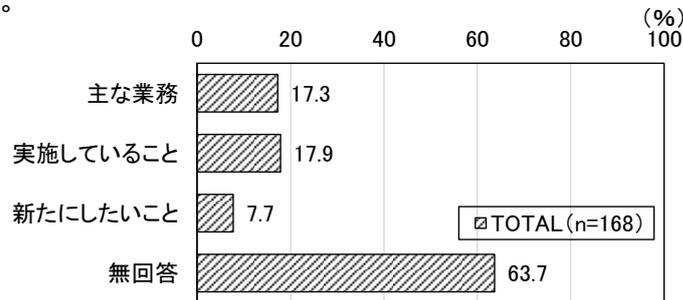
「主な業務」「実施していること」がともに 7.7%と最も多く、次いで「新たにしたいこと」が 6.5%となっています。



Ⅲ 調査結果

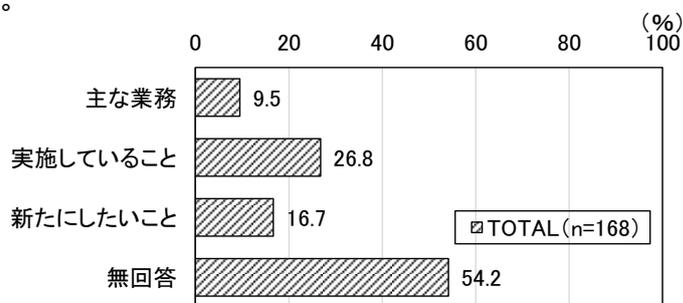
その他の相談支援

「実施していること」が 17.9%と最も多く、次いで「主な業務」が 17.3%、「新たにしたいこと」が 7.7%となっています。



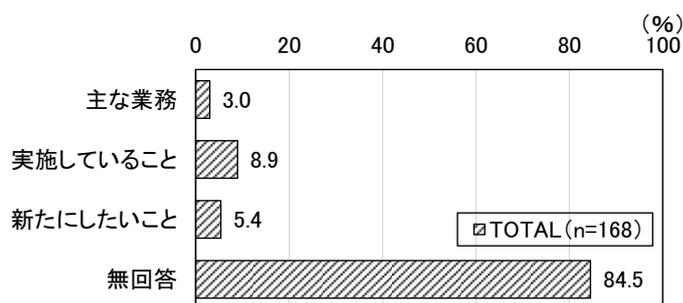
地域の福祉活動への支援

「実施していること」が 26.8%と最も多く、次いで「新たにしたいこと」が 16.7%、「主な業務」が 9.5%となっています。



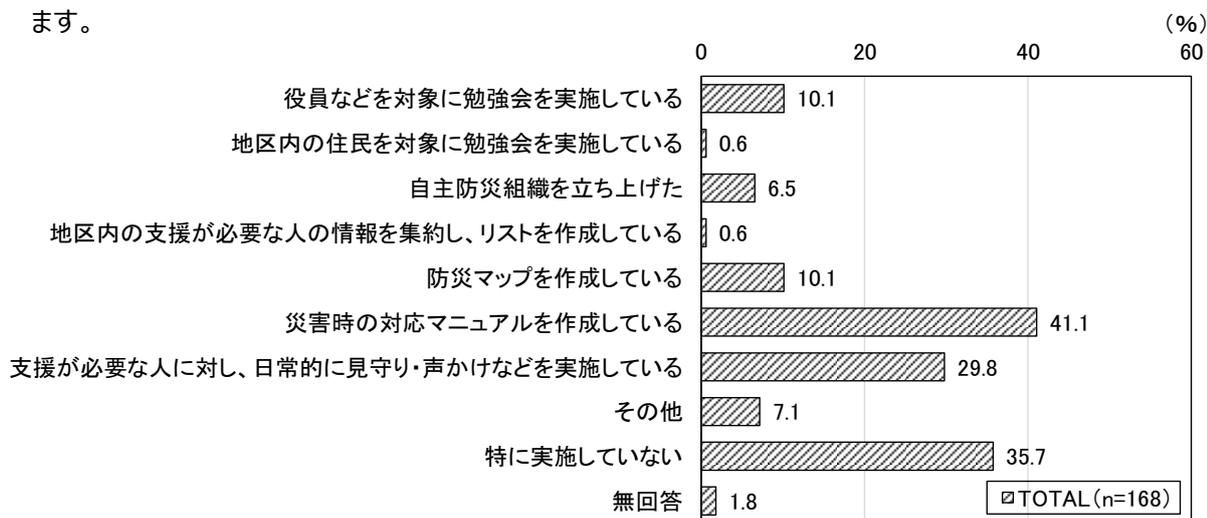
問 2 の対象者以外の方に対する支援

「実施していること」が 8.9%と最も多く、次いで「新たにしたいこと」が 5.4%、「主な業務」が 3.0%となっています。



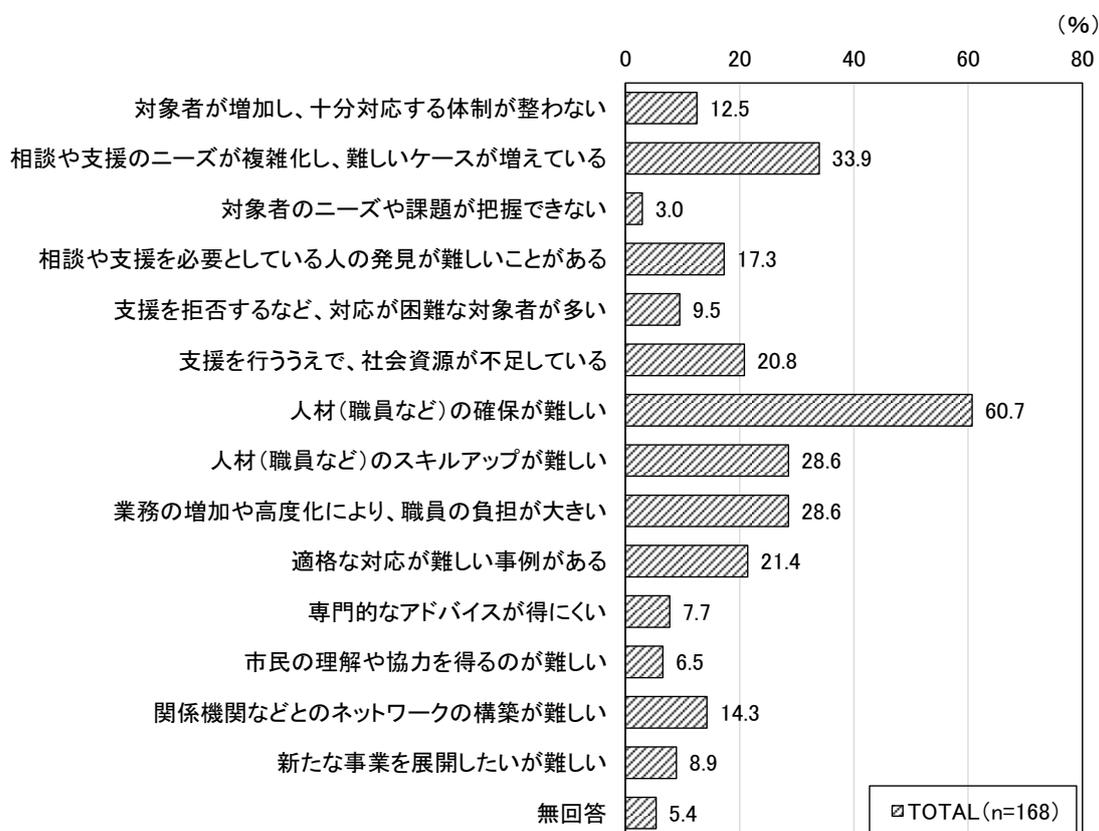
問 4 貴機関では、地域と連携して災害時に備えて、次の活動の中で実施しているものがありますか。(〇はいくつでも)

「災害時の対応マニュアルを作成している」が 41.1%と最も多く、次いで「特に実施していない」が 35.7%、「支援が必要な人に対し、日常的に見守り・声かけなどを実施している」が 29.8%となっています。



問 5 業務を実施する上で次のような課題はありますか。(〇はいくつでも)

「人材（職員など）の確保が難しい」が 60.7%と最も多く、次いで「相談や支援のニーズが複雑化し、難しいケースが増えている」が 33.9%、「人材（職員など）のスキルアップが難しい」、「業務の増加や高度化により、職員の負担が大きい」がともに 28.6%となっています。



2. 業務を通じて把握している地域状況や課題など

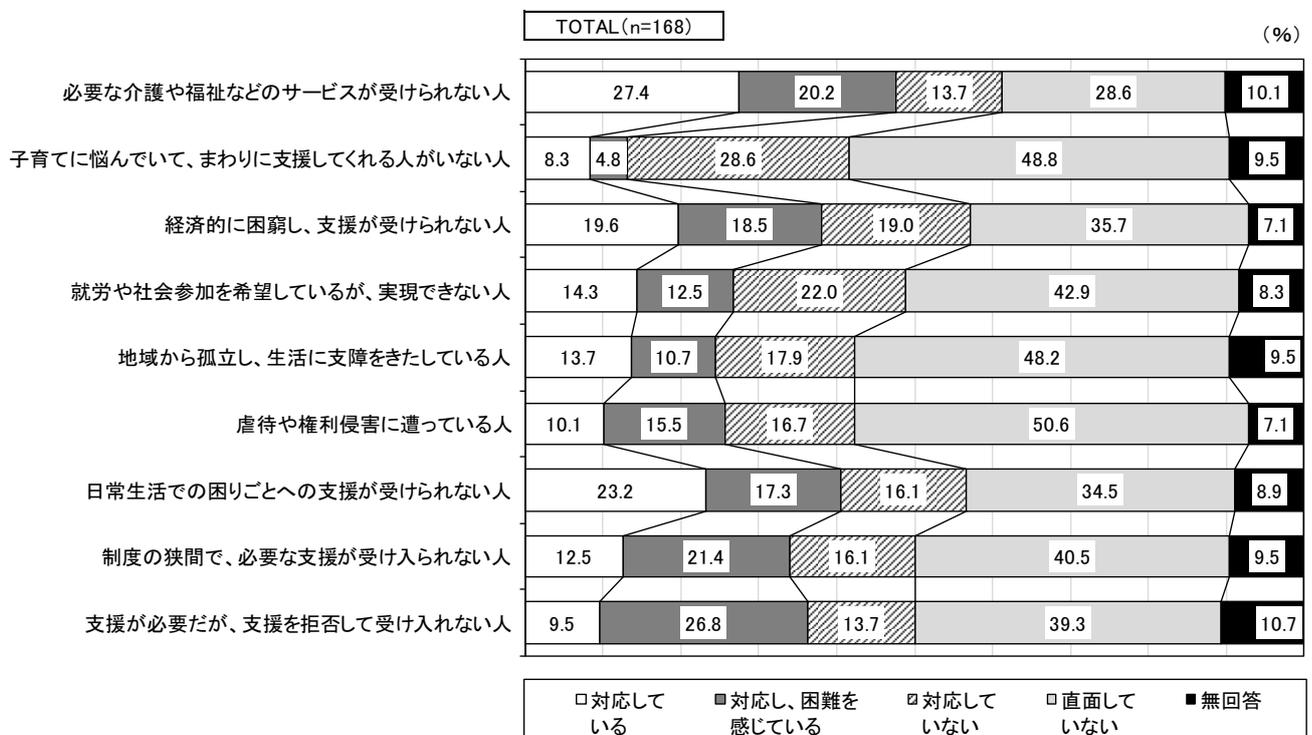
問 6 業務の中で、日常生活に関する次のような課題を持つ人への対応（相談や支援、予防のための取組など）をすることがありますか。また、対応に関し困難を感じているものがありますか。（各項目〇は1つ）

「対応している」の回答では、「必要な介護や福祉などのサービスが受けられない人」が最も多く、次いで「日常生活での困りごとへの支援が受けられない人」となっています。

「対応し、困難を感じている」の回答では、「支援が必要だが、支援を拒否して受け入れない人」が最も多く、次いで「制度の狭間で、必要な支援が受け入れられない人」となっています。

「対応していない」の回答では、「子育てに悩んでいて、まわりに支援してくれる人がいない人」が最も多くなっています。

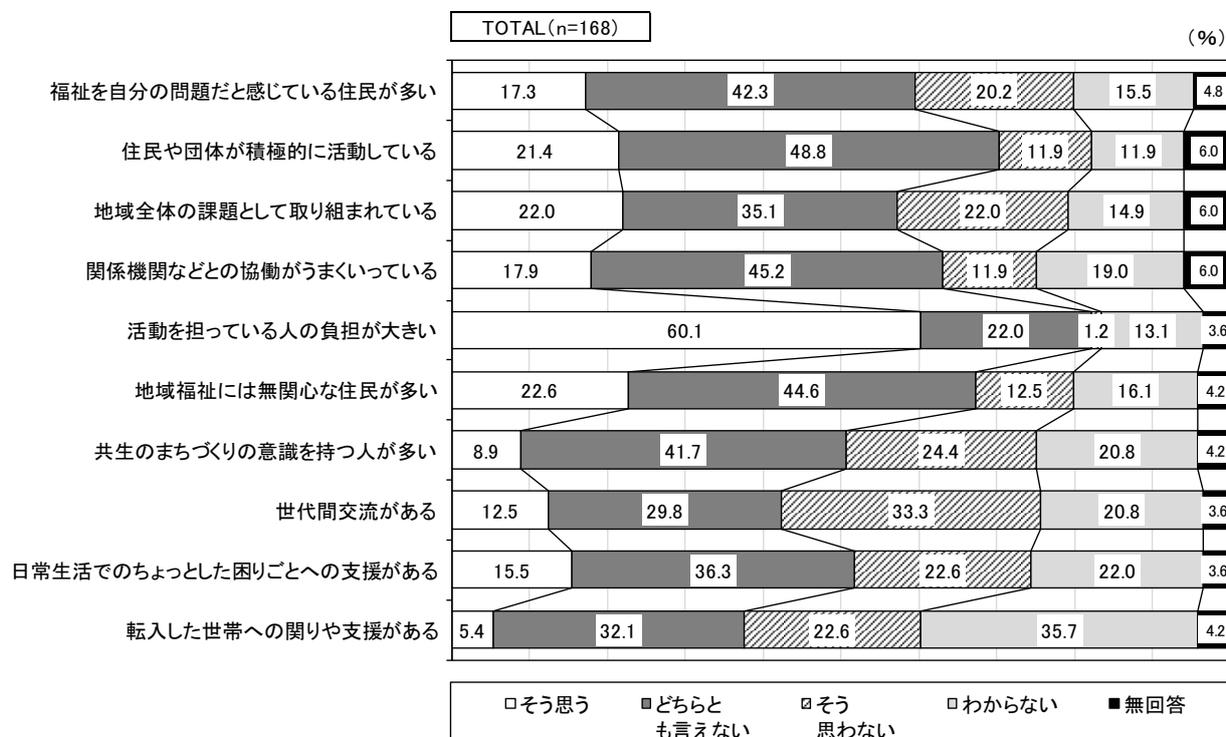
「直面していない」の回答では、「虐待や権利侵害に遭っている人」が最も多く、次いで「子育てに悩んでいて、まわりに支援してくれる人がいない人」、「地域から孤立し、生活に支障をきたしている人」となっています。



問 7 地域福祉の推進（地域での支え合いなど）に関し、地域の状況についてどのように感じていますか。（各項目〇は1つ）

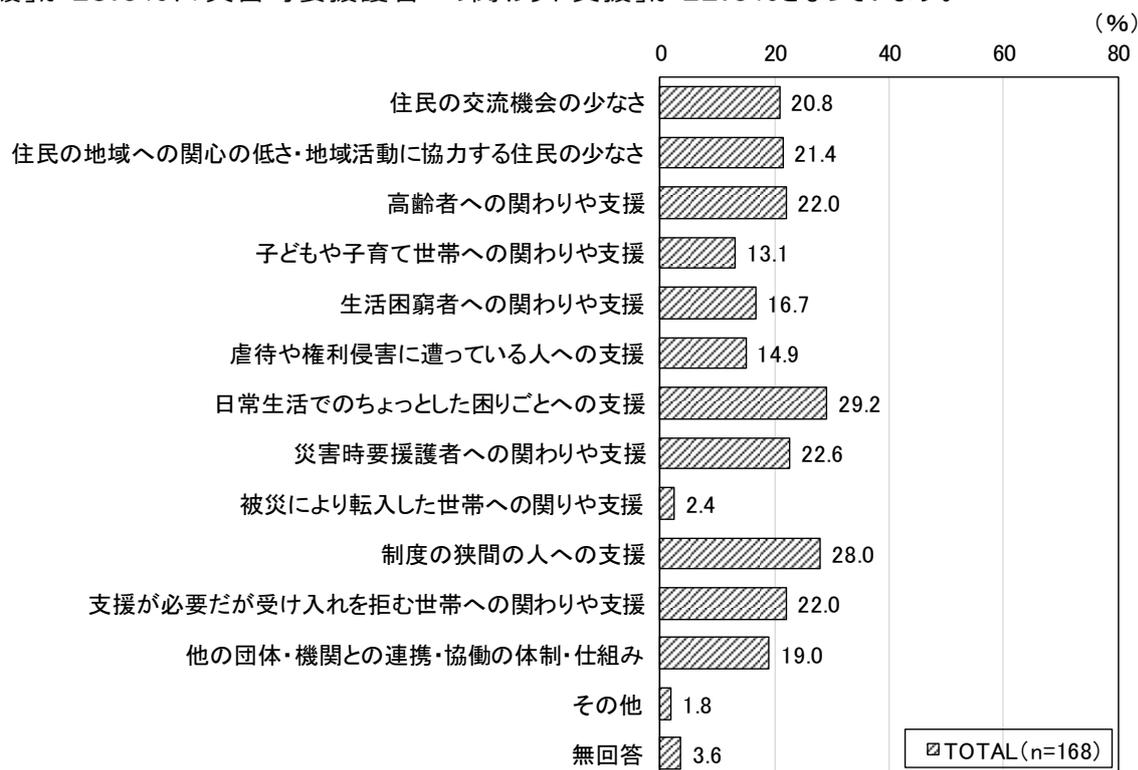
「そう思う」の回答では、「活動を担っている人の負担が大きい」が最も多くなっています。

「そう思わない」の回答では、「世代間交流がある」が最も多くなっています。



問 8 業務を通じて、市民の日常生活上のどのような課題や問題があると感じていますか。（〇は3つまで）

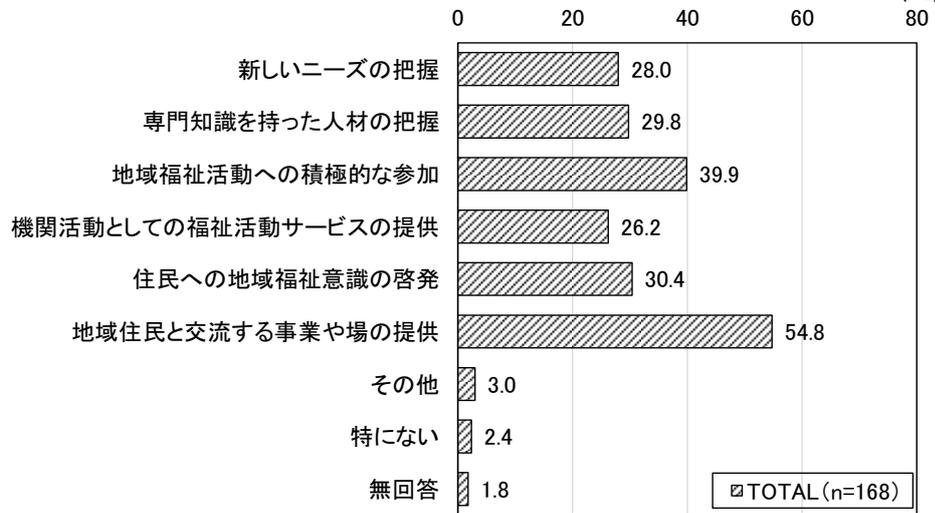
「日常生活でのちょっとした困りごとへの支援」が 29.2%と最も多く、次いで「制度の狭間の人への支援」が 28.0%、「災害時要援護者への関わりや支援」が 22.6%となっています。



Ⅲ 調査結果

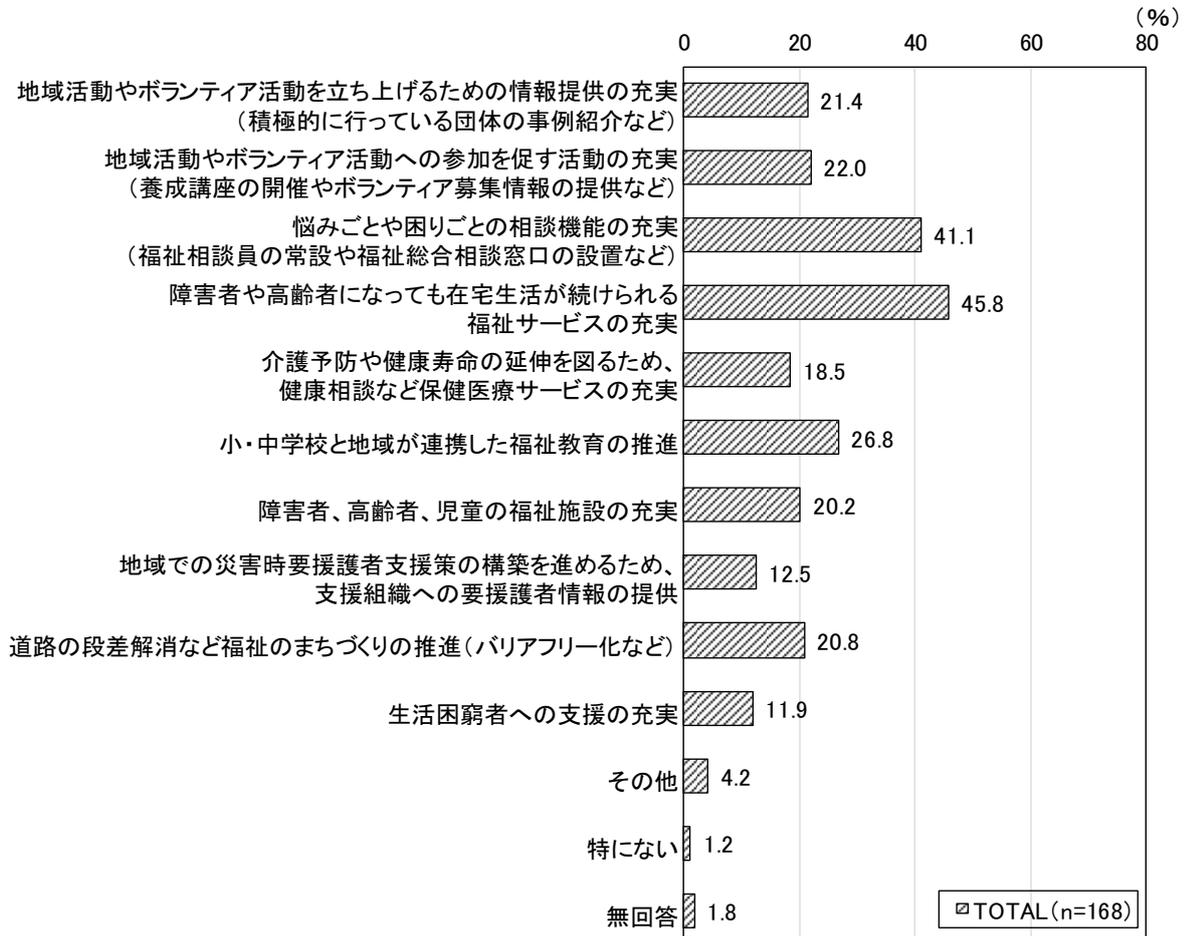
問 9 地域活動を活性化するために、地域や民間の団体・機関が取り組むべきだと思うことを次の中からお選びください。(〇は3つまで)

「地域住民と交流する事業や場の提供」が 54.8%と最も多く、次いで「地域福祉活動への積極的な参加」が 39.9%、「住民への地域福祉意識の啓発」が 30.4%となっています。



問 10 地域活動を活性化するために、市や市社会福祉協議会が優先して取り組むべきだと思うものを次の中からお選びください。(〇は3つまで)

「障害者や高齢者になっても在宅生活が続けられる福祉サービスの充実」が 45.8%と最も多く、次いで「悩みごとや困りごとの相談機能の充実（福祉相談員の常設や福祉総合相談窓口の設置など）」が 41.1%、「小・中学校と地域が連携した福祉教育の推進」が 26.8%となっています。



3. 多機関連携・ネットワークについて

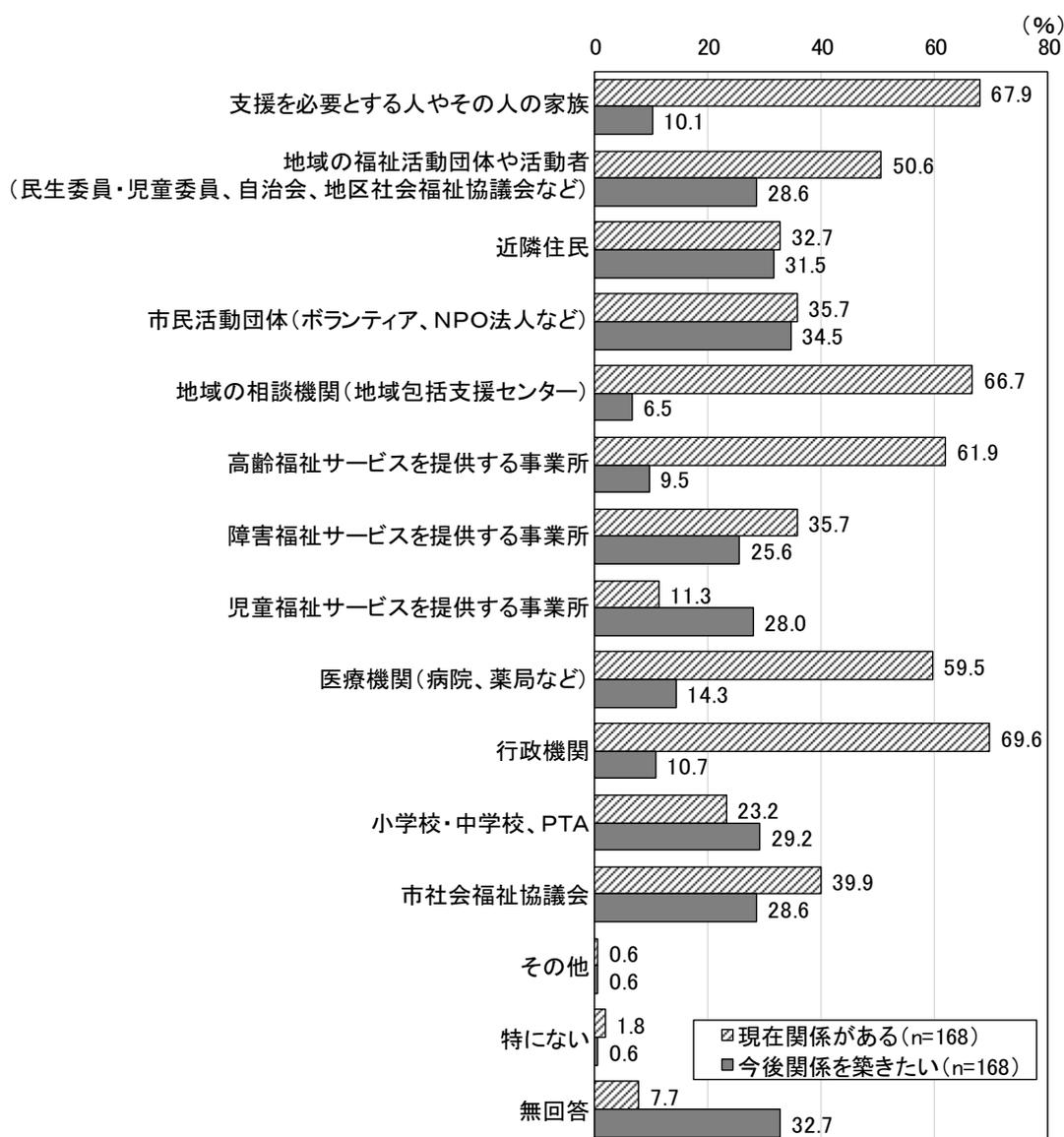
問 11 貴機関が事業の実施や福祉的な支援を行う際に、現在、交流・協力関係にある他の団体・機関を教えてください。(あてはまるものすべてに○) また、今後、貴機関が新たに交流・協力関係を築いていきたいと考える団体・機関を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

【現在関係がある】

「行政機関」が 69.6%と最も多く、次いで「支援を必要とする人やその人の家族」が 67.9%、「地域の相談機関（地域包括支援センター）」が 66.7%となっています。

【今後関係を築きたい】

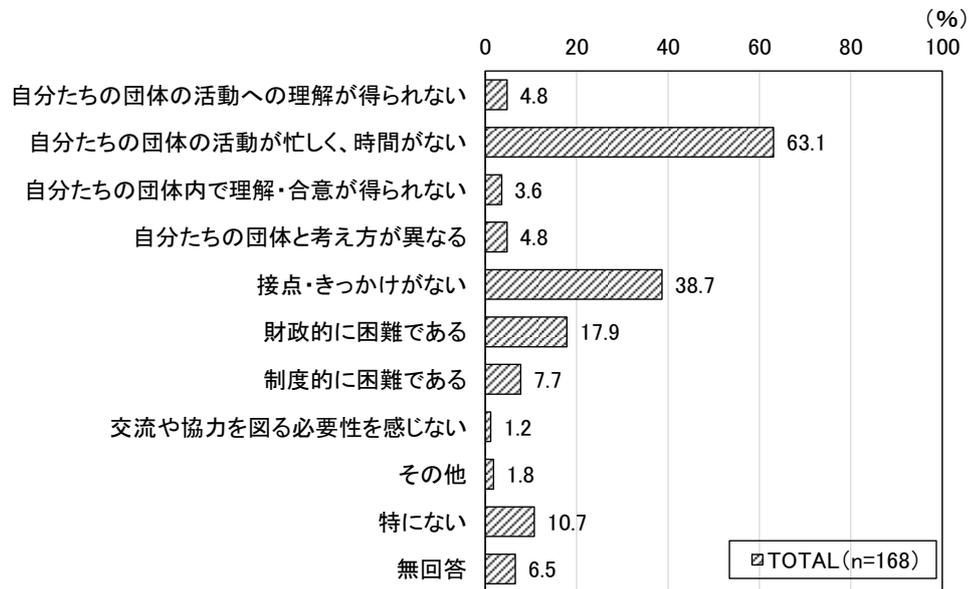
「市民活動団体（ボランティア、NPO法人など）」が 34.5%と最も多く、次いで「近隣住民」が 31.5%、「小学校・中学校、PTA」が 29.2%となっています。



Ⅲ 調査結果

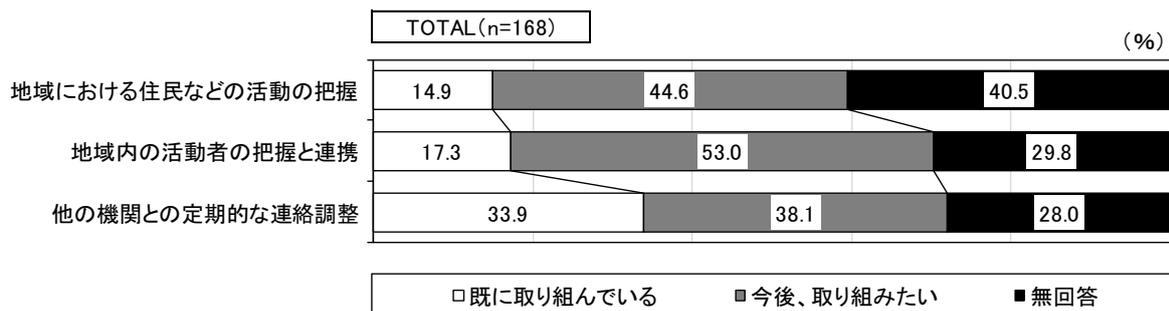
問 12 他の団体や機関と一緒に事業を実施する際や、交流・協力関係を築く際に、課題や妨げとなることはどのようなことですか。(〇はいくつでも)

「自分たちの団体の活動が忙しく、時間がない」が 63.1%と最も多く、次いで「接点・きっかけがない」が 38.7%、「財政的に困難である」が 17.9%となっています。



問 13 地域の中で関係者や関係機関のネットワークを活性化するために、貴機関が取り組んでいることを教えてください。また、今後、取り組みたいと考えることを教えてください。(あてはまるものすべてに〇)

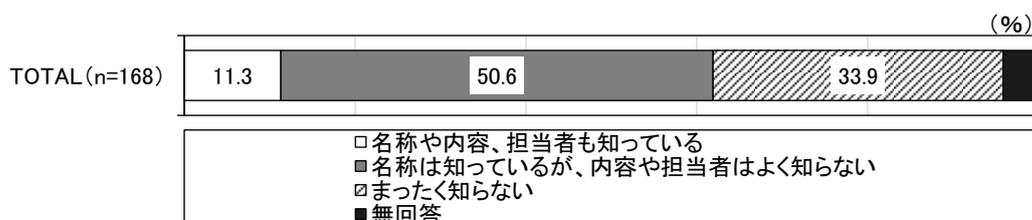
「既に取り組んでいる」の回答では、「他の機関との定期的な連絡調整」が最も多くなっています。「今後、取り組みたい」の回答では、「地域内の活動者の把握と連携」が最も多くなっています。



問 14 コミュニティソーシャルワーカー※について知っていますか。(○は1つ)

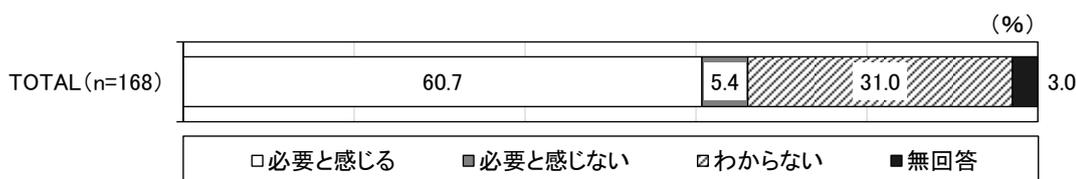
※コミュニティソーシャルワーカー：コミュニティソーシャルワーカーは、日常的に地域の状況を把握することで地域の福祉課題を発見し、その解決に向けて、住民活動の支援やさまざまな機関・団体のネットワークづくり、社会資源の開発などを行います。川越市では現在、川越市社会福祉協議会に8名配置されています。

「名称や内容、担当者も知っている」が 11.3%、「名称は知っているが、内容や担当者はよく知らない」が 50.6%、「まったく知らない」が 33.9%、となっています。



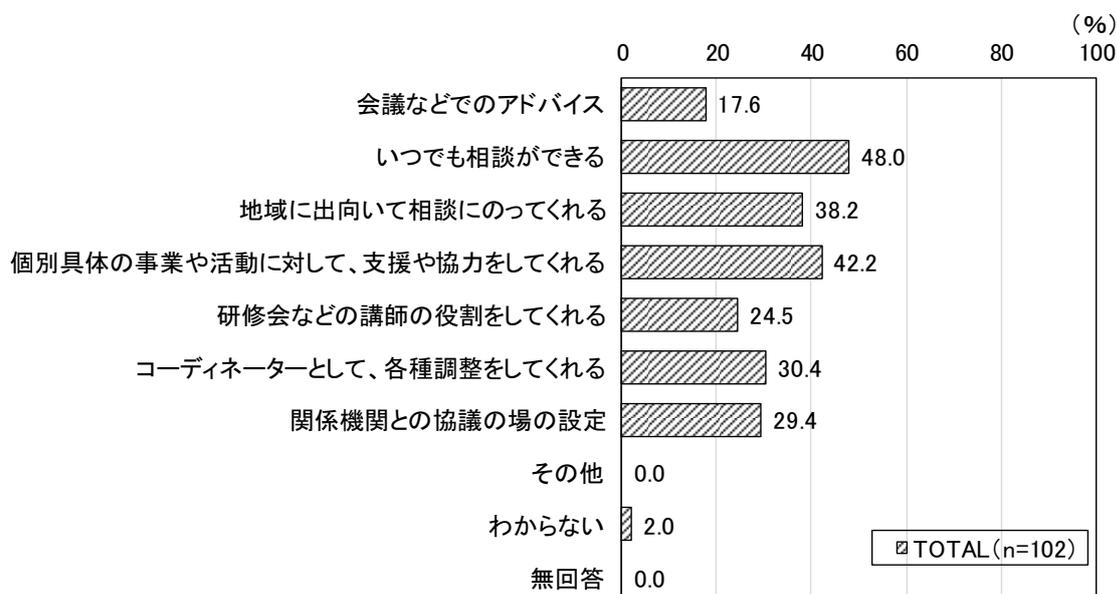
問 15 コミュニティソーシャルワーカーとの関わりを必要と感じますか。(○は1つ)

「必要と感じる」が 60.7%、「必要と感じない」が 5.4%、「わからない」が 31.0%となっています。



問 16 問 15で「必要と感じる」とした場合 どのような連携・関わりを望みますか。(○は3つまで)

「いつでも相談ができる」が 48.0%と最も多く、次いで「個別具体的な事業や活動に対して、支援や協力をしてくれる」が 42.2%、「地域に出向いて相談にのってくれる」が 38.2%となっています。

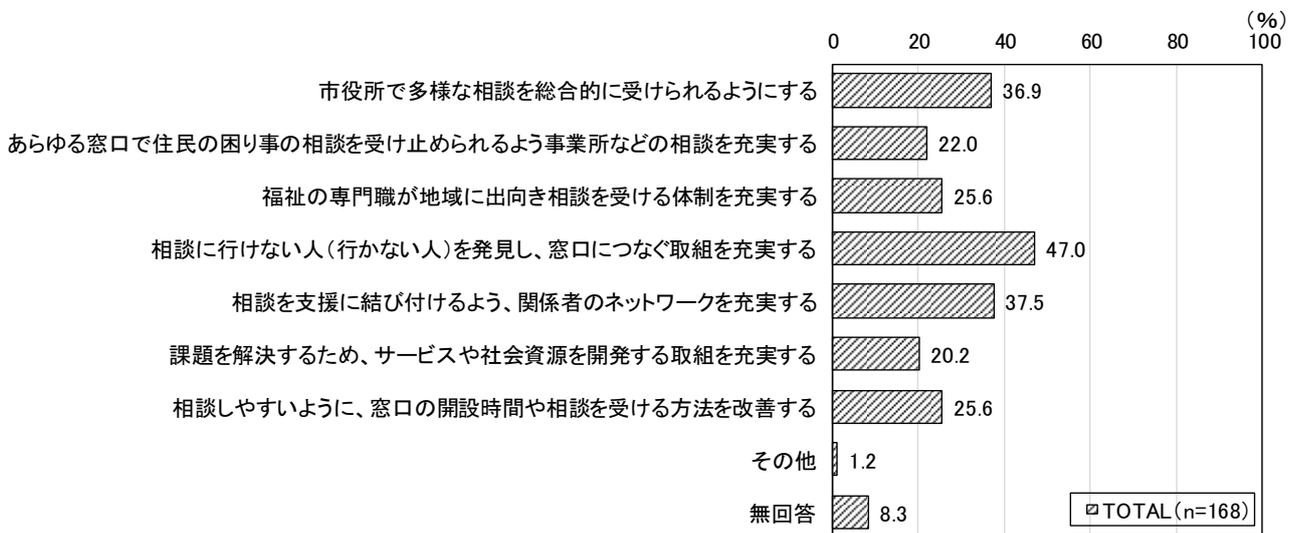


4. 福祉に関する考え

問 17 地域共生社会※では、多様な生活課題に制度の枠を超えて横断的に対応する相談支援体制の構築が求められています。そのような包括的な支援体制を川越市で充実するに当たり、特に優先的に力を入れて取り組むべきことはどのようなことだと思いますか。(〇は3つまで)

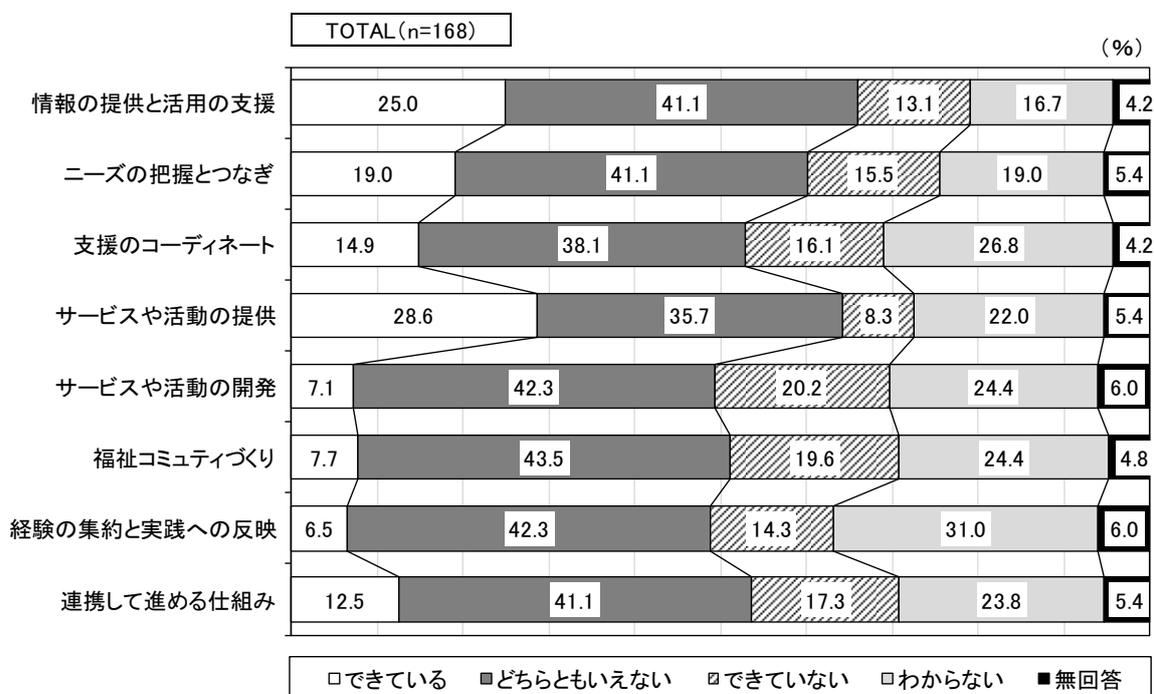
※地域共生社会：制度・分野ごとの『縦割り』や『支え手』『受け手』という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしや生きがい、地域をともに創っていく社会をいいます。

「相談に行けない人（行かない人）を発見し、窓口につなぐ取組を充実する」が 47.0%と最も多く、次いで「相談を支援に結び付けるよう、関係者のネットワークを充実する」が 37.5%、「市役所で多様な相談を総合的に受けられるようにする」が 36.9%となっています。



問 18 貴機関が業務の対象とされている地域では、関係団体や機関などが連携して「地域共生社会」を実現していくため、次のような取組ができていますか。（各項目〇は1つ）

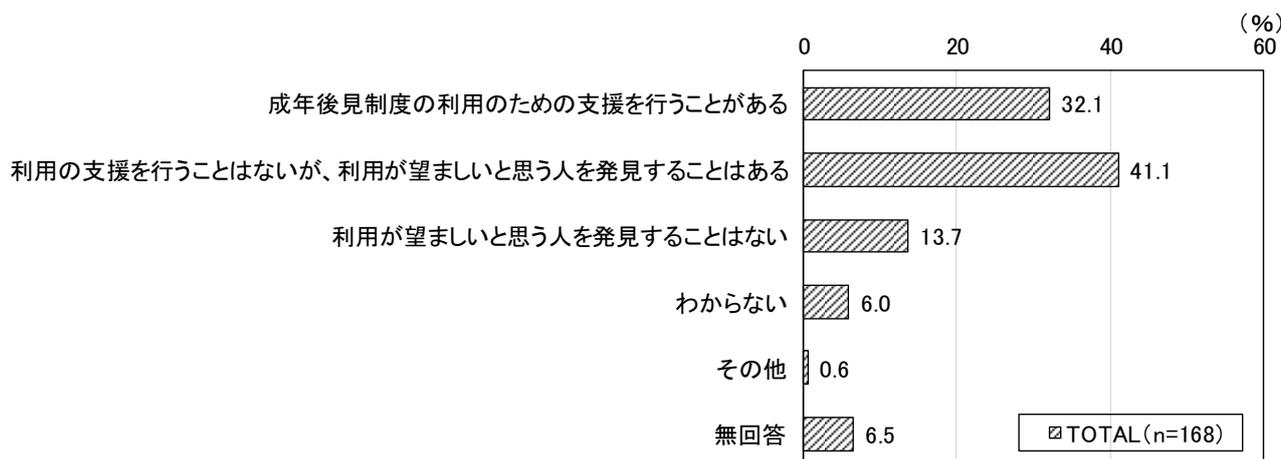
「できている」の回答では、「サービスや活動の提供」が最も多く、次いで「情報の提供と活用の支援」となっています。また、「できていない」の回答では、「サービスや活動の開発」が最も多くなっています。



問 19 貴機関の業務を通じて、成年後見制度※の利用を必要とする人を発見したり、利用のための支援をしたりすることがありますか。

※成年後見制度：認知症、知的障害、精神障害などで判断能力が十分でない方の権利を守り、意思を尊重して自分らしい生活ができるよう財産管理、意思決定の補助などの支援する制度です。

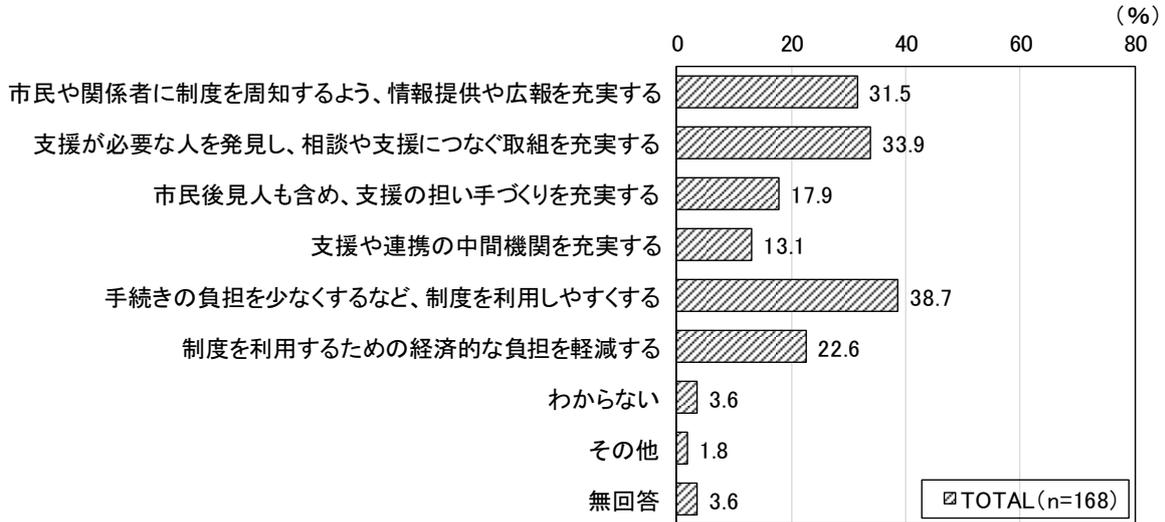
「利用の支援を行うことはないが、利用が望ましいと思う人を発見することはある」が 41.1%と最も多く、次いで「成年後見制度の利用のための支援を行うことがある」が 32.1%、「利用が望ましいと思う人を発見することはない」が 13.7%となっています。



Ⅲ 調査結果

問 20 成年後見制度の利用を促進するうえで、特に優先的に力を入れて取り組むべきことはどのようなことだと思いますか。

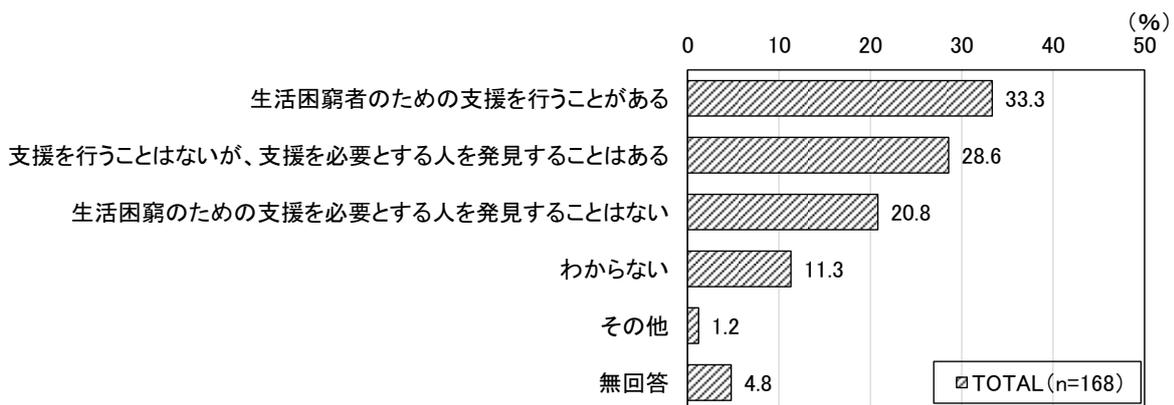
「手続きの負担を少なくするなど、制度を利用しやすくする」が 38.7%と最も多く、次いで「支援が必要な人を発見し、相談や支援につなぐ取組を充実する」が 33.9%、「市民や関係者に制度を周知するよう、情報提供や広報を充実する」が 31.5%となっています。



問 21 貴機関の活動を通じて、生活困窮者※を発見したり、支援したりすることがありますか。(○は1つ)

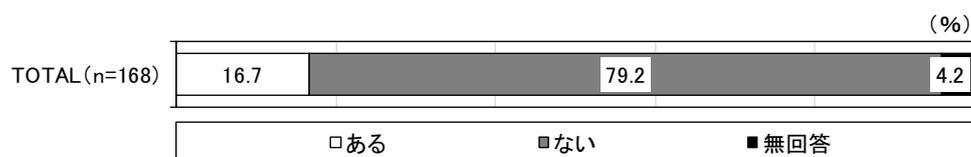
※生活困窮者：生活保護に至ってはいないものの、様々な理由で生活に困っており、自立した生活を送るための支援を必要とする方をいいます。

「生活困窮者のための支援を行うことがある」が 33.3%と最も多く、次いで「支援を行うことはないが、支援を必要とする人を発見することはある」が 28.6%、「生活困窮のための支援を必要とする人を発見することはない」が 20.8%となっています。



問 22 これまでに犯罪をした人に対して支援を行ったことがありますか。(○は1つ)

「ある」が 16.7%、「ない」が 79.2%となっています。



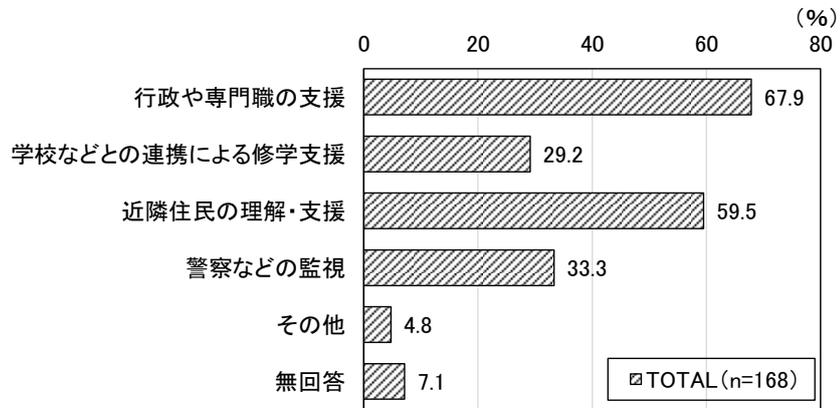
問 23 問 22 で「ある」とした場合、苦労や工夫したことがあれば教えてください。

- 自己中心的で他者に迷惑をかけているという自覚がない。再就職先の確保。(就労支援)
- 御本人に自覚がなかったこと。
- 理屈が通じない。執行猶予中で大人しかったが、猶予がなくなったら？
- 他の利用者との関係をどのようにするか苦労したことはあります。
- 金銭面に対してルーズ。
- 訪問させるヘルパーの安全確保。普段は静かだが、いつ変わるか不明であったため。
- 改善がみられない。繰り返し行う。
- 窃盗を繰り返してしまう。本人は否定するのでどうすれば良いか分からなかった。
- 犯罪は認知症から来ていました。通所利用しケアマネや近隣住民が関わりましたが直近の物忘れがひどく再犯が防げなかった。
- 自立に向けた支援、経済的(生保であっても上手く金銭が使用できない) 転居先を見つけるのが困難等。
- 反社会的勢力に所属されている方であったので、治療や検査など受け入れしていただける医療機関もなく苦労した。
- 色眼鏡で見ない。普通に接する。
- 先入観を持たない。自然に接する。
- 信頼関係の築き。
- 秘密保持。
- 生活の為に生活費について困っておられたので話を聞いて行政に繋げた。他の例では保健所の相談窓口で繋げて今後に繋げた。
- 世間が考える程、対象者は問題があるとは思えない。
- 一人で過ごす時間が無い様に支援を行っている。

Ⅲ 調査結果

問 24 犯罪をした人や非行に走った人が、地域の中で再び犯罪をすることなく暮らすうえで、どのようなことが必要だと思えますか。(〇はいくつでも)

「行政や専門職の支援」が 67.9%と最も多く、次いで「近隣住民の理解・支援」が 59.5%、「警察などの監視」が 33.3%となっています。



5. 地域や福祉全般についてのご希望やご意見（自由記述）

地域や福祉全般についてご希望やご意見などがありましたら、自由にお書きください。

数多くのご意見が寄せられました。内容は多岐にわたっておりますが、紙面の都合上、そのすべてを掲載できませんが、類似の内容の多かったものや具体的な提案等を、できる限り原文に近い表記で掲載します。

【活動や活動上の課題に関すること】

- 個人情報 の 厳守等との兼ね合いにより対応、協力できることの判断が難しい。
- 川越で事業所を始めて 1 年になりますが、地域包括支援センターでの取り組み（地域の課題把握、地域住民と課題解決に向けての話し合いなど）が素晴らしいと思いました。地域で働く事業所として出来る事を行っていきたいと思っています。
- 地域活動に参加したいと思う人を集めることに苦労しているため、マッチング（この人はこの活動に向いている、やりたいと思っている等）をするコーディネーターや機関の充実。
- 居宅介護支援事業所である立場として担当する方の個人情報を守る義務があります。「〇〇さんの担当です」として地域住民に相談することは出来ません。ただし福祉（介護保険）のサービスについて地域の方がわからない事があるときに説明することは出来ると思います。そういった面での貢献は可能だと思いますので協力したいと思います。
- 地域活動を積極的におこなって地域の方々にもご理解を頂けますよう、災害時などにもお力を貸して頂けるような関係を築いていきたいと思っています。少しずつではありますが、努力して参ります。ネットワークができると良いなあと思います。

【情報提供や広報に関すること】

- 困っている人への情報が伝達されていない事が多いです。困っている人は情報収集が苦手なことが多いので発信するだけでなく、工夫が必要だと認識しています。
- 川越市福祉部福祉推進課の事業内容が市民に十分理解されていない様な感じがあります。広報誌等でもっと広報に力を入れて頂きたいと思っています。
- 福祉情報がインターネットの普及により煩雑としているので、もっとシンプルに系統化したほうがわかりやすいと思います。
- 私共の活動拠点である地域は住民の理解により日々活動ができています。通所施設であるという事も大きな要因であると考えます。障害がある人の生活の場（グループホーム）を新たに考えると住民の理解は薄くなるのではないかと考えています。生活の場が多くできるよう住民への啓発を広めていただけるとありがたく思います。

【災害時や非常時の対策などに関すること】

- 避難所の充実を望みます。
- 災害時の障害者への支援のあり方。

Ⅲ 調査結果

【福祉全般に関すること】

- 通常業務以外で地域に密着する活動をする必要性は感じてますが、受身であるか、あるいはできていないのが現状です。
- 高齢者福祉（介護保険）と障害者・児福祉の共生、連携がもっと図れるといいのではないかと思います。各制度の狭間で困っている人も多くみられるので。
- 他人事とは思わず自分の問題として考えていく事が必要だと思います。
- 現在人と人とのつながりが薄くなっています。もっと顔を合わせ「集い」語り合うことで共感し家族（親）が変わることで子供達も良い方向に…。少子高齢化社会みんなで協力することが大切です。障害が重くても共に地域の学校に通える事が良く住民の理解にもなると思う。そして住み良い環境になると思います。お互い助け合う事や人を思いやる心に育つのです。
- 日常生活上でちょっとした困り事の支援ができる地域コミュニティをつくる（確立する）といいと思います。現在の状況では難しいかもしれません。今興味関心のある災害に関する勉強会を地域単位で開催し、地震では〇〇、大雨では〇〇が予想されるので地区としてどう取り組むかなど検討する。小規模での講演会、勉強会を何回もすることで地域を見直し、いろんな世代の人が顔を合わせることでつながりが持て、顔の見える地域社会を育てられたらよいと望みます。

【市や社会福祉協議会に対する意見・要望など】

- 福祉と言えば、高齢者や障害者が主な対象の事業が多く、子どもの分野にも目を向けて頂きたい。子供の居場所として公民館での子ども食堂を開設している。全公民館に子ども食堂を願いつつ、展開するにはまだ課題が多く、福祉の一環として協働できないものかと模索中である。
- 行政（障害者福祉課、療育支援課）の皆様には日頃より大変お世話になっております。他市に比べても事業者として手厚い福祉環境にあることを感じています。たくさんニーズに対応できるよう引き続きご支援を頂きたいと思っています。
- 支援する側が疲れきってしまっは本末転倒。支援する側の支援も十分に考えてほしい。
- デマンド型交通を実施しているが、不便という声が多く聞かれます。タクシーのように便利になればと思っています。

【その他】

- 私どもの団体では福祉に関わる活動を直接行ってないが、個人として自治会役員を担っていて、民生委員の仕組みがすでに崩壊していると思う。60代までは現役で働き、70代になると身体的に民生委員の活動の負担は大きく、人材が見つからない。しかも無報酬である活動の多さを担うには無理があると思います。少しでも民生委員さんのお仕事を手伝えたいと思うが、個人情報保護法の壁があり、出来ないのが残念だが個人の情熱や良心だけでは民生委員の仕事は続かないと思う。
- 「制度」は必要ですが、「制度」や「資格」の枠を外すことも大切なのは、と思います。
- おせっかい「おじさん、おばさん」の復活（我関せずからの）見直し。

地域福祉に関するアンケート調査

～あなたの声で地域づくりを～

日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。また、先般の台風第19号により被害にあわれた皆様に、心よりお見舞いを申し上げます。一刻も早い復旧に向けて、本市を挙げて取り組んでまいります。

近年、地震や台風といった自然災害が増加傾向にあり、普段からの地域の繋がりがますます重要になっています。あなたがお住まいの地域で被害が発生したとき、身近に助けてくれる人はいるでしょうか。あなたは困っている人を助けられるでしょうか。

現在、川越市は「地域福祉計画」を、川越市社会福祉協議会は「地域福祉活動計画」の策定を進めています。これらの計画は、年齢や障害の有無に関係なく誰もが安心していきいきと暮らし続けられるよう、また、皆様の主体的な活動による地域づくりを目指すものです。

市民の皆様が日常生活で感じていることや地域での取組を計画に反映するため、アンケートにご協力をお願いします。このアンケートは、市内にお住いの18歳以上の方から無作為に抽出した約3,000名に無記名でお願いしています。ご回答いただいた内容は統計的に処理します。

お忙しいところ大変恐縮ですが、趣旨をご理解のうえ、ご協力くださるようお願い申し上げます。

令和元年11月

川越市長 川合善明

<ご記入いただくうえでのお願い>

- ①封筒宛名のご本人様をご記入ください。ご本人様が記入できない場合は、代理の方がご本人様の意思を尊重してご回答くださるようお願いいたします。
- ②回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。設問ごとに「○は1つ」「○はいくつでも」など、それぞれ指定されていますので、ご注意ください。「その他」を選ばれた場合や具体的なご意見は（ ）の中にお書きください。
- ③ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに12月4日（水）までにポストに投函してください。

<お問い合わせ先>

川越市役所 福祉部 福祉推進課 福祉推進担当
電話 049-224-5769



表 A

	住所(大字名)	地区No.		住所(大字名)	地区No.		住所(大字名)	地区No.				
ア	安比奈新田	⇒ 18	ク	郭町1、2丁目	⇒ 4	ナ	並木	⇒ 14				
	青柳	⇒ 17		コ	広栄町		⇒ 9	並木新町	⇒ 14			
	旭町1～3丁目	⇒ 9			小仙波		⇒ 7	並木西町	⇒ 14			
	天沼新田	⇒ 20			小仙波町1～5丁目		⇒ 5	ニ	西小仙波町1、2丁目	⇒ 5		
	新宿町1～6丁目	⇒ 11			小堤		⇒ 20		日東町	⇒ 17		
イ	池辺	⇒ 17	サ		寿町1、2丁目	⇒ 17	ノ	野田	⇒ 10			
	伊佐沼	⇒ 12		小中居	⇒ 13	野田町1、2丁目		⇒ 3				
	石田	⇒ 21		小室	⇒ 3	ヒ		東田町	⇒ 3			
	石田本郷	⇒ 12		幸町	⇒ 2			東本宿	⇒ 13			
	石原町1、2丁目	⇒ 2		栄	⇒ 20			氷川町	⇒ 1			
	泉町	⇒ 14		三久保町	⇒ 4			平塚	⇒ 20			
	伊勢原町1～5丁目	⇒ 19		三光町	⇒ 10			平塚新田	⇒ 20			
	ウ	稲荷町		⇒ 15	シ	鹿飼		⇒ 12	フ	広谷新町	⇒ 20	
		今泉		⇒ 14		志多町		⇒ 1		府川	⇒ 21	
		今成1～4丁目		⇒ 3		淡井		⇒ 14		福田	⇒ 21	
今福		⇒ 16	清水町	⇒ 15		藤木町	⇒ 14					
エ		牛子	⇒ 14	ス		下赤坂	⇒ 16	マ		藤倉	⇒ 17	
		上戸	⇒ 20			下老袋	⇒ 13			藤倉1、2丁目	⇒ 17	
		上戸新町	⇒ 20			下小坂	⇒ 20			藤間	⇒ 15	
オ		扇河岸	⇒ 15	セ		下新河岸	⇒ 15	ミ		富士見	⇒ 20	
		大仙波	⇒ 7			下広谷	⇒ 20			富士見町	⇒ 7	
		大仙波新田	⇒ 11			下松原	⇒ 16			藤原町	⇒ 15	
	大塚1、2丁目	⇒ 17	城下町		⇒ 1	古市場	⇒ 14					
	大塚新田	⇒ 17	新富町1、2丁目		⇒ 6	古谷上	⇒ 13					
	大塚新町	⇒ 17	神明町		⇒ 1	古谷本郷	⇒ 13					
	大手町	⇒ 4	タ		末広町1～3丁目	⇒ 2	ム		増形	⇒ 17		
	大中居	⇒ 13			菅間	⇒ 12			松江町1、2丁目	⇒ 4		
	大袋	⇒ 17			菅原町	⇒ 7			松郷	⇒ 4		
	大袋新田	⇒ 17			砂	⇒ 15			的場	⇒ 18		
小ヶ谷	⇒ 3	砂久保		⇒ 16	的場1、2丁目	⇒ 18						
カ	御成町	⇒ 1	チ	砂新田	⇒ 15	モ	的場北1、2丁目	⇒ 19				
	キ	萱沼		⇒ 14	砂新田1～6丁目		⇒ 15	的場新町	⇒ 19			
		笠幡		⇒ 18	諏訪町		⇒ 15	メ	南大塚	⇒ 17		
	かし野台1、2丁目	⇒ 17		テ	仙波町1～4丁目		⇒ 7		南大塚1～6丁目	⇒ 17		
	霞ヶ関北1～6丁目	⇒ 19			ト		高島		⇒ 13	南台1～3丁目	⇒ 17	
	霞ヶ関東1～5丁目	⇒ 19					竹野		⇒ 20	南田島	⇒ 14	
	かすみ野1～3丁目	⇒ 18		田町			⇒ 3		南通町	⇒ 6		
	ク	上老袋		⇒ 12	ナ		月吉町	⇒ 10	ヨ	宮下町1、2丁目	⇒ 1	
		上新河岸		⇒ 15			ネ	寺井		⇒ 1	宮元町	⇒ 1
		上寺山		⇒ 21				寺尾		⇒ 15	ル	むさし野
上野田町		⇒ 3	寺山	⇒ 21		むさし野南		⇒ 16				
上松原		⇒ 16	東明寺	⇒ 1		元町1丁目		⇒ 4				
鴨田		⇒ 12	通町	⇒ 6		元町2丁目		⇒ 2				
川越		⇒ 1	豊田新田	⇒ 17		エ	ハツ島	⇒ 13				
川鶴1～3丁目		⇒ 22	豊田町1～3丁目	⇒ 17			谷中	⇒ 12				
かわつる三芳野		⇒ 22	豊田本	⇒ 17			山城	⇒ 17				
ケ		岸	⇒ 8	豊田本1～5丁目			⇒ 17	山田	⇒ 21			
	岸町1～3丁目	⇒ 8	問屋町	⇒ 4	ロ		吉田	⇒ 20				
	北田島	⇒ 12	ナ	中老袋		⇒ 12	吉田新町1～3丁目	⇒ 22				
	喜多町	⇒ 1		中台1～3丁目		⇒ 16	芳野台1～3丁目	⇒ 12				
	木野目	⇒ 14		中台南1～3丁目		⇒ 16	四都野台	⇒ 17				
コ	久下戸	⇒ 14		中台元町1、2丁目		⇒ 16	レ	連雀町	⇒ 10			
	鯨井	⇒ 20		仲町	⇒ 2	六軒町1、2丁目		⇒ 10				
	鯨井新田	⇒ 20	中原町1、2丁目	⇒ 10	ワ	脇田新町		⇒ 9				
	久保町	⇒ 4	中福	⇒ 16		脇田本町		⇒ 9				
	熊野町	⇒ 15	中福東	⇒ 16		脇田町		⇒ 6				

1. あなたご自身のことについて

問1 あなたの年齢を次の中から選んでください。(○は1つ)

- | | |
|------------|------------|
| 1. 18歳～40歳 | 3. 65歳～74歳 |
| 2. 41歳～64歳 | 4. 75歳以上 |

問2 あなたの性別はどちらですか。(○は1つ)

- | | | | |
|-------|-------|--------|----------|
| 1. 男性 | 2. 女性 | 3. その他 | 4. 回答しない |
|-------|-------|--------|----------|

問3 次のうち該当するものがあればお答えください。(○はいくつでも)

- | |
|---------------------------|
| 1. 要支援・要介護認定を受けている |
| 2. 世帯に要支援・要介護認定を受けている人がいる |
| 3. 障害者手帳を持っている |
| 4. 世帯に障害者手帳を持っている人がいる |
| 5. 世帯に未就学児がいる |
| 6. 世帯に高校生以下の学生がいる |

問4 あなたのお住まいの地区を、左ページの表Aから選び、地区 No.を記載してください。(番号を記入)

地区 No. :

問5 あなたの市内の居住年数について、あてはまるものを次の中から選んでください。市内での転居は、通算してお答えください。(○は1つ)

- | | |
|---------------|---------------|
| 1. 10年未満 | 3. 20年以上30年未満 |
| 2. 10年以上20年未満 | 4. 30年以上 |

問6 あなたはお仕事についていますか。(○は1つ)

- | | |
|---------------------|---------------|
| 1. フルタイム（正規）で働いている | 5. 学生 |
| 2. フルタイム（非正規）で働いている | 6. 特に仕事はしていない |
| 3. パートタイムで働いている | 7. その他（ ） |
| 4. 家事などをしている | |

問7 あなたはご自身の生活の経済的な状況について、どのように感じていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|------------------|
| 1. かなりゆとりがある | 4. ゆとりはないが、生活できる |
| 2. ゆとりがある | 5. 生活が苦しい |
| 3. 経済的には普通だと感じている | |

問8 あなたはご自身の生活の時間的なゆとりについて、どのように感じていますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. かなりゆとりがある | 4. 忙しいが、生活できる |
| 2. ゆとりがある | 5. 大変忙しく、ゆとりがまったくない |
| 3. 時間的には普通だと感じている | い |

2. 地域との関わりや活動について

問9 ご近所との関係は次のどれに最も近いですか。(○は1つ)

1. 何か困ったときに助け合う人がいる
2. お互いに訪問し合う人がいる
3. 立ち話をする程度の人がある
4. 会えばあいさつする程度の人がある
5. ほとんど近所のつきあいはない
6. 隣近所の顔も知らない

問10 次のような地域の活動や福祉の活動に参加したことがありますか。また、現在は参加してなくて、今後参加したいと思うものがありますか。(各項目○は1つ)

	現在、 参加して いる	以前、 参加した ことがあ る	今後、 参加した い	活動がある ことを知ら ない、又は、 わからない	参加 したくな い
地域のおまつりやイベント					
スポーツや健康づくりの活動					
文化活動や趣味のサークル活動					
地域の防災や防犯のための活動					
道路や公園などの清掃活動					
自治会、女性会、老人会、子ども会などの運営					
高齢者や子どもなどの見守りや声かけ運動					
住民が交流する場(サロンなど)の活動					
ちょっとした困りごとを支え合う活動					
ボランティアやNPO活動					
その他()					

○上記の他に参加している活動や「こんな活動があれば参加したい」と思うものがありますか。
()



問1 1 あなたが地域の活動や福祉の活動に参加するうえで、支障になることがありますか。(○はいくつでも)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 時間的にゆとりがない 2. 活動する場所や費用の確保が大変である 3. 活動に関する情報や助言が得にくい 4. 自分が健康ではない 5. 一緒に参加する仲間や友人がいない 6. 自分が活動したいと思うものがない 7. ボランティアやNPO活動に関心がない 8. 何をすればいいのかわからない 9. その他 () |
|---|

問1 2 地震や台風などの災害時、ご近所の方と協力し合えると思いますか。(○は1つ)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 協力し合える 2. おそらく協力し合える 3. あまり協力し合えるとは思わない 4. まったく協力し合えるとは思わない |
|---|

問1 3 防災に関する項目について、①～④のそれぞれあてはまるものをお答えください。(各項目○は1つ)

	はい	いいえ	わからない
①身近な避難場所とそこへの行き方を知っていますか			
②災害時に避難の手助けが必要ですか			
③災害時に避難の手助けを必要とする人が近所にいますか			
④災害時に避難の手助けを必要とする人に対し、手助けをすることができますか			

3. 日常生活の楽しみや困りごとについて

問1 4 日常生活の中で、どのようなときに楽しさや生きがいを感じますか。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 家族と過ごしているとき 2. 友人などと交流しているとき 3. 趣味やスポーツをしているとき 4. 地域の活動に参加しているとき 5. 家事をしているとき 6. 仕事をしているとき 7. その他 () 8. 特に楽しさや生きがいを感じることはない |
|--|

問 1 5 今住んでいる地域に住み続けたいと思いますか。(○は1つ)

- | | |
|-------------------|---------------------|
| 1. 住み続けたい | 3. どちらかといえば住み続けたくない |
| 2. どちらかと言えば住み続けたい | 4. 住み続けたくない |

問 1 6 日常生活に関する以下のことで、困っていたり不安に感じていることがありますか。(各項目○は1つ)

	困っている	将来は不安がある	助けてもらっている	困っていない、不安はない
日常の買い物				
調理や洗濯などの家事				
家具の移動などの力仕事				
ゴミ出し、掃除、片づけ				
自分や家族の介護				
子育てや子どもの教育				
日常の外出や交通機関の利用				
話し相手や相談相手				
緊急時に支えてくれる人				
地震や台風などの自然災害				
地域の治安				
健康状態				
経済的な状況				
就労や雇用の状況				
お金の管理や契約などの判断				
家族やまわりの人との人間関係				

○上記の他に困っていることや不安なことがあればお書きください

()

問 1 7 問 1 6 でお聞きしたような日常生活の困りごとや不安について、どのように対応しますか(しましたか)。(○はいくつでも)

※一部の困りごとや不安に対し、している(した)こともあげてください。

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 家族や友人、知人に相談した 2. 民生委員・児童委員に相談した 3. 市や専門機関、専門家などに相談した 4. 市のホームページで必要な情報を探す 5. インターネットやSNSで質問をする 6. これから相談や行動をしたいと思っている 7. 相談や行動したいと思うが、どこに相談すればいいのかわからない 8. それほどのことではないので、なにもしない 9. どうすればよいのかわからない 10. その他 () |
|---|

問18 家族や親族以外で、地域に気がかりな人がいますか。(○は1つ)

1. いる → 問19へ
2. いない → 問21へ

問19 問18で「いる」と答えた場合、どのような方ですか。(○はいくつでも)

1. 本人や家族の介護で困っている
2. 子育てで困っている
3. 経済的に困っている
4. 虐待や暴力(恐れも含む)を受けている
5. 引きこもって学校や仕事に行けていない
6. 地域から孤立している
7. その他()

問20 問19の気がかりな人に対し、何かしていますか(しましたか)。(○はいくつでも)

1. 気にかけて見守っている
2. 相談にのったり、助けたりしている
3. 市や専門機関、地域の人などに相談している
4. 支援したいが、本人や家族などから拒否されている
5. 支援したいが、どうすればよいのかわからない
6. 特になにもしていない
7. その他()

問21 日常生活に困りごとがあったとき(問17)や、気がかりな人に気づいたとき(問18)、どのような仕組みがあると解決に向けて行動ができると思いますか。(○は1つ)

1. 市役所で多様な相談を総合的に受け付けてもらえる
2. 小学校区内など、身近なところで気軽に相談できる場所がある
3. 福祉の専門職が地域に出向いて相談にのってくれる
4. その他()

問22 日常生活の困りごとや不安を解決するひとつの方法として、地域の中で協力しあい、支えあうことについてどう思いますか。(○は1つ)

1. 支え合いたいと思う
2. 災害時などには支え合いたいと思う
3. 支え合いたいと思うが難しいと思う
4. 地域の人と協力しあったり、支えあったりしたいとは思わない
5. わからない
6. その他()



4. 福祉に関する考え

問23 福祉に関心がありますか。(○は1つ)

1. 関心がある	3. どちらともいえない
2. 関心がない	4. その他 ()

問24 福祉施策や制度について、今後どうあるべきだと思いますか。(各項目に○は1つ)

	拡充	現状維持	縮小	わからない
障害のある人が地域の中で暮らすための支援				
生活困窮者への支援				
ひとり親家庭への支援				
虐待やDV被害者への支援				
認知症の人やその家族への支援				
ひきこもりやニートへの支援				
犯罪をした人の再犯を防ぐ支援				
その他 ()				

問25 地域共生社会*について知っていますか。(○は1つ)

1. 名称も内容も知っている
2. 名称は知っているが、内容はよく知らない
3. 名称も内容もまったく知らない

※地域共生社会

制度・分野ごとの『縦割り』や『支え手』『受け手』という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしや生きがい、地域をともに創っていく社会をいいます。

問26 認知症などにより判断力が低下した際に、財産管理などの支援をしてくれる人はいますか。(○は1つ)

1. いる	3. どちらともいえない
2. いない	4. その他 ()

問27 あなたは支援が必要になったとき、成年後見制度*を利用したいと思いますか。(○は1つ)

1. 将来に備えて後見人を選んでおきたい
2. 必要になれば利用したい
3. 利用したいと思わない
4. わからない
5. その他

※成年後見制度

認知症、知的障害、精神障害などで判断能力が十分でない方の権利を守り、意思を尊重して自分らしい生活ができるよう財産管理、意思決定の補助などの支援する制度です。

問28 川越市自立相談支援センター*について知っていますか。(○は1つ)

1. 名称も内容も知っている
2. 名称は知っているが、内容はよく知らない
3. 名称も内容もまったく知らない

※川越市自立相談支援センター

生活保護に至る前に、生活に困っている方のご相談に乗り、自立した生活を送れるよう、他の専門機関と連携して、解決に向けた支援を行う窓口です。

問29 犯罪をした人や非行に走った人が、地域の中で再び犯罪をすることなく暮らすうえで、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

1. 行政や専門職の支援
2. 学校などとの連携による修学支援
3. 近隣住民の理解・支援
4. 警察などの監視
5. その他()

問30 再犯防止の取組*を進めることについて、どのように思いますか。(○は1つ)

1. 再犯防止の取組に協力したい(今後も協力を続けたい)
2. 積極的に協力することは難しいが、取り組んでいる人(保護司など)や団体を応援したい
3. 自分がやることは難しいが、取組は必要だと思う
4. 犯罪や非行をした人を支援する取組は、特に必要ないと思う
5. わからない
6. その他()

※再犯防止の取組

再犯の防止等の推進に関する法律の施行など犯罪をした人や非行に走った人が円滑に社会復帰できるよう支援し、再び罪を犯さないようにすることで安全・安心な社会をつくる取組です。

5. 社会福祉協議会や民生委員・児童委員について

問31 川越市社会福祉協議会(社協)*を知っていますか。(○は1つ)

1. 名前も活動内容も知っている
2. 名前は聞いたことがあるが、活動内容はよく知らない
3. 名前も活動内容もよく知らない

※社会福祉協議会

社会福祉法に基づき設置された社会福祉法人で民間の社会福祉活動を推進することを目的とした営利を目的としない民間組織です。

市民の皆さんや民生委員・児童委員、社会福祉関係団体・機関との連携のもと、次のような活動をし、さまざまな場面で地域の福祉増進に取り組んでいます。

- ・相談支援
- ・地域福祉活動支援
- ・ボランティア活動の支援
- ・在宅福祉活動
- ・共同募金運動への協力

・その他の福祉活動

問3 2 社会福祉協議会では主に前記のような活動を行っていますが、今後どのような分野での役割を期待しますか。(○は3つ)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. ボランティア活動への支援に関する事2. 地区社会福祉協議会への支援に関する事3. 高齢者・障害者・生活困窮者への支援に関する事4. 介護予防や介護サービスに関する事5. 情報提供・相談窓口の充実6. コミュニティソーシャルワーク*7. 住民による地域の見守り活動の充実8. 子どもの育成に関する事9. 権利擁護に関する事10. 福祉についての研修会や福祉の啓発を行うイベント11. 各種団体やサークル活動等の育成や連携を図ること12. 災害時の支援活動やボランティア受入調整に関する事13. その他 ()14. 特になし |
|---|

※コミュニティソーシャルワーク

日常的に地域の状況を把握することで地域の福祉課題を発見し、その解決に向けて、住民活動の支援やさまざまな機関・団体のネットワークづくりなどを行うことです。

問3 3 民生委員・児童委員*の存在や活動内容について知っていますか。(○は1つ)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 名称も内容も知っている2. 名称は知っているが、内容はよく知らない3. 名称も内容もまったく知らない |
|---|

※民生委員・児童委員

民生委員・児童委員は、地域住民の中から選ばれ、地域の身近な相談役として、相談に応じ、行政や専門機関へのつなぐなどの支援を行います。

川越市内では現在、487名が活動しています。

問3 4 あなたの住んでいる地域の民生委員・児童委員が誰だか知っていますか。(○は1つ)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none">1. 誰か知っており、会ったことがある2. 名前は知らないが、会えばわかる3. 誰か知っているが、会ったことはない4. 誰か知らない |
|---|

6. 最後に

地域や福祉全般についてご希望やご意見などがありましたら、自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。



地域福祉に関するアンケート調査

～あなたの声で地域づくりを～

日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。また、先般の台風第19号により被害を受けた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。一刻も早い復旧に向けて、本市を挙げて取り組んでまいります。

近年、地震や台風といった自然災害が増加傾向にあり、普段からの地域の繋がりがますます重要になっています。あなたの地域が被害に遭ったとき、身近に助けてくれる人はいますか。あなたは困っている人を助けられますか。

現在、川越市は「地域福祉計画」を、川越市社会福祉協議会は「地域福祉活動計画」の策定を進めています。これらの計画は、年齢や障害の有無に関係なく誰もが安心していきいきと暮らし続けられるよう、また、皆様の主体的な活動による地域づくりを目指すものです。

地域福祉に関わる活動や事業で感じていることや、今後の取組に対するご意見を計画に反映するため、アンケートを実施します。このアンケートは、地域福祉に関わる活動や事業を行っている約1,200名・団体にお送りしています。ご回答いただいた内容は統計的に処理します。

お忙しいところ大変恐縮ですが、趣旨をご理解の上、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年11月

川越市長 川合善明

〈ご記入いただく上でのお願い〉

- ① 地域活動や事業を行っている方がご記入ください。回答内容については、団体等の総意ではなく、個人のご意見でも構いません。
- ② 回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。設問ごとに「○は1つ」「○はいくつでも」など、それぞれ指定されていますので、ご注意ください。「その他」を選ばれた場合や具体的なお意見は（ ）の中にお書きください。
- ③ ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに 12月4日（水）までにポストに投函してください。

〈問い合わせ先〉

川越市役所 福祉部 福祉推進課 福祉推進担当
電話 049-224-5769



貴団体の名称 . . .

ご記入者の役職・氏名 . . .

連絡先 . . .

※回答内容を確認したり、ご意見をお聞かせいただいたりする場合がありますので、差し支えなければ貴団体名、記入者名、連絡先をお書きください。なお、団体名などを公表することはありません。

1. 活動について

問1 活動をしている主なエリアをお答えください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 第1地区 | 13. 古谷地区 |
| 2. 第2地区 | 14. 南古谷地区 |
| 3. 第3地区 | 15. 高階地区 |
| 4. 第4地区 | 16. 福原地区 |
| 5. 第5地区 | 17. 大東地区 |
| 6. 第6地区 | 18. 霞ヶ関地区 |
| 7. 第7地区 | 19. 霞ヶ関北地区 |
| 8. 第8地区 | 20. 名細地区 |
| 9. 第9地区 | 21. 山田地区 |
| 10. 第10地区 | 22. 川鶴地区 |
| 11. 第11地区 | 23. 市内全域 |
| 12. 芳野地区 | 24. 市外 |

問2 次の福祉活動の中から主に実施しているものをお答えください。(○はいくつでも)

- | |
|----------------------|
| 1. 福祉に関する研修会 |
| 2. 一人暮らし高齢者などとの交流・支援 |
| 3. 在宅障害者との交流・支援 |
| 4. 子育て世帯との交流・支援 |
| 5. 世代間交流のためのイベント |
| 6. 他団体との福祉懇談会 |
| 7. 福祉施設への慰問 |
| 8. ボランティア講座・研修会 |
| 9. その他 () |
| 10. 福祉に関する活動は行っていない |

○上記業務以外で実施していることや新たにしたいことなどがあればお書きください。

()



問3 問2の活動を始めたきっかけを教えてください。(○は1つ)

1. 情報を知り、興味をもったから
2. 楽しさややりがいを感じられそうだったから
3. 人に紹介されたから・誘われたから
4. 活動者に協力をもとめられたから
5. 順番制などで強制的に
6. その他 ()

問4 活動を続けてきた理由をお答えください。(○はいくつでも)

1. 楽しさややりがいを感じられるから
2. 地域の中にニーズがあるから
3. 自身の成長に繋がるから
4. 他の人が困るから
5. 人の役に立っていると感じられるから
6. その他 ()

問5 活動に必要な情報をどこから入手していますか。(○はいくつでも)

- | | |
|------------------|---------------------|
| 1. 知り合いを通じて | 8. 社会福祉協議会のホームページ |
| 2. 市役所の窓口・掲示板 | 9. 民生委員・児童委員を通じて |
| 3. 市の職員 | 10. 福祉サービスの事業者やその職員 |
| 4. 市の広報紙 | 11. 埼玉県の広報紙やホームページ |
| 5. 市のホームページ | 12. 他の団体を通じて |
| 6. 社会福祉協議会の職員・窓口 | 13. その他 () |
| 7. 社会福祉協議会の広報紙 | 14. 特になし |

問6 活動を継続する上で、課題だと思うことを次の中からお答えください。(○は3つまで)

1. 活動に参加する人が少ない
2. 活動に参加する人が固定化している
3. 活動する人の負担が大きい
4. 決まった活動が多く、自分がしたいことがやりにくい
5. 「支援する人」から「支援される人」への一方的な活動になりやすい
6. 活動する場所や費用の確保が大変である
7. 活動に関する情報や助言が得にくい
8. 楽しんで活動ができない
9. 的確な対応が難しい事例がある
10. 専門的なアドバイスが得にくい
11. 市民の理解や協力を得るのが難しい
12. 関係機関などとのネットワークの構築が難しい
13. 新たな事業を展開したいが難しい
14. その他 ()
15. 特に問題だと感じることはない、または、わからない

○上記以外で困っていることや、市・専門機関などに支援して欲しいことがあればお書きください。

()

問7 地域活動を活性化するために、市や市社会福祉協議会が優先して取り組むべきだと思うものを次の中から選びください。(○は3つまで)

1. 地域活動やボランティア活動を立ち上げるための情報提供の充実(積極的に行っている団体の事例紹介など)
2. 活動を(継続)する上で必要となる技術や知識を習得するための研修・講習の実施
3. 地域活動やボランティア活動への参加者を養成するための研修・講座の実施(養成講座の開催やボランティア募集情報の提供など)
4. 活動者の金銭的負担を軽減するための支援
5. 活動のための場の整備
6. 悩みごとや困りごとの相談機能の充実(福祉相談員の常設や福祉総合相談窓口の設置など)
7. 小・中学校と地域が連携した福祉教育の推進
8. 地域での災害時要援護者支援策の構築を進めるため、支援組織への要援護者情報の提供
9. 道路の段差解消など福祉のまちづくりの推進(バリアフリー化など)
10. その他()
11. 特にない

問8 地域活動を活性化するために、地域や民間の団体・機関が取り組むべきだと思うことを次の中から選びください。(○は3つまで)

1. 新しいニーズの把握
2. 専門知識を持った人材の把握
3. 地域福祉活動への積極的な参加
4. 機関活動としての福祉活動サービスの提供
5. 住民への地域福祉意識の啓発
6. 地域住民と交流する事業や場の提供
7. その他()
8. 特にない

問9 貴団体では、災害時に備えた活動を実施していますか。(○はいくつでも)

1. 役員などを対象に勉強会を実施している
2. 地区内の住民を対象に勉強会を実施している
3. 自主防災組織を立ち上げた
4. 地区内の支援が必要な人の情報を集約し、リストを作成している
5. 防災マップを作成している
6. 災害時の対応マニュアルを作成している
7. 支援が必要な人に対し、日常的に見守り・声かけなどを実施している
8. その他()
9. 特に実施していない



2. 活動を通じて把握している地域状況や課題など

問10 活動の中で、日常生活に関する次のような課題を持つ人への対応（相談や支援、予防のための取組など）をすることがあります。また、対応されるなかで困難を感じているものがありますか。（各項目○は1つ）

	対応している	対応し、困難を感じている	対応していない	直面していない
必要な介護や福祉などのサービスが受けられない人				
子育てに悩んでいて、まわりに支援してくれる人がいない人				
経済的に困窮し、支援が受けられない人				
就労や社会参加を希望しているが、実現できない人				
地域から孤立し、生活に支障をきたしている人				
虐待や権利侵害に遭っている人				
日常生活での困りごとへの支援が受けられない人				
制度の狭間で、必要な支援が受け入れられない人				
支援が必要だが、支援を拒否して受け入れられない人				

○「対応し、困難を感じている」のは、どのような点ですか。

()

問11 地域福祉を進めていく上で、地域での支え合いなどに関して、活動されている地域の状況について、どのように感じていますか。（各項目○は1つ）

	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	わからない
福祉を自分の問題だと感じている住民が多い				
住民や団体が積極的に活動している				
地域全体の課題として取り組まれている				
関係機関などとの協働がうまくいっている				
活動を担っている人の負担が大きい				
地域福祉には無関心な住民が多い				
共生のまちづくりの意識を持つ人が多い				
世代間交流がある				
日常生活でのちょっとした困りごとへの支援がある				
転入した世帯への関りや支援がある				

3. 多機関連携・ネットワークについて

問12 貴団体が事業の実施や福祉的な支援を行う際に、現在、交流・協力関係にある他の団体・機関を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

また、今後、貴団体が新たに交流・協力関係を築いていきたいと考える団体・機関を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

	現在関係がある	今後関係を築きたい
支援を必要とする人やその人の家族		
地域の福祉活動団体や活動者(民生委員・児童委員、自治会、地区社会福祉協議会など)		
近隣住民		
市民活動団体(ボランティア、NPO法人など)		
地域の相談機関(地域包括支援センター)		
福祉サービスを提供する事業所(老人福祉施設、保育所など)		
医療機関(病院、薬局など)		
行政機関		
小学校・中学校、PTA		
市社会福祉協議会		
その他()		
特にない		

問13 他の団体や機関と一緒に事業を実施する時や、交流・協力関係を築く際に、問題や妨げとなることはどのようなことですか。(○はいくつでも)

1. 自分たちの団体の活動への理解が得られない
2. 自分たちの団体の活動が忙しく、時間がない
3. 自分たちの団体内で理解・合意が得られない
4. 自分たちの団体と考え方が異なる
5. 接点・きっかけがない
6. 財政的に困難である
7. 制度的に困難である
8. 交流や協力を図る必要性を感じない
9. その他()
10. 特にない

問14 コミュニティソーシャルワーカー*について知っていますか。(○は1つ)

1. 名称や内容、担当者も知っている
2. 名称は知っているが、内容や担当者はよく知らない
3. まったく知らない

※コミュニティソーシャルワーカー

コミュニティソーシャルワーカーは、日常的に地域の状況を把握することで地域の福祉課題を発見し、その解決に向けて、住民活動の支援やさまざまな機関・団体のネットワークづくり、社会資源の開発などを行います。川越市では現在、川越市社会福祉協議会に8名配置されています。

問15 コミュニティソーシャルワーカーとの関わりを必要と感じますか。(○は1つ)

1. 必要と感じる → 問16へ
2. 必要と感じない → 問17へ
3. わからない → 問17へ

問16 問15で「必要と感じる」とした場合、どのような連携・関わりを望みますか。(○はいくつでも)

1. 会議などでのアドバイス
2. いつでも相談ができる
3. 地域に出向いて相談にのってくれる
4. 個別具体の事業や活動に対して、支援や協力をしてくれる
5. 研修会などの講師の役割をしてくれる
6. コーディネーターとして、各種調整をしてくれる
7. 関係機関との協議の場の設定
8. その他 ()
9. わからない

4. 福祉に関する考え

問17 地域共生社会*について知っていますか。(○は1つ)

1. 名称も内容も知っている
2. 名称は知っているが、内容はよく知らない
3. 名称も内容もまったく知らない

※地域共生社会

制度・分野ごとの『縦割り』や『支え手』『受け手』という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながることで、住民一人ひとりの暮らしや生きがい、地域をともに創っていく社会をいいます。



問18 「地域共生社会」では、多様な生活課題に制度の枠を超えて横断的に対応する相談支援体制が求められています。そのような包括的な支援体制を川越市で充実する上で、特に優先的に力を入れて取り組むべきことはどのようなことだと思いますか。(○は3つまで)

1. 市役所で多様な相談を総合的に受けられるようにする
2. より身近なところで相談できるよう、地域で活動している人や事業所などの相談を充実する
3. 福祉の専門職が地域に出向き相談を受ける体制を充実する
4. 相談に行けない人(行かない人)を発見し、窓口につなぐ取組を充実する
5. 相談を支援に結び付けるよう、関係者のネットワークを充実する
6. 課題を解決するため、サービスや社会資源を開発する取組を充実する
7. 相談しやすいように、窓口の開設時間や相談を受ける方法を改善する
8. その他()

問19 活動の中で、成年後見制度*の利用を必要とする人を見つけたら、利用のための支援などを行ったりすることがありますか。(○は1つ)

1. 成年後見制度の利用のための支援を行うことがある
2. 利用の支援を行うことはないが、利用が望ましいと思う人を見つけたことはある
3. 利用が望ましいと思う人を見つけたことはない
4. わからない
5. その他()

*成年後見制度

認知症、知的障害、精神障害などで判断能力が十分でない方の権利を守り、意思を尊重して自分らしい生活ができるよう財産管理、意思決定の補助などの支援する制度です。

問20 成年後見制度の利用を必要とする人が、制度を利用できるようにするために、特に優先的に力を入れて取り組むべきことはどのようなことだと思いますか。(○は1つ)

1. 市民や関係者に制度が周知されるよう情報提供や広報を充実する
2. 支援を必要とする人を見つけたら、相談や支援につなぐ取組を充実する
3. 市民後見人も含め、支援の担い手づくりを充実する
4. 支援や連携の中間機関を充実する
5. 手続きの負担を少なくするなど、制度を利用しやすくする
6. 制度を利用するための経済的な負担を軽減する
7. わからない
8. その他()



問2 1 活動を通じて、生活困窮者[※]を発見したり、支援したりすることはありますか。(○は1つ)

1. 生活困窮者のための支援を行うことがある
2. 支援を行うことはないが、支援が望ましいと思う人を発見することはある
3. 生活困窮のための支援が望ましいと思う人を発見することはない
4. わからない
5. その他 ()

※生活困窮者

生活保護に至ってはいないものの、様々な理由で生活に困っており、自立した生活を送るための支援を必要とする方をいいます。

問2 2 再犯防止の取組[※]を進めることについてどのように思いますか。(○は1つ)

1. 再犯防止の取組に協力したい(今後も協力を続けたい)
2. 積極的に協力することは難しいが、取り組んでいる人(保護司など)や団体を応援したい
3. 自分がやることは難しいが、取組は必要だと思う
4. 犯罪や非行をした人を応援する取組は、特に必要ないと思う
5. わからない
6. その他 ()

※再犯防止の取組

再犯の防止等の推進に関する法律の施行など犯罪をした人や非行に走った人が円滑に社会復帰できるよう支援し、再び罪を犯さないようにすることで安全・安心な社会をつくる取組です。

問2 3 犯罪をした人や非行に走った人が、地域の中で再び犯罪をすることなく暮らすうえで、どのようなことが必要だと思いますか。(○はいくつでも)

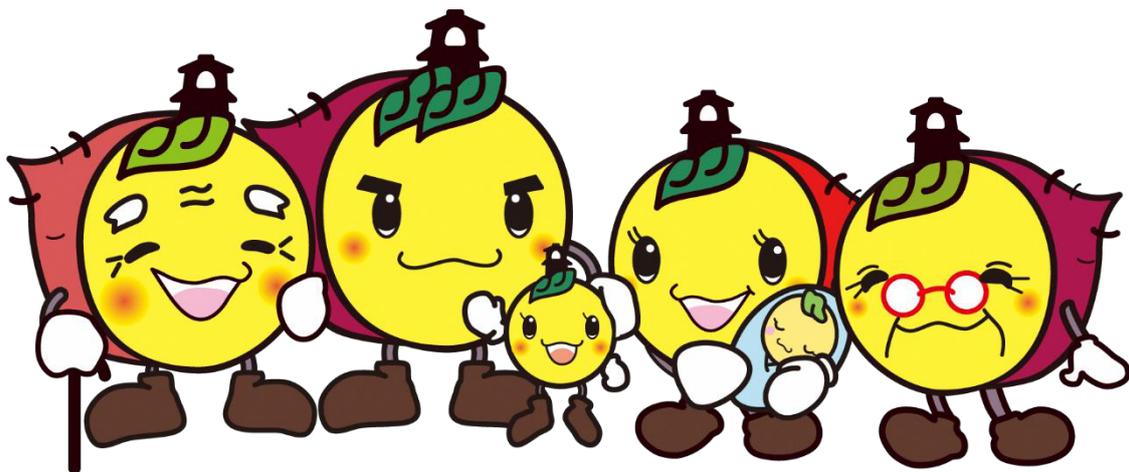
1. 行政や専門職の支援
2. 学校などとの連携による修学支援
3. 近隣住民の理解・支援
4. 警察などの監視
5. その他 ()



5. 最後に

地域や福祉全般についてご希望やご意見などがありましたら、自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。



地域福祉に関するアンケート調査

～あなたの声で地域づくりを～

日頃より市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。また、先般の台風第19号により被害を受けた皆様に、心よりお見舞い申し上げます。一刻も早い復旧に向けて、本市を挙げて取り組んでまいります。

さて、現在、川越市は「地域福祉計画」を、川越市社会福祉協議会は「地域福祉活動計画」の策定を進めています。これらの計画は、年齢や障害の有無に関係なく誰もが安心していきいきと暮らし続けられる「地域共生社会」の実現や、制度の縦割りを超えて支援する「包括的支援体制」の整備を目指すものです。そこで、次期計画では、市や専門機関はもとより、より多くの市民、団体、事業者等がそれぞれ強みをいかして参画し、協力して取り組めるものになりたいと考えています。

地域福祉に関わる活動や事業で感じていることや、今後の取組に対するご意見を計画に反映するため、アンケートを実施します。このアンケートは、地域福祉に関わる活動や事業を行っている約400機関・団体にお送りしています。ご回答いただいた内容は統計的に処理します。

お忙しいところ大変恐縮ですが、趣旨をご理解のうえ、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

令和元年11月

川越市長 川合善明

〈ご記入いただく上でのお願い〉

- ①地域活動や事業を行っている方がご記入ください。回答内容については、団体等の総意ではなく、個人のご意見でも構いません。
- ②回答は、あてはまる番号を○で囲んでください。設問ごとに「○は1つ」「○はいくつでも」など、それぞれ指定されていますので、ご注意ください。「その他」を選ばれた場合や具体的なお意見は（ ）の中にお書きください。
- ③ご記入いただいた調査票は、同封の返信用封筒に入れて、切手を貼らずに12月4日（水）までにポストに投函してください。

〈問い合わせ先〉

川越市役所 福祉部 福祉推進課 福祉推進担当
電話 049-224-5769



貴機関の名称・・・

ご記入者の役職・氏名・・・

連絡先・・・

※ 回答内容を確認したり、ご意見をお聞かせいただいたりする場合がありますので、差支えなければ貴機関名、記入者名、連絡先をお書きください。なお、機関名などを公表することはありません。

1. 貴機関について

問1 活動を行われている主な地区を教えてください。(○はいくつでも)

- | | |
|-----------|------------|
| 1. 第1地区 | 13. 古谷地区 |
| 2. 第2地区 | 14. 南古谷地区 |
| 3. 第3地区 | 15. 高階地区 |
| 4. 第4地区 | 16. 福原地区 |
| 5. 第5地区 | 17. 大東地区 |
| 6. 第6地区 | 18. 霞ヶ関地区 |
| 7. 第7地区 | 19. 霞ヶ関北地区 |
| 8. 第8地区 | 20. 名細地区 |
| 9. 第9地区 | 21. 山田地区 |
| 10. 第10地区 | 22. 川鶴地区 |
| 11. 第11地区 | 23. 市内全域 |
| 12. 芳野地区 | 24. 市外 |

問2 業務の主な対象者を教えてください。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|-----------------|
| 1. 乳幼児を含む未就学児 | 6. 障害のある成人 |
| 2. 育児中の大人(保護者) | 7. 65歳以上の高齢者 |
| 3. 小学生・中学生 | 8. その他 |
| 4. 高校生・大学生 | () |
| 5. 障害のある児童・生徒 | 9. 特に対象を限定していない |



問3 貴機関で実施している主な業務、主ではないが実施していること、今後、新たに取り組んでいきたいと思われていることはどのようなことですか。(○はいくつでも)

	主な業務	実施していること	新たにしたいこと
福祉や保健・医療に関する支援			
子育てや教育に関する支援			
その他の相談支援			
地域の福祉活動への支援			
問2の対象者以外の方に対する相談・支援			

○上記以外で実施していることや新たにしたいことなどがあればお書きください。
()

問4 貴機関では、地域と連携して災害時に備えて、次の活動の中で実施しているものがありますか。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 役員などを対象に勉強会を実施している 2. 地区内の住民を対象に勉強会を実施している 3. 自主防災組織を立ち上げた 4. 地区内の支援が必要な人の情報を集約し、リストを作成している 5. 防災マップを作成している 6. 災害時の対応マニュアルを作成している 7. 支援が必要な人に対し、日常的に見守り・声かけなどを実施している 8. その他() 9. 特に実施していない |
|--|

問5 業務を実施する上で、次のような課題はありますか。(○はいくつでも)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 対象者が増加し、十分対応する体制が整わない 2. 相談や支援のニーズが複雑化し、難しいケースが増えている 3. 対象者のニーズや課題が把握できない 4. 相談や支援を必要としている人の発見が難しいことがある 5. 支援を拒否するなど、対応が困難な対象者が多い 6. 支援を行ううえで、社会資源が不足している 7. 人材(職員など)の確保が難しい 8. 人材(職員など)のスキルアップが難しい 9. 業務の増加や高度化により、職員の負担が大きい 10. 適格な対応が難しい事例がある 11. 専門的なアドバイスが得にくい 12. 市民の理解や協力を得るのが難しい 13. 関係機関などとのネットワークの構築が難しい 14. 新たな事業を展開したいが難しい |
|--|

○上記以外で困っていることや、市・専門機関などに支援してほしいことがあればお書きください。
()

2. 業務を通じて把握している地域状況や課題など

問6 業務の中で、日常生活に関する次のような課題を持つ人への対応（相談や支援、予防のための取組など）をすることがありますか。また、対応に関し困難を感じているものがありますか。（各項目○は1つ）

	対応している	対応し、困難を感じている	対応していない	直面していない
必要な介護や福祉などのサービスが受けられない人				
子育てに悩んでいて、まわりに支援してくれる人がいない人				
経済的に困窮し、支援が受けられない人				
就労や社会参加を希望しているが、実現できない人				
地域から孤立し、生活に支障をきたしている人				
虐待や権利侵害に遭っている人				
日常生活での困りごとへの支援が受けられない人				
制度の狭間で、必要な支援が受け入れられない人				
支援が必要だが、支援を拒否して受け入れられない人				

○「対応し、困難を感じている」のは、どのような点ですか。

()

問7 地域福祉の推進（地域での支え合いなど）に関し、地域の状況についてどのように感じていますか。（各項目○は1つ）

	そう思う	どちらとも言えない	そう思わない	わからない
福祉を自分の問題だと感じている住民が多い				
住民や団体が積極的に活動している				
地域全体の課題として取り組まれている				
関係機関などとの協働がうまくいっている				
活動を担っている人の負担が大きい				
地域福祉には無関心な住民が多い				
共生のまちづくりの意識を持つ人が多い				
世代間交流がある				
日常生活でのちょっとした困りごとへの支援がある				
転入した世帯への関りや支援がある				

問8 業務を通じて、市民の日常生活上のどのような課題や問題があると感じていますか。(○は3つまで)

1. 住民の交流機会の少なさ
2. 住民の地域への関心の低さ・地域活動に協力する住民の少なさ
3. 高齢者への関わりや支援
4. 子どもや子育て世帯への関わりや支援
5. 生活困窮者への関わりや支援
6. 虐待や権利侵害に遭っている人への支援
7. 日常生活でのちょっとした困りごとへの支援
8. 災害時要援護者への関わりや支援
9. 被災により転入した世帯への関りや支援
10. 制度の狭間の人への支援
11. 支援が必要だが受け入れを拒む世帯への関わりや支援
12. 他の団体・機関との連携・協働の体制・仕組み
13. その他 ()

問9 地域活動を活性化するために、地域や民間の団体・機関が取り組むべきだと思うことを次の中から選びください。(○は3つまで)

1. 新しいニーズの把握
2. 専門知識を持った人材の把握
3. 地域福祉活動への積極的な参加
4. 機関活動としての福祉活動サービスの提供
5. 住民への地域福祉意識の啓発
6. 地域住民と交流する事業や場の提供
7. その他 ()
8. 特にない

問10 地域活動を活性化するために、市や市社会福祉協議会が優先して取り組むべきだと思うものを次の中から選びください。(○は3つまで)

1. 地域活動やボランティア活動を立ち上げるための情報提供の充実(積極的に行っている団体の事例紹介など)
2. 地域活動やボランティア活動への参加を促す活動の充実(養成講座の開催やボランティア募集情報の提供など)
3. 悩みごとや困りごとの相談機能の充実(福祉相談員の常設や福祉総合相談窓口の設置など)
4. 障害者や高齢者になっても在宅生活が続けられる福祉サービスの充実
5. 介護予防や健康寿命の延伸を図るため、健康相談など保健医療サービスの充実
6. 小・中学校と地域が連携した福祉教育の推進
7. 障害者、高齢者、児童の福祉施設の充実
8. 地域での災害時要援護者支援策の構築を進めるため、支援組織への要援護者情報の提供
9. 道路の段差解消など福祉のまちづくりの推進(バリアフリー化など)
10. 生活困窮者への支援の充実
11. その他 ()
12. 特にない

3. 多機関連携・ネットワークについて

問11 貴機関が事業の実施や福祉的な支援を行う際に、現在、交流・協力関係にある他の団体・機関を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

また、今後、貴機関が新たに交流・協力関係を築いていきたいと考える団体・機関を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

	現在関係がある	今後関係を築きたい
支援を必要とする人やその人の家族		
地域の福祉活動団体や活動者(民生委員・児童委員、自治会、地区社会福祉協議会など)		
近隣住民		
市民活動団体(ボランティア、NPO法人など)		
地域の相談機関(地域包括支援センター)		
高齢福祉サービスを提供する事業所		
障害福祉サービスを提供する事業所		
児童福祉サービスを提供する事業所		
医療機関(病院、薬局など)		
行政機関		
小学校・中学校、PTA		
市社会福祉協議会		
その他()		
特になし		

問12 他の団体や機関と一緒に事業を実施する際や、交流・協力関係を築く際に、課題や妨げとなることはどのようなことですか。(○はいくつでも)

1. 自分たちの団体の活動への理解が得られない 2. 自分たちの団体の活動が忙しく、時間がない 3. 自分たちの団体内で理解・合意が得られない 4. 自分たちの団体と考え方が異なる 5. 接点・きっかけがない 6. 財政的に困難である 7. 制度的に困難である 8. 交流や協力を図る必要性を感じない 9. その他() 10. 特になし
--



問13 地域の中で関係者や関係機関のネットワークを活性化するために、貴機関が取り組んでいることを教えてください。また、今後、取り組みたいと考えることを教えてください。(あてはまるものすべてに○)

	既に取り組んでいる	今後、取り組みたい
地域における住民などの活動の把握		
地域内の活動者の把握と連携		
他の機関との定期的な連絡調整		

○上記の取組以外で、取り組んでいることや、今後必要だと感じる取組があればお書きください。

()

問14 コミュニティソーシャルワーカー*について知っていますか。(○は1つ)

- | |
|---|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 名称や内容、担当者も知っている 2. 名称は知っているが、内容や担当者はよく知らない 3. まったく知らない |
|---|

*コミュニティソーシャルワーカー

コミュニティソーシャルワーカーは、日常的に地域の状況を把握することで地域の福祉課題を発見し、その解決に向けて、住民活動の支援やさまざまな機関・団体のネットワークづくり、社会資源の開発などを行います。川越市では現在、川越市社会福祉協議会に8名配置されています。

問15 コミュニティソーシャルワーカーとの関わりを必要と感じますか。(○は1つ)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 必要と感じる → 問16へ 2. 必要と感じない → 問17へ 3. わからない → 問17へ |
|--|

問16 問15で「必要と感じる」とした場合、どのような連携・関わりを望みますか。(○は3つまで)

- | |
|--|
| <ol style="list-style-type: none"> 1. 会議などでのアドバイス 2. いつでも相談ができる 3. 地域に出向いて相談にのってくれる 4. 個別具体の事業や活動に対して、支援や協力をしてくれる 5. 研修会などの講師の役割をしてくれる 6. コーディネーターとして、各種調整をしてくれる 7. 関係機関との協議の場の設定 8. その他 () 9. わからない |
|--|



4. 福祉に関する考え

問17 地域共生社会[※]では、多様な生活課題に制度の枠を超えて横断的に対応する相談支援体制の構築が求められています。そのような包括的な支援体制を川越市で充実するに当たり、特に優先的に力を入れて取り組むべきこととはどのようなことだと思いますか。(○は3つまで)

- | |
|--|
| 1. 市役所で多様な相談を総合的に受けられるようにする |
| 2. あらゆる窓口で住民の困り事の相談を受け止められるよう事業所などの相談を充実する |
| 3. 福祉の専門職が地域に出向き相談を受ける体制を充実する |
| 4. 相談に行けない人(行かない人)を発見し、窓口につなぐ取組を充実する |
| 5. 相談を支援に結び付けるよう、関係者のネットワークを充実する |
| 6. 課題を解決するため、サービスや社会資源を開発する取組を充実する |
| 7. 相談しやすいように、窓口の開設時間や相談を受ける方法を改善する |
| 8. その他() |

※地域共生社会

制度・分野ごとの『縦割り』や『支え手』『受け手』という関係を超えて、地域住民や地域の多様な主体が参画し、人と人、人と資源が世代や分野を超えてつながること、住民一人ひとりの暮らしや生きがい、地域をともに創っていく社会をいいます。

問18 貴機関が業務の対象とされている地域では、関係団体や機関などが連携して「地域共生社会」を実現していくため、次のような取組ができていると思いますか。(各項目○は1つ)

	できている	どちらとも いえない	できていな い	わからない
情報の提供と活用の支援				
ニーズの把握とつなぎ				
支援のコーディネート				
サービスや活動の提供				
サービスや活動の開発				
福祉コミュニティづくり				
経験の集約と実践への反映				
連携して進める仕組み				



問19 貴機関の業務を通じて、成年後見制度*の利用を必要とする人を発見したり、利用のための支援をしたりすることがありますか。

1. 成年後見制度の利用のための支援を行うことがある
2. 利用の支援を行うことはないが、利用が望ましいと思う人を発見することはある
3. 利用が望ましいと思う人を発見することはない
4. わからない
5. その他

※成年後見制度

認知症、知的障害、精神障害などで判断能力が十分でない方の権利を守り、意思を尊重して自分らしい生活ができるよう財産管理、意思決定の補助などの支援する制度です。

問20 成年後見制度の利用を促進するうえで、特に優先的に力を入れて取り組むべきことはどのようなことだと思いますか。

1. 市民や関係者に制度を周知するよう、情報提供や広報を充実する
2. 支援が必要な人を発見し、相談や支援につなぐ取組を充実する
3. 市民後見人も含め、支援の担い手づくりを充実する
4. 支援や連携の中間機関を充実する
5. 手続きの負担を少なくするなど、制度を利用しやすくする
6. 制度を利用するための経済的な負担を軽減する
7. わからない
8. その他 ()

問21 貴機関の活動を通じて、生活困窮者*を発見したり、支援したりすることがありますか。(○は1つ)

1. 生活困窮者のための支援を行うことがある
2. 支援を行うことはないが、支援を必要とする人を発見することはある
3. 生活困窮者のための支援を必要とする人を発見することはない
4. わからない
5. その他 ()

※生活困窮者

生活保護に至ってはいないものの、様々な理由で生活に困っており、自立した生活を送るための支援を必要とする方をいいます。

問22 これまでに犯罪をした人に対して支援を行ったことがありますか。(○は1つ)

1. ある → 問23へ
2. ない → 問24へ

※再犯防止の取組

再犯の防止等の推進に関する法律の施行など犯罪をした人や非行に走った人が円滑に社会復帰できるよう支援し、再び罪を犯さないようにすることで安全・安心な社会をつくる取組です。

問23 問22で「ある」とした場合、苦労や工夫したことがあれば教えてください。

問24 犯罪をした人や非行に走った人が、地域の中で再び犯罪をすることなく暮らすうえで、どのようなことが必要だと思いますか。(〇はいくつでも)

- | |
|--------------------|
| 1. 行政や専門職の支援 |
| 2. 学校などとの連携による修学支援 |
| 3. 近隣住民の理解・支援 |
| 4. 警察などの監視 |
| 5. その他 () |

5. 最後に

地域や福祉全般についてご希望やご意見などがありましたら、自由にお書きください。

ご協力ありがとうございました。



第4次川越市地域福祉計画策定に関するアンケート調査結果報告書

令和2年2月発行

発行：川越市 福祉部 福祉推進課

〒350-8601 埼玉県川越市元町1丁目3番地1

電話：049-224-8811（代表）

リサイクル適性 

この印刷物は、印刷用の紙へ
リサイクルできます。